TM-C7500/TM-C7500G
詳細取扱説明書

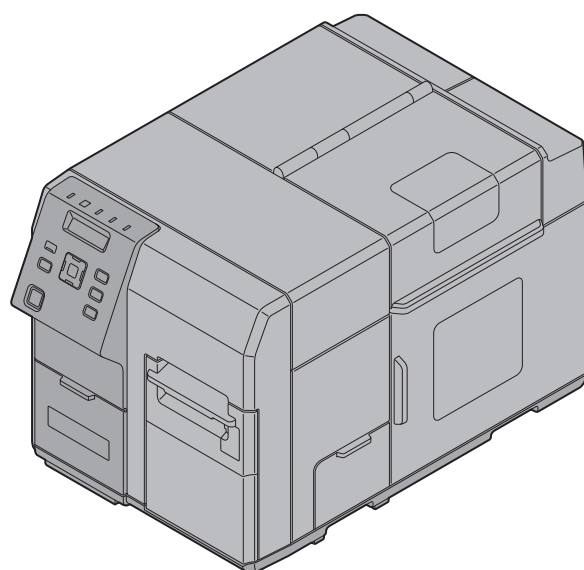
製品概要
製品の特長について説明します。

セットアップ
製品および周辺機器の設置・設定作業について説明します。

製品の取り扱い
製品の基本的な取り扱い方法について説明します。

アプリケーション開発情報
本プリンターの制御方法と、アプリケーションを開発する際に必要な情報について説明します。

付録
製品の仕様、および文字コード表について説明します。

M00079205
Rev.F

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。
- 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 運用した結果の影響については、上項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

EPSON、EXCEED YOUR VISION および ESC/Label はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、および Windows Server® は米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標です。

Zebra Technologies Corporation および ZPL II は Zebra Technologies Corporation 社の商標または登録商標です。

Intel®、Celeron®、および Pentium® は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。

AMD® および AMD Athlon™ は、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。

BarTender® は Seagull Scientific, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

Seagull Scientific は Seagull Scientific, Inc. の商標です。

NiceLabel® は Euro Plus d.o.o. の商標または登録商標です。

CODESOFT は、TEKLYNX International の商標または登録商標です。

その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

ご使用の前に

本書では、本製品とソフトウェアの機能・操作方法、設置から印刷できるようにするまでのセットアップ作業、メンテナンスに関する情報、各種トラブルの解決方法について説明しています。ご使用の際は、必ず本書をよくお読みの上、正しくお使いください。

Install Navi を使用して、簡単に本製品をセットアップすることもできます。

安全にお使いいただくために

本書には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の記号が使われています。その意味は以下のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害を起こす可能性が想定される内容を示しています。
	補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

設置上のご注意

警告	• **本製品の通風口を塞がないでください。通風口を塞ぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。**(18 ページ「本体背面」) • **布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置したりしないでください。また、本書で指示された設置スペースを確保してください。** (34 ページ「設置に適した場所」)
注意	• 不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。 • 油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。感電・火災のおそれがあります。 • 本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。 • 本製品は重いので、1 人で運ばないでください。開梱や移動の際は 2 人以上で運んでください。本製品の質量は約 37 kg です。 (33 ページ「プリンターの設置」) • 本製品を持ち上げる際は、本書で指示された箇所に手をかけて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、プリンターが落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。 (33 ページ「プリンターの設置」) • 本製品の設置時に、本製品底面にコードや異物などを挟み込まないよう注意してください。

電源のご注意

- AC100V 以外の電源は使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。感電・火災のおそれがあります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 破損した電源コードを使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。
  電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口に相談してください。また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。
  * 電源コードを加工しない
  * 電源コードに重い物を載せない
  * 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
  * 熱器具の近くに配線しない
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
- 電源コードのたこ足配線はしないでください。発熱して火災になるおそれがあります。
- 電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

取り扱いのご注意

	● アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。 ● 煙が出る、変なにおいや音がしたりなど異常状態のまま使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口に相談してください。 ● 異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口に相談してください。 ● お客様による分解・修理は、危険ですから絶対にしないでください。 ● 可燃ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。引火による火災のおそれがあります。 ● 各種ケーブルは、本書で指示されている以外の配線をしないでください。発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。 ● 製品内部の、本書で指示されている箇所以外には触れないでください。感電や火傷のおそれがあります。 ● 開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。感電・火災のおそれがあります。 ● 電源ケーブルは安全規格取得品で電源システム接地(PE)端子の付いたものを使用し、接地を確実に実施してください。感電のおそれがあります。
	● 本製品の上に乗ったり、重い物を置いたりしないでください。倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。 ● 各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。火災やけがのおそれがあります。本書の指示に従って、正しく取り付けてください。 ● 本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。ケーブルが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。 ● 本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。インクが漏れるおそれがあります。 ● シロキサンを含むシリコン系ガス (シリコン接着剤、シリコンオイル、シリコンパウダーなど)、および、悪性ガス (硝酸、硫化水素、アンモニア、塩素など) の雰囲気中で使用しないでください。絶縁皮膜の付着または酸化によって、メカニカルスイッチ、DC モーターなどのメカ接点部が短時間で接点障害を起こすおそれがあります。 ● 長時間使用されない場合は、用紙を取り外し、ホコリのないところで保管またはカバーなどによる保護をしてください。外部供給の用紙に堆積したごみやホコリの侵入により、不具合を発生するおそれがあります。 ● ベンジン、シンナー、トルエン、ケトン系溶剤は、プラスチックを変質、破損させるおそれがあるため、本製品に付着させないでください。

インクカートリッジ / メンテナンスボックスに関するご注意

注意

- インクカートリッジ / メンテナンスボックスの IC チップには触らないでください。正常に動作・印刷できなくなるおそれがあります。
- 本製品のインクカートリッジは、IC　チップでインク残量などの情報を管理しているため、使用途中に取り外しても再装着して使用できます。ただし、インクが残り少なくなったインクカートリッジを取り外すと、再装着しても使用できないことがあります。また、再装着の際は、プリンターの信頼性を確保するためにインクが消費されることがあります。
- インクカートリッジは、全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクカートリッジ内に多少のインクが残ります。
- プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもインクカートリッジ交換時・ヘッドクリーニング時などのメンテナンス動作で全色のインクが消費されます。
- ⏻(電源)LED の点滅中はヘッドクリーニング、インク充てん、あるいは印刷などを実施しているため、ロール紙カバー開閉、インクカートリッジカバー開閉、メンテナンスボックスカバー開閉、および電源を切らないでください。
- 充てん中（ ⏻(電源)LED の点滅中）は、電源を切ったり、カバーを開けたりしないでください。カバーを開けると、閉じたときにインクが再度充てんされ、さらにインクが消費されます。また、正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- モノクロ印刷した場合（モノクロ画像を印刷した場合）でも、印刷、およびプリントヘッドを良好な状態に保つための動作で全色のインクが使われます。
- インクカートリッジ / メンテナンスボックスは分解や、インクの補充・詰め替えをしないでください。分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着したりするおそれがあります。また、正常に印刷できなくなるおそれがあります。インクが漏れてプリンターが破損する場合があります。
- インクカートリッジを改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- 古くなったインクカートリッジを使用すると印刷品質が低下します。開封後は 6ヵ月以内に使い切ってください。未開封の推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱をご覧ください。
- 使用可能なメンテナンスボックスを取り外して長期放置を行った場合、再使用はしないでください。
- インクカートリッジ / メンテナンスボックスは子どもの手の届かないところに保管してください。またインクは飲まないでください。
- インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったりしたときは以下の処置をしてください。
  - ＊ 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。
  - ＊ 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師に相談してください。
  - ＊ 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。
- インクが漏れて衣類に付着すると、洗濯しても落とせない場合があるので、インクカートリッジ / メンテナンスボックスの取り扱いにご注意ください。
- 取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- 交換時以外はインクカートリッジ / メンテナンスボックスを取り外さないでください。
- インクカートリッジの袋は、本体に取り付ける直前まで開封しないでください。
- インクカートリッジ/メンテナンスボックスは強く振らないでください。強く振ったり振り回したり、側面を強く押したりすると、カートリッジ / メンテナンスボックスからインクが漏れるおそれがあります。
- インクが漏れる可能性があるため、インクカートリッジ/メンテナンスボックスの供給口を突かないでください。

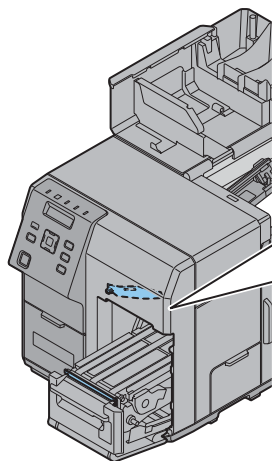
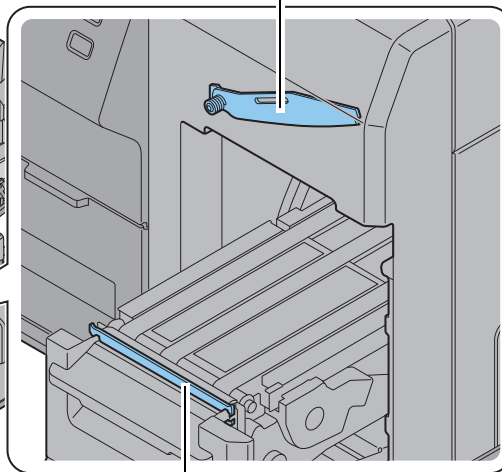
注意

- カートリッジセット部に異物を入れたり落としたりしないでください。印刷できなくなるおそれがあります。落としてしまったときは、セット部に傷を付けないように取り除いてください。
- インクカートリッジを収納するプリンター内インクカートリッジホルダーの内側には、プリンターへのインク供給用針が装備されておりインクが付着しています。汚れるので、指などを差し込まないでください。
- 購入直後のインク初期充てんでは、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は 2 回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できる量が少なくなることがあります。
- 本製品を初めて使用する場合、インクの充てんでインクが消費されるため、メンテナンスボックスの交換時期が通常よりも早くなります。
- 本体の電源ボタンで電源を切るとプリントヘッドは自動的にキャップ（蓋）をされ、インクの乾燥を防ぎます。インクカートリッジ取り付け後、本製品を使用しないときは、必ず本体の電源ボタンで電源を切ってください。電源が入った状態のまま、電源プラグを抜いたり、ブレーカーを切ったりしないでください。
- アート紙などの表面撥水処理を施した用紙に印刷すると、インク速乾性が悪く印刷汚れを起こす場合があります。また、光沢紙に印刷した場合は、印刷面に触れると指の跡が付いたりインクが指に付着したりすることがあります。印刷汚れを起こさない用紙を選定して、ご使用ください。
- 使用途中のインクカートリッジをプリンターに装着しないで輸送すると、インクが漏れる可能性があります。そのため、単品で輸送しないでください。
- 本製品に対応した純正品以外のメンテナンスボックスを使うとプリンター本体や印字品質に復帰不能な悪影響が出るなど、本製品本来の性能を発揮できなくなる場合があります。純正メンテナンスボックスを使用することをお勧めします。
- ベンジン、シンナー、トルエン、ケトン系溶剤は、プラスチックを変質、破損させるおそれがあるため、インクカートリッジ / メンテナンスボックスに付着させないでください。
- インクカートリッジ / メンテナンスボックスを廃却する場合は、各国、地域の法律・条例·規制に従って廃却してください。

注意ラベル

本製品に貼ってあるラベルは、以下の注意事項を示しています。

注意

オートカッターの刃に手を触れるとけがをするおそれがあります。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で弊社製品をご使用いただくようお願いいたします。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を起こすことがあります。本マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

本書について

本書の目的

本書は、システムの開発、設計、設置、またはプリンターアプリケーションの開発、設計に必要なすべての情報を開発技術者に提供することを、その目的としています。

本書の構成

本書は以下のように構成されています。

もくじ

製品の取り扱い....................................75

アプリケーション開発情報......167

付録......179

製品概要

本章では、製品の特長を説明しています。

特長

TM-C7500/TM-C7500G は、オンデマンドラベル印刷に求められる処理速度、操作性、信頼性を備える 4 色カラーインクジェットラベルプリンターです。

印刷

高速印刷

- 300 mm/s の高速印刷を実現しています。(600 dpi×1200 dpi ラインインクジェット印刷)
- 大容量インクタンクを採用し、インク交換によるロスタイムを軽減します。
- オプションの巻き取り装置 (型番: TU-RP7508) を使用すると、印刷後のロール紙を巻き取ることができます。

- 印刷速度は、データ転送速度によって異なります。
- 印刷速度は、ヘッドクリーニング、オートカット動作や印刷ジョブの開始 / 終了処理、定期フラッシングなどの動作によって異なります。

カラー印刷

- 4 色インクカラー印刷 (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー)
- 解像度 600 dpi ×1200 dpi
  [dpi: 25.4 mm あたりのドット数 (dots per inch)]

多種多様な用紙に対応

- 8 インチ径ロール紙、ファンフォールド紙に対応
- 全面ラベル、ダイカットラベルに対応
- ラベル間ギャップ、ブラックマーク位置検出に対応
- TM-C7500 :　普通紙ラベル、マット紙ラベル、合成紙ラベルに対応
- TM-C7500G :　普通紙ラベル、マット紙ラベル、合成紙ラベル、光沢紙ラベルに対応

TM-C7500G は光沢紙用に設計しているため、光沢紙以外に印刷した場合は、淡い印刷となりますが使用可能です。

操作性

- 操作パネルと LCD の表示で、本製品の機能を設定できます。ネットワークの設定 (IP アドレスなど) も、コンピューターに接続しなくても直接設定できます。
- 本製品の状態やエラーの内容を LCD に表示します。ブザー音や各種 LED の点滅と合わせて、本製品の状態をいち早く確認できます。

信頼性

- 耐光性、耐水性に優れた顔料インクを使用
- ノズル自己診断システム搭載により、ドット抜け印刷の発生しにくい高信頼性システム
  19 ページ「ノズル自己診断システム」を参照

簡単なセットアップ

- 付属の CD-ROM を起動すると、画面の対話形式で、プリンタードライバーやソフトウェアのインストール、用紙の設定、本製品の設定が簡単に行えます。

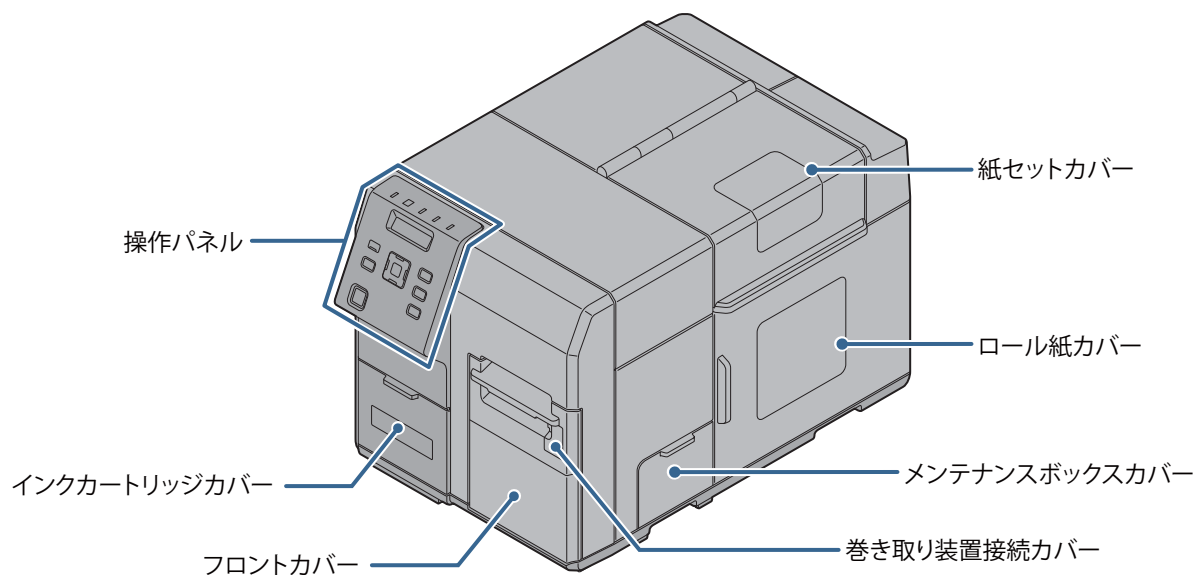
印刷方法

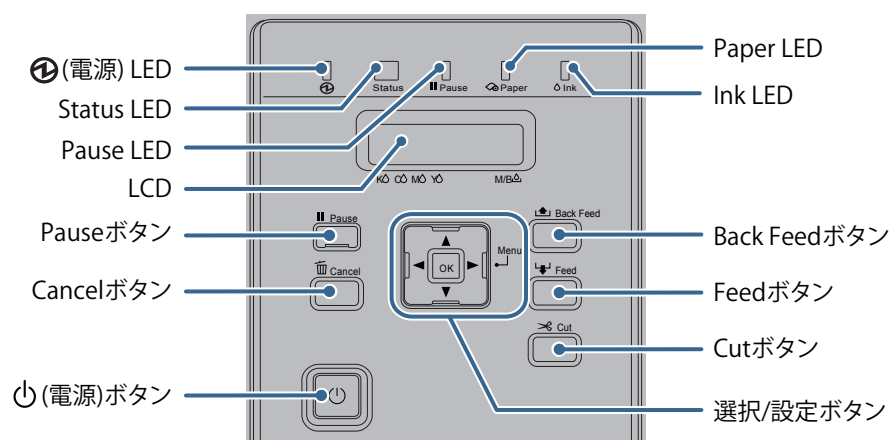
- Windows アプリケーションから利用できる Windows プリンタードライバーを用意しています。
- 以下のラベル印刷用アプリケーションは、TM-C7500/TM-C7500G シリーズ専用のドライバーを提供しています。これによって、各ラベル印刷用アプリケーションから TM-C7500/TM-C7500G が搭載しているすべての機能を簡単に使用できます。
  - ＊ BarTender
  - ＊ NiceLabel
  - ＊ CODESOFT
- プリンタードライバーにバーコードフォントを内蔵し、読み取り品質の高いバーコードを印刷できます。.NET 環境のアプリケーションからも使用できます。
- お客様の印刷アプリケーション開発を支援する、Epson Inkjet Label Printer SDK (Windows プリンタードライバーを利用) を用意しています。
- お客様のアプリケーションから、本製品をコマンド（ESC/Label）で直接制御できます。

その他の特長

- 用紙種類、給紙方法、用紙検出、用紙サイズ、プリセット画像の情報をまとめた「お気に入り」を、本製品に登録し、操作パネルから選択して簡単に設定できます。お客様が開発したアプリケーション、ZPL II コマンド対応のアプリケーションの場合に設定可能です。
- USB インターフェイス、Ethernet インターフェイスを標準搭載しています。コンピューターのローカルプリンターまたは、ネットワークプリンターとして使用できます。
- オートカッターを標準搭載しています。アプリケーションからの命令や操作パネルの操作によって用紙の切断が可能です。
- ブザーを標準搭載しています。用紙やインクがなくなった時、エラー発生時、印刷終了時などの通知が可能です。
- USB プリンターの場合、故障して別のプリンターと交換すると印刷キューが新たに生成されるため、アプリケーションやプリンタードライバーの設定が必要になります。本製品ではコンピューターやプリンタードライバーの設定を変更することなく、プリンターを置き換えるための機能 (USB プリンタークラス　デバイス置き換えサービス) を提供しています。

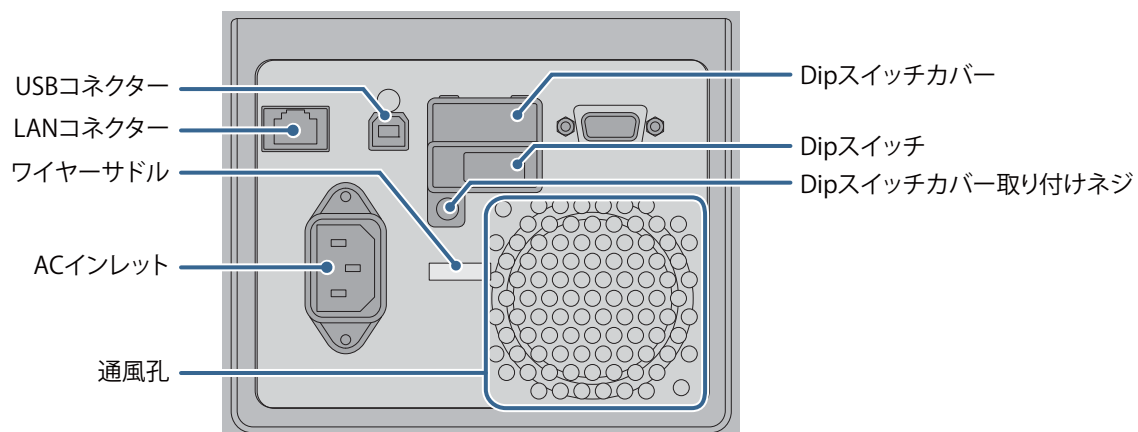
各部の名称と働き

本体前面

名称	説明
操作パネル	本製品の各種設定を行います。 詳細は、16 ページ「操作パネル」を参照してください。
インクカートリッジカバー	インクカートリッジを取り付け / 交換するときに開けます。
フロントカバー	詰まった用紙を取り除くときに開けます。
巻き取り装置接続カバー	巻き取り装置 (オプション) を取り付けるときに開けます。
メンテナンスボックスカバー	メンテナンスボックスを取り付け / 交換するときに開けます。
ロール紙カバー	ロール紙をセットするときに開けます。
紙セットカバー	ロール紙またはファンフォールド紙をセットするときに開けます。

操作パネル

名称	説明
(電源) LED	プリンターの電源が入っているときに、点灯します。 印刷中やインクの充てん中に、点滅します。
Pause LED	プリンターが動作を中断しているときに、点灯・点滅します。
Status LED	プリンターが正常に稼動しているときに、青色に点灯･点滅します。 プリンターに異常があるときに、橙色に点灯･点滅します。
Paper LED	用紙の残量がないときや用紙が詰まったとき、または紙セットカバーやロール紙カバー、フロントカバーが開いているときに、点灯します。
Ink LED	以下の状態のときに点灯します。 • インク残量が少ない • メンテナンスボックスの空き容量が少ない 以下の状態のときに点滅します。 • インクカートリッジカバー / メンテナンスボックスカバーが開いている • インクカートリッジ / メンテナンスボックスがセットされていない • インクカートリッジの交換時期になる • メンテナンスボックスの交換時期になる
LCD	メニューやメッセージが表示されます。 27 ページ「インクカートリッジ、メンテナンスボックスの状態」を参照
Pause ボタン	印刷中に押すと、1 ページ分の印刷が終わってから、一時停止します。 プリンターが動作を中断しているとき（Pause LED が点灯しているとき）に押すと、プリンターが動作を再開し、印刷待機状態に戻ります。

名称	説明
Cancel ボタン	プリンターが動作を中断しているとき（Pause LED が点灯しているとき) に、短く (2 秒未満) 押すと、先頭の印刷ジョブを中止します。2 秒以上押すと、すべての印刷ジョブを中止します。ただし、ジョブキャンセル直後に印刷データが送られている場合、キャンセル後に送信されたデータがキャンセルされずに意図しない印刷をすることがあります。 メニュー実行中に押すと、印刷待機状態に戻ります。
⏻(電源) ボタン	電源の入 / 切を行います。 DIP スイッチ 1 が ON の場合は、本製品をリセットできます。 148 ページ「Dip スイッチの設定」を参照
選択 / 設定ボタン	LCD に表示されるメニューや項目を選択・設定できます。 ▶ (メニュー) ボタン : メニュー画面を表示します。 ◀ ボタン : ひとつ前のメニューに戻ります。 ▲・▼ボタン : メニューや項目を選択します。 OK ボタン : 選択しているメニューや項目を実行します。
Cut ボタン	用紙がカットされます。
Feed ボタン	短く (3 秒未満) 押すと、1 ページ分用紙が送られます。 3 秒以上押すと、連続して用紙が送られます。
Back Feed ボタン	用紙交換のときのみ押します。 Cut ボタンを押して印刷した用紙を切り取ってから、Back Feed ボタンを長押しすると、用紙が後方に送られ、用紙を引き抜くことができます。 ただし、紙ジャムを防止するため一度バックフィードが行われた後は、再度用紙セットが行われるまでは、バックフィードは実行されません。

- 巻き取り装置への用紙セットなど、ロール紙を操作する場合は、Pause ボタンを押してプリンターの動作を一時停止してから操作してください。
- ファンフォールド紙のミシン目を切り離す場合は、Pause ボタンを押してプリンターの動作を一時停止させた後または、Cut ボタンでファンフォールド紙を切り離してから操作してください。

本体背面

名称	説明
USB コネクター	USB ケーブルを接続します。
LAN コネクター	LAN ケーブルを接続します。
ワイヤーサドル	USB ケーブルを通して、ケーブルの抜け落ちを防止します。
AC インレット	電源コードを接続します。
通風孔	本製品内の温度の上昇を防ぐため、内部で発生する熱を排出します。設置の際は、通風孔から 10 cm 以上の隙間をあけ風通しを良くしてください。
Dip スイッチカバー取り付けネジ	Dip スイッチカバーを取り外すときに、ネジを取り外します。
Dip スイッチ	電源ボタンの機能を変更するときに操作します。
Dip スイッチカバー	Dip スイッチを操作するときに、Dip スイッチカバー取り付けネジを外してから、カバーを取り外します。

Dip スイッチで電源ボタンの動作を " パワースイッチ無効 (リセット動作)" に設定した場合、電源を切るときはプリンター動作中でないことを確認してください。

ノズル自己診断システム

本製品は、ドット抜けを検出するノズル自己診断システムを搭載しています。

印刷物のドット抜けに対するお客様の求められる要求レベルにより、「ノズル自己診断システムの有効 / 無効」、「ノズルチェック間隔」、「ノズル抜け許容数」を設定することができます。

また、クリーニングを行ってもノズル詰まりを解消できない場合には、近くのノズルを使用して補完印刷をすることができます。

これを使用すると、印字品質やバーコード品質の著しい低下を補うことができます。

ノズル自己診断システムの設定

ノズル自己診断システムを「有効」に設定すると、以下の場合および、「ノズルチェック間隔」で指定した印刷枚数ごとに、ノズル自己診断を行います。

- 印刷ジョブの開始時、またはノズル自己診断システムの間隔で指定された印刷枚数ごと
- 電源を入れたとき
- メンテナンスボックスカバーを閉じたとき
- 紙ジャム後に、ロール紙カバーまたは用紙セットカバーを閉じたとき

検出されたノズル抜け数が設定された「ノズル抜け許容数」を超過した場合には、自動ヘッドクリーニングを行い、ドット抜けを解消させます。自動クリーニング後にもノズルチェックを行い、設定された「ノズル抜け許容数」を下回らない場合には、再度自動クリーニングを行います。

注意　本機能は、100% ドット抜け防止を保障するものではありません。ドット抜け、インク滴の曲がりを 100% 検出することができません。

- ヘッドクリーニングは、すべてのヘッドに対して同時に行います。ノズル詰まりを検出したヘッドおよびインクだけに対して行うものではありません。
- ノズル自己診断システムを行うため、微量のインクを使用します。
- ドット抜け検出後には自動でヘッドクリーニングを実行します。ヘッドクリーニング実行時にはインクが消費されます。

ノズル自己診断システムの有無の設定

ノズル自己診断システムの有効 / 無効を設定します。

工場出荷時には「有効」に設定されています。

設定

本製品の設定メニューおよび PrinterSetting から設定できます。

78 ページ「操作パネルの設定」または 85 ページ「PrinterSetting」を参照

「ノズルチェック間隔」の設定

指定した印刷枚数ごとに印刷を一時停止して、ノズル自己診断をします。

設定

本製品の設定メニューおよび PrinterSetting から設定できます。

印刷ジョブの開始時～ 500 枚ごと。ページ単位で設定できます。

78 ページ「操作パネルの設定」または 85 ページ「PrinterSetting」を参照

「ノズル抜け許容数」の設定

ノズル自己診断システム実行時の、許容ノズル抜け数を設定します。ノズル抜け数がこの値を上回った場合に、ヘッドクリーニングを実行します。また、ノズル抜け数がこの値に達しない場合は、ヘッドクリーニングは実行しないで、ノズル抜け補完機能が働きます。

設定

本製品の設定メニューおよび PrinterSetting から設定できます。

0 ～ 10 ノズルの間で設定できます。

78 ページ「操作パネルの設定」または 85 ページ「PrinterSetting」を参照

- 許容ノズル抜け数は、4 色 (KCMY) 合計の許容ノズルを示します。
- 許容ノズル抜け数の初期値は「6」です。

ノズル抜け補完機能

ノズル抜け補完機能とは、ノズル詰まりが発生した場合に、近傍のノズルを使用して補完印刷を行う機能です。

自動補完可能なノズル詰まりは、合計 16 ノズル以下です。ただし、隣接するノズル詰まりの場合は、補完を十分に行えません。ノズル詰まりの合計が 16 ノズルを超えた場合は、16 ノズル分の補完は実施し、印字は継続することができます。

この機能は、ノズル自己診断システムが無効の場合には、ノズル抜け補完機能を有効に設定しても、有効にはなりません。

- この機能は、「印字品位」や「バーコード品質」などを完全に補完するものではありません。
- この機能は、印刷開始時に既知のノズル抜け情報を基に補完を行うため、印刷中に発生したノズル抜けを補完することはできません。

設定

本製品の設定メニューおよび PrinterSetting から設定できます。

工場出荷時には「有効」に設定されています。

78 ページ「操作パネルの設定」または 85 ページ「PrinterSetting」を参照

定期自動クリーニング

プリンターヘッドの状態を良好な状態に保つために、定期的に自動クリーニングを実施することができます。

定期自動クリーニングは 2 分〜 30 分を要します。その間は印刷ができません。

定期自動クリーニングの実施時刻を設定することができます。

定期自動クリーニング実施時刻設定が無効の場合には、前回の定期自動クリーニングからの経過時間などからプリンターが必要と判断した時点で定期自動クリーニングが実施されます。

- 定期自動クリーニングが設定された時刻に本製品の電源が切れている場合、次に電源が入ったときに自動定期クリーニングが実行されます。
- 長時間、本製品の電源が入らない状態が続いた場合、電源が入ったときに自動定期クリーニングが実行される場合があります。

ステータスとエラー表示

LED の点灯 / 点滅と LCD 表示の組み合わせによって、プリンターの状態が表示されます。
エラー発生時には、LED と LCD 表示からエラーの原因と対処方法を知ることができます。

- 表中の記号の色は、本製品の LED の色を表しています。
- 表中の記号はそれぞれ、以下の状態を表しています。
  - ●: 点灯
  - ✓: 消灯
  - ▼: 点滅 (通常)
  - ▲: 点滅 (高速)
  - －: 変化なし

LED					LCD の表示	プリンター状態	説明
(電源) LED	Status LED	Pause LED	Paper LED	Ink LED			
▼	●	✓	✓	✓	■■■■■■■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■■■■■■■	電源を入れてから 2 秒間	－
▼	●	✓	✓	✓	EPSON TM-C****	電源を入れてから 2 ～ 4 秒までの間	LCD に機種名を表示します。
▼	●	－	－	－	ｷﾄﾞｳﾁｭｳ * * * * *	電源を入れて 4 秒～アイドリングになるまでの間	LCD に、インク残量とメンテナンスボックスの空き容量が表示されます。
▲	●	－	－	－	ﾊﾟﾜ-ｵﾌﾁｭｳ * * * * *	電源切の処理を実行中	この時に AC 電源を抜くなどして強制的に電源を切らないでください。インクのノズル抜けが発生したりする原因となります。
●	●	－	－	－	ｲﾝｻﾂｶﾉｳ * * * * *	アイドル中	印刷可能な状態です。このときには、以下の操作が可能です。 • 電源切 • ポーズ状態への移行 • 設定モードへの移行 • 用紙のフィード / バックフィード / オートカット
●	●	－	－	－	ｾﾂﾃﾞﾝﾁｭｳ * * * * *	アイドル中 (省電力)	電源が入った状態で、本製品を 30 分以上操作しないと省電力モードに移行します。
▼	●	－	－	－	ｲﾝｻﾂﾁｭｳ * * * * *	印刷中	印刷を終了すると、ブザーが鳴動します。
▼	●	－	－	－	ﾄﾞｳｻﾁｭｳ * * * * *	印刷終了後、アイドルへ移行中	

LED					LCD の表示	プリンター状態	説明
（電源）LED	Status LED	Pause LED	Paper LED	Ink LED			
●	–	●	–	–	ﾎﾟｰｽﾞ ＊＊＊＊　　　＊	ポーズ	印刷中にポーズボタンを押すと、この状態になります。 この状態から、設定モードへの移行が可能です。
●	✓	–	–	–	ﾒﾆｭｰ ＊＊＊＊　　　＊	メニュー	メニューボタンを押すと、この状態になります。
●	–	●	–	–	ｼﾞｮﾌﾞｷｬﾝｾﾙﾁｭｳ ＊＊＊＊　　　＊	ジョブキャンセル	印刷中にキャンセルボタンを押すと、印刷ジョブをキャンセルして、印刷を中断してプリンター内の印字データを削除します。
●	●	–	–	–	ﾉｽﾞﾙﾁｪｯｸｵﾌ ＊＊＊＊　　　＊	ノズル自己診断システムが無効 (*)	環境の温度が低くてドット抜け検出ができない場合に LCD 表示を行います。印刷は継続されます。
●	●	–	–	–	ﾉｽﾞﾙﾂﾏﾘｱﾘ ＊＊＊＊　　　＊	回復できないドット抜け (*)	回復できないノズル抜けが発生した場合に本表示を行います。印刷は継続されます。
●	●	●	–	–	ﾉｽﾞﾙﾂﾏﾘｱﾘ ｲﾝｻﾂﾌﾞﾂｦｶｸﾆﾝﾉｳｴ ｹｲｿﾞｸｽﾙﾊﾞｱｲﾊ PAUSE ｦｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	印刷中のノズル抜け (*)	印刷中にノズル抜けが発生したため、印刷を一時停止しています。ポーズボタンを押すと印刷を再開します。印刷キャンセルする場合はポーズボタンを押す前に、CANCEL ボタンを 2 秒以上長く押します。 ▼ボタンと▲ボタンで LCD 表示が変わります。
●	▼	●	–	–	ﾛｰﾙｼｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ ＊＊＊＊　　　＊	ロール紙カバーオープンエラー (*)	ロール紙カバーが開いています。
●	▼	●	–	–	ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ ＊＊＊＊　　　＊	フロントカバーオープンエラー (*)	フロントカバーが開いています。
●	▼	●	–	–	ｶﾐｾｯﾄｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ ＊＊＊＊　　　＊	用紙カバーオープンエラー (*)	用紙カバーが開いています。
●	▼	●	–	●	ﾒﾝﾃﾅﾝｽｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ ＊＊＊＊　　　＊	メンテナンスボックスカバーオープン (*)	メンテナンスボックスカバーが開いています。
●	▼	●	–	●	ｲﾝｸｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ ＊＊＊＊　　　＊	インクカバーオープン (*)	インクカートリッジカバーが開いています。

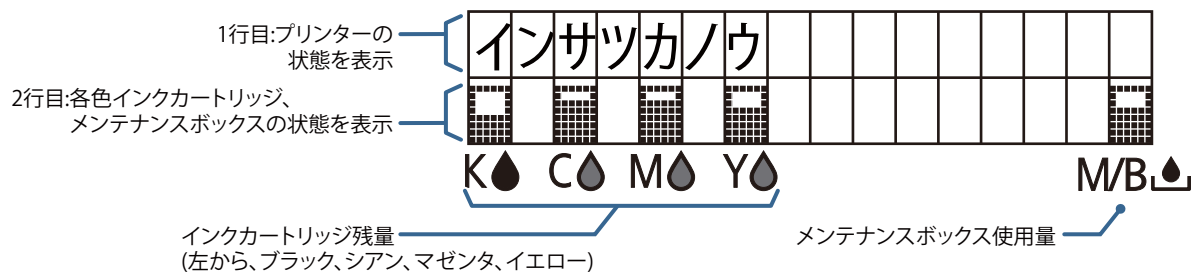
LED					LCD の表示	プリンター状態	説明
（電源）LED	Status LED	Pause LED	Paper LED	Ink LED			
●	▼	●	●	–	ﾖｳｼｹｲﾛｴﾗｰ ＊＊＊＊　　＊	用紙経路エラー（*）	プリンターの用紙検出器の設定が、プリンターに装着されている用紙と異なります。 ▶ボタンから設定モードに移行して、用紙検出器の設定を行うことができます。
●	▼	●	●	–	ﾖｳｼｹﾝｼｭﾂｴﾗｰ ＊＊＊＊　　＊	用紙タイプエラー（*）	プリンターの用紙タイプの設定が、プリンターに装着されている用紙タイプと異なります。 ▶ボタンから設定モードに移行して、用紙タイプの設定を行うことができます。
●	–	–	●	–	ﾖｳｼﾅｼ ＊＊＊＊　　＊	用紙なし（*）	用紙が装着されていません。
●	▼	●	●	–	ﾖｳｼｻｲｽﾞｴﾗｰ ＊＊＊＊　##＊	用紙サイズエラー（*）	プリンターの用紙サイズ設定が、プリンターに装着されている用紙のサイズと異なります。
●	▼	●	●	–	ﾖｳｼﾅｼｴﾗｰ ＊＊＊＊　　＊	用紙なしエラー（*）	用紙がありません。
●	▼	●	●	–	ﾖｳｼﾂﾞﾏﾘｴﾗｰ ＊＊＊＊　##＊	用紙ジャムエラー（*）	用紙が紙ジャムを起こしています。
●	▼	●	●	–	ﾖｳｼｼﾞｮｷｮｴﾗｰ ＊＊＊＊　　＊	用紙除去エラー（*）	印刷中に終端が芯から外れたタイミングで印刷が終了しました。 印刷途中のものが終了してから用紙除去エラーになります。
●	–	–	–	–	ｶｯﾄﾄﾞｳｻﾌｶｼﾞｮｳﾀｲ ＊＊＊＊　　＊	用紙カット不可状態（*）	用紙が同じ位置のまま、二度以上オートカットを実行しようとしています。
●	▼	●	–	●	ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞﾅｼ ＊＊＊＊　　＊	インクカートリッジなし（*）	インクカートリッジが装着されていません。
▼	●	–	–	–	ｲﾝｸｼﾞｭｳﾃﾝﾁｭｳ ＊＊＊＊　　＊	インク充てん中	インクの充てん（初期充てん）を行っています。 注意　終了するまで、本製品の電源を切らないでください。

LED					LCD の表示	プリンター状態	説明
（電源）LED	Status LED	Pause LED	Paper LED	Ink LED			
▼	●	–	–	–	ﾍｯﾄﾞﾒﾝﾃﾅﾝｽﾁｭｳ ＊＊＊＊　　＊	インクシーケンス実行中	プリンターヘッドのクリーニングを実行しています。 注意　終了するまで、本製品の電源を切らないでください。
●	–	–	–	▼	ｲﾝｸｺｳｶﾝﾏﾁﾞｶ ＊＊＊＊　　＊	インク残量少 (*)	LCD で表示されている対象のインクの残量が少なくなり、交換時期が近づきました。印刷は可能です。
●	▼	●	–	●	ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞｺｳｶﾝ ＊＊＊＊　　＊	インク交換時期 (*)	LCD で表示されている対象のインクカートリッジの交換時期になりました。対象のインクは、LCD 画面を確認してください。
●	▼	●	–	●	ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞｴﾗｰ ＊＊＊＊　　＊	インクカートリッジ CSIC エラー (*)	インクカートリッジの情報を読み込めません。
●	–	–	–	●	ﾋｼﾞｭﾝｾｲﾋﾝﾃﾞｽ ﾎﾝﾗｲﾉｾｲﾉｳｶﾞ ﾊｯｷﾃﾞｷﾅｲ ﾊﾞｱｲｶﾞｱﾘﾏｽ ﾂｶｲﾏｽｶ ﾊｲ ﾂｶｲﾏｽｶ ｲｲｴ ｼﾞｭﾝｾｲﾉ ｶｰﾄﾘｯｼﾞﾆ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ ＊＊＊＊　　＊	非純正インク (*)	非純正インクカートリッジが装着されています。
●	▼	●	–	●	ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾎﾞｯｸｽﾅｼ ＊＊＊＊　　＊	メンテナンスボックスなし (*)	メンテナンスボックスが装着されていません。
●	▼	●	–	●	ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾎﾞｯｸｽｴﾗｰ ＊＊＊＊　　＊	メンテナンスボックス CSIC エラー (*)	メンテナンスボックスエラーが発生しました。
●	–	–	–	▼	ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾎﾞｯｸｽｺｳｶﾝﾏﾁﾞｶ ＊＊＊＊　　＊	メンテナンスボックスニアフル (*)	メンテナンスボックスの残容量がわずかになりました。
●	▼	●	–	●	ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾎﾞｯｸｽｺｳｶﾝ ＊＊＊＊　　＊	メンテナンスボックスフル (*)	メンテナンスボックスの残容量がなくなりました。

LED					LCD の表示	プリンター状態	説明
（電源）LED	Status LED	Pause LED	Paper LED	Ink LED			
●	●	●	-	-	ﾒﾓﾘｶﾞｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ ﾌｧｲﾙｶｷｺﾐﾃﾞｷﾏｾﾝ ｹｲｿﾞｸｽﾙﾊﾞｱｲﾊ PAUSE ｦｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	メモリーフル	本製品内蔵ストレージ（SD、内蔵RAM）の残容量を超えるサイズのファイルを作成しようとした場合に、発生します。
●	-	-	-	-	ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙﾏﾁﾞｶ ＊＊＊＊　##＊	メンテナンス要求近い（*）	プリンターのメンテナンス時期が近づきました。印刷は可能です。
▼	▼	▼	▼	▼	ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙ ＊＊＊＊　##＊	メンテナンス要求（*）	プリンターのメンテナンスが必要です。印刷はできません。
▼	▼	▼	▼	▼	ﾌﾟﾘﾝﾀｰｴﾗｰ ＊＊＊＊　##＊	フェータルエラー（*）	プリンターにフェータルエラーが発生しました。印刷はできません。修理をご依頼ください。

＊対処方法が 153 ページ「トラブルシューティング」記載されています。

インクカートリッジ、メンテナンスボックスの状態

プリンター、各色インクカートリッジ、メンテナンスボックスの状態は LCD で確認できます。

インクカートリッジ、メンテナンスボックスのステータス確認

各色インクカートリッジ、メンテナンスボックスの状態をアイコンで表示します。

アイコン表示	状態
	• インクカートリッジ残量 • メンテナンスボックス残り使用量
	• インクカートリッジ交換間近 • メンテナンスボックス交換間近
	• インクカートリッジ交換要 • メンテナンスボックス交換要
	• インクカートリッジなし • インクカートリッジ読み取りエラー • メンテナンスボックスなし • メンテナンスボックス読み取りエラー

ブザー

ブザー鳴動パターンは下表のとおりです。すべてのエラー要因が解除されるまで、ブザー鳴動は継続します。

- 周波数： 約 2.5 kHz 固定
- 音量制御： ソフトウェア設定による 5 段階 (鳴らないように設定できます)

鳴動時間	消音時間	繰り返し	パターン時間	パターン回数	名称
500 m 秒	200 m 秒	5	6 秒	エラー要因が解除されるまで	• サービス要求 • プリンターエラー • インクカートリッジ交換要 • メンテナンスボックス交換要 • 用紙形態エラー • 用紙サイズエラー • 用紙詰まりエラー • 用紙除去エラー • 用紙なしエラー
100 m 秒	100 m 秒	5	1 秒	1 回	• インクカートリッジカバーオープン • メンテナンスボックスカバーオープン • 用紙カバーオープン • ロール紙カバーオープン • フロントカバーオープン • オートローディング失敗 • ストレージ容量オーバー • インクカートリッジなし • メンテナンスボックスなし • インクカートリッジ読み取りエラー • メンテナンスボックス読み取りエラー
1 秒	–	なし	–	1 回	印刷終了
100 m 秒	–	なし	–	1 回	• パネル音量変更 • オートローディング成功

セットアップ

本章では、製品を使用する前に必要な、製品および周辺機器の設置と設定作業について説明しています。

本製品のセットアップ方法には、以下の方法があります。

- 付属の CD-ROM の Install Navi に沿ってセットアップする。（30 ページ）
  コンピューターから付属の CD-ROM の Install Navi を起動し、その手順に従って本製品をセットアップします。
- Install Navi を使用しないで本製品をセットアップする。（31 ページ）

Install Navi

Install Navi を使用すると、コンピューターの画面の手順に従って操作して本製品をセットアップできます。
あらかじめ本製品を開梱して設置してください。詳細は、以下を参照してください。

- 付属品の確認（32 ページ）
- プリンターの設置（33 ページ）

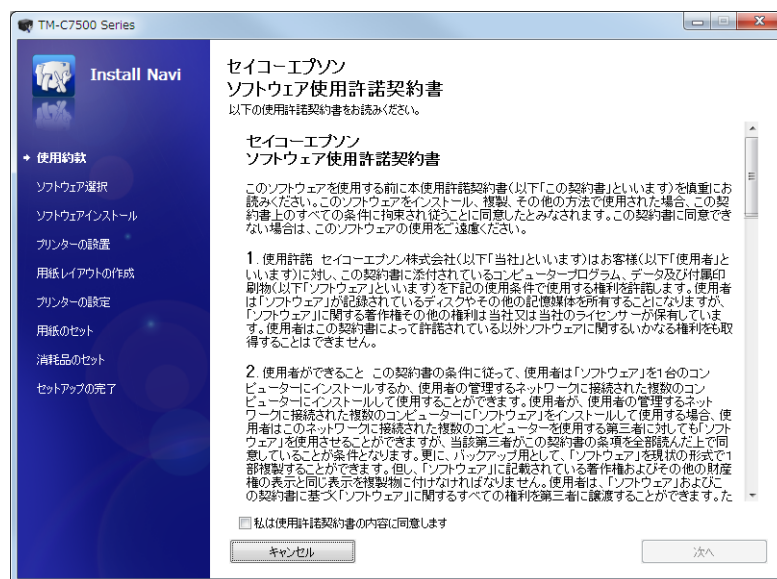
セットアップ手順は、以下のとおりです。

1 コンピューターの電源を入れます。

2 本製品の電源が入っていないことを確認します。

プリンターの電源は、必ず切っておいてください。

3 CD-ROM をコンピューターにセットすると Launcher が自動起動します。
[プリンターセットアップ] をクリックし、Install Navi を起動します。

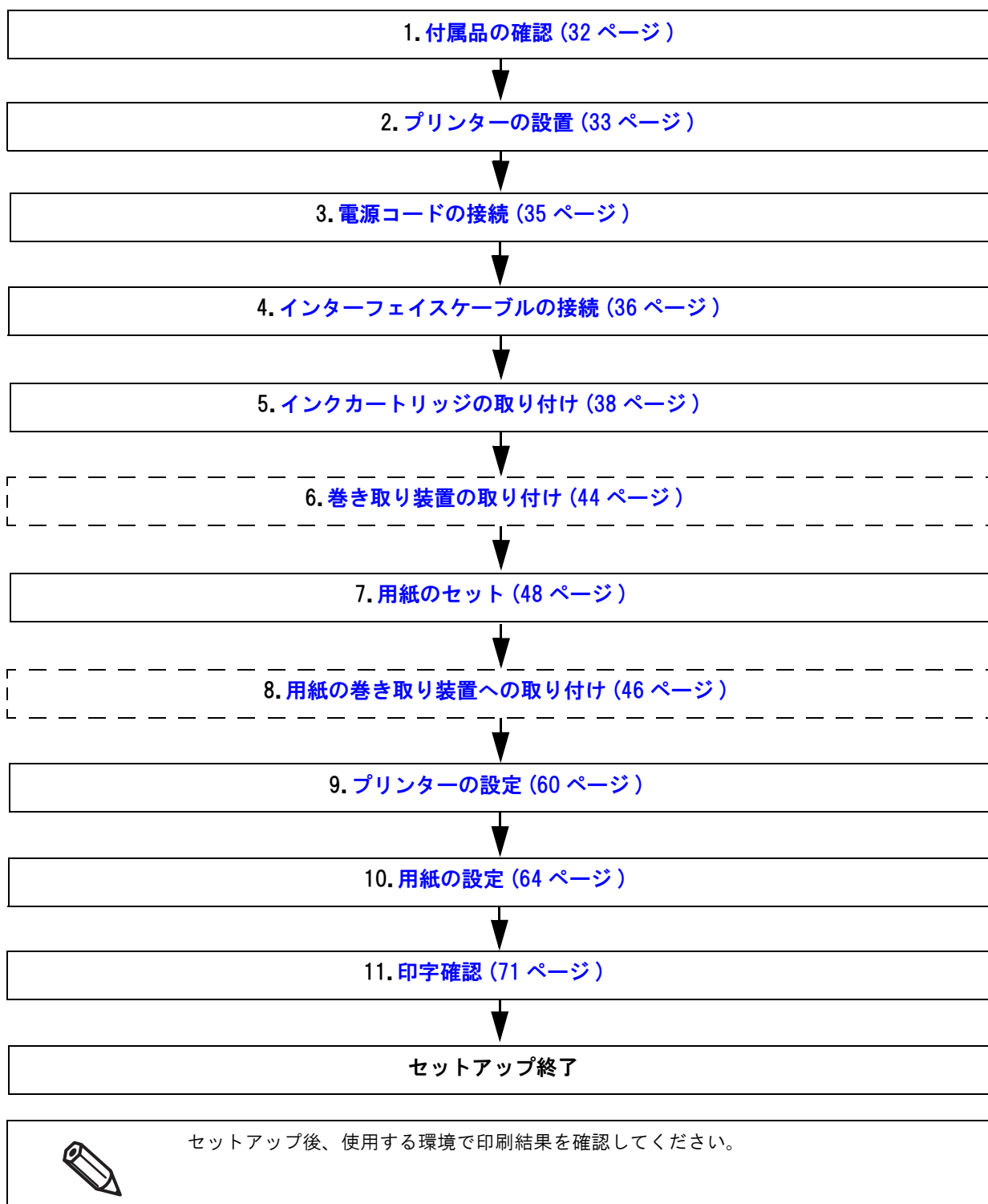
4 Install Navi を実行すると、以下の画面が表示されます。使用許諾に同意し、[次へ] をクリックします。以降画面の指示に従って本製品をセットアップします。

Install Navi のセットアップ手順に「ソフトウェアのインストール」があり、プリンタードライバー、PrinterSetting およびその他のソフトウェアをインストールすることができます。インストールしなくても本製品のセットアップは可能です。また、ソフトウェアは、後からインストールすることができます。

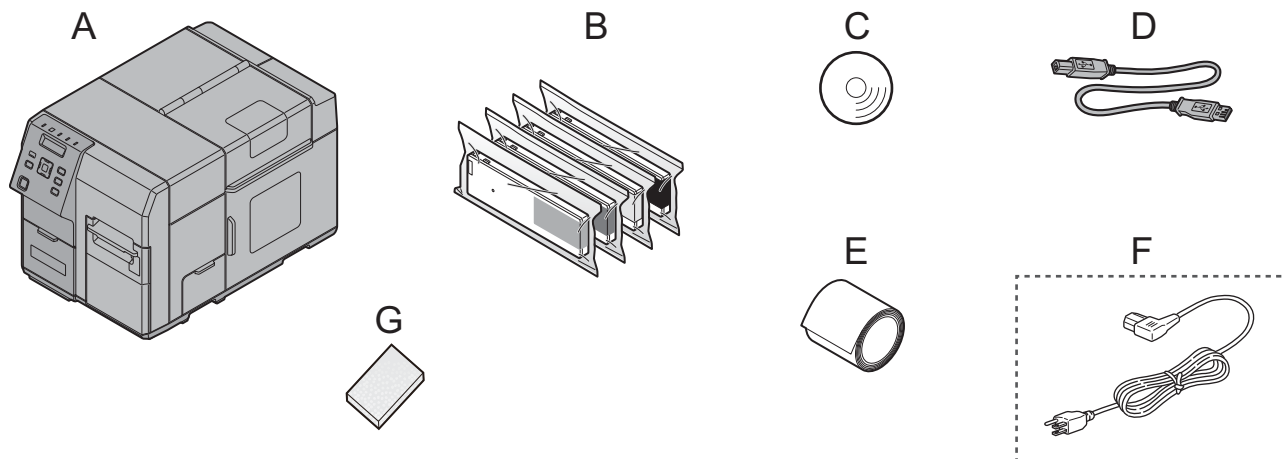
巻き取り装置を取り付ける場合、以下を参照してください。

- 巻き取り装置の取り付け（44 ページ）
- 用紙の巻き取り装置への取り付け（46 ページ）

以上で本製品のセットアップが完了します。

Install Navi を使用しない場合の作業フロー

セットアップの作業フローは、以下のとおりです。

付属品の確認

初めて使用する場合、付属品がすべてそろっていることと、本体および付属品に損傷がないことを確認してください。
付属品は以下のとおりです。

A	プリンター	B	インクカートリッジ (C, M, Y, K)*1	C	CD-ROM
D	USB ケーブル	E	ロール紙 (動作確認用)	F	電源コード
G	保護材 *2				

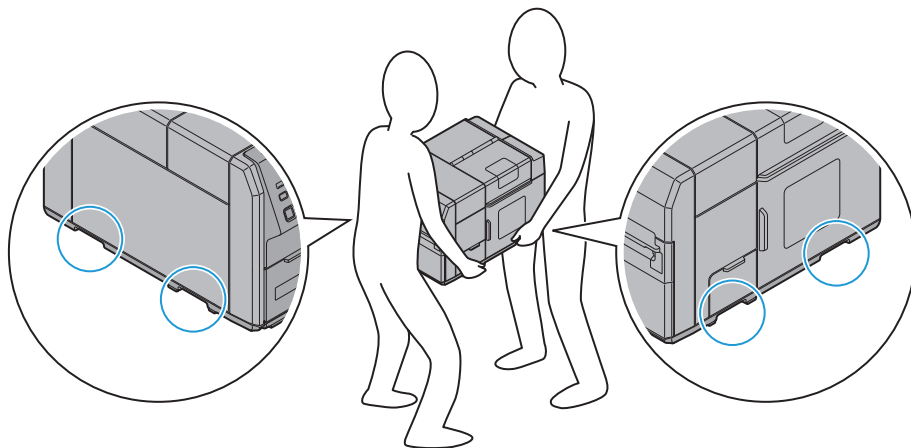
*1 インクの初期充てんにご利用いただけます。

*2 再輸送時に必要です。大切に保管しておいてください。

プリンターの設置

設置に適した場所に十分なスペースを確保して設置します。

注意

- 本製品を持ち上げる際は、必ず 2 人で持ち上げてください。

- 本製品の質量は約 37 kg です。本製品を持ち上げる際は、上図のように本製品を二人で挟み、本製品側面のくぼみを持って持ち上げてください。上図以外の部分に手をかけて運ぶと本製品が破損する原因となります。また、本製品を置くときは、本製品と設置面の間に指を挟まないように注意してください。
- 本製品を持ち上げる際は、ひざを十分に曲げるなどして無理のない姿勢で作業してください。無理な姿勢で持ち上げると、作業者がけがをしたり、本製品が破損したりする原因となります。
- 本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。転倒などによる事故の原因となります。
- 本製品を輸送する際は、上下逆さま、もしくは横倒しにしないでください。
- 本製品の天面に 10kg 以上の物を載せないでください。本製品に無理な力がかかると故障の原因となります。
- 操作による落下が予想される高所などに、設置しないでください。
- 振動する物の上や、衝撃を受ける場所へ設置しないでください。本製品の稼動中に振動、衝撃を与えない場所に設置して使用してください。本製品の稼動中に振動、衝撃を与えた場合、ノズル自己診断システムの誤動作を防止するため、ノズル自己診断を繰り返し実行する場合があります。ノズル自己診断が繰り返し実行された場合、処理に時間がかかりスループットが低下する場合があります。
- 本製品の設置時に、本製品底面にコードや異物などを挟み込まないよう注意してください。
- 操作時や動作時に強い衝撃を本製品に与えると、印刷不良を起こす可能性があるので注意してください。

設置に適した場所

本製品は、以下のような場所に設置してください。

- 本製品の質量（約 37 kg）に十分耐えられる、水平で安定した場所
- 本製品底面が確実に載る、本製品底面よりも広い場所
- 本製品背面の通風孔から 10 cm 以上隙間をあけた、風通しの良い場所
- 振動や衝撃が加わらない場所
- 専用の電源コンセントが確保できる場所
- 用紙のセットや取り出しが無理なく行える場所
- 付属品の取り付けや消耗品の交換、日常のお手入れに支障のないよう、周囲に十分なスペースを確保できる場所
- 以下の条件を満たす場所

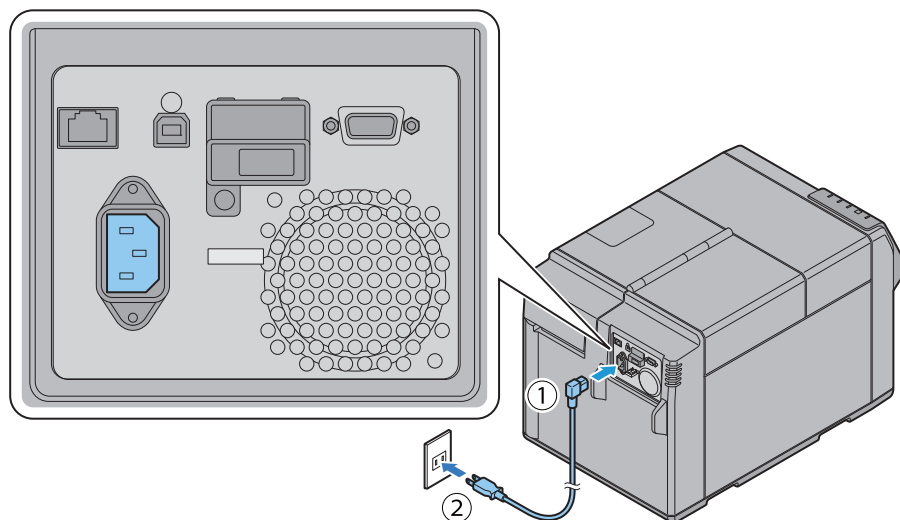
温度	動作時：5 ～ 35 ℃　保存時：-20 ～ 40 ℃（40 ℃の場合、1ヵ月以内）
湿度	動作時：20 ～ 80%RH　保存時：5 ～ 85%RH（ただし結露しないこと）

電源コードの接続

以下の手順で、電源コードを接続します。

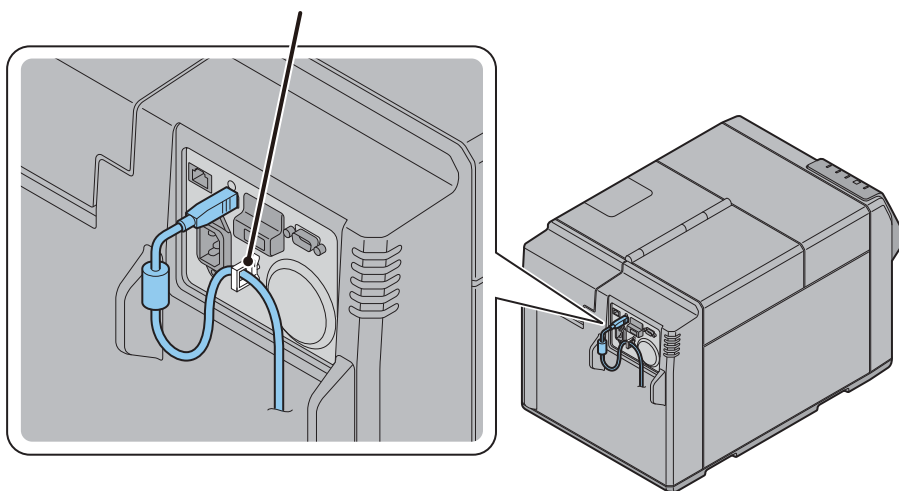
- AC100V 以外の電源は使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 本製品は必ずコンセントの近くに設置し、異常が起きたときはすぐに電源プラグを抜けるようにしてください。

1 電源コードのコネクターを、プリンターの AC インレットに奥まで確実に差し込みます。

2 電源プラグを、コンセントに奥まで確実に差し込みます。

インターフェイスケーブルの接続

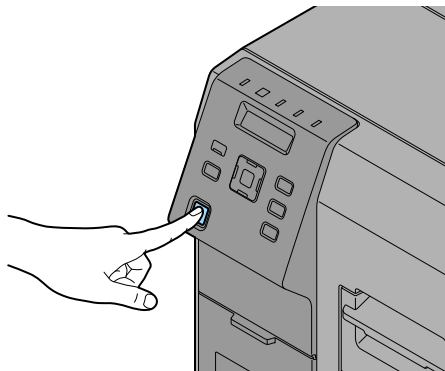
使用するインターフェイスケーブルをプリンター背面のコネクターに接続します。

注意

USB ケーブルを接続する場合、抜け防止のためワイヤーサドルにケーブルを通してください。

電源操作

ここでは、本製品の電源を入れる方法と、切る方法を説明します。

電源の入れ方

1 （電源）ボタンを押します。

2 (電源)LED が点灯して、電源が入ります。

電源の切り方

1 （電源）ボタンを 1 秒以上続けて押します。

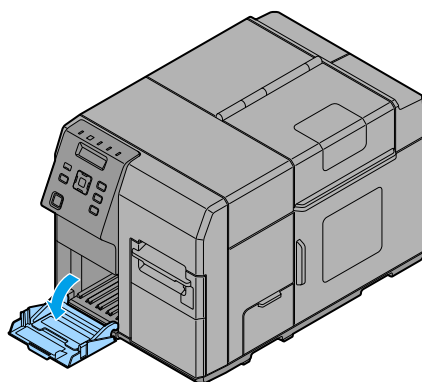
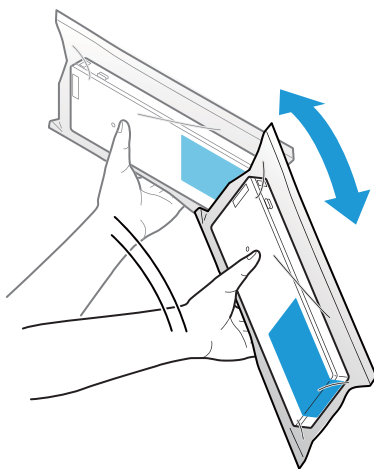
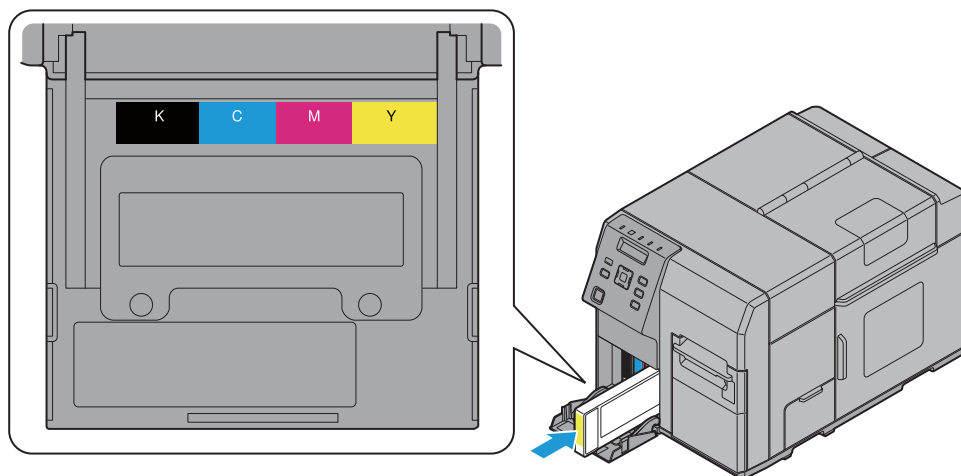
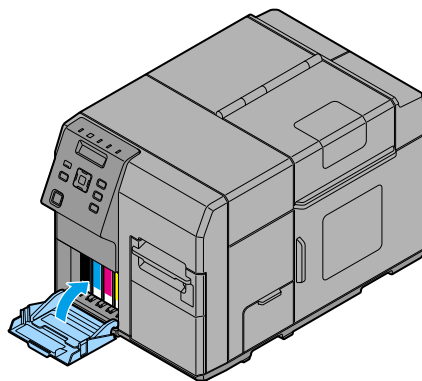
2 (電源)LED が消灯して、電源が切れます。

インクカートリッジの取り付け

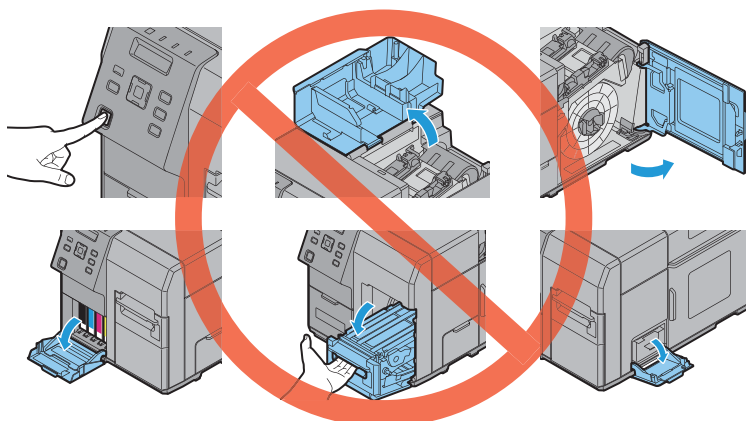
以下の手順で、インクカートリッジを取り付けます。

注意	インクカートリッジを取り付ける前に、取り扱いに関する注意事項をよくお読みください。 6 ページ「インクカートリッジ / メンテナンスボックスに関するご注意」および 203 ページ「インクカートリッジ」を参照

1 本製品の電源を入れます。

2 インクカートリッジカバーを開けます。

3 インクカートリッジを４～５回振ってから、袋から取り出します。

4 ４　色すべてのインクカートリッジを本製品にカチッと音がするまで、静かに押し込みます。インクカートリッジのラベルの色と、インクカートリッジホルダーのラベルの色を確認し、同じ色の位置にインクカートリッジをセットしてください。

5 インクカートリッジカバーを閉めます。

6 Pause ボタンを押します。

インクの充てんが始まります。充てん中は、⏻（電源）LED が点滅します。

> ⚠ **注意**
>
> インクの充てん中（⏻（電源）LED が点滅している間）は、決して各カバーを開けたり、電源を切ったりしないでください。インク充てん中にこれらの操作が行われた場合、インクが著しく消費され、充てんが完了する前にインクカートリッジの交換が必要になるおそれがあります。
>
>

>
>
> 付属のインクカートリッジは初期充てん用です。初めてインクカートリッジを取り付けたときは、本製品を印刷可能な状態にするために、インクを充てんします。
> インクの充てん時間は、最短 10 分です。充てん時間は、状況により異なります。

7 インクの充てんが終わると、⏻（電源）LED が点滅から点灯に変わります。

インクカートリッジの交換

本製品を使用することで、インクカートリッジのステータスは、以下のようになります。

- インクカートリッジ交換間近
- インクカートリッジ交換要

インクカートリッジ交換間近

インクカートリッジ内のインク残量が少なくなった場合、Ink LED が点滅し、LCD に「ｲﾝｸｺｳｶﾝﾏﾁﾞｶ」が表示されます。

「インクカートリッジ交換間近」を表示したらインクカートリッジ交換の準備をしてください。

「インクカートリッジ交換間近」から「インクカートリッジ交換要」までの印刷可能枚数は、使用条件により異なります。

「インク残量少 LED 通知設定」が表示しない設定の場合、Ink LED は点滅しません。

2

インクカートリッジ交換要

インクカートリッジ内に使用できるインクが残っていない場合、Ink LED が点灯し、LCD に「ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞ ｺｳｶﾝ」が表示され、本製品はオフラインとなります。

以下の手順で十分なインク残量のあるインクカートリッジに交換してください。

1. Ink LED が点灯しているか確認します。また、交換するインクカートリッジを LCD の表示で確認します。
2. インクカートリッジカバーを開けます。
3. 交換するインクカートリッジをゆっくり押します。ロックが外れたことを確認した後、インクカートリッジを手前に引き抜きます。
4. 新しいインクカートリッジを４～５回振ってから、袋から取り出します。
5. インクカートリッジを本製品にカチッと音がするまで、静かに押し込みます。
6. インクカートリッジカバーを閉めます。
7. インクカートリッジの交換が終了すると、Ink LED が消灯します。
8. 本製品はポーズ状態に移行します。Pause ボタンを押して、解除すると本製品はアイドル状態に戻ります。

メンテナンスボックスの取り付け

メンテナンスボックスは出荷時には取り付け済みです。

注意

メンテナンスボックスを取り付ける前に、取り扱いに関する注意事項をよくお読みください。
6 ページ「インクカートリッジ / メンテナンスボックスに関するご注意」を参照

メンテナンスボックスの回収について
環境保全の一環として、使用済みメンテナンスボックスの回収ポストをエプソン製品取扱店に設置しています。回収されたメンテナンスボックスは、原材料に再生し、リサイクルしています。最寄りの回収ポスト設置店舗はエプソンのホームページでご案内しています。
＜ http://www.epson.jp/ ＞

メンテナンスボックスの交換

本製品を使用していると、廃インクがメンテナンスボックスに回収されます。メンテナンスボックスのステータスは、以下のようになります。

- メンテナンスボックス交換間近
- メンテナンスボックス交換要

メンテナンスボックス交換間近

インクカートリッジ内のインク残量が少なくなった場合、Ink LED が点滅し、LCD に「ﾒﾝﾃﾅﾝｽ B ｺｳｶﾝﾏﾁﾞｶ」が表示されます。

「メンテナンスボックス交換間近」を表示したらメンテナンスボックス交換の準備をしてください。

「メンテナンスボックス交換間近」から「メンテナンスボックス交換要」までの印刷可能枚数は、使用条件により異なります。

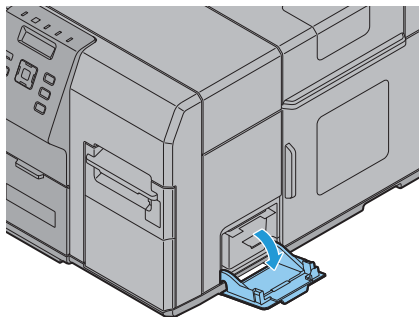
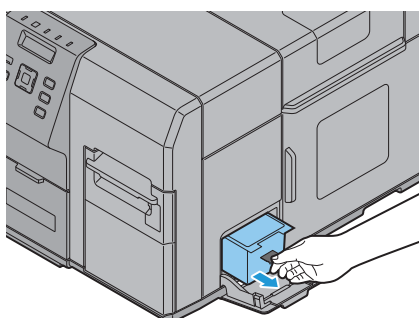
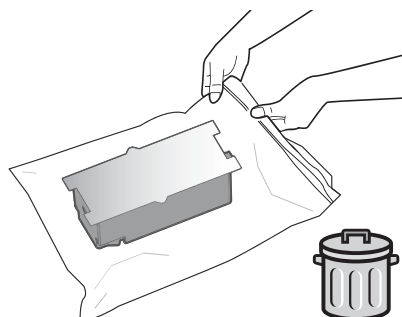
「インク残量少 LED 通知設定」が表示しない設定の場合、Ink LED は点滅しません。

メンテナンスボックス交換要

メンテナンスボックスに使用できる残量がない場合、Ink LED が点灯し、LCD に「ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾎﾞｯｸｽｺｳｶﾝ」が表示され、本製品はオフラインとなります。

以下の手順で十分な残量のあるメンテナンスボックスに交換してください。

1 Ink LED が点灯しているか確認します。また、LCD の表示が [メンテナンスボックスコウカン] になっているか確認します。

2 メンテナンスボックスカバーを開けます。

3 交換するメンテナンスボックスを手前に引き抜きます。

4 メンテナンスボックスを使用済みメンテナンスボックス廃棄用ポリ袋に入れます。

5 新しいメンテナンスボックスのラベル面を上にし、静かに差し込みます。

6 メンテナンスボックスカバーを閉めます。

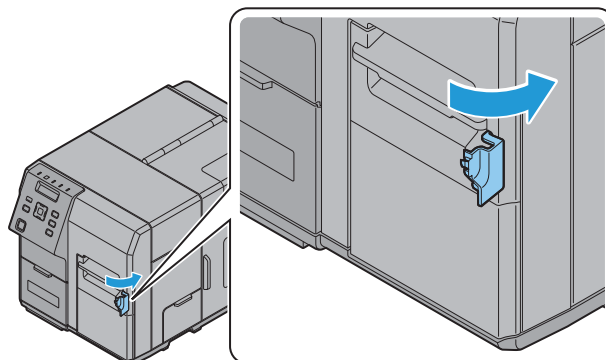
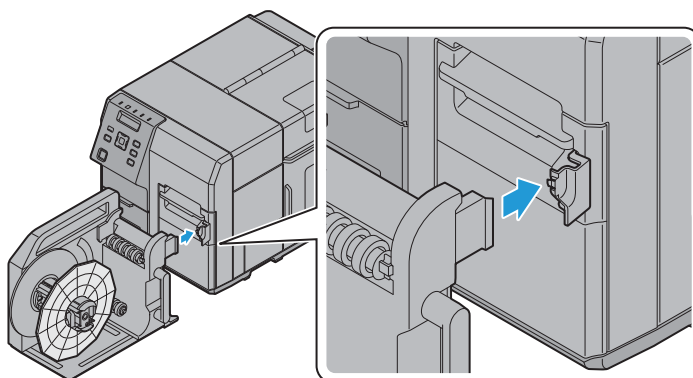
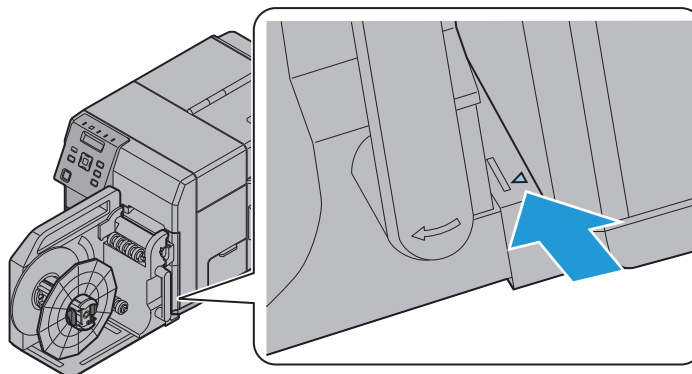
7 メンテナンスボックスの交換が終了すると、Ink LED が消灯します。

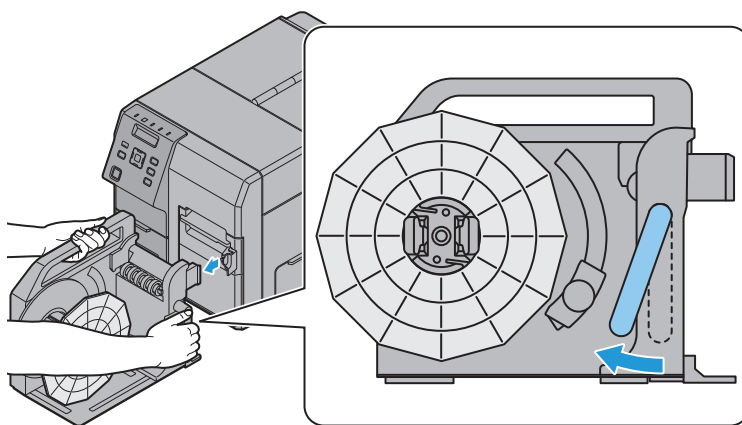
8 本製品はポーズ状態に移行します。Pause ボタンを押して、解除すると本製品はアイドル状態に戻ります。

巻き取り装置

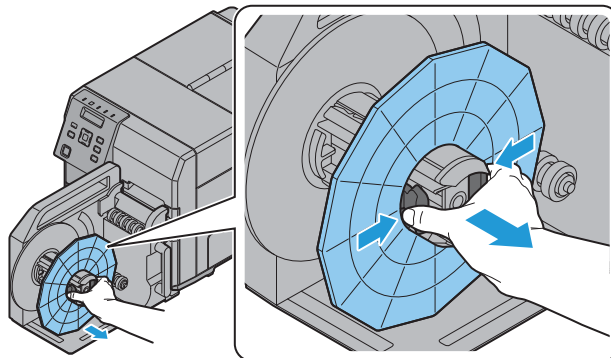
巻き取り装置の取り付け

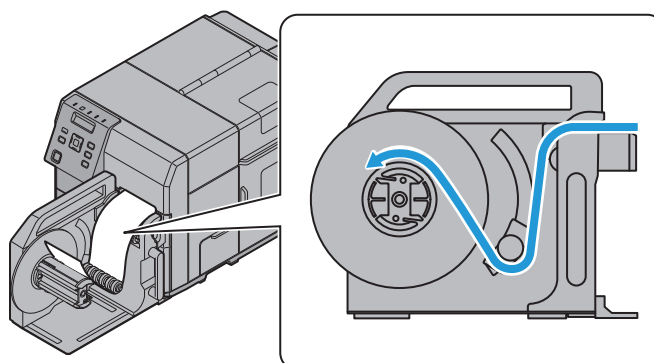
以下の手順で、巻き取り装置を取り付けます。

1 本製品のフロント部にある巻き取り装置接続カバーを開けます。

2 巻き取り装置の本体連結歯車をカバー開口部に挿入します。

巻き取り装置下部にある▼ マークと板金端面位置が合っているか確認してください。

巻き取り装置の取り外し

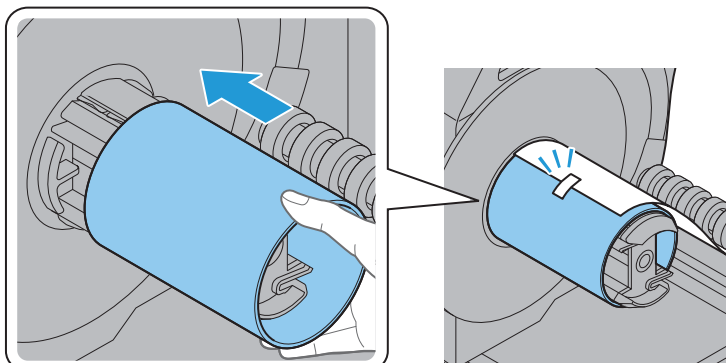
巻き取り装置のレバーを矢印の方向に引き、巻き取り装置を取り外します。

用紙の巻き取り装置への取り付け

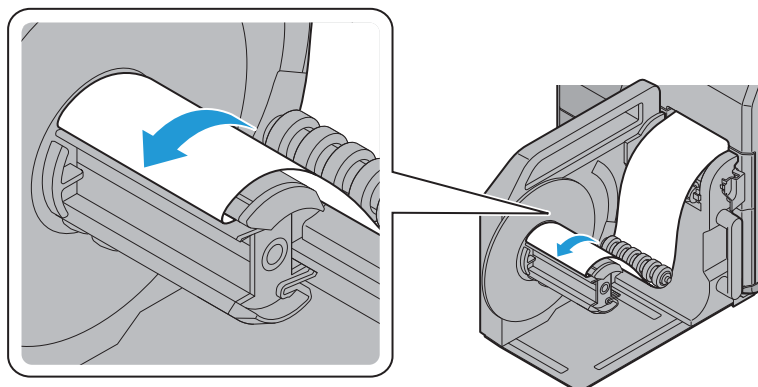
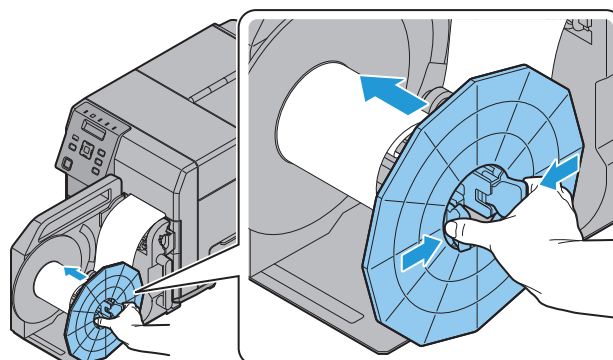
以下の手順で、用紙の巻き取り装置への取り付けをします。

1 巻き取り装置のフランジを取り外します。

2 Feed ボタンを押して、本製品から用紙を約 800 mm 出します。

3 用紙を下図のように通します。

4 用紙の先端を巻芯に固定するか、回転軸の隙間に挟み込みます。

巻芯を使用する場合

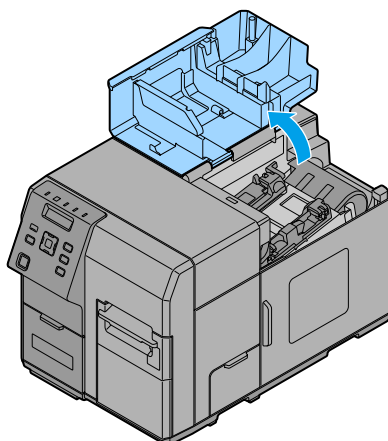
用紙先端を巻芯にテープで固定します。その後、巻き取りフランジを回転させ、たるんでいる用紙を巻き取ります。（目安 2 回転程度）

巻芯を使用しない場合

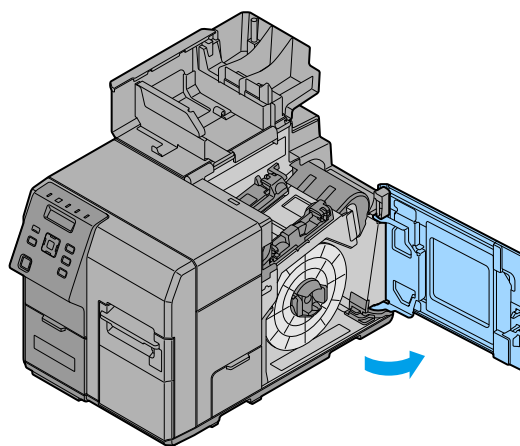
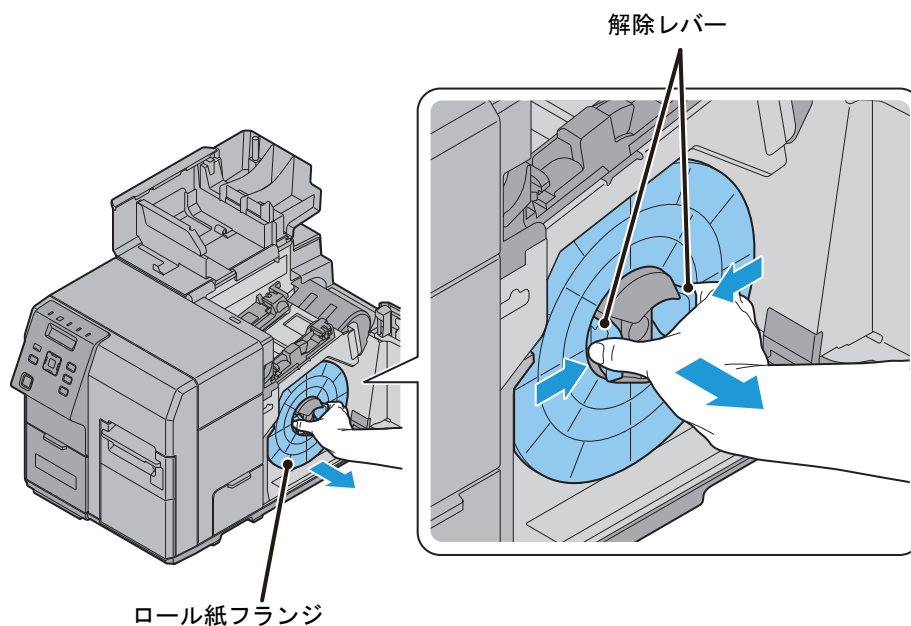
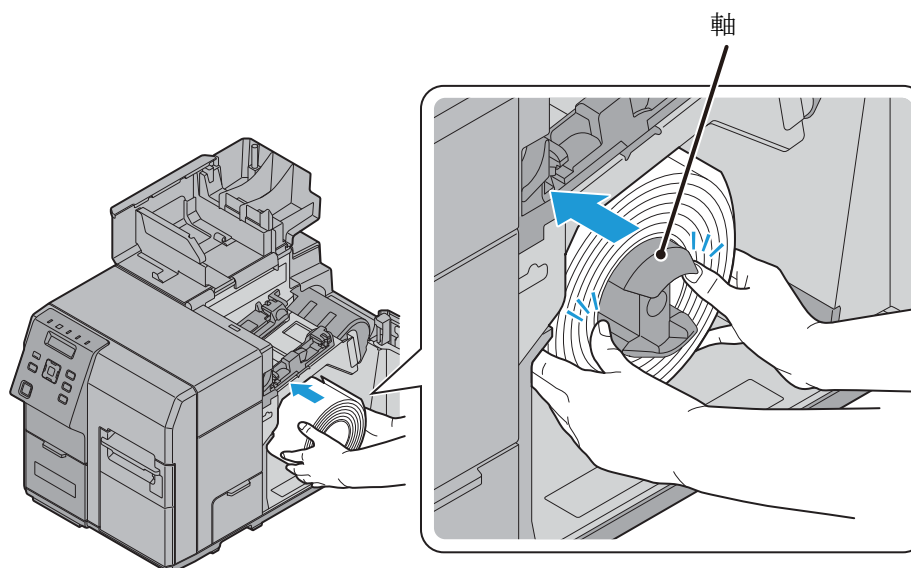
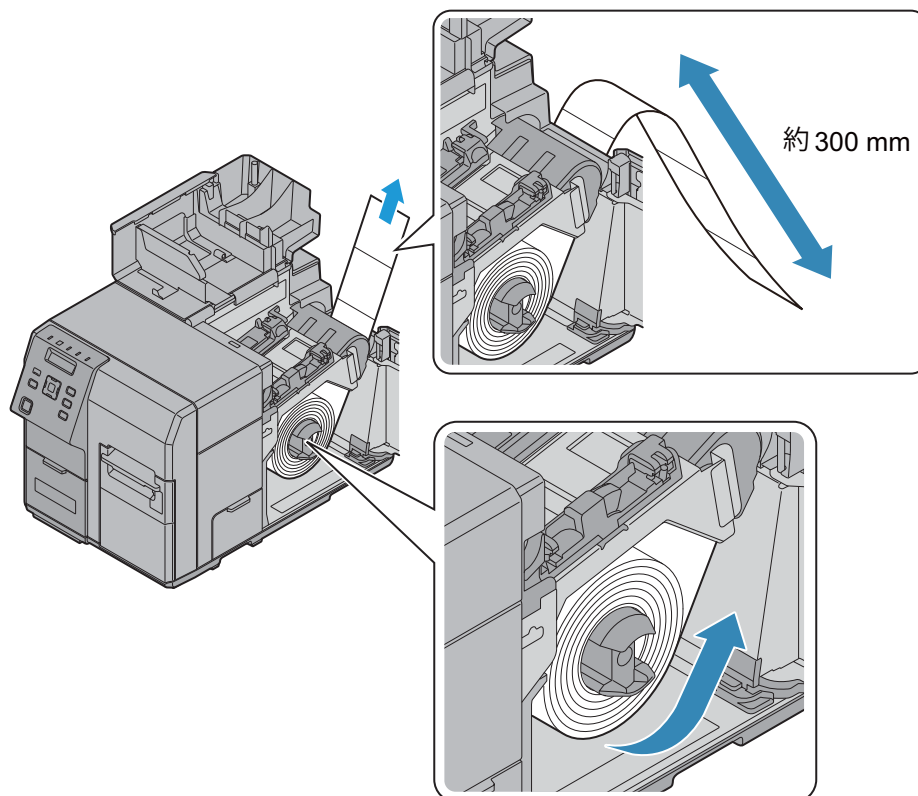
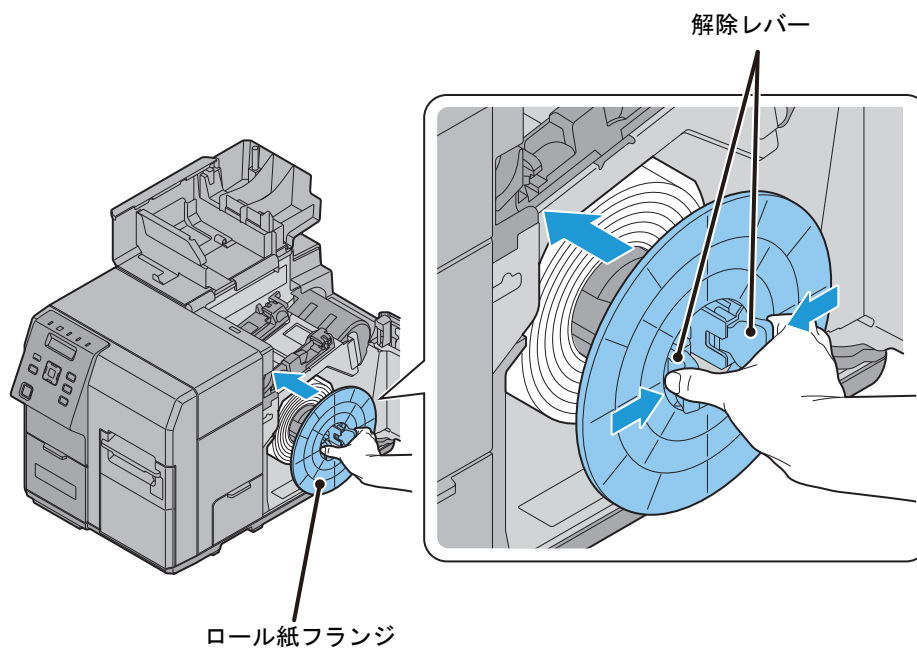
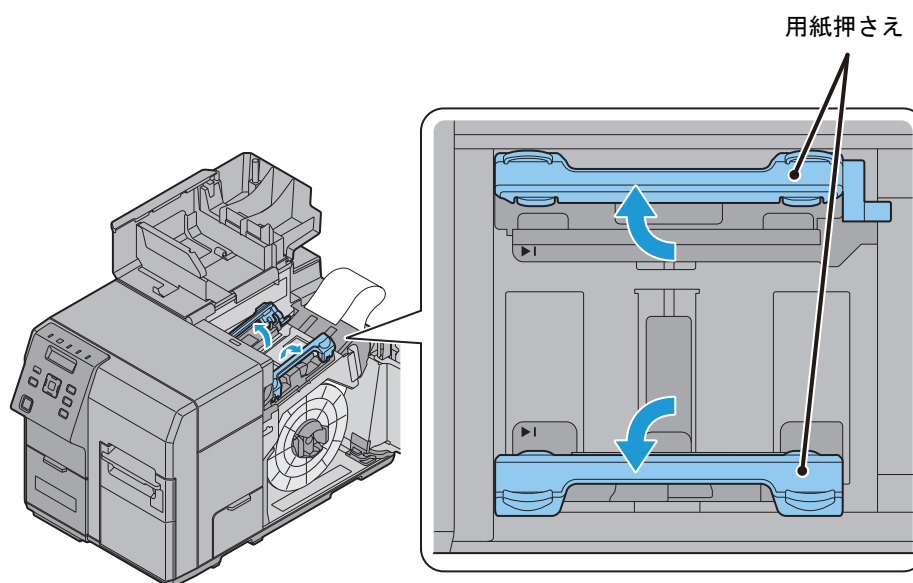
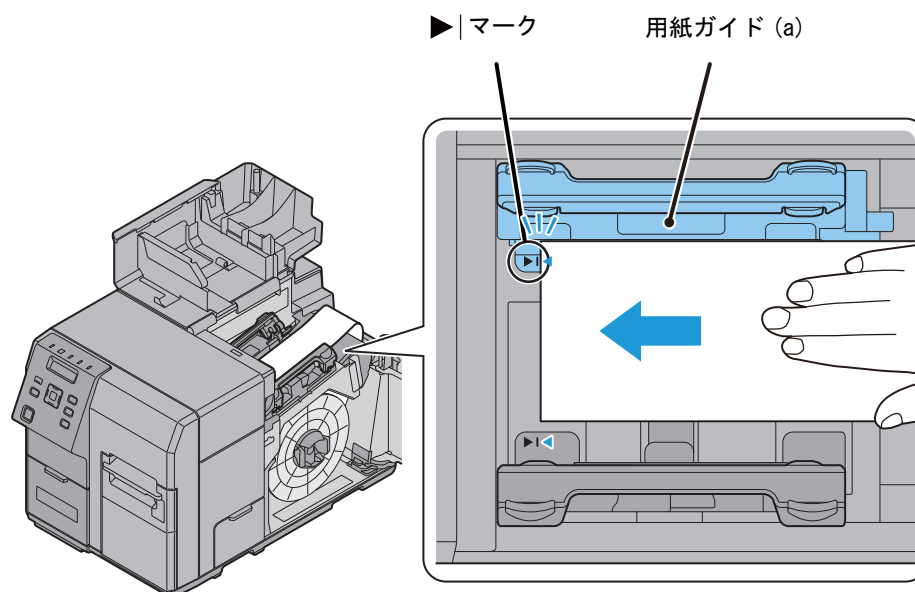
用紙先端を巻き取り装置の回転軸の隙間に挟みます。その後、巻き取りフランジを回転させ、たるんでいる用紙を巻き取ります。（目安 2 回転程度）

5 巻き取りのフランジを取り付けます。

巻き取りのフランジを取り付け忘れると、巻き膨れなどにより正常に巻き取れない場合があります。忘れずに巻き取りのフランジを取り付けてください。

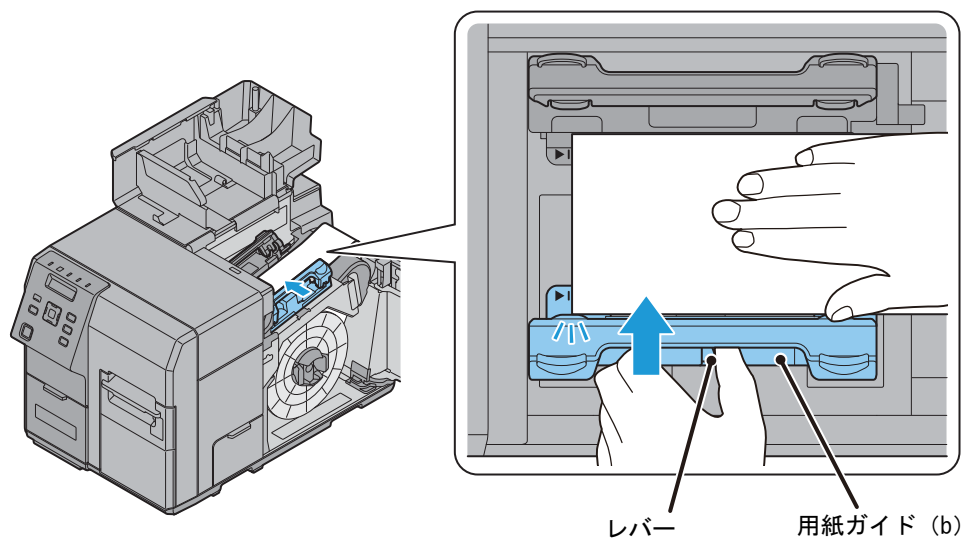
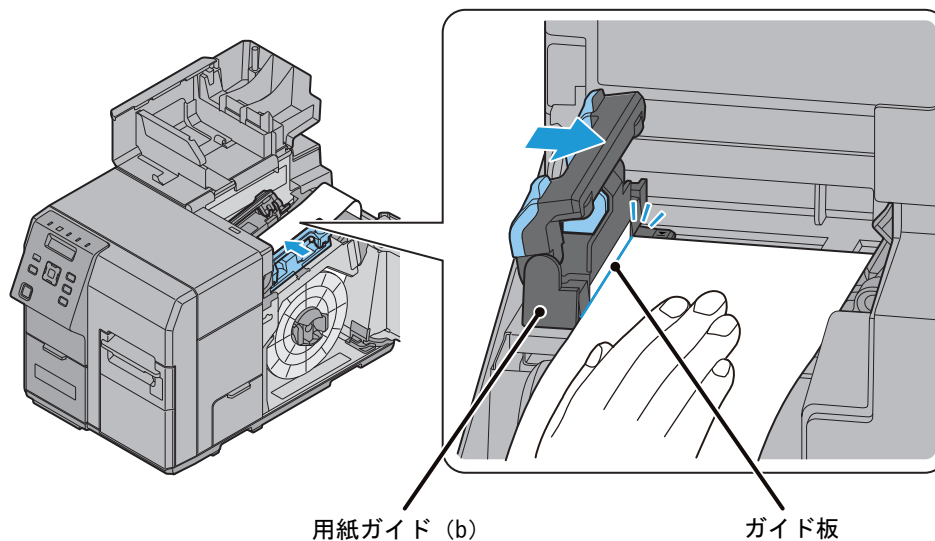
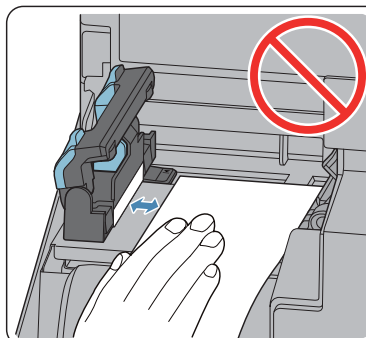
用紙のセット

ロール紙のセット

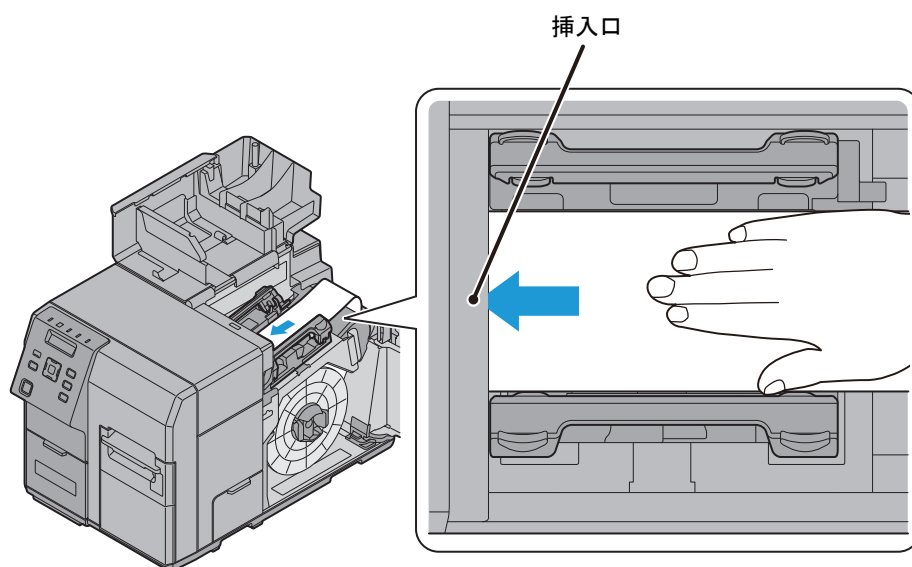
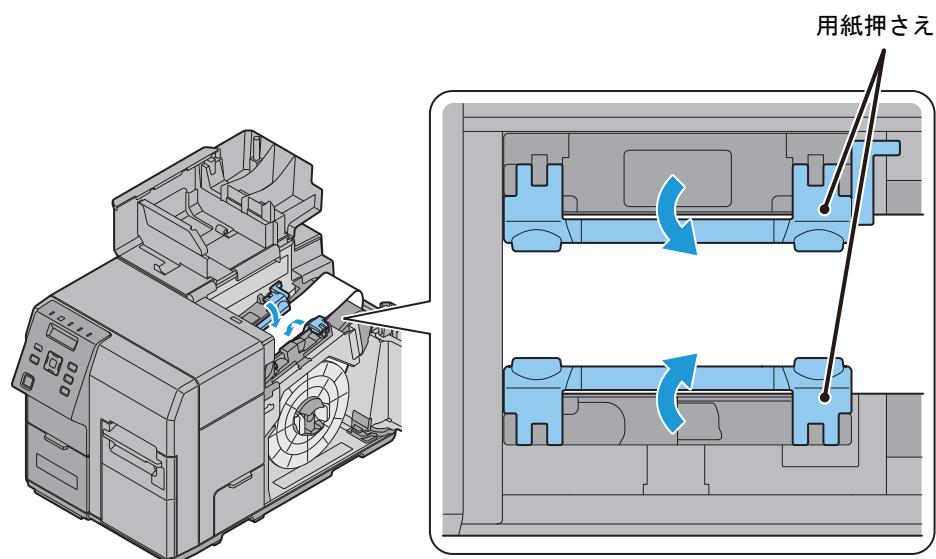
以下の手順で、ロール紙をセットします。

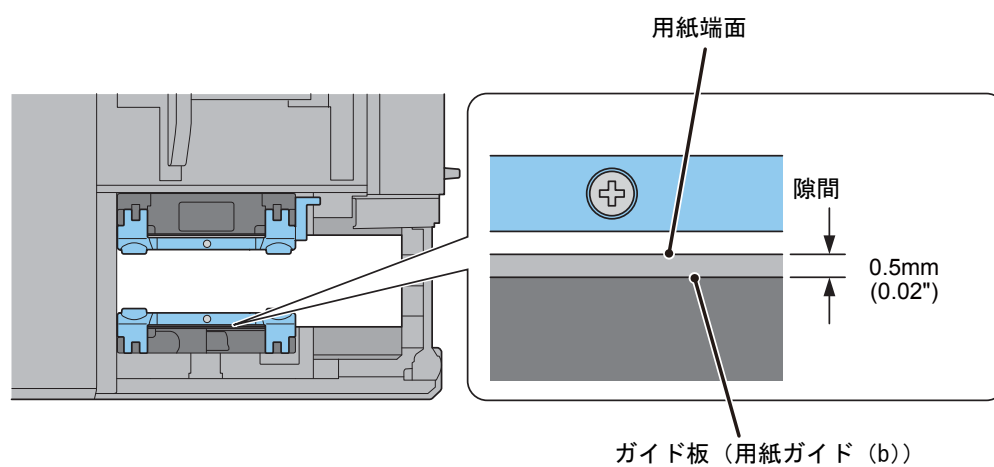
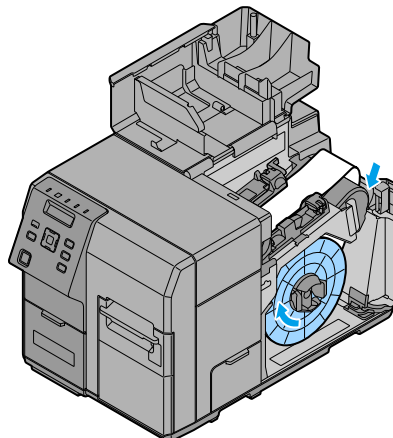
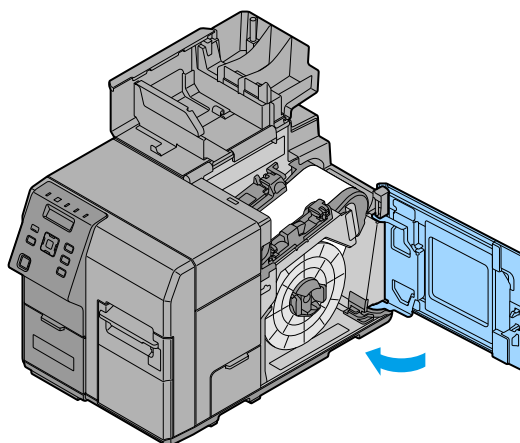
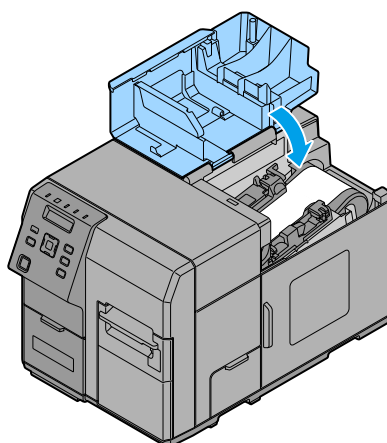
1 本製品の電源を入れます。

2 紙セットカバーを開けます。

3 ロール紙カバーを開けます。

4 ロール紙フランジの解除レバーを挟みながら、ロール紙フランジを引き抜きます。

5 ロール紙を軸に取り付け、ロール紙の芯の部分を押して奥まではめ込みます。

6 手順１２の作業時に用紙の自動搬送がスムーズにいくように、ロール紙の先端を外へ約300 mm 引き出します。

7 ロール紙フランジの解除レバーを挟みながら、ロール紙フランジを軸に取り付けます。ロール紙の幅に合わせて奥まで移動させます。

8 紙セットカバー内部にある用紙押さえを開きます。

9 用紙ガイド（a）に沿って、用紙を挿入します。また、用紙の先端は ▶| マークに合わせます。

注意	用紙の先端に、折れや破れ、しわ、剥がれなどの変形がないか確認してください。 変形したまま挿入すると、正常に紙送りがされなかったり、印字ズレや紙詰まりの原因となったりします。

10 用紙が浮かないように手で用紙を押さえます。用紙ガイド（b）のレバーを押しながら、紙幅に合わせて用紙ガイド（b）を移動させます。

11 用紙ガイド（b）のガイド板と用紙の端面とがぴったり合うように調整します。

ガイド板が紙幅に合っていないと、印字のズレや紙詰まりの原因となります。以下の点に注意してください。

- ガイド板と用紙の端面との間に隙間をあけない

- ガイド板を用紙の端面に強く押し付けない

12 用紙の先端を用紙挿入口に挿入します。4 cm 程度挿入すると、用紙が自動的に送られます。用紙が正しくセットされると、Paper LED が消灯します。Paper LED が点灯したままの場合は、用紙が正しくセットされていないため、用紙をセットしなおしてください。

13 用紙押さえを閉じます。

注意

用紙押さえを閉じると、自動的に用紙ガイド（b）のガイド板と用紙の端面との間に 0.5mm 程度の隙間があくようになっています。この隙間によって、正常に紙送りされるようになります。
用紙押さえを閉じた後に、ガイド板と用紙の端面との間に隙間があいているか確認してください。隙間があいていない場合は、印字ズレや紙詰まりの原因となりますので、手順 8 からやり直してください。

14 用紙がたるんでいる場合は、ロール紙フランジを矢印方向へ回してたるみを取ります。

15 ロール紙カバーを閉めます。

16 紙セットカバーを閉めます。

17 Pause ボタンを押します。

ファンフォールド紙のセット

以下の手順でファンフォールド紙をセットします。

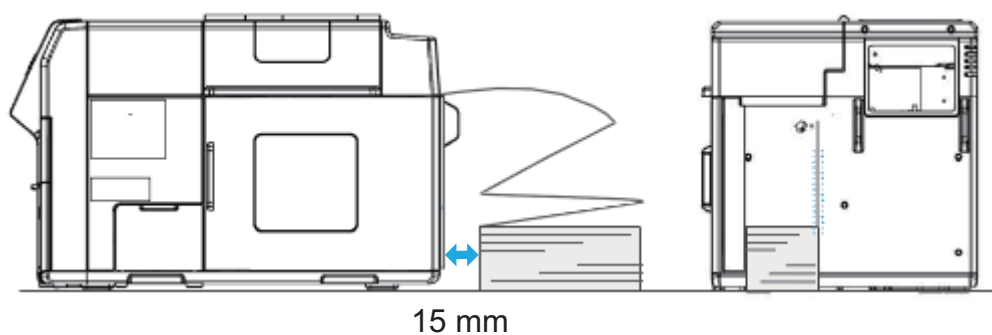
1 本製品の電源を入れます。

2 紙セットカバーを開けます。

3 ファンフォールド紙を「ロール紙のセット」のステップ８～ 12 を参考にセットします。

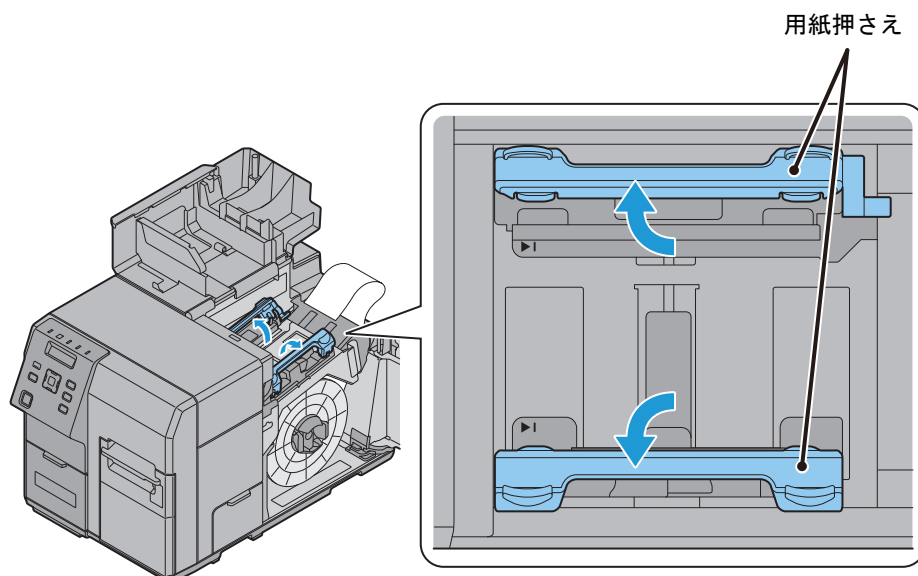
4 紙セットカバーを閉めます。

5 ファンフォールド紙を本製品背面 15 mm 以上離して、用紙をまっすぐに置きます。また、紙幅方向は、本製品背面にある基準刻印の線に合わせます。

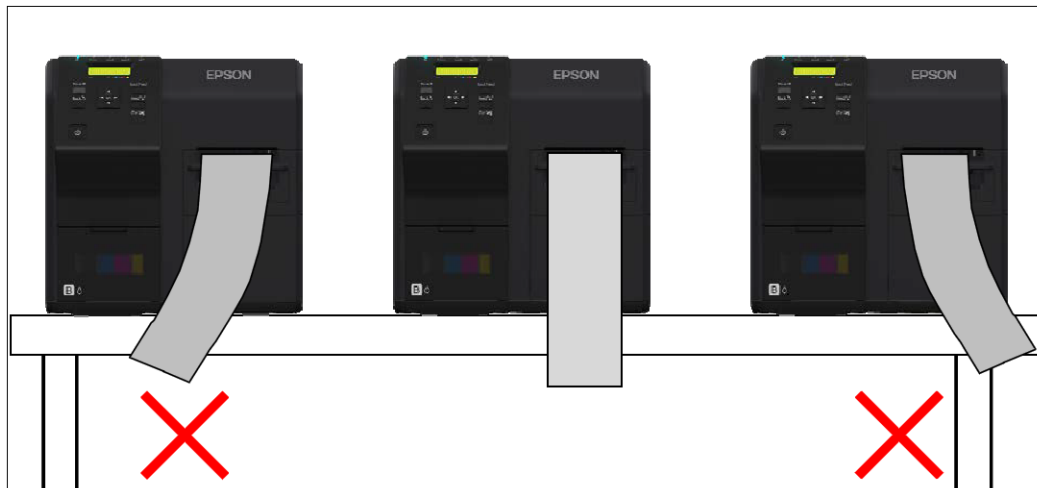
15 mm

6 Pause ボタンを押します。

用紙交換時の排紙

以下の手順で用紙を排紙します。

1. 本製品の電源を入れます。
2. Cut ボタンを押し、用紙を切り取ります。
3. Back Feed ボタンを 1 秒以上押します。
4. 紙セットカバーを開けます。
5. 紙セットカバー内部にある用紙押さえを開き、用紙を取り除きます。
   ファンフォールド紙の場合、排紙はこの手順で終了です。

6. ロール紙の場合、ロール紙カバーを開けます。
7. ロール紙フランジの解除レバーを挟みながら、ロール紙フランジを引き抜きます。その後、ロール紙を引き抜きます。

用紙の排出経路

印刷時は、下図のように排紙ガイドに沿ってまっすぐに紙を排出させてください。
障害物などにより、紙がまっすぐに排出されていない場合、印刷が乱れる可能性があります。

- 印刷を開始するとき、ラベルへ印刷位置を合わせるために逆送りが行われ、ラベルが本製品内部へ引き込まれます。プリンターがコンピューターから離れて設置されている場合、本製品の使用者は印刷開始のタイミングを把握できないため、ラベルが本製品内部に引き込まれるタイミングを本製品の使用者は把握できません。
  そのため、巻き取り装置への用紙セットなど、排出用紙を操作する場合、Pause ボタンを押してプリンター動作を停止させた後に操作してください。
- 同様に、ファンフォールド紙のミシン目を手で切り離す必要がある場合、ミシン目を手で切り離している時に逆送りによる紙ジャムを防止するため、Pause ボタンを押してプリンター動作を停止させた後に操作するか、カットボタンでファンフォールド紙を切り離してください。
- 用紙のズレによる、紙ジャム、印刷位置のズレが発生する場合があるため、印刷中の用紙には手を触れないでください。

プリンターの設定

メニュー画面から、本製品の各種設定ができます。ここでは、基本的な設定の手順を説明します。

言語設定

以下の手順で、LCD に表示するメッセージの表示言語を設定します。

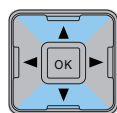
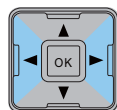
1. 本製品の電源を入れます。
2. ▶（メニュー）ボタンを押して、メニューを表示します。
3. [プリンターセッテイ 3] を選択し、OK ボタンを押します。
4. [ゲンゴ] を選択し、OK ボタンを押します。
5. 使用する言語を選択します。選択できる言語は以下のとおりです。
   - 日本語
   - 英語
   - フランス語
   - ドイツ語
   - オランダ語
   - イタリア語
   - スペイン語
   - ポルトガル語
6. OK ボタンを押します。言語の設定が完了します。

時刻設定

以下の手順で、現在の日付と時刻を設定します。

1. 本製品の電源を入れます。
2. ▶（メニュー）ボタンを押して、メニューを表示します。
3. [プリンターセッテイ 3] を選択し、OK ボタンを押します。
4. [ジコク] を選択し、OK ボタンを押します。
5. 現在の日付と時刻を入力します。
   ▲・▼ボタンで数字を、◀・▶ボタンで変更する対象を選択できます。

：0 ～ 9

：

6. OK ボタンを押します。時刻の設定が完了します。

ネットワークの設定

以下の手順で、製品の IP アドレスを設定します。

- 本製品を Ethernet 接続で使用する場合、ネットワークの設定が必要です。USB 接続で使用する場合はネットワークの設定は必要ありません。
- ネットワークの設定をする場合、必要な情報をネットワークの管理者に確認してください。

1 本製品の電源を入れます。

2 ▶（メニュー）ボタンを押して、メニューを表示します。

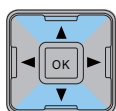
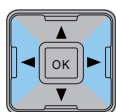
3 [I/F セッテイ] を選択し、OK ボタンを押します。

4 [ネットワークセッテイ] を選択し、OK ボタンを押します。

5 [IP セッテイ] を選択し、OK ボタンを押します。

6 [ジドウ] または [シュドウ] を選択します。
[ジドウ] を選択した場合、ネットワークの設定は終了です。
[シュドウ] を選択した場合、ステップ 7 に進み IP アドレスなどの設定をします。

7 [IP アドレス] を選択し、OK ボタンを押します。

8 IP アドレスを入力します。
▲・▼ボタンで数字を、◀・▶ボタンで変更する桁を選択できます。

9 OK ボタンを押します。

10 [サブネットマスク] を選択し、OK ボタンを押します。

11 サブネットマスクを入力します。
入力方法はステップ 8 の IP アドレスの入力を参考にしてください。

12 OK ボタンを押します。

13 [デフォルトゲートウェイ] を選択し、OK ボタンを押します。

14 デフォルトゲートウェイを入力します。
入力方法はステップ 8 の IP アドレスの入力を参考にしてください。

15 OK ボタンを押します。

用紙の設定

給紙方法、用紙種類、用紙形態、用紙検出を設定します。

- Windows ドライバーを使う場合：
  64 ページ「プリンタードライバーを使用して設定」を参照してください。
- Windows ドライバーを使わない場合：
  67 ページ「PrinterSetting を使用して設定」を参照してください。
- コンピューターに接続していない環境でセットアップする場合：
  70 ページ「操作パネルで設定」を参照してください。

プリンタードライバーを使用して設定

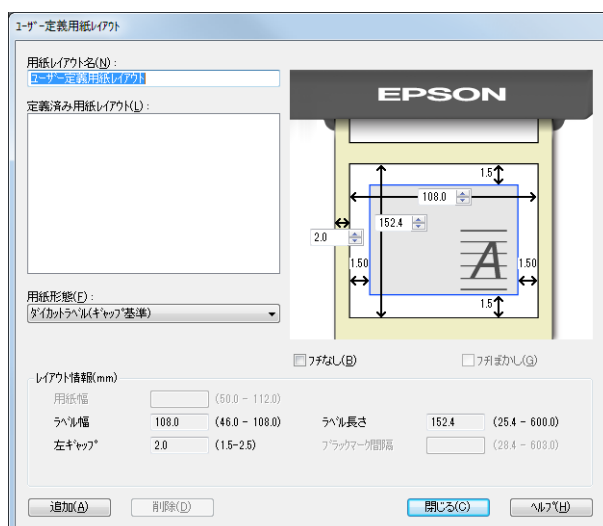
1 本製品の電源を入れます。

2 プリンタードライバーを表示させせます。
プリンタードライバーの表示方法は、73 ページ「プリンタードライバーの表示方法」を参照

3 [用紙検出] をクリックします。

4 ″用紙検出設定″画面が表示されます。給紙方法と用紙検出を設定し、[OK] をクリックします。

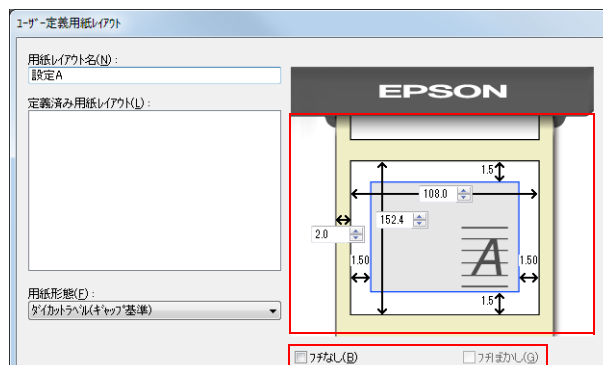
5 [ユーザー定義] をクリックします。

6 ″ユーザー定義用紙レイアウト″画面が表示されます。

7 [用紙レイアウト名] を入力します。

すでに定義済み用紙レイアウトがある場合、定義済み用紙レイアウトをベースに新規作成することができます。

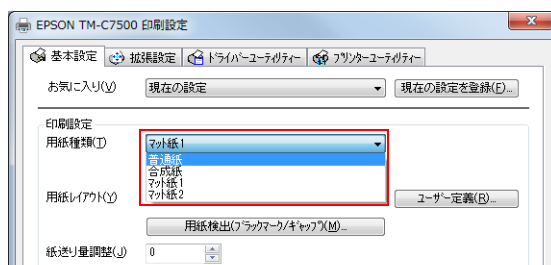
8 [用紙形態] を選択します。

9 用紙のサイズ (単位 :mm) を入力します。

- 印刷領域を拡大したい場合、[フチなし] にチェックを入れるとマージンを無しにできます。マージンがゼロになると、印刷が用紙・ラベルからはみ出す可能性があります。用途に応じて使用してください。
- [フチなし] にチェックを入れた場合、[フチぼかし] にチェックを入れることができます。[フチぼかし] にチェックを入れると、通常の余白領域にグラデーション処理をします。

10 [追加] をクリックします。[定義済み用紙レイアウト] リストに表示されます。

11 [閉じる] をクリックします。

12 [用紙レイアウト] を新規に作成した用紙レイアウトに選択します。

13 [用紙種類] を選択します。

- エプソン販売純正マット紙ラベルは、[マット紙 2] を選択してください。
- エプソン販売純正以外のマット紙ラベルで、[マット紙 2] を選択し、インク打ち込みレベルや黒比率調整しても、印字品質に問題があれば、[マット紙 1] の設定もお試しください。
- TM-C7500 の場合、光沢紙は表示されません。

14 [OK] をクリックします。

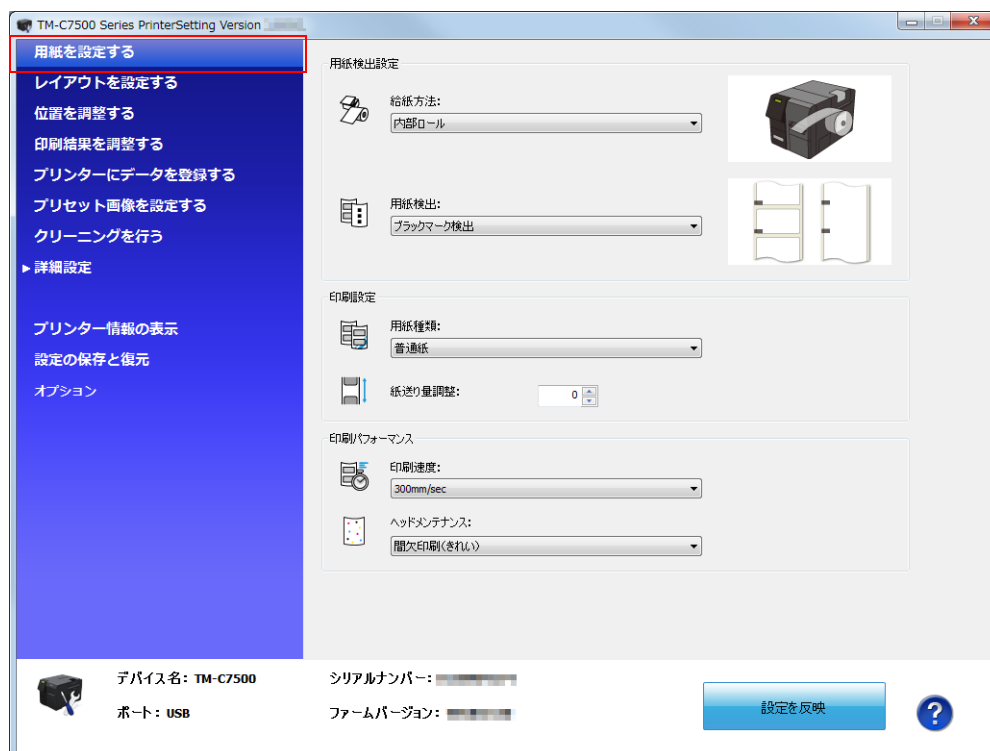
以上で、給紙方法、用紙種類、用紙形態、用紙検出の設定が完了します。

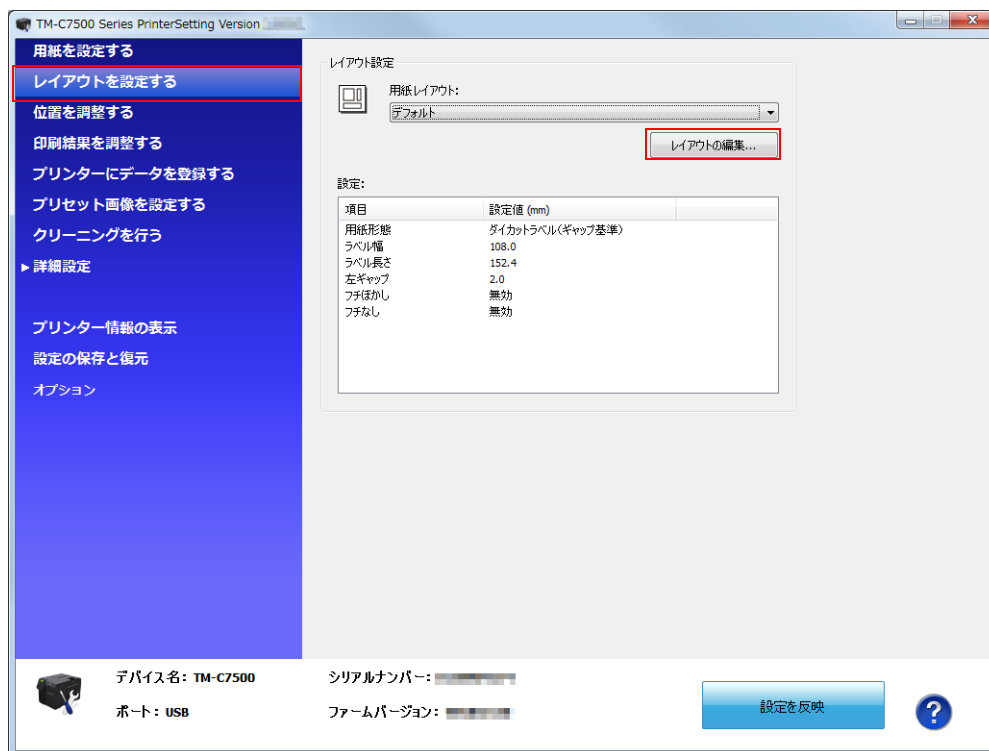
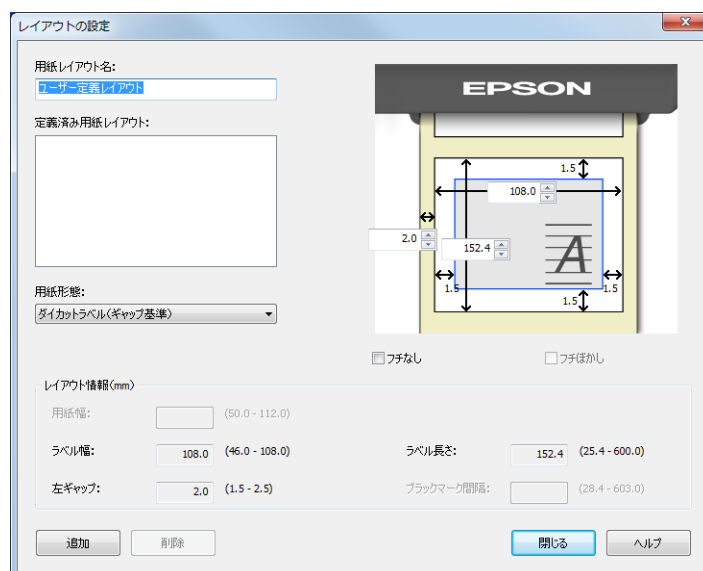
PrinterSetting を使用して設定

1 本製品の電源を入れます。

2 PrinterSetting を起動します。

PrinterSetting の起動方法は 86 ページ「PrinterSetting の起動」を参照

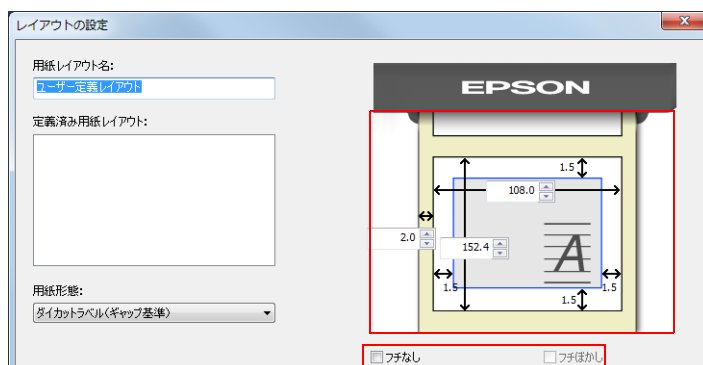
3 ″用紙を設定する″の画面が表示されます。

4 給紙方法 / 用紙検出 / 用紙種類を設定します。その後、[設定を反映] をクリックします。

5 左の項目から［レイアウトを設定する］を選択します。［レイアウトの編集］をクリックします。

6 ″レイアウトの設定″画面が表示されます。

7 ［用紙レイアウト名］を入力します。

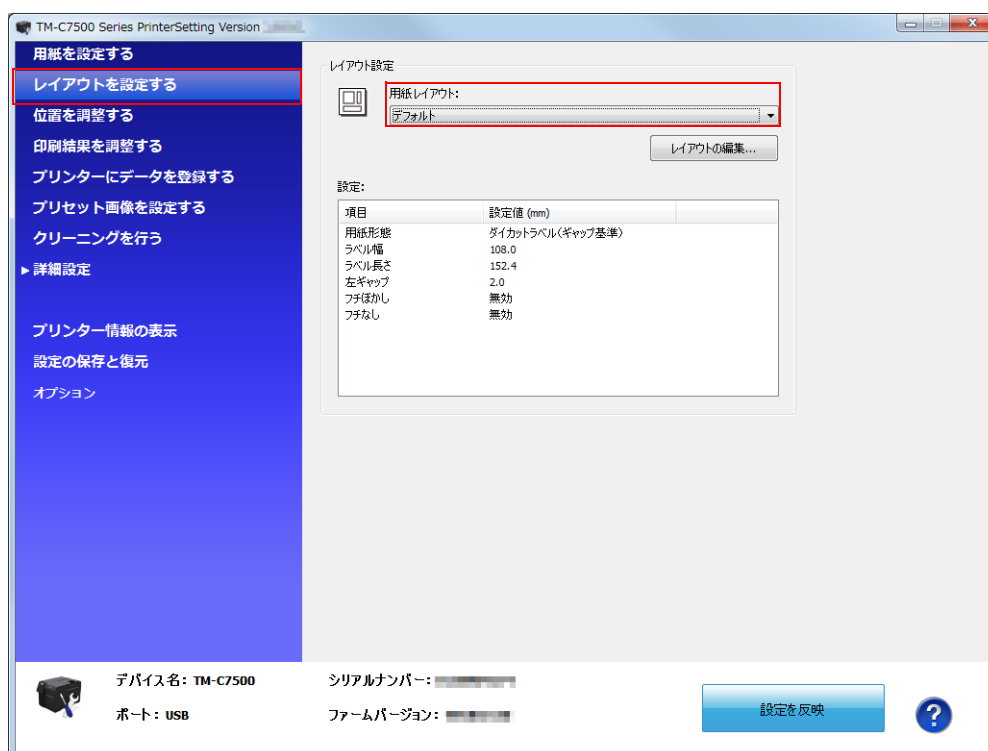
すでに定義済み用紙レイアウトがある場合、定義済み用紙レイアウトをベースに新規作成することができます。

8 ［用紙形態］を選択します。

9 用紙のサイズ (単位 :mm) を入力します。

- 印刷領域を拡大したい場合、[フチなし] にチェックを入れるとマージンを無しにできます。マージンがゼロになると、印刷が用紙・ラベルからはみ出す可能性があります。用途に応じて使用してください。
- [フチなし] にチェックを入れた場合、[フチぼかし] にチェックを入れることができます。[フチぼかし] にチェックを入れると、通常の余白領域にグラデーション処理をします。

10 [追加] をクリックします。[定義済み用紙レイアウト] リストに表示されます。

11 [閉じる] をクリックします。

12 [用紙レイアウト] から、作成した用紙レイアウトを選択します。

13 [設定を反映] をクリックします。

以上で、給紙方法、用紙種類、用紙形態、用紙検出の設定が完了します。

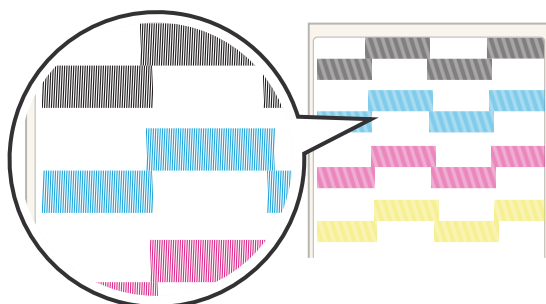
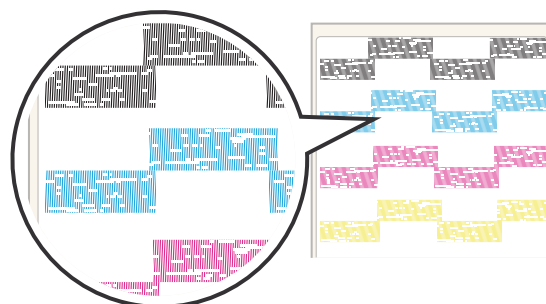
操作パネルで設定

1. 本製品の電源を入れます。
2. ▶（メニュー）ボタンを押して、メニューを表示します。
3. [プリンターセッテイ 1] を選択し、OK ボタンを押します。
4. [キュウシホウホウ] を選択し、OK ボタンを押します。
5. 給紙方法を選択し、OK ボタンを押します。
   ナイブロール / ガイブフィードのいずれかから選択します。
6. [ヨウシシュルイ] を選択し、OK ボタンを押します。
7. 用紙種類を選択し、OK ボタンを押します。
   フツウシ/マットシ1/マットシ2/ゴウセイシ/コウタクシ(TM-C7500G専用)のいずれかから選択します。
8. [ヨウシケイタイ] を選択し、OK ボタンを押します。
9. 用紙形態を選択し、OK ボタンを押します。
   ダイカットラベル / ゼンメンラベル / レンゾクシのいずれかから選択します。
10. [ギャップリョウヒダリ] を選択し、OK ボタンを押します。
11. 左ギャップ量を指定し、OK ボタンを押します。
    0 ～ 2551 pixel の間で指定できます。
12. [ラベルハバ] を選択し、OK ボタンを押します。
13. ラベル幅を指定し、OK ボタンを押します。
    0 ～ 2551 pixel の間で指定できます。
14. [ラベルナガサ] を選択し、OK ボタンを押します。
15. ラベル長を指定し、OK ボタンを押します。
    0 ～ 14173 pixel の間で指定できます。
16. [ヨウシケンシュツ] を選択し、OK ボタンを押します。
17. 用紙検出方法を選択し、OK ボタンを押します。
    ブラックマーク / ギャップのいずれかから選択します。

以上で、給紙方法、用紙種類、用紙形態、用紙検出の設定が完了します。

印字確認

プリンターが正常に動作するかどうかをノズルチェックパターンを印刷して確認します。
以下の手順で、ノズルチェック印刷をします。ノズルチェックでは、パターンを印刷して、その印刷結果でノズルの目詰まりを確認できます。

1. 本製品の電源を入れます。
2. ▶（メニュー）ボタンを押して、メニューを表示します。
3. [ノズルチェック] を選択し、OK ボタンを押します。
4. [ハイ] を選択し、OK ボタンを押します。
ノズルチェックパターンが印刷されます。
5. 印刷されたノズルチェックパターンを確認します。
正常な場合は、左下図のようにすべてのラインが印刷されます。
右下図のように印刷されないラインがある場合は、目詰まりしています。ヘッドクリーニングを行ってください。

<正常>　　<目詰まり>

ノズル抜け許容数の設定値によっては、目詰まりが数ドット発生していても許容されていて、「ノヅルツマリアリ」エラーが表示されないことがあります。
20 ページ「「ノズル抜け許容数」の設定」または 157 ページ「ﾉｿﾞﾙﾂﾏﾘｱﾘ」を参照してください。

テスト印刷

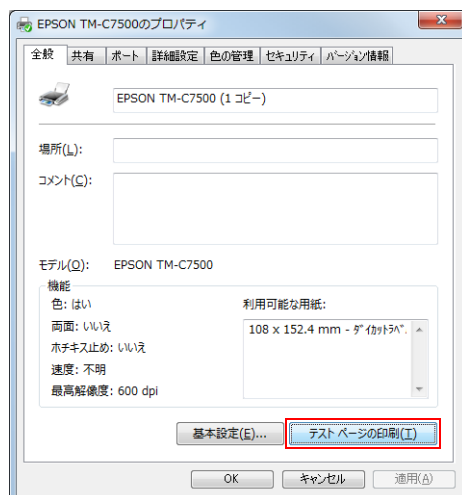
プリンタードライバーをインストール済みの場合、テスト印刷をすることができます。
以下の手順でテスト印刷をします。

1 ［デバイスとプリンター］を開きます。

- Windows 8 の場合：
  デスクトップのサイドバー［設定］から［コントロールパネル］を選択します。［ハードウェアとサウンド］をクリックし、［デバイスとプリンター］をクリックします。
- Windows 7 の場合：
  ［スタート］メニューの［コントロールパネル］で［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。
- Windows Vista の場合：
  ［スタート］メニューの［コントロールパネル］で［プリンタ］をクリックします。
- Windows XP Professional の場合：
  ［スタート］メニューの［プリンタと FAX］をクリックします。
- Windows XP Home Edition の場合：
  ［スタート］メニューの［コントロールパネル］をクリックし、［プリンタと FAX］をクリックします。
- Windows Server 2003 R2 の場合：
  ［スタート］メニューの［プリンタと FAX］をクリックします。

2 [EPSON TM-C7500] を右クリックし、［プリンターのプロパティ］をクリックします。

プリンターの登録名が [EPSON TM-C7500] の場合の表示です。

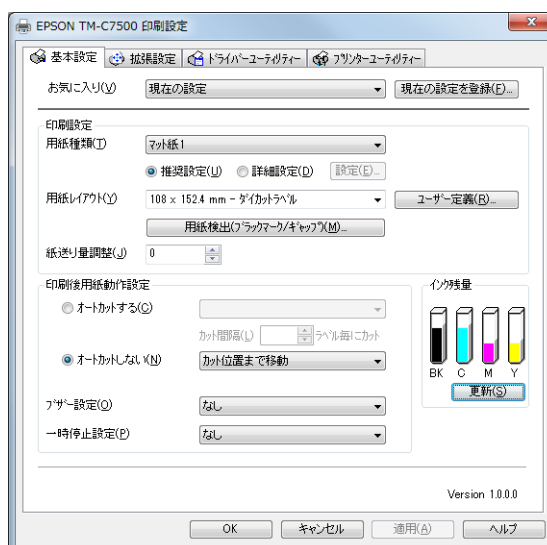
3 プロパティー画面が表示されます。［テストページの印刷］をクリックします。

プリンタードライバーの表示方法

1 [デバイスとプリンター] を開きます。

- Windows 8 の場合：
  デスクトップのサイドバー [設定] から [コントロールパネル] を選択します。[ハードウェアとサウンド] をクリックし、[デバイスとプリンター] をクリックします。
- Windows 7 の場合：
  [スタート] メニューの [コントロールパネル] で [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
- Windows Vista の場合：
  [スタート] メニューの [コントロールパネル] で [プリンタ] をクリックします。
- Windows XP Professional の場合：
  [スタート] メニューの [プリンタと FAX] をクリックします。
- Windows XP Home Edition の場合：
  [スタート] メニューの [コントロールパネル] をクリックし、[プリンタと FAX] をクリックします。
- Windows Server 2003 R2 の場合：
  [スタート] メニューの [プリンタと FAX] をクリックします。

2 [EPSON TM-C7500] を右クリックし、[印刷設定] をクリックします。

プリンタードライバーが表示されます。

プリンターの登録名が [EPSON TM-C7500] の場合の表示です。

製品の取り扱い

本章では、製品の基本的な取り扱い方法について説明しています。

プリンター設定 / 表示項目一覧

設定項目	操作パネル	PrinterSetting	プリンタードライバー
クリーニング	✔	✔	✔
ノズルチェック	✔	✔	✔
用紙種類	✔	✔	✔
用紙形態	✔	✔	✔
用紙検出	✔	✔	✔
用紙供給方法	✔	✔	✔
左ギャップ量調整	✔	✔	✔
ラベル幅設定	✔	✔	✔
ラベル長設定	✔	✔	✔
左余白設定	✔	✔	✔
右余白設定	✔	✔	✔
上余白設定	✔	✔	✔
下余白設定	✔	✔	✔
印刷位置調整 (縦方向)	✔	✔	✔ *
印刷位置調整 (横方向)	✔	✔	✔ *
印刷速度設定	✔	✔	✔
モノクロ / カラーの変更	-	✔	-
解像度設定	✔	✔	-
フォント幅の調整	-	✔	-
ヘッドメンテナンス	✔	✔	✔
印刷後の動作設定	✔	✔	✔ *
カット位置の調整	✔	✔	✔ *
紙送り量調整値	✔	✔	✔
紙送り量調整パターン印刷	✔	-	-
ノズル自己診断システム	✔	✔	✔ *
ノズルチェック間隔	✔	✔	✔ *
ノズル抜け発生時の動作設定	✔	✔	✔ *
ノズル抜け許容数	✔	✔	✔ *
再印刷設定	✔	✔	✔ *

3

設定項目	操作パネル	PrinterSetting	プリンタードライバー
電源 ON 時の動作設定	✔	✔	✔*
用紙交換時の動作設定	✔	✔	✔*
パネルによるキャンセル動作設定	✔	-	-
定期クリーニング	✔	✔	✔*
指定時刻 TCL 時間設定	✔	✔	✔*
LCD 輝度設定	✔	✔	✔*
LCD コントラスト	✔	✔	✔*
ブザー音量設定	✔	✔	✔*
インク残量少 LED 通知設定	✔	✔	✔*
言語設定	✔	✔	✔*
日時設定	✔	✔	✔*
コントロール・プレフィックス文字の設定	✔	✔	-
フォーマット・プレフィックス文字の設定	✔	✔	-
デリミタ文字の設定	✔	✔	-
設定初期化	✔	✔	✔*
拡張メモリ初期化	✔	✔	✔*
通信 IF 初期化	✔	-	-
用紙検出しきい値初期化	✔	-	-
色補正方法設定	✔	✔	✔
インク打ち込みレベル設定	✔	✔	✔
黒比率補正設定	✔	✔	✔
フチぼかし	✔	✔	✔
ノズル抜け補完設定	✔	✔	✔*
バンディング低減	✔	✔	✔
キャリブレーションの実施	✔	✔	✔*
インク再充てん *1	✔	-	-
プリンター情報の印刷	✔	-	-
印刷距離 (ノンリセット) 表示	✔	-	-
印刷距離 (リセットカウンター 1) 表示	✔	-	-
印刷距離 (リセットカウンター 2) 表示	✔	-	-
ラベル印刷枚数 (リセットカウンター 1) 表示	✔	-	-
ラベル印刷枚数 (リセットカウンター 2) 表示	✔	-	-
累積キャリッジ往復数表示	✔	-	-
オートカッター動作回数表示	✔	✔	-
ファームウェアバージョン表示	✔	-	-
IP 設定	✔	-	-
IP アドレス	✔	-	-

設定項目	操作パネル	PrinterSetting	プリンター ドライバー
サブネットマスク	✔	–	–
デフォルトゲートウェイ	✔	–	–
文字コード表の選択	–	✔	✔ *
フォント、画像、テンプレートの登録	–	✔	✔ *
プリセット画像の設定	–	✔	–
パネルボタン（キャンセル、フィード、カット）の有効 / 無効	–	✔	✔ *
インク着弾位置調整	–	✔	✔ *
「お気に入り」の登録、編集、削除 *2	–	✔	–
「お気に入り」の選択 *2	✔	✔	–

✔ ：設定できます。

✔ * ：プリンタードライバー内の Printer Setting から設定できます。

- ：設定できません。

*1 ：操作パネル上のインクカートリッジ残量表示が、フルもしくは 1 段階減った状態で実行可能です。
　　また、インク再充てん時間は、最短 8 分です。充てん時間は、状況により異なります。

*2 ：プリンタードライバーの「お気に入り」とは別の機能で、互換性はありません。プリンタードライバーを使用する場合はプリンタードライバーの「お気に入り」を使用してください。

3

操作パネルの設定

設定メニュー項目		設定値	初期値
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ		• ﾊｲ • ｲｲｴ	－
ﾉｽﾞﾙ ﾁｪｯｸ		• ﾊｲ • ｲｲｴ	－
ﾌﾟﾘﾝﾀｰｾｯﾃｲ 1	ﾖｳｼｼｭﾙｲ	• ﾌﾂｳｼ • ﾏｯﾄｼ 1 • ﾏｯﾄｼ 2 • ｺﾞｳｾｲｼ • ｺｳﾀｸｼ	ﾏｯﾄｼ 2
	ﾖｳｼｹｲﾀｲ	• ﾀﾞｲｶｯﾄﾗﾍﾞﾙ • ｾﾞﾝﾒﾝﾗﾍﾞﾙ • ﾚﾝｿﾞｸｼ	ﾀﾞｲｶｯﾄﾗﾍﾞﾙ
	ﾖｳｼｹﾝｼｭﾂ	• ﾌﾞﾗｯｸﾏｰｸ • ｷﾞｬｯﾌﾟ	ﾌﾞﾗｯｸﾏｰｸ
	ｷｭｳｼﾎｳﾎｳ	• ﾅｲﾌﾞﾛｰﾙ • ｶﾞｲﾌﾞﾌｨｰﾄﾞ	ﾅｲﾌﾞﾛｰﾙ
	ｷﾞｬｯﾌﾟﾘｮｳ ﾋﾀﾞﾘ	0 ～ 2,551 [pixel]	47
	ﾗﾍﾞﾙﾊﾊﾞ	0 ～ 2,551 [pixel]	2,551
	ﾗﾍﾞﾙﾅｶﾞｻ	0 ～ 14,173 [pixel]	3,600
	ﾖﾊｸ ﾋﾀﾞﾘ	0 ～ 35 [pixel]	35
	ﾖﾊｸ ﾐｷﾞ	0 ～ 35 [pixel]	35
	ﾖﾊｸ ｳｴ	0 ～ 35 [pixel]	35
	ﾖﾊｸ ｼﾀ	0 ～ 35 [pixel]	35
	ｲﾝｻﾂｲﾁﾁｮｳｾｲ ﾀﾃ	-48 ～ 48 [pixel]	0
	ｲﾝｻﾂｲﾁﾁｮｳｾｲ ﾖｺ	-24 ～ +24 [pixel]	0
	ｲﾝｻﾂｿｸﾄﾞ	• 150[mm/s] • 300[mm/s]	300[mm/s]
	ｶｲｿﾞｳﾄﾞ	• 600[dpi] • 300[dpi] • 200[dpi]	600[dpi]
	ﾍｯﾄﾞﾒﾝﾃﾅﾝｽ	• ｶﾝｹﾂｲﾝｻﾂ (ｷﾚｲ) • ﾚﾝｿﾞｸｲﾝｻﾂ (ﾊﾔｲ)	ｶﾝｹﾂｲﾝｻﾂ(ｷﾚｲ)
	ｲﾝｻﾂｺﾞﾄﾞｳｻ	• ｶｯﾄﾅｼ • ｶｯﾄｱﾘ	ｶｯﾄﾅｼ
	ｷﾘﾄﾘｲﾁﾁｮｳｾｲ	-35 ～ +35 [pixel]	0
	ｶﾐｵｸﾘﾘｮｳﾁｮｳｾｲ	-99 ～ +99	0
	ｶﾐｵｸﾘﾘｮｳﾁｮｳｾｲﾊﾟﾀｰﾝ	• ﾊｲ • ｲｲｴ	－

設定メニュー項目		設定値	初期値
ﾌﾟﾘﾝﾀｰｾｯﾃｲ 2	ﾉｽﾞﾙｼﾞｺｼﾝﾀﾞﾝｼｽﾃﾑ	• ﾕｳｺｳ • ﾑｺｳ	ﾕｳｺｳ
	ﾉｽﾞﾙﾁｪｯｸｶﾝｶｸ	0 ～ 500[ﾏｲ]	0
	ﾉｽﾞﾙﾇｹｼﾞﾄﾞｳｻ	• ｲﾝｻﾂｹｲｿﾞｸ • ﾉｽﾞﾙﾇｹﾂｳﾁ	ｲﾝｻﾂｹｲｿﾞｸ
	ﾉｽﾞﾙﾇｹｷｮﾖｳｽｳ	0 ～ 10 [nozzle]	6
	ｻｲｲﾝｻﾂ	• ﾕｳｺｳ • ﾑｺｳ	ﾕｳｺｳ
	ﾃﾞﾝｹﾞﾝｵﾝﾄﾞｳｻ	• ﾌｨｰﾄﾞ • ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝ • ﾌｨｰﾄﾞｼﾅｲ	ﾌｨｰﾄﾞ
	ﾖｳｼｺｳｶﾝﾄﾞｳｻ	• ﾌｨｰﾄﾞ • ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝ • ﾌｨｰﾄﾞｼﾅｲ	ﾌｨｰﾄﾞ
	ｷｬﾝｾﾙﾄﾞｳｻ	• ｼﾞｮﾌﾞﾉﾐ • ｼﾞｮﾌﾞ &RAM ﾄﾞﾗｲﾌﾞ	ｼﾞｮﾌﾞﾉﾐ
	ﾃｲｷｸﾘｰﾆﾝｸﾞ	• ﾕｳｺｳ • ﾑｺｳ	ﾑｺｳ
	ﾃｲｷｸﾘｰﾆﾝｸﾞｼﾞｺｸ	HH:MM (24 時間)	00:00

設定メニュー項目		設定値	初期値
ﾌﾟﾘﾝﾀｰｾｯﾃｲ 3	LCD ｷﾄﾞ	• ｵﾌ • ﾚﾍﾞﾙ 1 • ﾚﾍﾞﾙ 2 • ﾚﾍﾞﾙ 3	ﾚﾍﾞﾙ 2
	LCD ｺﾝﾄﾗｽﾄ	0 ～ 10	5
	ﾌﾞｻﾞｰｵﾝﾘｮｳ	• ｵﾌ • ｼｮｳ • ﾁｭｳ • ﾀﾞｲ • ｻｲﾀﾞｲ	ﾁｭｳ
	ｲﾝｸﾛｰ LED	• ﾋｮｳｼﾞ • ﾋﾋｮｳｼﾞ	ﾋｮｳｼﾞ
	ｹﾞﾝｺ	• ﾆﾎﾝｺﾞ • ｴｲｺﾞ • ﾌﾗﾝｽｺﾞ • ﾄﾞｲﾂｺﾞ • ｲﾀﾘｱｺﾞ • ｽﾍﾟｲﾝｺﾞ • ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙｺﾞ • ｵﾗﾝﾀﾞｺﾞ	ﾆﾎﾝｺﾞ
	ｼﾞｺｸ	MM/DD/YY HH:MM	-
	ｺﾝﾄﾛｰﾙﾌﾟﾚﾌｨｯｸｽ	0x00 ～ FF	0x7E
	ﾌｫｰﾏｯﾄﾌﾟﾚﾌｨｯｸｽ	0x00 ～ FF	0x5E
	ﾃﾞﾘﾐﾀﾓｼﾞ	0x00 ～ FF	0x2C
	ｾｯﾃｲｼｮｷｶ	• ﾊｲ • ｲｲｴ	-
	ｶｸﾁｮｳﾒﾓﾘｼｮｷｶ	• ﾊｲ • ｲｲｴ	-
	ﾂｳｼﾝ I/F ｼｮｷｶ	• ﾊｲ • ｲｲｴ	-
	ﾖｳｼｹﾝｼｭﾂｼｷｲﾁｼｮｷｶ	• ﾊｲ • ｲｲｴ	-

設定メニュー項目		設定値	初期値
ｶﾞｿﾞｳｼｮﾘｾｯﾃｲ	ｲﾛﾎｾｲ	● ｼｾﾞﾝﾅｲﾛｱｲ ● EPSON ｷｼﾞｭﾝｼｮｸ	ｼｾﾞﾝﾅｲﾛｱｲ
	ｲﾝｸｳﾁｺﾐﾚﾍﾞﾙ	-6 ～ +4	0
	ｸﾛﾋﾘﾂ	-6 ～ 0 (用紙種類によって、選択範囲が異なります。)	0
	ﾌﾁﾎﾞｶｼ	● ﾕｳｺｳ ● ﾑｺｳ	ﾑｺｳ
	ﾉｽﾞﾙﾇｹﾎｶﾝ	● ﾕｳｺｳ ● ﾑｺｳ	ﾑｺｳ
	ﾊﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ	-2 ～ +2	0
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ	ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝ	● ﾊｲ ● ｲｲｴ	-
	ｲﾝｸｻｲｼﾞｭｳﾃﾝ	● ﾊｲ ● ｲｲｴ	-
	ｼﾞｮｳﾎｳﾉｲﾝｻﾂ	● ｽﾃｰﾀｽｷﾎﾝ ● ｽﾃｰﾀｽｾｯﾃｲ ● ｽﾃｰﾀｽﾈｯﾄﾜｰｸ ● ﾘｽﾄﾌｫﾝﾄ ● ﾘｽﾄﾊﾞｰｺｰﾄﾞ ● ﾘｽﾄｲﾒｰｼﾞ ● ﾘｽﾄﾃﾝﾌﾟﾚｰﾄ	-
ﾒﾝﾃﾅﾝｽｶｳﾝﾀ	ｲﾝｻﾂｷｮﾘ ﾘｾｯﾄﾌｶ	********[mm]	-
	ｲﾝｻﾂｷｮﾘ ﾘｾｯﾄｶ 1	********[mm]	-
	ｲﾝｻﾂｷｮﾘ ﾘｾｯﾄｶ 2	********[mm]	-
	ｲﾝｻﾂﾏｲｽｳ ﾘｾｯﾄｶ 1	********[ﾏｲ]	-
	ｲﾝｻﾂﾏｲｽｳ ﾘｾｯﾄｶ 2	********[ﾏｲ]	-
	ｷｬﾘｯｼﾞｵｳﾌｸ	********[ｶｲ]	-
	ｵｰﾄｶｯﾀｰｸﾄﾞｳ	********[ｶｲ]	-
	ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	● ﾒｲﾝﾌｧｰﾑｳｪｱ ● ﾈｯﾄﾜｰｸﾌｧｰﾑｳｪｱ ● FPGA ﾌｧｰﾑｳｪｱ ● ｷｬﾗｸﾀﾃﾞｰﾀ	-
I/F ｾｯﾃｲ	IP ｾｯﾃｲ	● ｼﾞﾄﾞｳ ● ｼｭﾄﾞｳ	ｼｭﾄﾞｳ
	IP ｱﾄﾞﾚｽ	***.***.***.***	192.168.192.168
	ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ	***.***.***.***	255.255.255.000
	ﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲ	***.***.***.***	255.255.255.255
ｵｷﾆｲﾘｾﾝﾀｸ		登録済みの「お気に入り」が表示	-

ステータスシート（ネットワーク）の印刷

ステータスシート（ネットワーク）は操作パネルで印刷します。

1 本製品の電源を入れます。

2 ▶（メニュー）ボタンを押して、メニューを表示します。

3 [メンテナンス] を選択し、OK ボタンを押します。

4 [ジョウホウインサツ] を選択し、OK ボタンを押します。

5 [ステータスネットワーク] を選択し、OK ボタンを押します。
ステータスシート（ネットワーク）が印字されます。

ステータスシート（ネットワーク）の印刷例

HHHH Epson Status Sheet HHHH

<General Information>

MAC Address	xx:xx:xx:xx:xx:xx
Software	xxxxxxxxx
Network Status	AUTO(Disconnected)

<TCP/IP IPv4>

Obtain IP Address	Manual
IP Address	xxx.xxx.xxx.xxx
Subnet Mask	xxx.xxx.xxx.xxx
Default Gateway	None

お気に入り

用紙種類、給紙方法、用紙検出、用紙サイズ、プリセット画像などの情報をまとめた「お気に入り」を本製品に登録し、操作パネルから選択して簡単に設定できます。

「お気に入り」は合計 100 個まで登録できます。

使用環境

- 「お気に入り」の設定内容は、以下で印刷する場合のみ有効です。
  ZPL II コマンド対応のアプリケーションから ZPL II コマンド搭載プリンター用ドライバー経由で印刷する場合
  お客様が開発したアプリケーションから直接コマンド実行で印刷する場合
- TM-C7500/TM-C7500G シリーズのプリンタードライバーを使用して印刷する場合は、本機能は有効ではありません。
- この機能は、本製品のファームウェア Ver.WAI30000 以降、および PrinterSetting Ver.1.2.0.0 以降、使用できます。

使用方法

1. PrinterSetting を使用して、本製品に「お気に入り」を登録します。
   104 ページ「お気に入りの登録」を参照してください。

2. クリーニング動作中でないこと、印刷中でないこと、本製品にデータ送信中でないことを確認します。

3. LCD の [ｵｷﾆｲﾘｾﾝﾀｸ] メニューから、登録されている「お気に入り」を選択し、OK ボタンを押します。
   81 ページ「ｵｷﾆｲﾘｾﾝﾀｸ」を参照してください。
   「お気に入り」のリストは、「お気に入り」の登録名の昇順で表示されます。

4. 設定が完了すると、LCD に「セッテイヲヘンコウシマシタ」が約 3 秒間表示されます。

注意事項

- 「お気に入り」の［用紙検出］および［給紙経路］の設定がプリンターと異なる場合、用紙検出エラーおよび用紙経路エラーが発生します。この場合、「トラブルシューティング」を参照してエラーを解除し、その後「お気に入り」を再設定してください。
- 「お気に入り」の選択は、操作パネルまたは PrinterSetting で行うことができます。
- 設定が完了しなかった場合は、「プリンターガビジーデス セッテイヲヘンコウデキマセン」が約 3 秒間表示されます。本製品の状態を確認の上、もう一度設定をやり直してください。
- 本製品の「お気に入り」の設定内容よりも、アプリケーション側で設定できる設定項目が優先されます。

PrinterSetting

ユーザー権限で使用する場合、PrinterSetting Ver.1.2.0.0 以降が必要です。
PrinterSetting をユーザー権限で使用する場合、プリンタードライバーなどの他のソフトウェアが本製品と通信していると、設定を変更できないことがあります。

PrinterSetting は本製品を設定するためのユーティリティーです。PrinterSetting を使用して以下を設定できます。

項目	説明	ページ
用紙を設定する *	本製品で使用する用紙を設定します。	89 ページ
レイアウトを設定する *	用紙レイアウトを設定します。用紙形態や印刷領域を設定したユーザー定義レイアウトをします。	90 ページ
位置を調整する	印刷開始位置やカット位置を調整します。	92 ページ
印刷結果を調整する *	カラー調整やバーコード調整をします。	94 ページ
プリンターにデータを登録する	画像、テンプレート、フォントをプリンターに登録します。また、文字コード表から使用するコードを選択します。	95 ページ
プリセット画像を設定する *	プリセット画像を設定します。	96 ページ
クリーニングを行う	ヘッドクリーニングやノズルチェックの実行、定期クリーニングの設定をします。	98 ページ
詳細設定	プリンターの詳細設定をします。 • プリンター本体の設定 • パネルの設定 • ノズルチェックの設定 • 高度な設定 　* ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定 　* お気に入りの設定 • プリンターの初期化	99 ページ ～ 106 ページ
プリンター情報の表示	プリンター用紙設定やレイアウト設定などのプリンターの設定情報やメンテナンスカウンターを確認します。	107 ページ
設定の保存と復元	プリンターの設定を保存したり、保存していた設定を復元したりします。	109 ページ
オプション	PrinterSetting の設定をします。 PrinterSetting で使用する単位と起動時の設定をします。	110 ページ

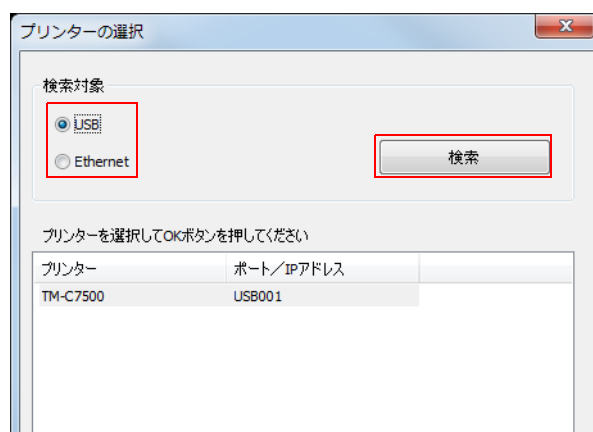
* プリンタードライバーから PrinterSetting を起動した場合、表示されません。

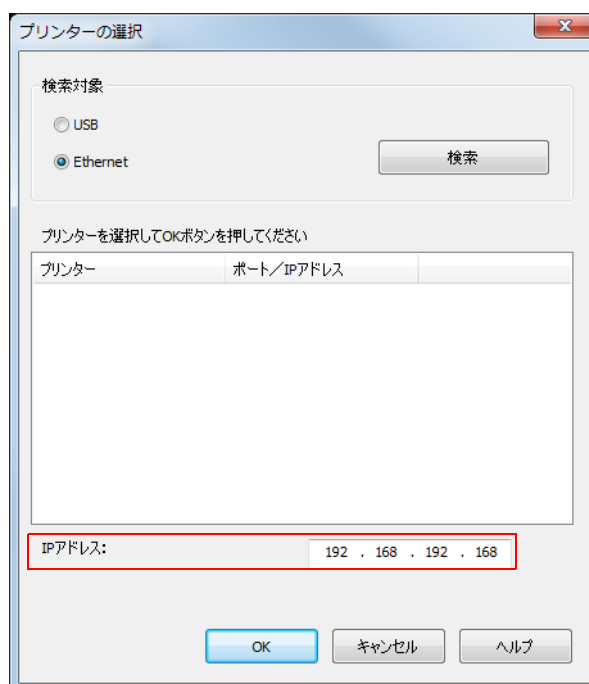
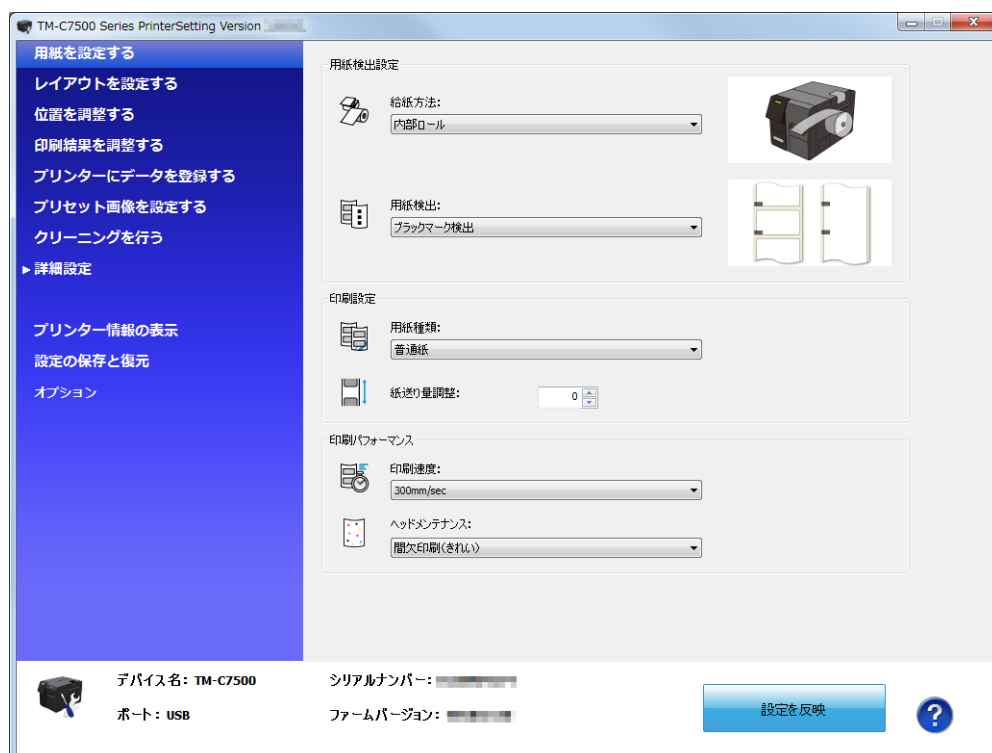
PrinterSetting の起動

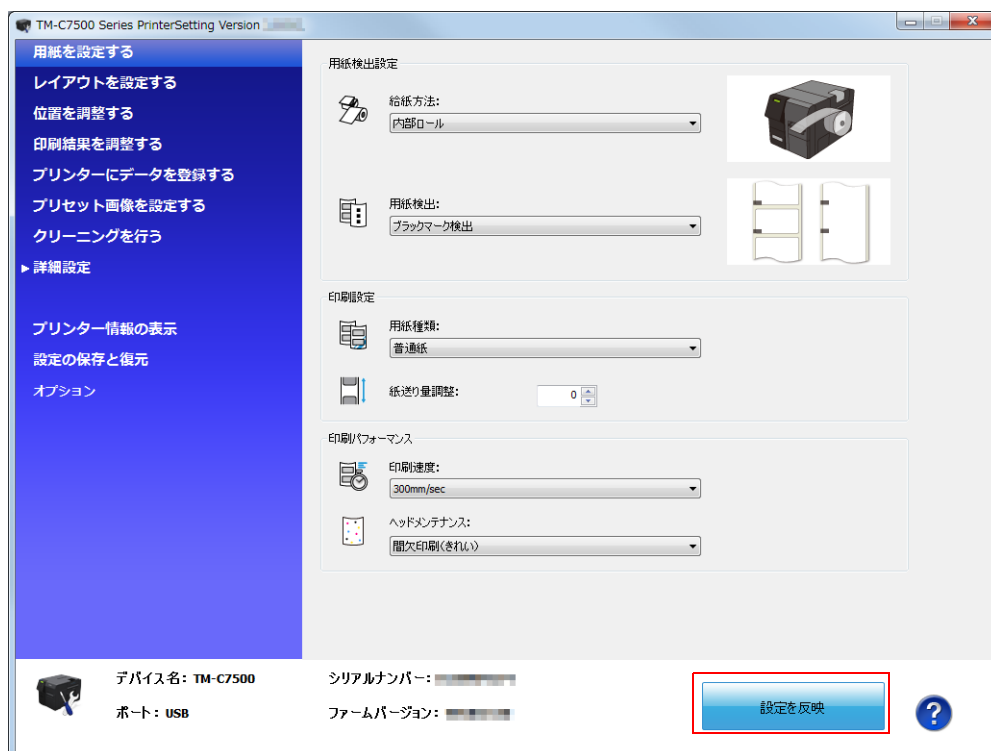
以下の方法で、PrinterSetting を起動します。

1 本製品の電源を入れます。

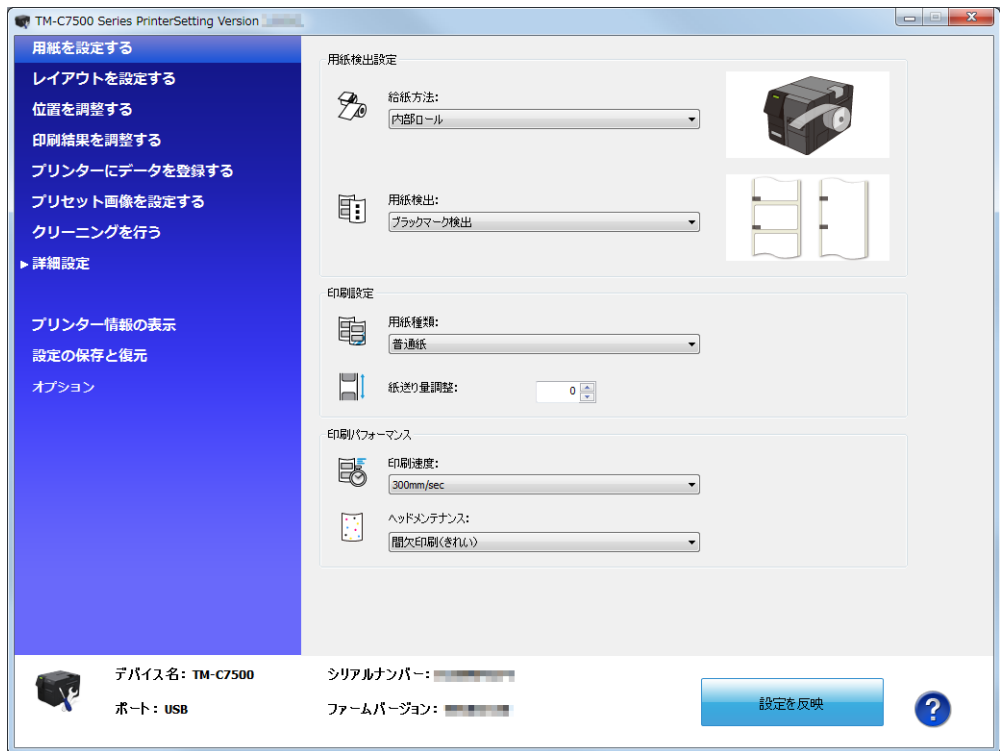
2 ［スタート］-［すべてのプログラム］-［Epson］-［TM-C7500 Series］-［PrinterSetting］を選択します。

3 ［プリンターの選択］画面が表示されます。検索対象を選択し［検索］をクリックします。

4 リストに本製品が表示されます。設定するプリンターを選択し、［OK］をクリックします。

Ethernet 接続の場合、検索してもリストに本製品が表示されない場合があります。
その場合、IP アドレスを入力してください。

5 PrinterSetting が起動します。

設定の反映

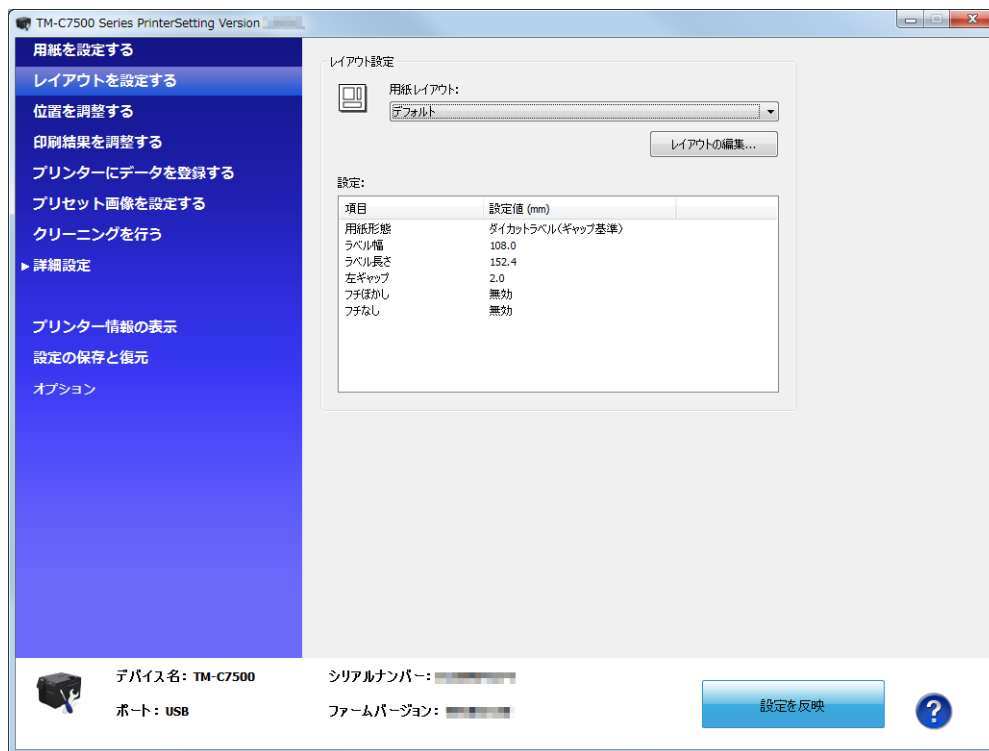
各項目を設定した後、［ 設定を反映 ］をクリックすると本製品の設定が変更されます。

用紙を設定する

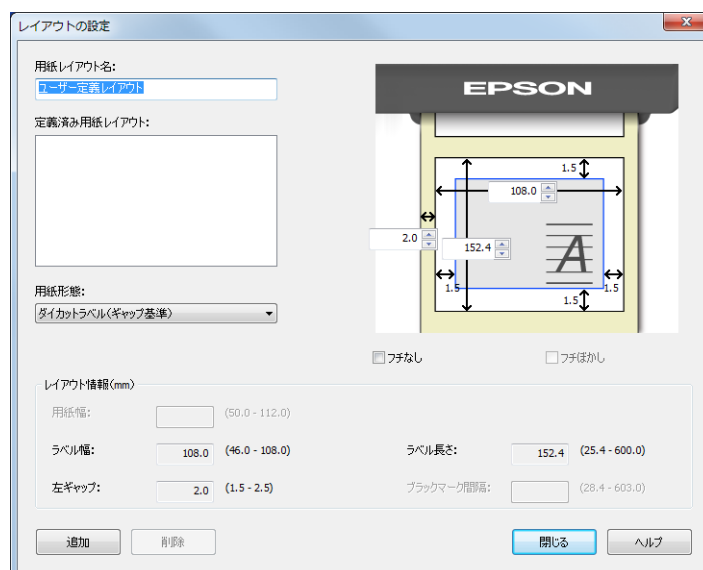
本製品で使用する用紙を設定します。

プリンタードライバーから PrinterSetting を起動した場合、表示されません。

項目		説明
用紙検出設定	給紙方法	給紙方法を設定します。
	用紙検出	用紙の検出方法を設定します。
印刷設定	用紙種類	用紙種類を設定します。
	紙送り量調整	紙送り量を設定します。
印刷パフォーマンス	印刷速度	印刷速度を設定します。
	ヘッドメンテナンス	印刷時ヘッドメンテナンスモードを設定します。 印刷時ヘッドメンテナンスモードについては 181 ページ「印刷速度」を参照してください。

レイアウトを設定する

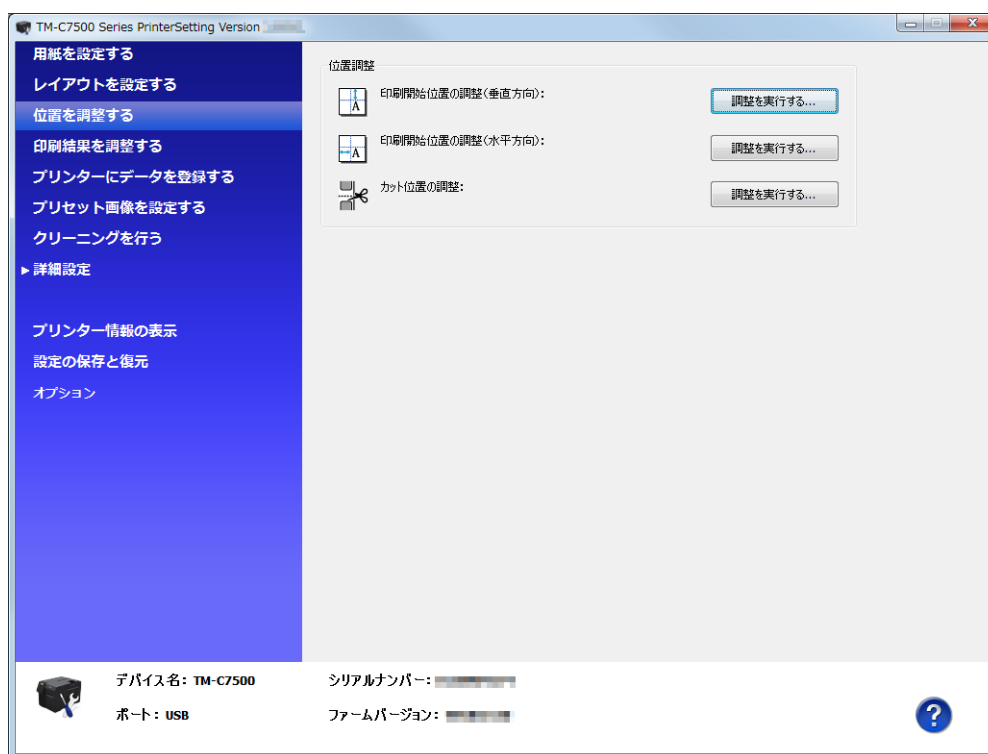
用紙レイアウトを設定したり、新規のユーザー定義レイアウトを作成したりします。

プリンタードライバーから PrinterSetting を起動した場合、表示されません。

項目		説明
レイアウト設定	用紙レイアウト	用紙レイアウトを設定します。
	レイアウトの編集	新規のユーザー定義レイアウトを作成します。クリックすると " レイアウトの設定 " 画面が表示されます。

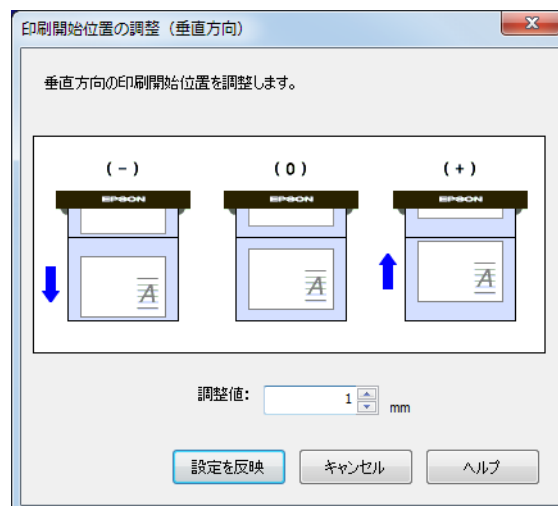
レイアウトの設定

項目	説明
用紙レイアウト名	用紙レイアウト名を設定します。 任意の名称を入力します。
定義済み用紙レイアウト	定義済みの用紙レイアウトがリストに表示されます。
用紙形態	用紙形態を設定します。
レイアウト情報	用紙幅、ラベル幅、左ギャップ、ラベル長さ、ブラックマーク間隔を設定します。 用紙形態によって設定可能なレイアウト情報は変わります。レイアウト情報を設定する前に、用紙形態を設定してください。
フチなし	チェックを入れると印刷領域を拡大できます。 マージンがゼロになると、印刷が用紙・ラベルからはみ出す可能性があります。用途に応じて使用してください。
フチぼかし	[フチぼかし] にチェックを入れると、通常の余白領域にグラデーション処理をします。[フチなし] にチェックを入れた場合のみ設定できます。

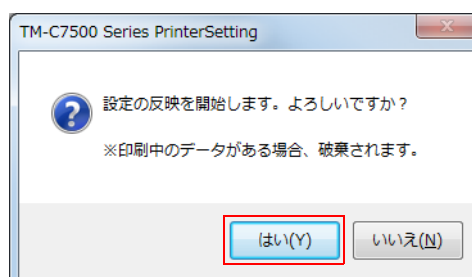
長いラベルを印刷する場合、用紙によっては、印刷結果が指定した長さに満たないことがあります。その結果、紙送り方向を上として、ラベル下端部に空白が出ることがあります。この空白が気になる場合、以下の方法をお試しください。
手順 1: 印字結果を確認してください。
手順 2: 空白部分をレイアウトの設定メニューで、ラベル長さに足して指定してください。

位置を調整する

印刷開始位置やカット位置を調整します。

項目		説明
位置調整	印刷開始位置の調整（垂直方向）	垂直方向の印刷開始位置を調整します。 [調整を実行する] をクリックすると、位置を調整します。
	印刷開始位置の調整（水平方向）	水平方向の印刷開始位置を調整します。 [調整を実行する] をクリックすると、位置を調整します。
	カット位置の調整	カット位置の調整をします。 [調整を実行する] をクリックすると、位置を調整します。

調整を実行する

1 [調整を実行する] をクリックすると以下の画面が表示されます。
（印刷開始位置の調整（垂直方向）を例に説明しています。）

2 調整値を入力し、[設定を反映] をクリックします。

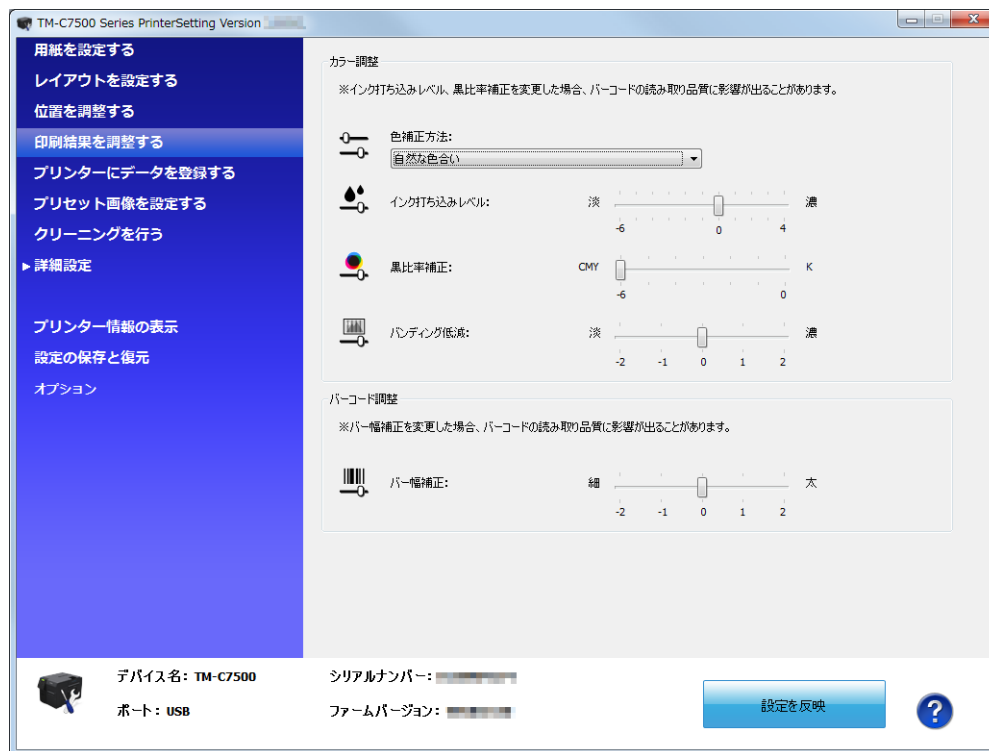
3 確認画面が表示されます。[はい] をクリックすると調整が実行されます。

4 結果が表示されます。[OK] をクリックします。

5 調整を実行した後、印刷を行って調整した位置を確認してください。

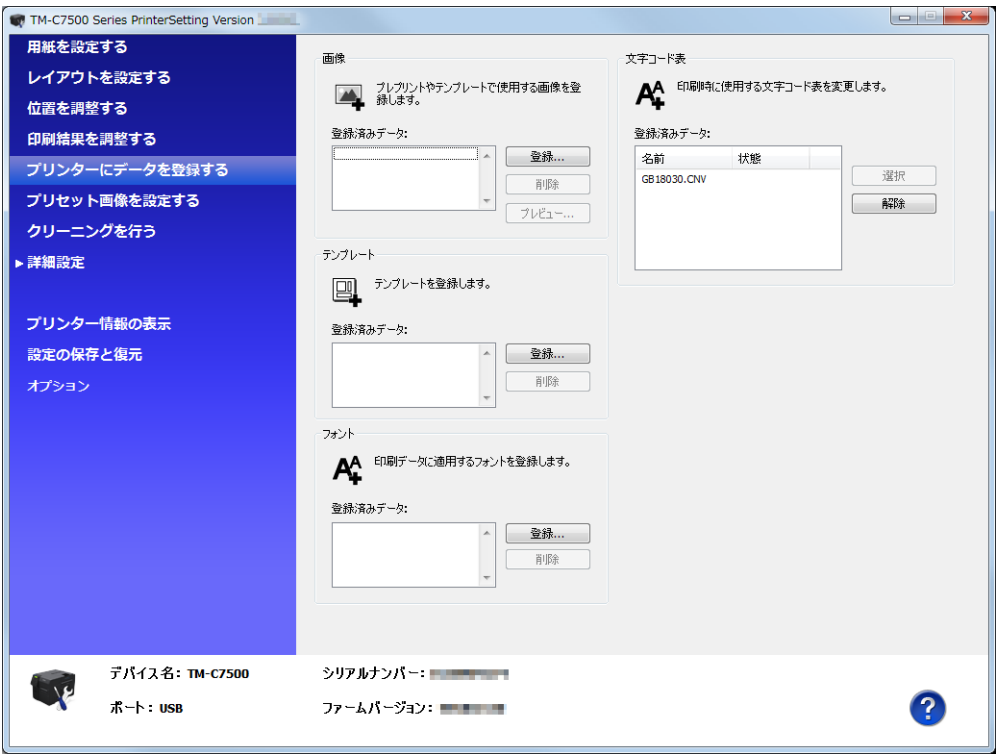
3

印刷結果を調整する

カラー調整やバーコード調整をします。

プリンタードライバーから PrinterSetting を起動した場合、表示されません。

項目		説明
カラー調整	色補正方法	色補正方法を設定します。
	インク打ち込みレベル	インクの濃淡を設定します。使用する用紙によって、印刷品質を確保するため適時調整します。
	黒比率補正	黒比率補正を設定します。
	バンディング低減	バンディングを低減させたいときに設定します。
バーコード調整	バー幅補正	内蔵バーコードフォントを使用している場合、バーの幅を調整する場合に設定します。

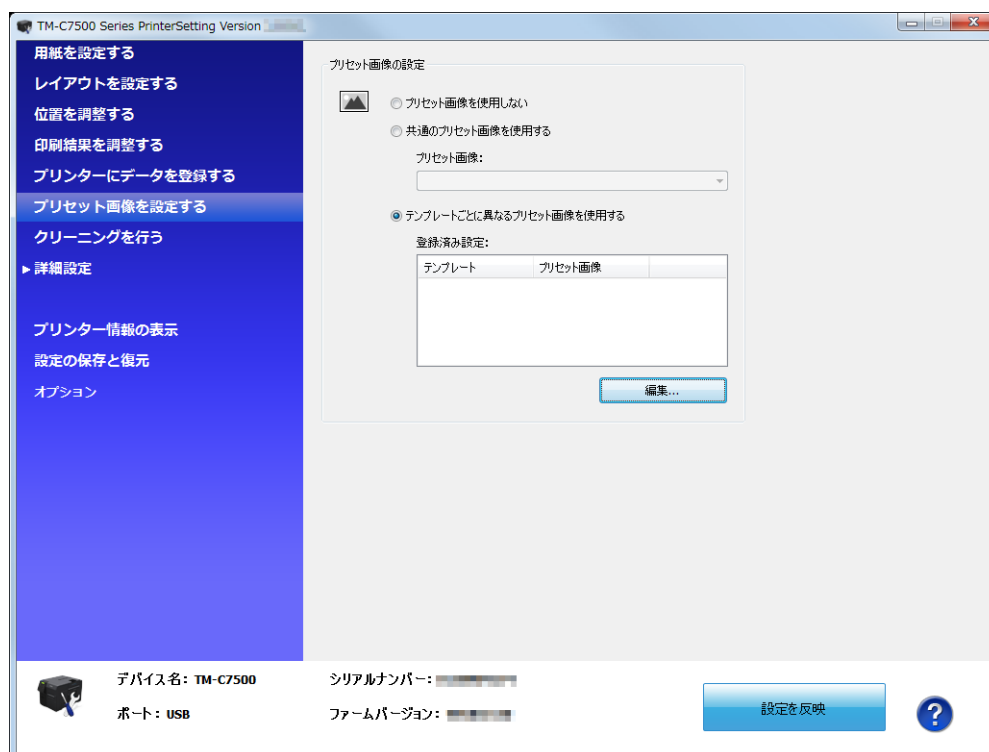
プリンターにデータを登録する

画像、テンプレート、フォント、文字コード表をプリンターに登録します。

項目	説明
画像	プレプリントやテンプレートで使用する画像を登録します。
テンプレート	テンプレートを登録します
フォント	印刷データに適用するフォントを登録します。
文字コード表	印刷時に使用する文字コード表を変更します。

3

プリセット画像を設定する

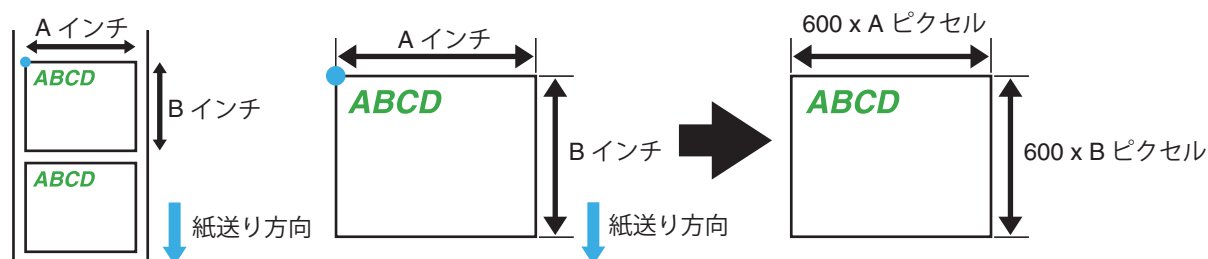
プリセット画像を設定します。

- 以下のソフトウェアを使用する場合に、本機能を使用します。
  - ＊ Zebra Technologies Corporation 社の Windows ドライバー
  - ＊ 本製品が対応している市販のラベル印刷アプリケーション
  - ＊ ZPL II や ESC/Label コマンドを直接制御するアプリケーション
- プリンタードライバーから PrinterSetting を起動した場合、表示されません。

項目		説明
プリセット画像の設定	プリセット画像を使用しない	プリセット画像を印刷しません。
	共通のプリセット画像を使用する	通常の印刷の場合、指定した画像をプリセット画像として印刷します。 テンプレートを使用して印刷した場合、プリセット画像を印刷しません。
	テンプレートごとに異なるプリセット画像を使用する	テンプレートを使用して印刷した場合、指定された組み合わせに沿ってプリセット画像を印刷します。 テンプレートを使用しない場合、プリセット画像を印刷しません。

プリセット画像

プリセット画像の作成

1 本製品の印刷に適した解像度の画像（PNG 形式）を用意します。
181 ページ「印刷仕様」を参照

2 画像を用紙サイズに合わせて変換します。

3 画像フォーマットを PNG 形式で出力します。

プリセット画像の登録と指定方法

プリセット画像は PrinterSetting の 95 ページ「プリンターにデータを登録する」で登録します。
また、96 ページ「プリセット画像を設定する」でプリセット画像を指定します。

プリセット画像の印刷方法

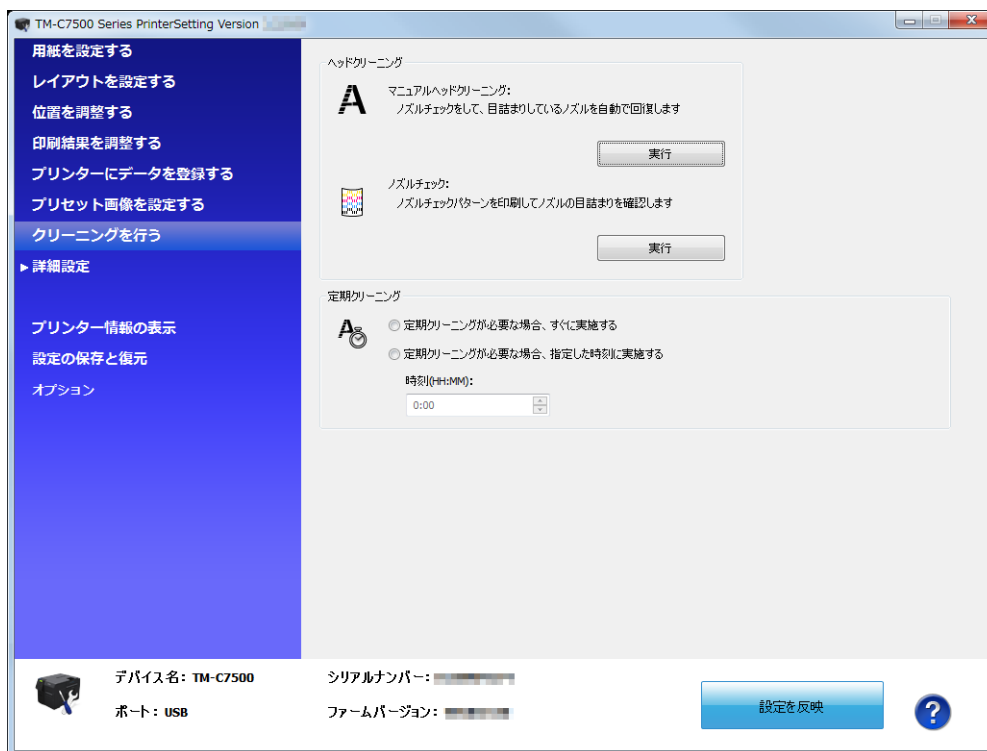
以下のソフトウェアを使用する場合に、プリセット画像が印刷されます。

- Zebra Technologies Corporation 社の Windows ドライバー
- 本製品が対応している市販のラベル印刷アプリケーション
- ZPL II や ESC/Label コマンドを直接制御するアプリケーション

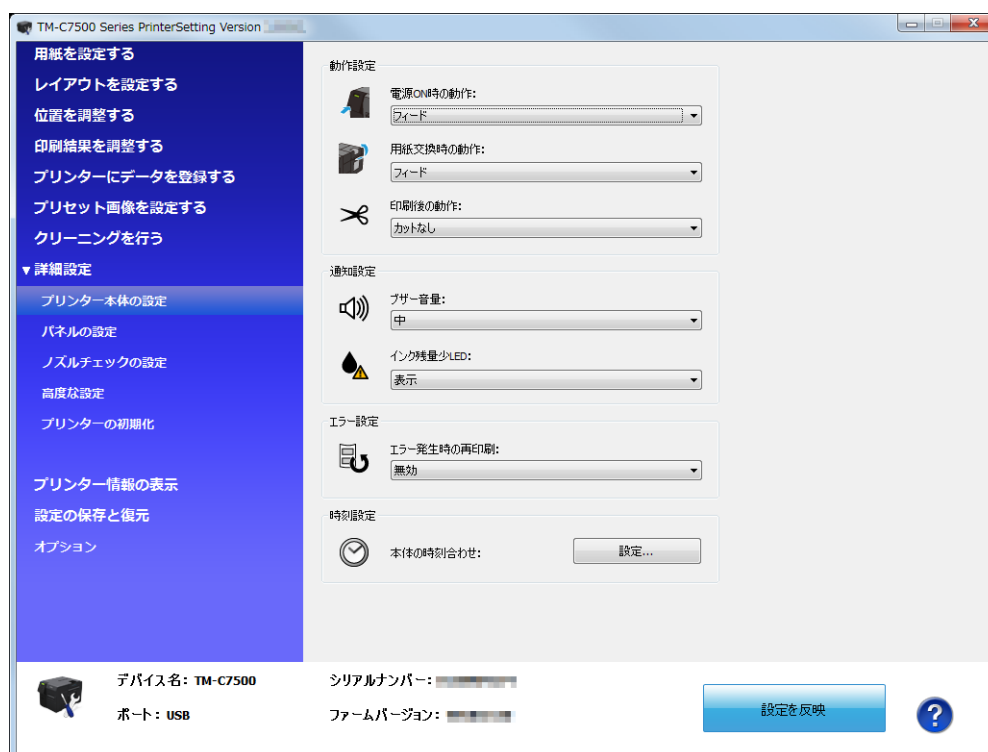
エプソンのプリンタードライバーではプリセット画像の印刷はできません。

3

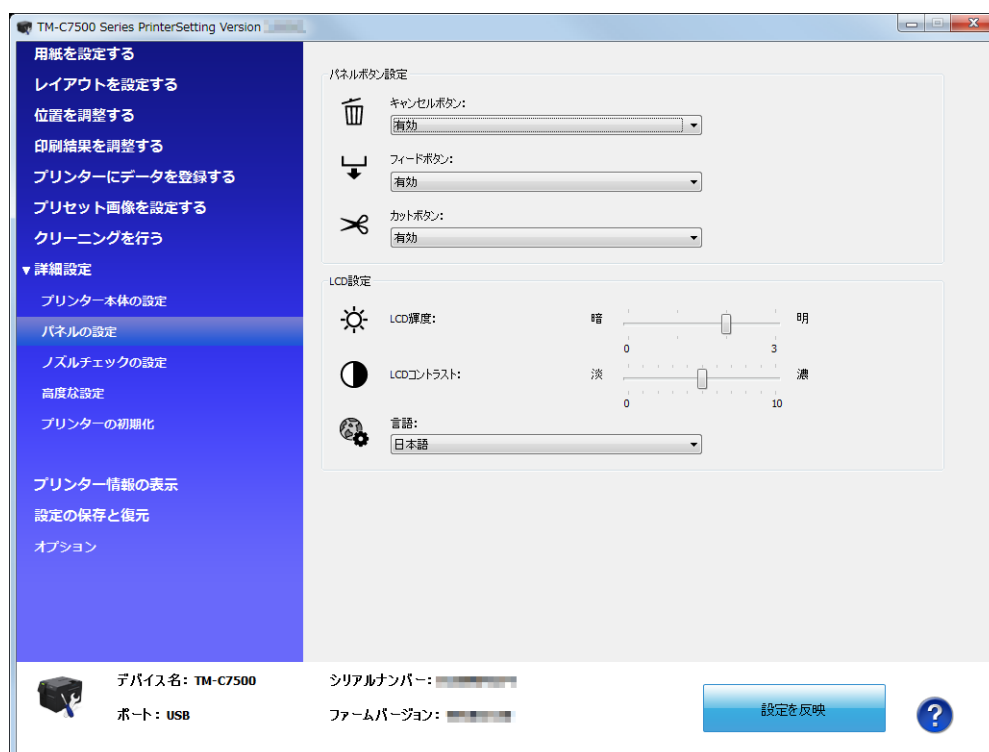
クリーニングを行う

ヘッドクリーニングやノズルチェックの実行、定期クリーニングの設定をします。

項目		説明
ヘッドクリーニング	マニュアルヘッドクリーニング	ノズルチェックをして、ノズルのドット抜けを自動で回復します。 [実行] をクリックすると、ヘッドクリーニングが実行されます。
	ノズルチェック	ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを確認します。 [実行] をクリックすると、ノズルパターンを印刷します。
定期クリーニング	定期クリーニングが必要な場合、すぐに実施する	定期クリーニングが必要な場合、すぐに定期クリーニングを実施します。
	定期クリーニングが必要な場合、指定した時刻に実施する	定期クリーニングが必要な場合、指定した時刻に定期クリーニングを実施します。 [時刻（HH:MM）] に定期クリーニングする時刻を指定します。

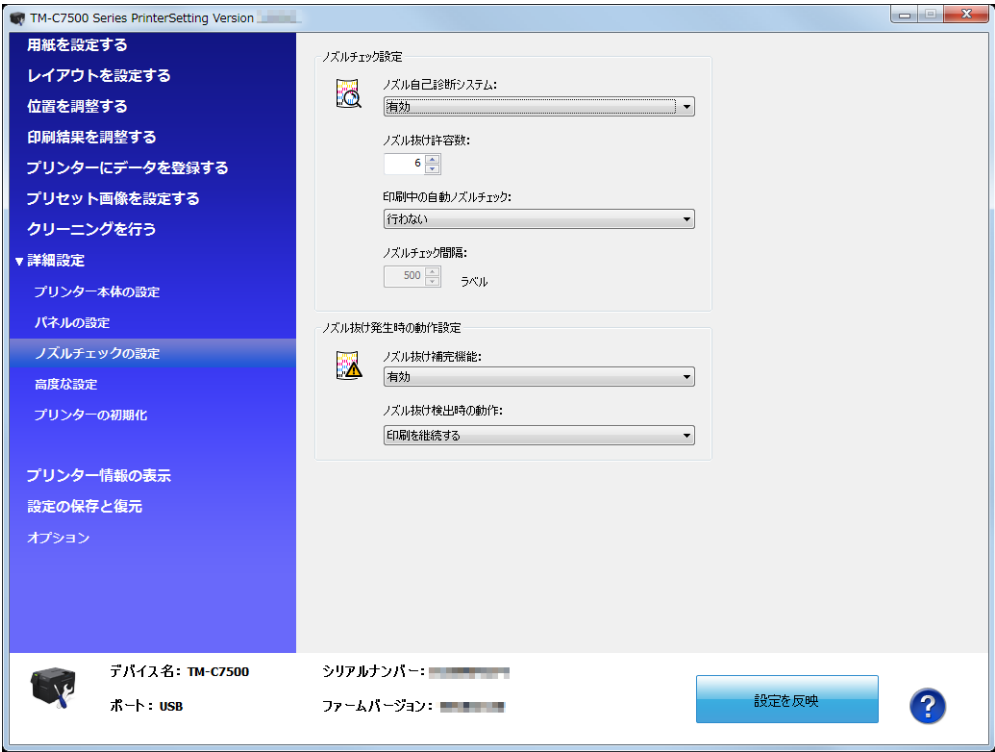
プリンター本体の設定

プリンター本体の設定をします。

項目		説明
動作設定	電源 ON 時の動作	電源を入れた時の動作を設定します。
	用紙交換時の動作	用紙交換時の動作を設定します。
	印刷後の動作	印刷後に用紙をカットするか設定します。
通知設定	ブザー音量	ブザーの音量を設定します。
	インク残量少 LED	インク残量が少なくなったときの動作を設定します。
エラー設定		エラー発生時の再印刷を設定します。
時刻設定		本体の日時を設定します。

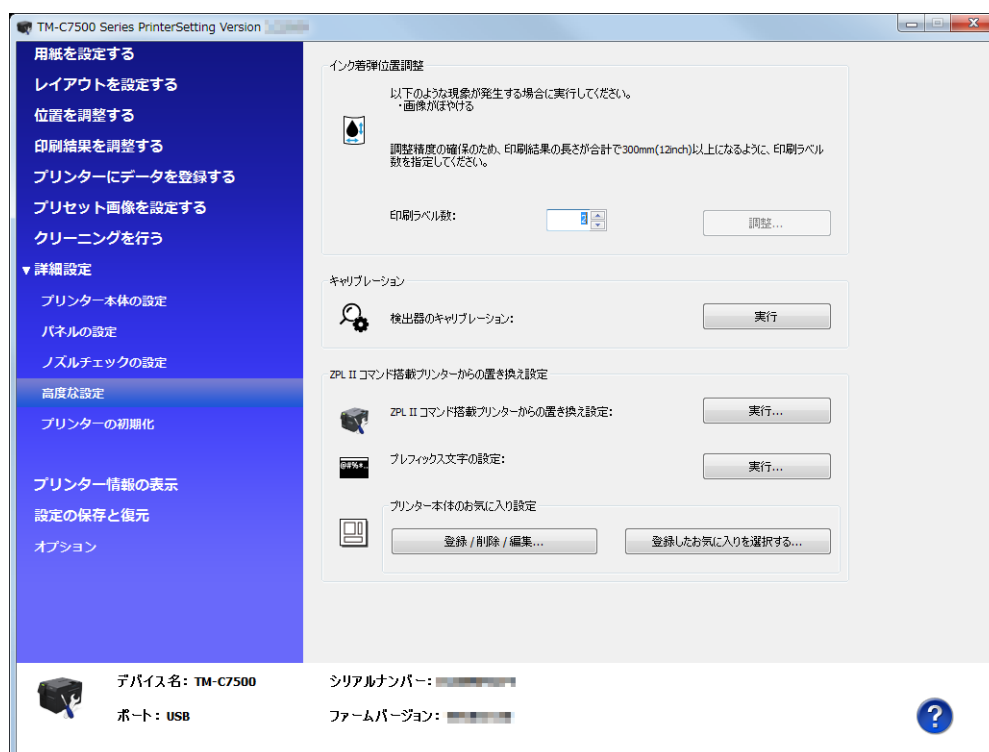
パネルの設定

パネルの設定をします。

項目		説明
パネルボタンの設定	キャンセルボタン	キャンセルボタンの有効 / 無効を設定します。
	フィードボタン	フィードボタンの有効 / 無効を設定します。
	カットボタン	カットボタンの有効 / 無効を設定します。
LCD 設定	LCD 輝度	LCD の輝度を設定します。
	LCD コントラスト	LCD のコントラストを設定します。
	言語	LCD 表示の言語を設定します。

ノズルチェックの設定

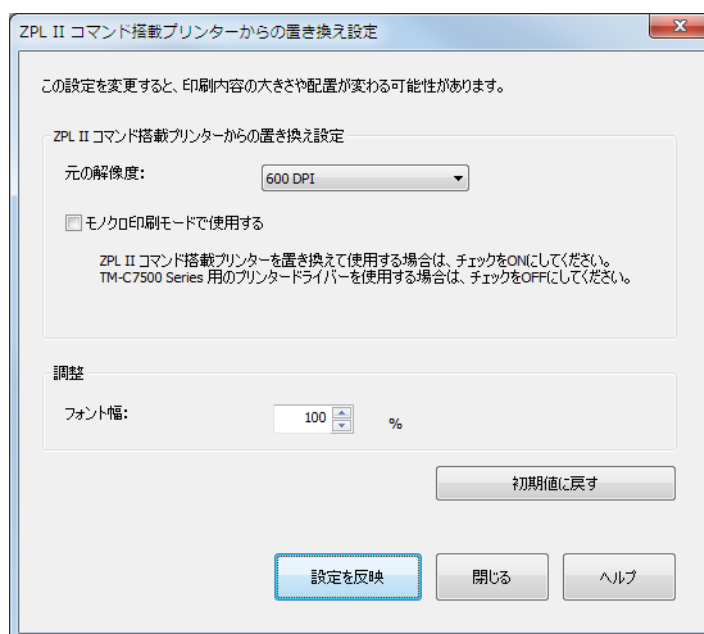
ノズルチェックの設定をします。

項目		説明
ノズルチェック設定	ノズル自己診断システム	ノズル自己診断システムの有効 / 無効を設定します。
	ノズル抜け許容数	ノズル抜け許容数を指定します。
	印刷中の自動ノズルチェック	印刷中の自動ノズルチェックの設定をします。
	ノズルチェック間隔	印刷中の自動ノズルチェックを行う場合、ノズルチェック間隔を指定します。
ノズル抜け発生時の動作設定	ノズル抜け補完機能	ノズル抜け補完機能の有効 / 無効を設定します。
	ノズル抜け検出時の動作	ノズル抜け検出時の動作を設定します。

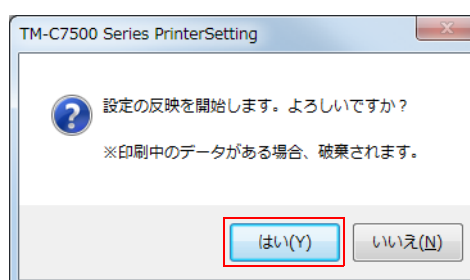
高度な設定

プリンター本体に高度な設定をします。

項目		説明
インク着弾位置調整		画像がぼやける場合、インク着弾位置を調整します。
キャリブレーション		検出器のキャリブレーションを実行します。
ZPL Ⅱ コマンド搭載プリンターからの置き換え設定	ZPL Ⅱ コマンド搭載プリンターからの置き換え設定	ZPL Ⅱ コマンド搭載プリンターからの置き換え設定を実行します。 [実行] をクリックすると、"ZPL Ⅱ コマンド搭載プリンターからの置き換え設定" 画面が表示されます。 103 ページ「ZPL Ⅱ コマンド搭載プリンターからの置き換え設定」を参照してください。
	プレフィックス文字の設定	プレフィックス文字の設定をします。
	プリンター本体のお気に入り設定	「お気に入り」を本製品に登録したり、登録済みの「お気に入り」の設定を本製品に反映したりします。 104 ページ「お気に入りの登録」を参照してください。

ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定

[初期値に戻す] をクリックすると、入力値がプリンターの初期設定の値に戻ります。
その後、[設定を反映] をクリックするとプリンターの初期設定に戻ります。

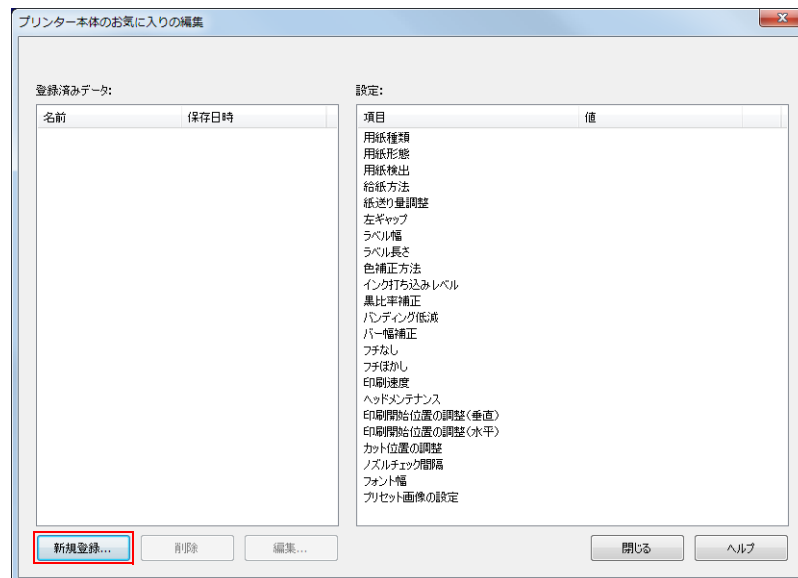
1 [ZPL IIコマンド搭載プリンターからの置き換え設定]の[実行]をクリックすると、"ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定" 画面が表示されます。

2 ZPL II コマンド搭載プリンターと同じ解像度を選択し、[モノクロ印刷モードで使用する] のチェックを ON にします。[設定を反映] をクリックします。

3 確認画面が表示されます。[はい] をクリックすると設定が反映されます。

4 結果が表示されます。[OK] をクリックします。

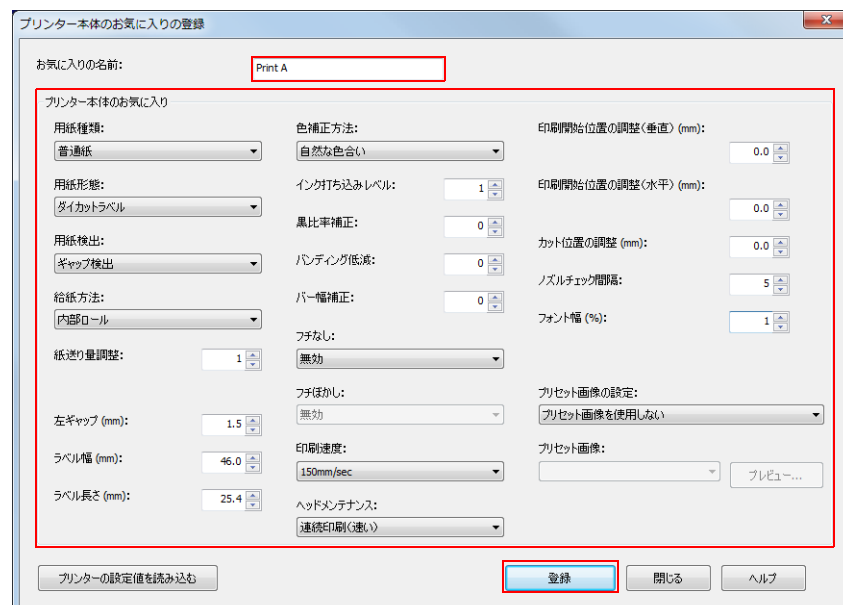
フォント幅の調整は、実際に印刷しながら調整してください。
プリンターの置き換えに関しては、169 ページ「プリンターの設定変更とプリンターの置き換え」を参照してください。

お気に入りの登録

1 ［プリンター本体のお気に入り設定］の［登録 / 削除 / 編集］をクリックします。

2 ″プリンター本体のお気に入りの編集″画面が表示されます。［新規登録］をクリックします。

3 ″プリンター本体のお気に入りの登録″画面が表示されます。［お気に入りの名前］を入力し、［プリンター本体のお気に入り］の各項目を設定します。設定後、［登録］をクリックします。

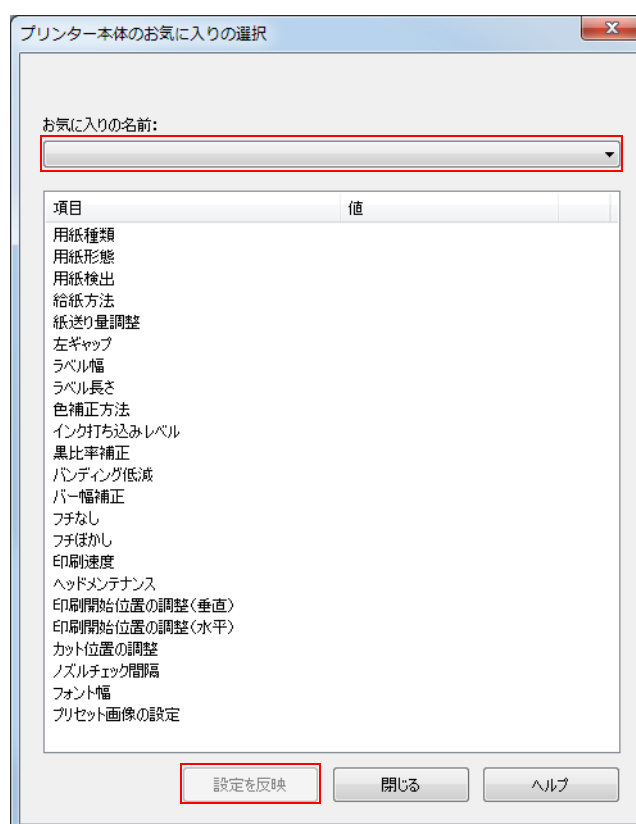
- 「お気に入り」の［お気に入りの名前］には、'^'、'~'、':'、',' および '.' を除く ASCII（20h ～ 7Eh）文字が有効であり、15 文字が指定できます。
- 「お気に入り」は合計 100 個まで登録できます。

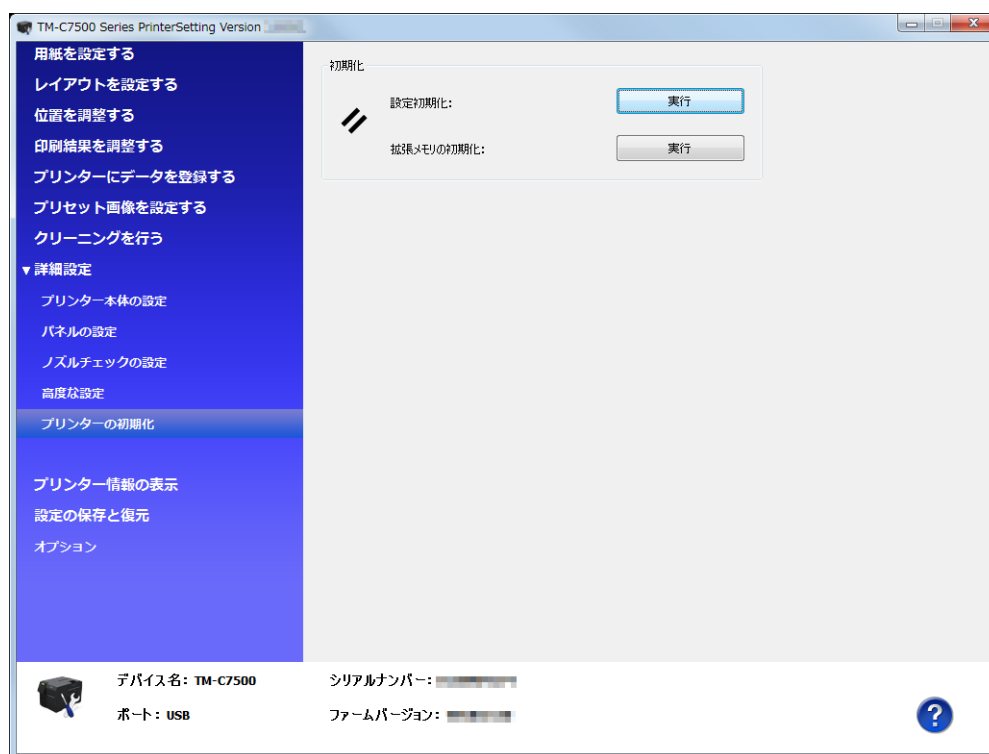
［プリンターの設定値を読み込む］をクリックすると、設定済みの本製品の設定値を取得します。

4 ［閉じる］をクリックすると、″プリンター本体のお気に入りの編集″画面に戻ります。［登録済みデータ］に、登録した「お気に入り」が表示されます。

お気に入りの設定を反映

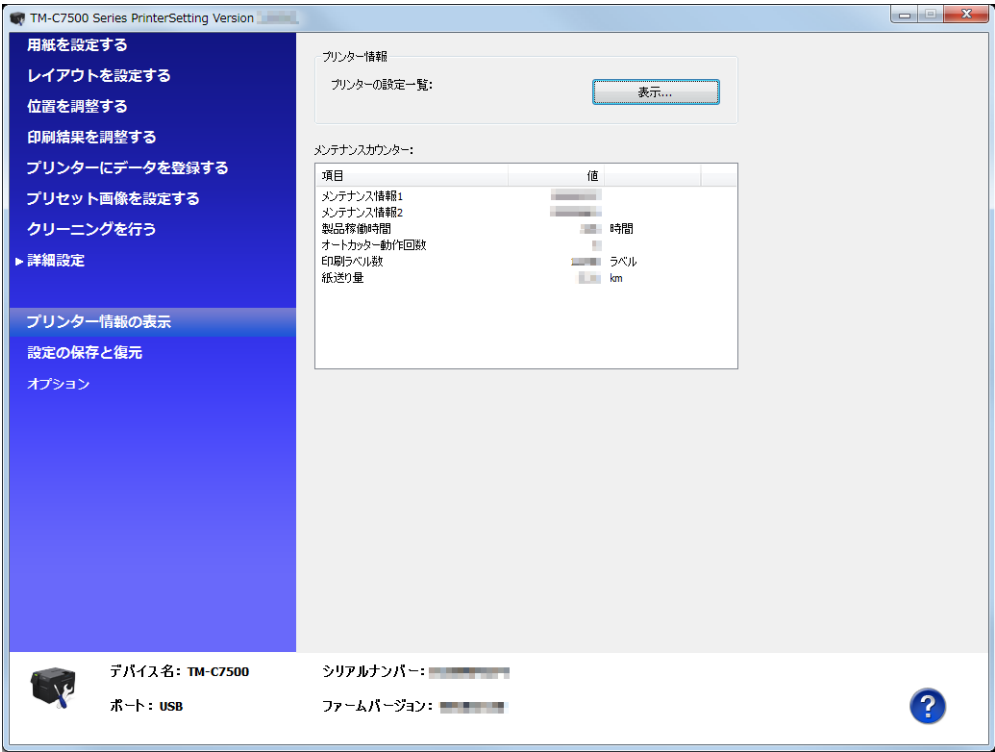
登録した「お気に入り」の設定を、本製品に反映することができます。

1 ［プリンター本体のお気に入り設定］の［登録したお気に入りを選択する］をクリックします。

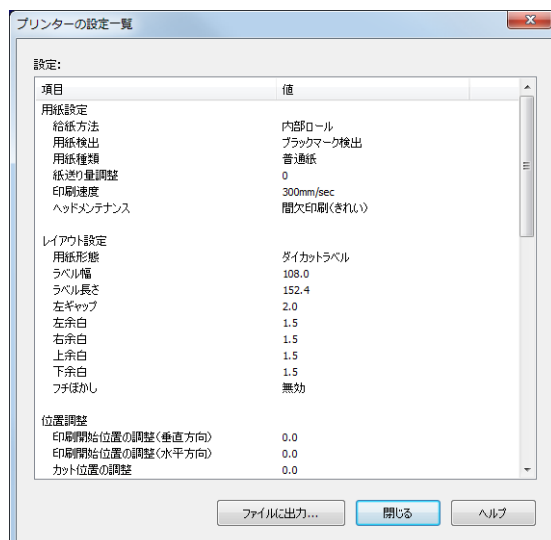
2 ″プリンター本体のお気に入りの選択″画面が表示されます。［お気に入りの名前］から設定を反映させる「お気に入り」を選択し、［設定を反映］をクリックします。

プリンターの初期化

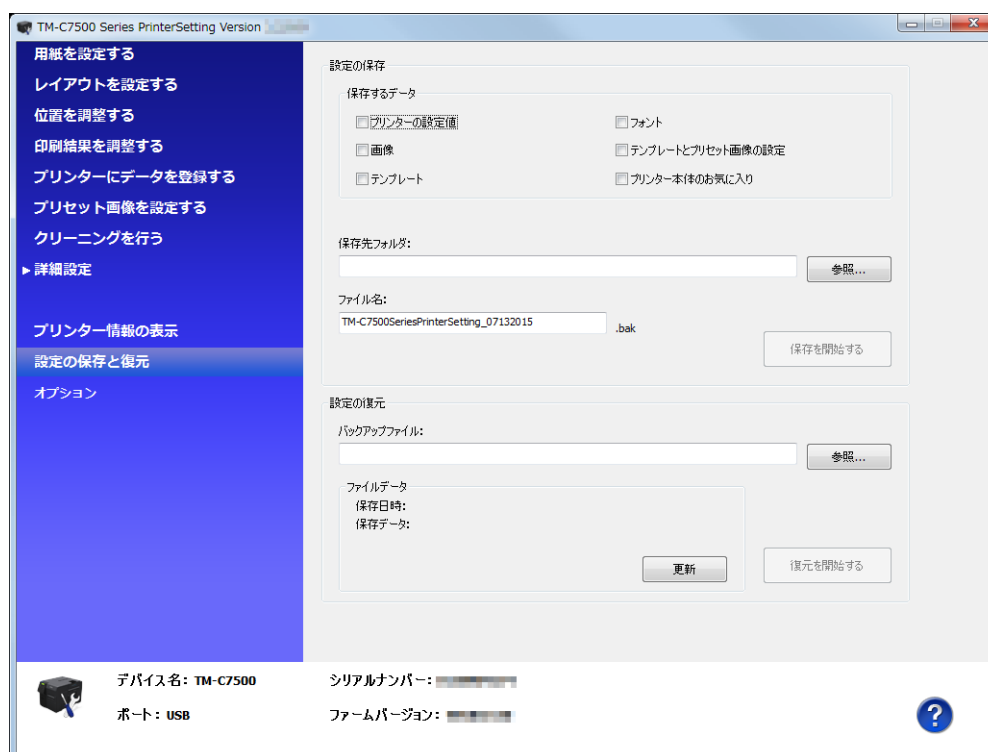
プリンターを初期化します。

項目		説明
初期化	設定初期化	プリンター本体の設定を初期化します。
	拡張メモリの初期化	拡張メモリーを初期化します。

プリンター情報の表示

プリンター本体の情報を表示します。

項目		説明
プリンター情報	プリンターの設定一覧	[表示] をクリックすると、現在のプリンターの設定情報を表示します。108 ページ「プリンターの設定一覧」を参照
メンテナンスカウンター		メンテナンスカウンターを確認できます。

プリンターの設定一覧

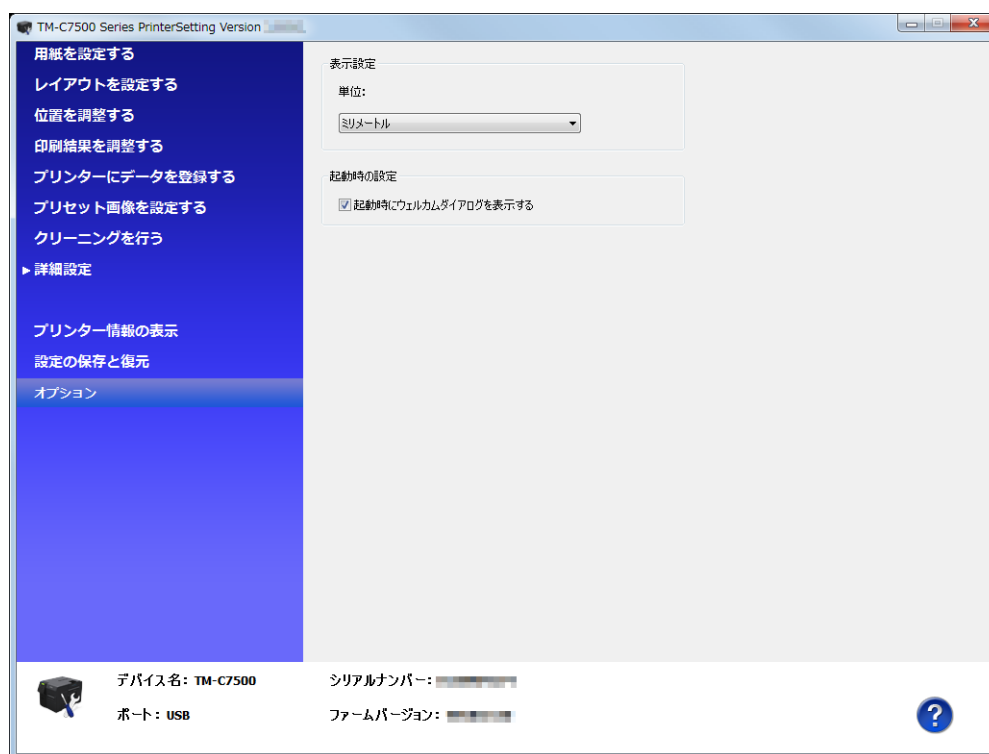
プリンターの設定一覧の [表示] をクリックすると、″プリンターの設定一覧″画面が表示されます。[ファイルに出力] をクリックすると、現在の設定をテキストファイルに保存することができます。

設定の保存と復元

本製品の設定の保存と復元をします。

項目		説明
設定の保存	保存するデータ	保存するデータを設定します。保存したいデータにチェックを入れます。
	保存先フォルダ	保存先のフォルダーを指定します。
	ファイル名	任意のファイル名を指定します。
	保存を開始する	保存するデータ、保存先フォルダ、ファイル名を指定し、[保存を開始する] をクリックすると、本製品の設定が保存されます。
設定の復元	バックアップファイル	バックアップファイルを指定します。
	ファイルデータ	バックアップファイルの情報を表示します。
	復元を開始する	バックアップファイルを指定後、[復元を開始する] をクリックすると、本製品の設定を復元します。

データが大きい場合、処理に時間がかかります。

3

オプション

PrinterSetting で使用する単位と起動時の設定をします。

項目		説明
表示設定	単位	単位を設定します。
起動時の設定	起動時にウェルカムダイアログを表示する	起動時のウェルカムダイアログの設定をします。

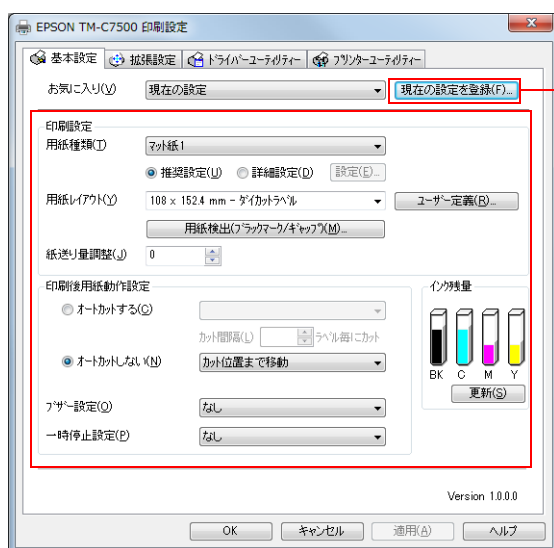
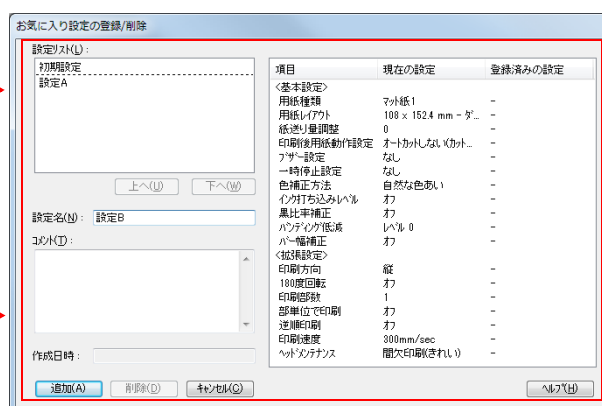
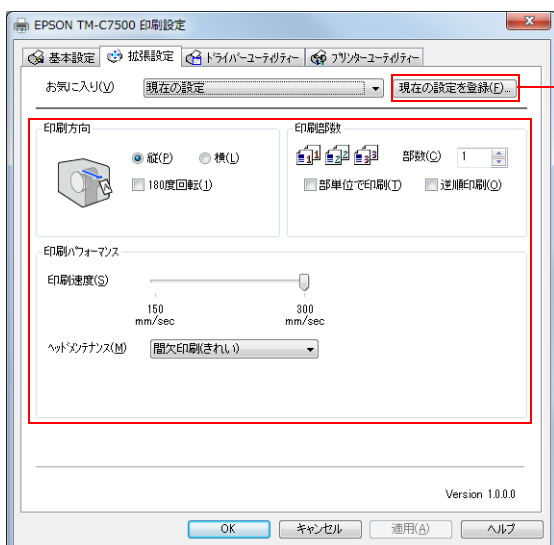
単位の設定は PrinterSetting のみ対象となります。操作パネルやプリンタードライバーには反映されません。

プリンタードライバーの設定

お気に入り

「お気に入り」とは、プリンタードライバーの印刷設定を 1 まとめにして管理できる機能です。

本製品の「お気に入り」とは別の機能で、互換性はありません。本製品の「お気に入り」と併用することはできません。

印刷設定は、[基本設定] タブと [拡張設定] タブの内容です。用紙の種類、用紙レイアウト (ユーザー定義用紙を含む) などがあります。

特長

- アプリケーションから印刷する場合、「お気に入り」で登録した印刷設定を初期値で選択できます。
  そのため、印刷設定をしたら [現在の設定を登録] をクリックし、「お気に入り」に登録することをお勧めします。
- 「お気に入り」には、いくつもの印刷設定を登録できます。
  たとえば帳票ごとに印刷設定を「お気に入り」登録すると、帳票を変更した場合、「お気に入り」の変更をするだけでプリンタードライバーの印刷設定が完了します。用紙の変更に伴う様々な設定を正しく設定できます。
  （帳票を変更した場合、プリンターの用紙検出設定を変更する必要がある場合があります。）

印刷設定を「お気に入り」に登録

1 印刷する用紙などに合わせてプリンタードライバーを設定します。

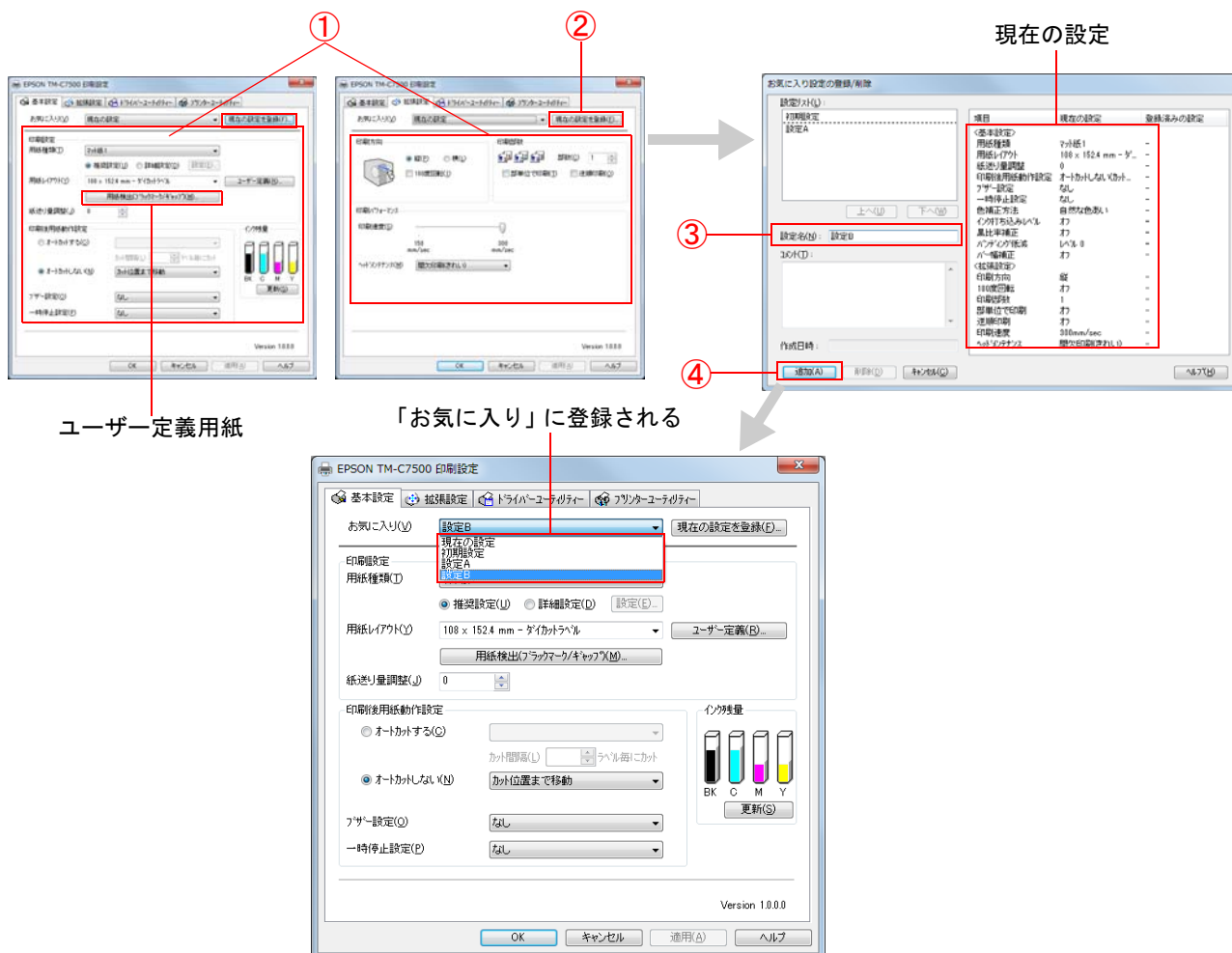
[基本設定] タブと [拡張設定] タブを設定します。ユーザー定義した用紙を設定する場合、[基本設定] の用紙レイアウトから選択します。

2 [現在の設定を登録] をクリックします。" お気に入り設定の登録 / 削除 " 画面が表示されます。

現在の設定が右側のリストに表示されます。

3 印刷設定名を入力します。

4　[追加] をクリックします。

印刷設定が「お気に入り」に登録され、〝お気に入り設定の登録 / 削除〟画面が閉じて、元の画面に戻ります。

「お気に入り」には、以下の設定があります。

- 初期設定：　プリンタードライバーインストール時の初期値です。
- 現在の設定：　[基本設定] タブと [拡張設定] タブに設定されている内容です。
  この内容は「現在の設定一覧」画面と、「お気に入り設定の登録 / 削除」画面の現在の設定に表示されます。
- ユーザーが定義した設定：　ユーザーが定義した印刷設定です。

ユーザー定義情報

ユーザー定義情報には以下のものが含まれます。

- •ユーザー定義用紙
- •バーコードフォントの登録
- •.NET 環境のフォント置き換え

ユーザー定義情報は、クライアントコンピューターごとに 1 つ設定されます。

1 台のコンピューターに複数のプリンタードライバーがインストールされている場合、これらは共通で使用できます。

プリンタードライバー設定の書き出し / 取り込み

お気に入り設定、ユーザー定義情報 (用紙レイアウト、バーコード)、プリンタードライバーの動作設定を BSF ファイル (拡張子 .BSF) に書き出すことができます。また、BSF ファイルから設定を取り込んでプリンタードライバーを設定することもできます。

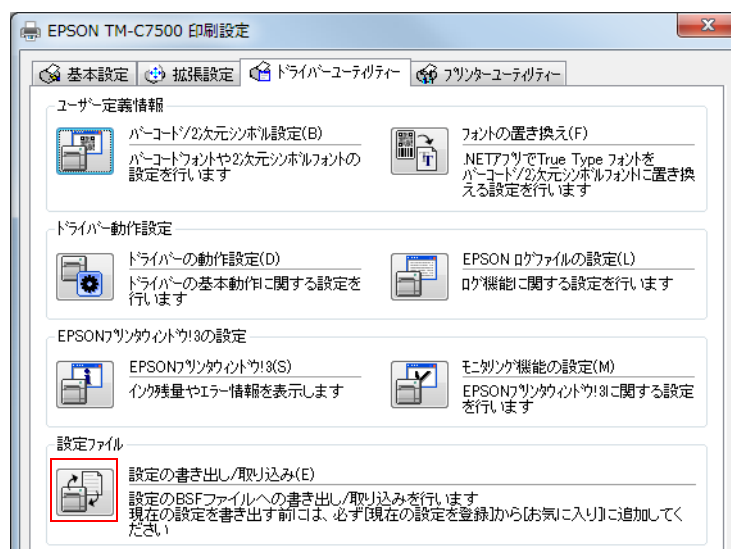
プリンタードライバーの「お気に入り」は、本製品の「お気に入り」とは別の機能です。プリンタードライバーの設定用ファイルに、本製品の「お気に入り」を含めることはできません。

設定の書き出し

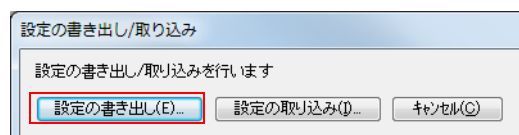
以下の手順で、設定を書き出します。

1 印刷設定が、「お気に入り」に登録されていることを確認してください。複数の印刷設定が登録されている場合、設定の取り込み時に反映される印刷設定は、「お気に入り」の最初に配置されている印刷設定です。

- 「お気に入り」の順番は、「お気に入り設定の登録 / 削除」画面を開き、設定リストに登録されている印刷設定を選択して、[上へ] または [下へ] をクリックすることで編集できます。
- 「お気に入り」に登録されていない場合、プリンタードライバーの初期設定が反映されます。

2 [ドライバーユーティリティー] タブを選択します。[設定の書き出し / 取り込み] をクリックします。

BSF ファイルの保存は、現在の設定から行ってください。標準の設定から行うと、プリンタードライバーの画面の内容と異なる内容が書き出されます。

- 現在の設定：
  プリンタードライバーのプロパティー -[全般]-[基本設定]
  -[ドライバーユーティリティー]-[設定の書き出し / 取り込み]
- 標準の設定：
  プリンタードライバーのプロパティー -[詳細設定]-[標準の設定]
  -[ドライバーユーティリティー]-[設定の書き出し / 取り込み]

3 " 設定の書き出し / 取り込み " 画面が表示されます。[設定の書き出し] をクリックします。

4 ファイルの保存画面が表示されます。名前をつけて BSF ファイルを保存します。

5 処理の完了画面が表示されます。[OK] をクリックします。

BSF ファイルには、ユーザーが定義した「お気に入り」の印刷設定が反映されます。「現在の設定」の印刷設定は反映されません。

設定の取り込み

BSF ファイルから設定を取り込むと、プリンタードライバーの設定は上書き保存されます。そのため、以下の既存設定を残したい場合は、既存設定を含めて BSF ファイルを作成してください。

- お気に入りリスト
- ユーザー定義した用紙リスト
- バーコードフォントリスト
- バーコードフォントの置き換えリスト

以下の手順で、設定を取り込みます。

1. [ドライバーユーティリティー] タブを選択します。[設定の書き出し / 取り込み] をクリックします。
2. " 設定の書き出し / 取り込み " 画面が表示されます。[設定の取り込み] をクリックします。
3. 確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。
4. 開く画面が表示されます。取り込むファイルを選択します。
5. 処理の完了画面が表示されます。[OK] をクリックします。

バーコード印刷

プリンタードライバーは、バーコードフォントを内蔵しています。アプリケーション側でバーコードを生成しなくても、バーコードを印刷できます。

バーコードフォントの設定

バーコードの印刷設定は、[ドライバーユーティリティー] タブの [バーコード / ２次元シンボル設定] で設定します。

1 以下の設定を行います。

•表示 :[バーコード] を選択します。

•フォント名 :任意の文字列を入力します。これがバーコードフォント名になります。入力できる文字は ASCII のみです。

•タイプ :バーコードの種類を選択します。選択したタイプにより、表示される設定項目が切り替わります。以下の種類から選択できます。

UPC-A	UPC-E	JAN13(EAN)
JAN8(EAN)	Code39	ITF
Codabar(NW7)	Code93	Code128
GS1-128	GS1 DataBar Omnidirectional	GS1 DataBar Truncated
GS1 DataBar Limited	GS1 DataBar Expanded	

•回転指定 :バーコードを回転させて印刷するときに選択します。

•Hex 入力モード :バーコードにするデータを Hex 入力モードで指定するときは、チェックします。

•モジュール :バーコードの細いエレメントの幅をドットで設定します。

•バー高さ：エレメントの高さをドットで設定します。指定したドットは、印刷されたときの実寸法で表示されます。

•HRI 文字の位置：HRI 文字の印刷位置を指定します。印刷しないときは、[**印刷しない**] を選択します。

タイプによっては、印刷位置の指定が限定されるものがあります。

•コンポジット種類：コンポジットの種類を設定します。

•エレメント比：太いエレメント幅を、細いエレメント幅に対する比率で設定します。
推奨する最小エレメント比は 2.5 です。

•チェックディジッド：数列の誤りを検出したり捏造を防止したりするために付与させる数値や記号です。

•シンボル全体幅が最小となるように自動変換する：
CODE128 の場合に選択できます。与えられたデータ文字列を表現するために必要なシンボルキャラクター数を最小限に抑える機能です。

•開始文字：開始文字を設定します。

•終了文字：終了文字を設定します。

2 [追加] をクリックします。

設定したバーコードフォントが登録され、フォントリストにフォント名が追加されます。

- バーコードフォントは、30 個まで登録できます。
- フォントリストのフォント名を選択し、設定を変更してから [保存] をクリックすると、設定したバーコードフォントの設定を上書き保存できます。
- フォントリストのフォント名を選択し、[削除] をクリックすると、設定したバーコードフォントを削除できます。

モジュールの推奨値

バーコードの印刷方向は以下のとおりです。また、モジュールの推奨値は、用紙種類、バーコードの種類および印刷方向によって異なります。

- 普通紙ラベル

バーコード	印刷方向	最小モジュール [600 dpi 単位]	
		ANSI グレード C 以上	ANSI グレード B 以上
Code39	フェンス	5	7
	ラダー	6	8
Codabar(NW7)	フェンス	5	6
	ラダー	6	8
Code93	フェンス	5	7
	ラダー	6	8
Code128 GS1-128	フェンス	5	6
	ラダー	6	7
ITF	フェンス	6	8
	ラダー	6	7
GS1 DataBar Omnidirectional GS1 DataBar Truncated GS1 DataBar Limited GS1 DataBar Expanded	フェンス	6	6
	ラダー	6	8
UPC-A UPC-E JAN13(EAN) JAN8(EAN)	フェンス	7	7
	ラダー	7	7

- バーコードの認識率は用紙の種類、バーコードリーダーの性能などにより変動します。またドット抜け、インク滴の曲がりによって、バーコードランクが低下し、バーコードリーダーで読めない場合がります。このため、HRI 文字を印刷するなど工夫することを推奨します。
- インクの特性上、用紙にインクが染み込み印刷したバーコードのバー部分が太くなることがあります。バーコードのバー部分のデータを 2 ピクセル分減らし、空白部分を 2 ピクセル分増やす補正 (バー幅補正) をしてください。

- 合成紙ラベル

バーコード	印刷方向	最小モジュール [600 dpi 単位]	
		ANSI グレード C 以上	ANSI グレード B 以上
Code39	フェンス	5	6
	ラダー	5	6
Codabar(NW7)	フェンス	5	6
	ラダー	5	6
Code93	フェンス	5	6
	ラダー	5	6
Code128 GS1-128	フェンス	5	6
	ラダー	5	6
ITF	フェンス	6	6
	ラダー	6	6
GS1 DataBar Omnidirectional GS1 DataBar Truncated	フェンス	6	6
GS1 DataBar Limited GS1 DataBar Expanded	ラダー	6	6
UPC-A UPC-E	フェンス	7	7
JAN13(EAN) JAN8(EAN)	ラダー	7	7

- バーコードの認識率は用紙の種類、バーコードリーダーの性能などにより変動します。またドット抜け、インク滴の曲がりによって、バーコードランクが低下し、バーコードリーダーで読めない場合がります。このため、HRI 文字を印刷するなど工夫することを推奨します。
- インクの特性上、用紙にインクが染み込み印刷したバーコードのバー部分が太くなることがあります。バーコードのバー部分のデータを 2 ピクセル分減らし、空白部分を 2 ピクセル分増やす補正 (バー幅補正) をしてください。

- マット紙ラベル / 光沢紙ラベル

バーコード	印刷方向	最小モジュール [600 dpi 単位]	
		ANSI グレード C 以上	ANSI グレード B 以上
Code39	フェンス	5	6
	ラダー	5	6
Codabar(NW7)	フェンス	5	6
	ラダー	5	6
Code93	フェンス	5	6
	ラダー	5	6
Code128 GS1-128	フェンス	5	6
	ラダー	5	6
ITF	フェンス	6	7
	ラダー	6	7
GS1 DataBar Omnidirectional GS1 DataBar Truncated GS1 DataBar Limited GS1 DataBar Expanded	フェンス	6	6
	ラダー	6	6
UPC-A UPC-E JAN13(EAN) JAN8(EAN)	フェンス	7	7
	ラダー	7	7

- バーコードの認識率は用紙の種類、バーコードリーダーの性能などにより変動します。またドット抜け、インク滴の曲がりによって、バーコードランクが低下し、バーコードリーダーで読めない場合がります。このため、HRI 文字を印刷するなど工夫することを推奨します。
- インクの特性上、用紙にインクが染み込み印刷したバーコードのバー部分が太くなることがあります。バーコードのバー部分のデータを 2 ピクセル分減らし、空白部分を 2 ピクセル分増やす補正 (バー幅補正) をしてください。

バーコードデータの指定方法

バーコードデータは以下を参照して指定してください。

コンポジットシンボルについて：

CC-A と CC-B の切り替えは自動的に行われますが、CC-C はお客様が明示的に選択する必要があります。
（GS1-128 の場合、コンポジットコンポーネントの種類は「なし」「CC-A / CC-B」「CC-C」から選択できます。）

コンポジットコンポーネントの種類	エンコード許容桁数
CC-A	1 ～ 56 桁
CC-B	1 ～ 338 桁
CC-C	1 ～ 2361 桁

HRI 文字について：

HRI 文字列がバーコードの全体幅よりも大きくなった場合、HRI 文字列の全体幅がバーコードの幅になります。

UPC-A

- データは 11 桁で指定してください。チェックディジットは自動的に付加されます。

UPC-E

- データは 10 桁で指定してください。5 桁がメーカーコードで 5 桁がアイテムコードです。

JAN13(EAN)

- データは 12 桁で指定してください。チェックディジットは自動的に付加されます。

JAN8(EAN)

- データは 7 桁で指定してください。チェックディジットは自動的に付加されます。

Code39

- スタート・ストップコード（'*'）を両方または片方指定しなかった場合、自動的に付加されます。

ITF

- 奇数桁のデータを指定した場合、自動的に先頭に 0 を付加されます。

Codabar(NW7)

- スタートコードとストップコードはデータに含めないでください。プリンタードライバーの画面で指定したスタートコードとストップコードが付加されます。

Code93

- スタートコード、2 つのチェックディジット、ストップコードは自動的に付加されます。
- HRI 文字の先頭には、スタートコードを示す文字 (□) を印字されます。
- HRI 文字の末尾には、ストップコードを示す文字 (□) を印字されます。
- 制御キャラクター (00h ～ 1Fh、7Fh) の HRI 文字は、■とアルファベット 1 文字を組み合わせて印字されます。

制御キャラクター		HRI 文字	制御キャラクター		HRI 文字	制御キャラクター		HRI 文字
ASCII	16 進数		ASCII	16 進数		ASCII	16 進数	
NULL	00	■ U	VT	0B	■ K	SYN	16	■ V
SOH	01	■ A	FF	0C	■ L	ETB	17	■ W
STX	02	■ B	CR	0D	■ M	CAN	18	■ X
ETX	03	■ C	SO	0E	■ N	EM	19	■ Y
EOT	04	■ D	SI	0F	■ O	SUB	1A	■ Z
ENQ	05	■ E	DLE	10	■ P	ESC	1B	■ A
ACK	06	■ F	DC1	11	■ Q	FS	1C	■ B
BEL	07	■ G	DC2	12	■ R	GS	1D	■ C
BS	08	■ H	DC3	13	■ S	RS	1E	■ D
HT	09	■ I	DC4	14	■ T	US	1F	■ E
LF	0A	■ J	NAK	15	■ U	DEL	7F	■ F

Code128

- 自動変換を OFF にした場合のみ、先頭の 2 桁にスタートコードを入れます。自動変換を ON にした場合には、自動的にコード選択キャラクターを選択するため、アプリケーションはコード選択キャラクターを指定する必要はありません。
  - ＊ コード選択キャラクターCODE A を選択した状態でさらにCODE A を選択する {A を指定するとエラーになります。
  - ＊ コード選択キャラクターCODE B を選択した状態でさらにCODE B を選択する {B を指定するとエラーになります。
  - ＊ コード選択キャラクター CODE C を選択した状態で、下記のどれかを指定するとエラーになります。
    {S {C {2 {3 {4 {{

- 特殊キャラクターは、'{' と直後の 1 文字を組み合わせて表現されます。

制御キャラクター	ASCII	HRI 文字
SHIFT	{S	印字しない
CODE A	{A	印字しない
CODE B	{B	印字しない
CODE C	{C	印字しない
FNC1	{1	印字しない
FNC2	{2	印字しない
FNC3	{3	印字しない
FNC4	{4	印字しない
'{ '	{{	{ を印字

GS1-128

- アプリケーション識別子の区切りを()で区別します。(HRI文字として印字されますが、エンコードはされません。)
- スタートコード(CODE A、CODE B、CODE C)、ストップコードは自動的に付加されます。
- スタートコードの次のシンボルキャラクター FNC1 は自動的に付加されます。
- '*' を指定すると、読み飛ばします。
- アプリケーション識別子は、連続した 2 桁の数値を指定する必要があります。正しく指定されていない場合、エラーになります。
- 特殊キャラクターは '{' と直後の 1 文字を組み合わせて表現されます。
- データが '{' で、直後のデータが以下に該当しない場合、エラーになります。

制御キャラクター	ASCII	HRI 文字
制御文字(00h ～ 1Fh および 7Fh)		スペースを印字
FNC1	{1	スペースを印字
'{'	{{	{ を印字
'('	{(	(を印字
')'	{)	) を印字
'*'	{*	* を印字
アプリケーション識別子の左カッコ	(	(を印字
アプリケーション識別子の右カッコ	)	) を印字
読み飛ばし文字	*	印字しない

GS1 DataBar Omnidirectional / GS1 DataBar Truncated / GS1 DataBar Limited

- 先頭のアプリケーション識別子 01 はデータに含めません。
- HRI 文字印刷時に、先頭のアプリケーション識別子 01 は、梱包識別コードの前に "(01)" と印字されます。
- チェックディジットをバーコードデータに付加する必要はありません。
- HRI 文字印刷時に、チェックディジットは商品コードの後に印字されます。
- GS1 DataBar Limited の場合、先頭 1 桁は '0' か '1' を指定してください。

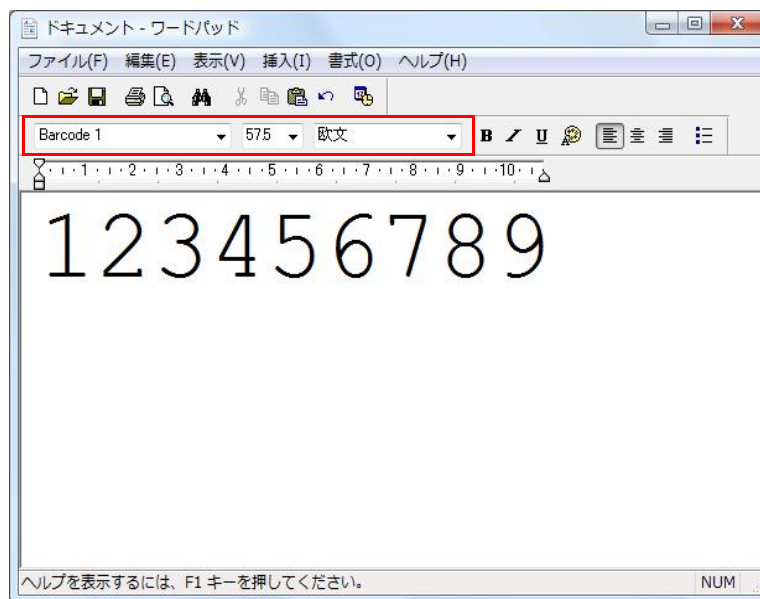
GS1 DataBar Expanded

- アプリケーション識別子の区切りを()で区別します。(HRI文字として印字されますが、エンコードはされません。)
- データに必ず、すべてのアプリケーション識別子を含めてください。
- 指定されたデータから、アプリケーション識別子、左カッコ、右カッコ、'*' を削除した最初データが 01 の場合、01 の次から数えて 14 桁目をチェックディジットとしてチェックされます。正しくない場合、エラーになります。
- 01 の次からのデータが 14 桁未満の場合、チェックディジットをチェックされません。
(GS1-128 とは異なり、文字 '*' によるチェックディジットの自動計算と付加はされません。'*' を指定した場合、'*' は無視され、以降のデータは 1 桁ずつシフトされます。)
- 特殊キャラクターは以下の形式で指定してください。

制御キャラクター	ASCII	HRI 文字
FNC1	{1	印字しない
アプリケーション識別子の左カッコ	(	(を印字
アプリケーション識別子の右カッコ	)	) を印字
'*'	{*	エラー
読み飛ばし文字	*	印字しない
'{'	{{	{ を印字

3

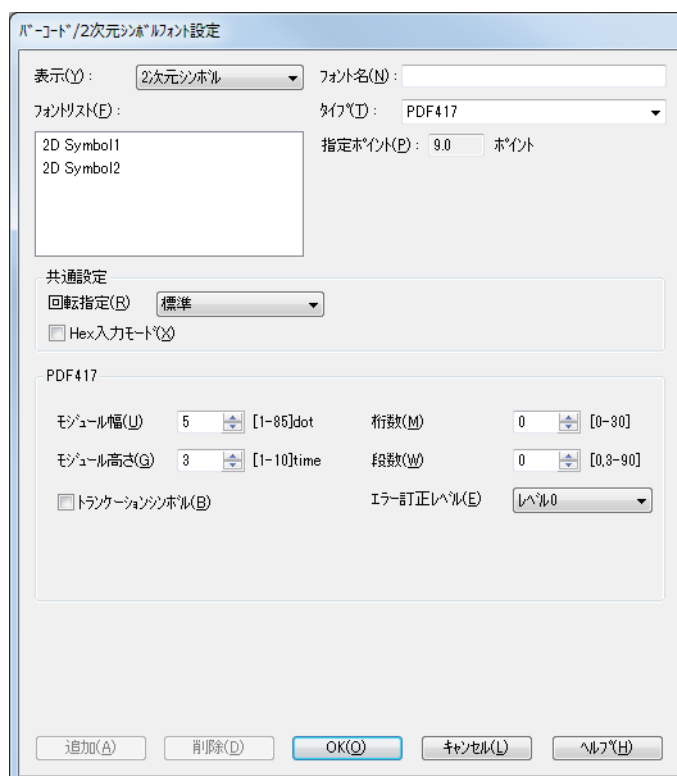
印刷方法

印刷データに、設定したバーコードフォント、指定ポイント、言語を指定し、印刷します。

- バーコードのフォントサイズは、[指定ポイント] の値から変更できません。それ以外の値を指定すると、バーコードは印刷されません。
- .NET アプリケーションなど、一部のアプリケーションではプリンタードライバーが登録したバーコードフォントを表示 / 選択できない場合があります。その場合は、「フォントの置き換え」機能を用いて、True Type フォントをバーコードフォントへ置き換えることでバーコード印刷ができます。134 ページ「.NET 環境でバーコード /2 次元シンボル印刷」を参照ください。

2 次元シンボル印刷

プリンタードライバーは、2 次元シンボルフォントを内蔵しています。アプリケーション側で 2 次元シンボルを生成しなくても、2 次元シンボルを印刷できます。

2 次元シンボルフォントの設定

2 次元シンボルの印刷設定は、[ドライバーユーティリティー] タブの [バーコード / 2 次元シンボルフォント設定] で行います。

1 以下の設定を行います。

•表示 :[2 次元シンボル] を選択します。

•フォント名 :任意の文字列を入力します。これが 2 次元シンボルフォントのフォント名になります。入力できる文字は ASCII のみです。

•タイプ :2 次元シンボルのタイプを選択します。選択したタイプにより、表示される設定項目が切り替わります。

•回転指定 :2 次元シンボルを回転させて印刷するときに選択します。

•Hex 入力モード :2 次元シンボルにするデータを Hex 入力モードで指定するときは、チェックします。

2 選択した [タイプ] により、設定をします。

• PDF417 の設定

＊モジュール幅： PDF417 のモジュール幅を設定します。
推奨値は、130 ページ「モジュールの推奨値」を参照してください。

＊モジュール高さ：PDF417 のモジュール高さを、モジュール幅に対する比率で設定します。
推奨値は、130 ページ「モジュールの推奨値」を参照してください。

＊桁数： PDF417 の桁数を入力します。

＊段数： PDF417 の段数を入力します。

＊トランケーションシンボル：
PDF417 のストップコードを省いたシンボルを作成するときは、チェックします。

＊エラー訂正レベル：
PDF417 のエラー訂正レベルを選択します。シンボルの一部が破損してもデータを読み取ることができ、数字が大きいほど復元率が高くなります。

• MicroPDF417 の設定

＊モジュール幅： MicroPDF417 のモジュール幅を設定します。
推奨値は、130 ページ「モジュールの推奨値」を参照してください。

＊モジュール高さ：MicroPDF417 のモジュール高さを、モジュール幅に対する比率で設定します。
推奨値は、130 ページ「モジュールの推奨値」を参照してください。

＊桁数： MicroPDF417 の桁数を入力します。

＊段数： MicroPDF417 の段数を入力します。

• QRCode の設定

＊モデル： QRCode のモデルを選択します。

＊モジュール： QRCode のセル (モジュール) の設定をします。
推奨値は、130 ページ「モジュールの推奨値」を参照してください。

＊エラー訂正レベル：
QRCode のエラー訂正レベルを選択します。シンボルの一部が破損してもデータを読み取ることができ、レベル L、M、Q、H の順に復元率が高くなります。

＊文字モード： QRCode に符号化する文字列のモードを指定します。

• MicroQRCode の設定

＊バージョン： MicroQRCode のバージョンを指定します。

＊モジュール： MicroQRCode のセル (モジュール) の設定をします。
推奨値は、130 ページ「モジュールの推奨値」を参照してください。

＊エラー訂正レベル：
MicroQRCode のエラー訂正レベルを選択します。シンボルの一部が破損してもデータを読み取ることができ、レベル L、M の順に復元率が高くなります。

• MaxiCode の設定

＊モード： MaxiCode のモードを選択します。

• GS1 DataBar の設定

＊モジュール： GS1 DataBar のモジュール幅を設定します。
推奨値は、130 ページ「モジュールの推奨値」を参照してください。

＊キャラクター数：GS1 DataBar の最大幅を設定します。
2 次元シンボルが、GS1 DataBar Expanded Stacked 選択時に設定します。

- AztecCode の設定
  - ＊ タイプ：　AztecCode のタイプを選択します。
  - ＊ セルのサイズ：　AztecCode のセル (モジュール) のサイズを設定します。
    推奨値は、130 ページ「モジュールの推奨値」を参照してください。
  - ＊ レイヤーの数：　AztecCode のレイヤー数を指定します。
  - ＊ エラー訂正領域：AztecCode のエラー訂正領域を以下のどちらかで指定します。シンボルの一部が破損してもデータを読み取ることができ、数字が大きいほど復元率が高くなります。
    [自動]：デフォルト値は 23%+3 コードワードです。
    [パーセンテージで指定する]：エラー訂正領域を入力ボックスに入力したパーセンテージで指定します。
- DataMatrix の設定
  - ＊ シンボルの形：　DataMatrix のシンボルの形を選択します。
  - ＊ エラー訂正レベル：
    DataMatrix のエラー訂正レベルを選択します。
  - ＊ セルのサイズ：　DataMatrix のセル (モジュール) のサイズを設定します。
    推奨値は、130 ページ「モジュールの推奨値」を参照してください。
  - ＊ 縦方向のセルの数：
    DataMatrix の縦方向のセルの数を指定します。
    DataMatrix のシンボルの形を " 長方形 " 選択時に設定します。
  - ＊ 横方向のセルの数：
    DataMatrix の横方向のセルの数を指定します。
    DataMatrix のシンボルの形を " 長方形 " 選択時に設定します。
    [最小化する]：自動的に最小のセルの数に最適化します。
    [サイズを指定する]：選択したサイズに設定します。

3

[追加] をクリックします。

設定した 2 次元シンボルフォントが登録され、フォントリストにフォント名が追加されます。

- 2 次元シンボルフォントは、30 個まで登録できます。
- フォントリストのフォント名を選択し、設定を変更してから [保存] をクリックすると、設定した 2 次元シンボルフォントの設定を上書き保存できます。
- フォントリストのフォント名を選択し、[削除] をクリックすると、設定した 2 次元シンボルフォントを削除できます。

モジュールの推奨値

モジュールの推奨値は、用紙種類、2次元シンボルの種類および印刷方向によって異なります。

スタック型2次元シンボル

- 普通紙ラベル

2次元シンボル	最小モジュール [600 dpi 単位]	
	ANSI グレード C 以上	ANSI グレード B 以上
PDF417	5	5
MicroPDF417	5	6
GS1 DataBar Stacked GS1 DataBar Stacked Omnidirectional GS1 DataBar Expanded Stacked	5	5

- 合成紙ラベル

2次元シンボル	最小モジュール [600 dpi 単位]	
	ANSI グレード C 以上	ANSI グレード B 以上
PDF417	5	5
MicroPDF417	5	5
GS1 DataBar Stacked GS1 DataBar Stacked Omnidirectional GS1 DataBar Expanded Stacked	5	5

- マット紙ラベル / 光沢紙ラベル

2次元シンボル	最小モジュール [600 dpi 単位]	
	ANSI グレード C 以上	ANSI グレード B 以上
PDF417	5	5
MicroPDF417	5	5
GS1 DataBar Stacked GS1 DataBar Stacked Omnidirectional GS1 DataBar Expanded Stacked	5	6

マトリクス型 2 次元シンボル

- 普通紙ラベル

2 次元シンボル	最小モジュール [600 dpi 単位]	
	ANSI グレード C 以上	ANSI グレード B 以上
QR Code	10	12
Micro QR Code	12	12
AztecCode	8	9
DataMatrix	8	10
Maxi Code	21	21

- 合成紙ラベル

2 次元シンボル	最小モジュール [600 dpi 単位]	
	ANSI グレード C 以上	ANSI グレード B 以上
QR Code	10	11
Micro QR Code	12	12
AztecCode	8	9
DataMatrix	8	9
Maxi Code	21	21

- マット紙ラベル / 光沢紙ラベル

2 次元シンボル	最小モジュール [600 dpi 単位]	
	ANSI グレード C 以上	ANSI グレード B 以上
QR Code	9	11
Micro QR Code	11	12
AztecCode	8	9
DataMatrix	7	9
Maxi Code	21	21

2 次元シンボルデータの指定方法

2 次元シンボルデータは以下を参照して指定してください。

PDF417/MicroPDF417

- 桁数と段数が 0 の場合、自動計算されます。
- 0 以外を指定する場合、桁数と段数の積が 928 以下になるように指定してください。

QRCode

- データのサイズによって、収まるバージョンに自動的に変更されます。

Micro QRCode

- サイズが自動的に決定されます。

MaxiCode

- 特殊キャラクターは以下の形式で指定してください。

制御キャラクター	16 進数表記
SHIFT	0x7B,0x53
CODE B	0x7B,0x42
CODE C	0x7B,0x43
FNC1	0x7B,0x31
FNC2	0x7B,0x32
FNC3	0x7B,0x33
FNC4	0x7B,0x34

DataMatrix

- データが '{' で、直後のデータが以下に該当しない場合、エラーになります。

制御キャラクター	ASCII
FNC1	{1
'{'	{{

GS1 DataBar Stacked / GS1 DataBar Stacked Omnidirectional

- データの先頭にアプリケーション識別子 01 を含めないでください。
- データにチェックディジットを付加する必要はありません。
- コンポジットシンボル付きの2次元シンボル印刷をサポートしています。コンポジットシンボル付きの2次元シンボルを印刷する場合には、コンポジットシンボルに指定するデータとバーコードに指定するデータは、「¥|」または「|¥」で区切ってください。また、データは、コンポジットシンボル、2 次元シンボルの順に指定してください。

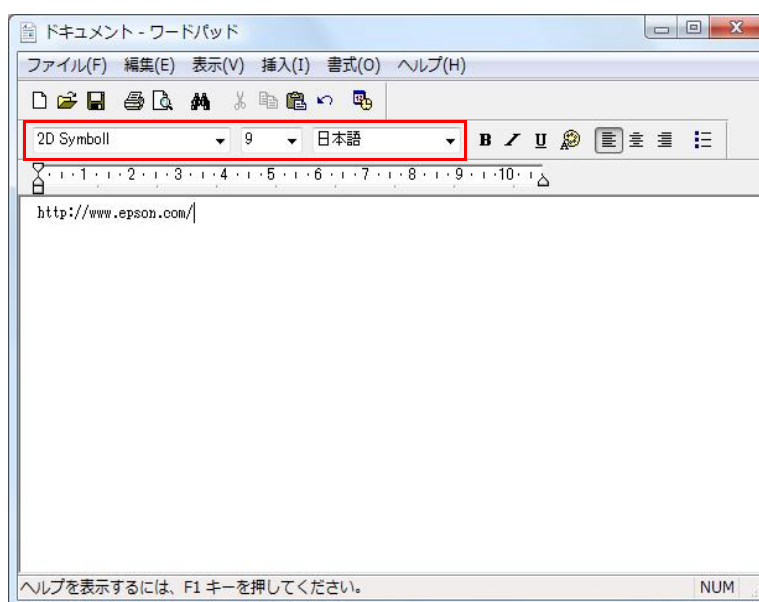
GS1 DataBar Expanded Stacked

- GS1 DataBar エクスパンデッドを多段シンボルにしたものです。データの指定方法は GS1 DataBar エクスパンデッドと同じです。（詳細は 125 ページ「GS1 DataBar Expanded」を参照）
- コンポジットシンボル付きの2次元シンボル印刷をサポートしています。コンポジットシンボル付きの2次元シンボルを印刷する場合には、コンポジットシンボルに指定するデータとバーコードに指定するデータは、「¥|」または「|¥」で区切ってください。また、データは、コンポジットシンボル、2 次元シンボルの順に指定してください。

AztecCode

- フルレンジモードとコンパクトモードをサポートしています。

印刷方法

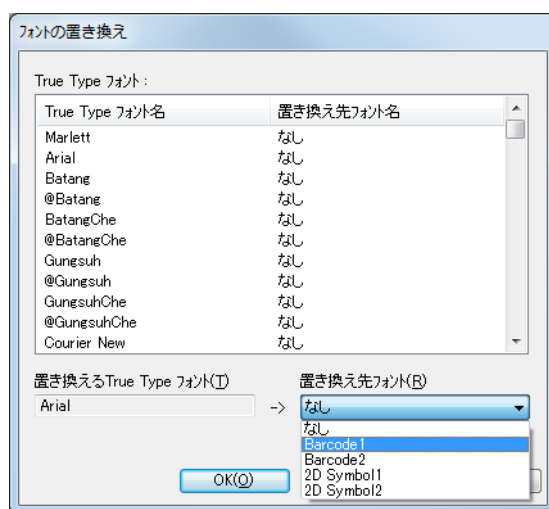
印刷データに、設定した 2 次元シンボルフォント、指定ポイント、言語を指定し、印刷します。

- 2 次元シンボルのフォントサイズは、[指定ポイント] の値から変更できません。それ以外の値を指定すると、2 次元シンボルは印刷されません。
- NET アプリケーションなど、一部のアプリケーションではプリンタードライバーが登録した 2 次元シンボルフォントが表示 / 選択できない場合があります。その場合は、「フォントの置き換え」機能を用いて、True Type フォントを 2 次元シンボルフォントへ置き換えることでバーコード印刷ができます。134 ページ「.NET 環境でバーコード /2 次元シンボル印刷」を参照ください。

.NET 環境でバーコード /2 次元シンボル印刷

.NET Framework は､True Type フォントと Open Type フォントだけをサポートしているため､アプリケーションから、プリンタードライバーに登録されたバーコード /2 次元シンボルフォントを印刷できません。このため、プリンタードライバーのフォント置き換え機能を使って、True Type フォントをバーコード /2 次元シンボルフォントに置き換えます。これにより .NET Framework 環境のアプリケーションからでも、バーコード /2 次元シンボルフォントを印刷できます。

アプリケーションの印刷データは True Type フォント名ですが、印刷するとバーコード /2 次元シンボルになります。

フォントの置き換え

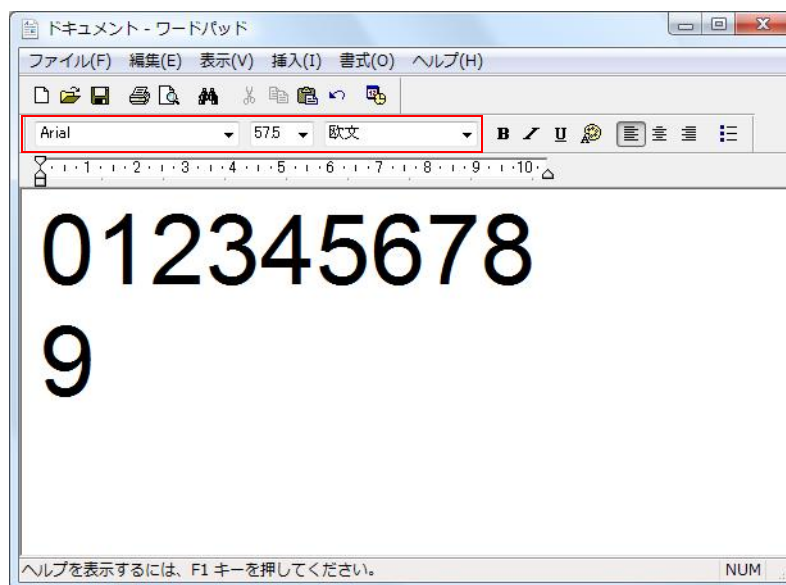
フォントの置き換えは、[ドライバーユーティリティー] タブの [フォントの置き換え] で設定します。

1 以下の設定を行います。

•置き換える True Type フォント
　＊置き換え元の [True Type フォント] を選択します。

•置き換え先フォント
　＊置き換える先のバーコード /2 次元シンボルを選択します。

2 [OK] をクリックします。
True Type フォントが、バーコード /2 次元シンボルに置き換えられます。

バーコード /2 次元シンボルの印刷

印刷データに、バーコード /2 次元シンボルフォントに置き換えた True Type フォント、指定されたポイント数 、言語を指定します。

- バーコード /2 次元シンボルのポイント数は決められています。
  [ドライバーユーティリティー]-[バーコード /2 次元シンボル設定] で確認してください。それ以外の値を指定すると、バーコード /2 次元シンボルは印刷しません。
- 置き換え元の True Type フォントは、バーコード /2 次元シンボルの指定以外は使用できません。このフォントで他の文字を指定しても印刷しません。そのため、置き換えフォントには印刷に使用しないフォントを選択してください。

バンディング低減

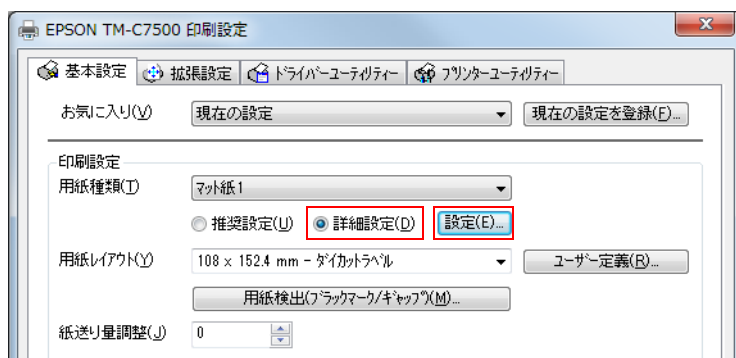
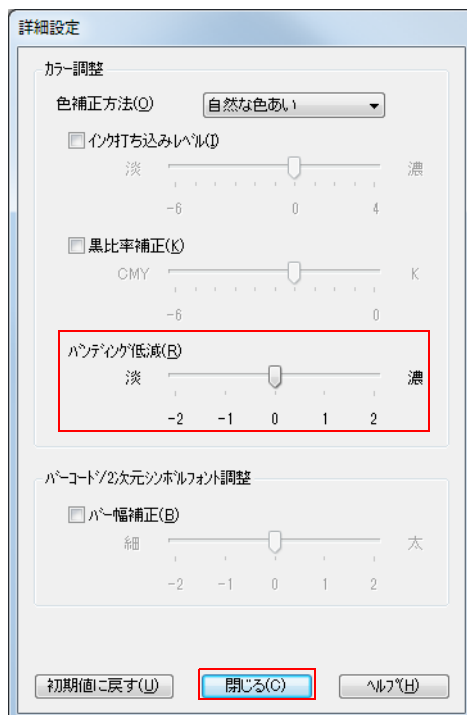
バンディング（印刷物のスジ）を低減して、印刷結果をきれいにすることができます。

バンディングの内容については、トラブルシューティング 160 ページ「「バンディング低減」の設定値が不適切である。」を参照

以下の手順でバンディングを低減します。

1 プリンタードライバーを表示させます。

プリンタードライバーの表示方法は、73 ページ「プリンタードライバーの表示方法」参照

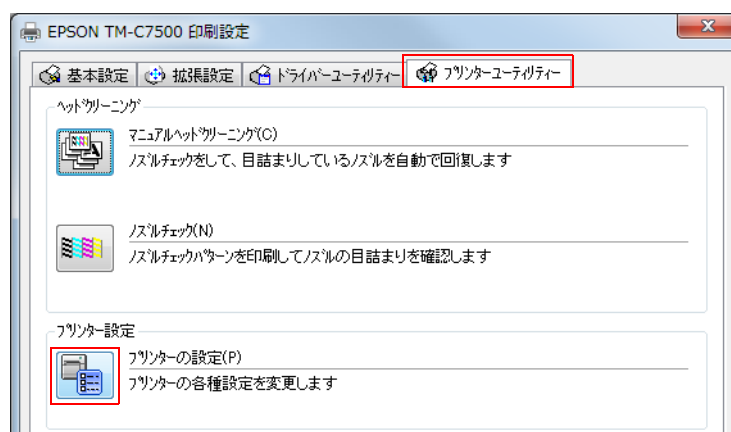
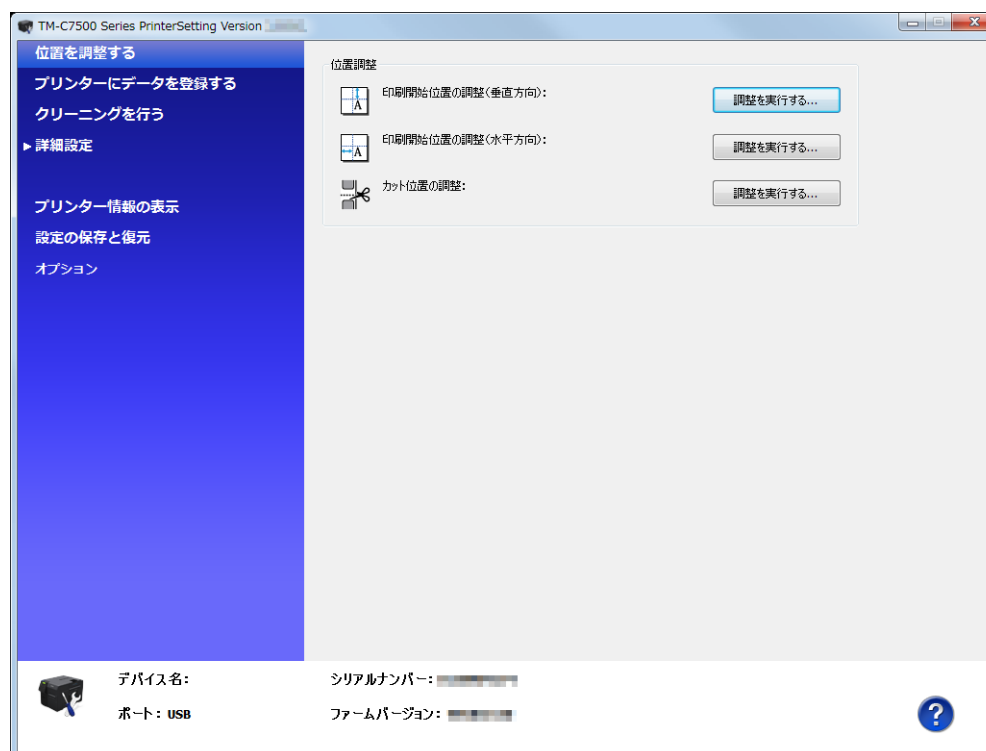
2 ˝基本設定˝画面で、[印刷設定]の[詳細設定]を選択します。選択後、[設定]をクリックします。

3 ˝詳細設定˝画面が表示されます。[バンディング低減]の設定を変更します。[閉じる]をクリックします。

4 ˝基本設定˝画面に戻ります。[OK] をクリックします。

プリンタードライバーから PrinterSetting を起動する

以下の手順でプリンタードライバーから PrinterSetting を起動します。

1 プリンタードライバーを表示させせます。

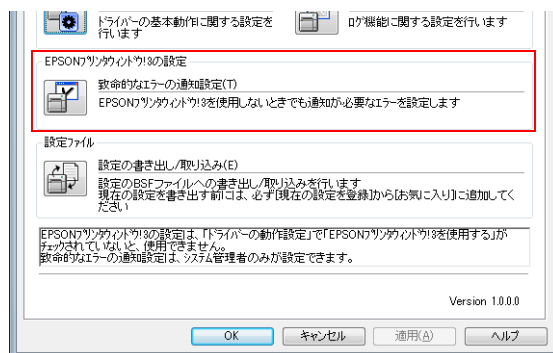
プリンタードライバーの表示方法は、73 ページ「プリンタードライバーの表示方法」参照

2 ［プリンターユーティリティー］タブを選択します。［プリンターの設定］をクリックします。

3 "TM-C7500 Series PrinterSetting" 画面が表示されます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 の設定

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用すると、印刷したときに用紙種類やインク残量をポップアップウィンドウで表示します。また、致命的なエラーが発生したときには、エラー画面を表示します。

初期設定では「使用しない」に設定されています。それでも致命的なエラーが発生したときには、エラー画面を表示させることができます。

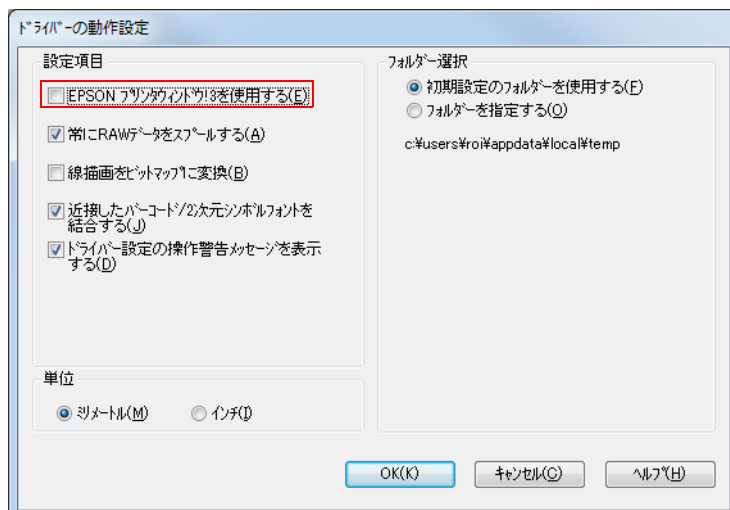
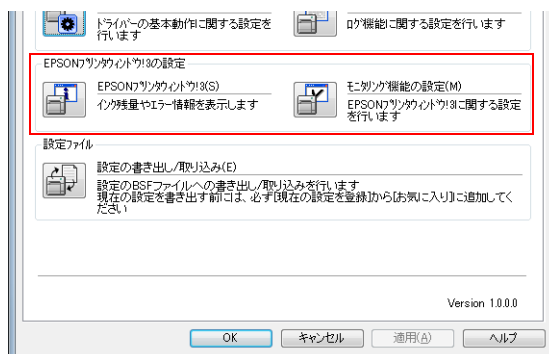
EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する / 使用しない

初期設定では、「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用しない」になっています。この場合、ドライバーユーティリティーの EPSON プリンタウィンドウ !3 の設定には、「致命的なエラーの通知設定」が表示されています。

「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する」にする方法は以下のとおりです。

1 本製品の電源を入れます。

2 プリンタードライバーを表示します。
プリンタードライバーの表示方法は、73 ページ「プリンタードライバーの表示方法」参照

3 [ドライバーユーティリティー] タブを選択し、[ドライバー動作設定] の [ドライバーの動作設定] をクリックします。

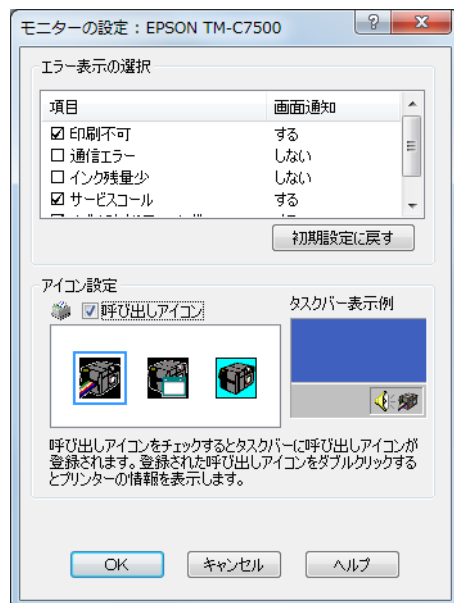
4 「ドライバーの動作設定」画面が表示されます。[EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する] にチェックし、[OK] をクリックします。

5 ドライバーユーティリティー画面の「EPSON プリンタウィンドウ !3 の設定」には、「EPSON プリンタウィンドウ !3」と「モニタリング機能の設定」が表示されます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する

「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する」に設定すると以下の動作をします。

- 印刷時に自動的に画面が表示され、プリンターの状態やインク残量を確認することができます。
- 印刷中のプリンターにエラーが発生すると、エラー内容が表示されます。
  印刷していないときは、プリンターがエラーになっても、EPSON プリンタウィンドウ !3 は起動しません。
- タスクトレイの「EPSON プリンタウィンドウ !3」のアイコンをクリックすると、いつでも「EPSON プリンタウィンドウ !3」を表示させることができます。
  （アイコンの表示方法は、143 ページ「アイコンの表示」を参照してください）

EPSON プリンタウィンドウ !3 表示画面

タスクトレイのアイコン

- 「モニタリング機能の設定」では、以下の設定ができます。
  エラー表示の選択
  （141 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用しない場合のエラー通知設定」を参照してください）
  「EPSON プリンタウィンドウ !3」アイコンを、タスクバーに表示させる。
  （143 ページ「アイコンの表示」を参照してください）

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用しない場合のエラー通知設定

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用しない場合の、エラー通知方法は以下のとおりです。

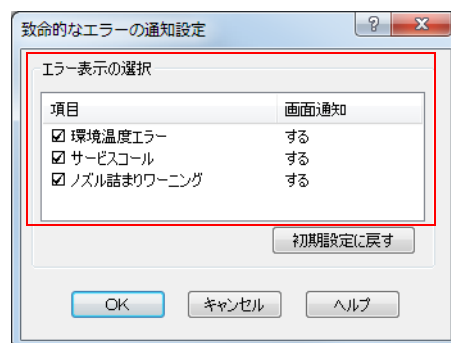
1 本製品の電源を入れます。

2 プリンタードライバーを表示します。

プリンタードライバーの表示方法は、73 ページ「プリンタードライバーの表示方法」参照

3 [ドライバーユーティリティー] タブを選択し、[致命的なエラーの通知設定] をクリックします。

EPSON プリンタウィンドウ !3 が有効の場合、[致命的なエラーの通知設定] は表示されません。（138 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する / 使用しない」を参照して、EPSON プリンタウィンドウ !3 を無効にしてください。）

4 " 致命的なエラーの通知設定 " 画面が表示されます。エラー発生時に表示させたい項目をチェックし、[OK] をクリックします。

- 環境温度エラー：プリンター温度上昇時（初期設定：画面通知 [する]）
- サービスコール：印刷不可やサービスコール発生時（初期設定：画面通知 [する]）
- ノズル詰まりワーニング：ノズルが詰まり時（初期設定：画面通知 [する]）

3

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する場合のエラー通知設定

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する場合の、エラー通知方法は以下のとおりです。

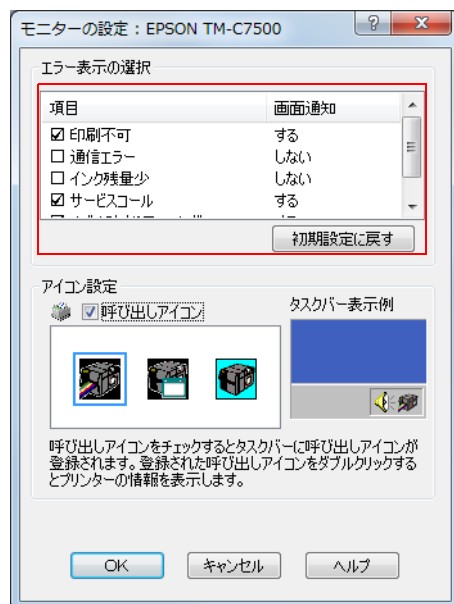
1 本製品の電源を入れます。

2 プリンタードライバーを表示します。

プリンタードライバーの表示方法は、73 ページ「プリンタードライバーの表示方法」参照

3 [ドライバーユーティリティー] タブを選択し、[モニタリング機能の設定] をクリックします。

EPSON プリンタウィンドウ !3 が無効の場合、[モニタリング機能の設定] は表示されません。（138 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する / 使用しない」を参照して、EPSON プリンタウィンドウ !3 を有効にしてください。）

4 ˝ モニターの設定 ˝ 画面が表示されます。エラー発生時に表示させたい項目をチェックし、[OK] をクリックします。

- 印刷不可 :用紙 / インク交換発生時（初期設定：画面通知 [する]）
- 通信エラー :プリンターの電源が切れている時（初期設定：画面通知 [しない]）
- インク残量少 :インク残量少時（初期設定：画面通知 [しない]）
- サービスコール :プリンターエラー発生時（初期設定：画面通知 [する]）
- ノズル詰まりワーニング :ノズル詰まり時（初期設定：画面通知 [する]）

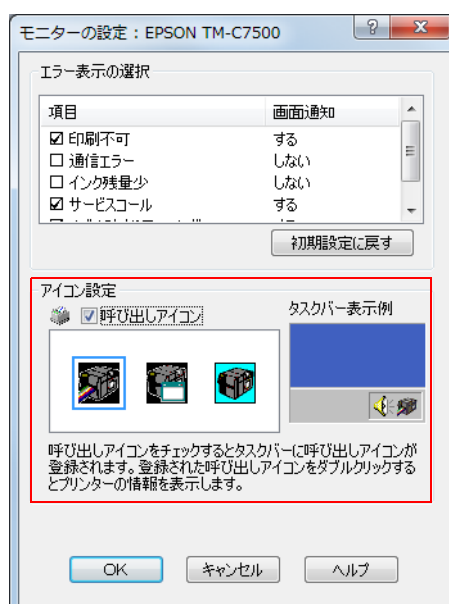
アイコンの表示

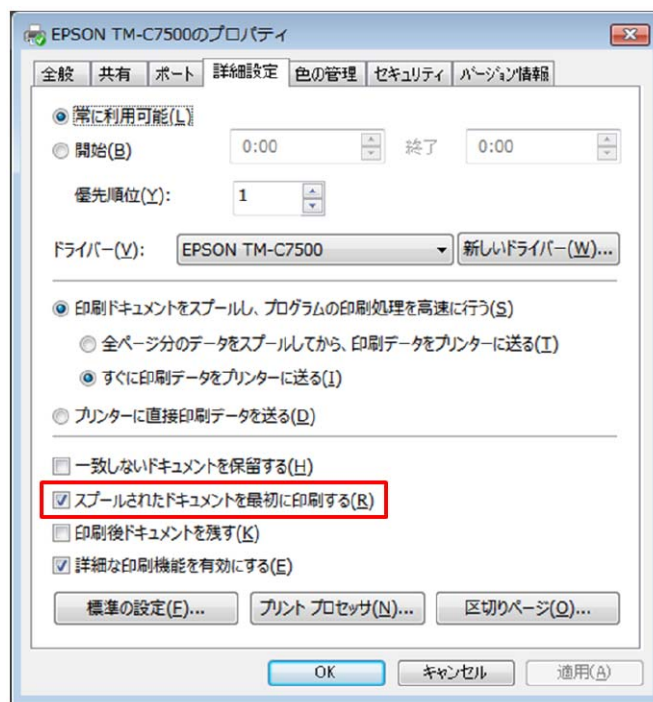
タスクトレイにアイコンを常駐させ、プリンターの状態をすぐに確認することができます。初期設定ではアイコンを表示しません。アイコンの表示方法は以下のとおりです。

1 本製品の電源を入れます。

2 プリンタードライバーを表示します。
プリンタードライバーの表示方法は、73 ページ「プリンタードライバーの表示方法」参照

3 [ドライバーユーティリティー] タブを選択し、[モニタリング機能の設定] をクリックします。

4 ˝モニターの設定˝画面が表示されます。[呼び出しアイコン] をチェックし、タスクバーに表示するアイコンの種類を選択します。[OK] をクリックします。

プリンタードライバーの制限事項

- 双方向サポートは有効の状態で使用してください。
- プリンタードライバーではプリセット画像の印刷はできません。
- 複数のジョブを順番どおりに印刷したい場合、[スプールされたドキュメントを最初に印刷する]を無効に設定してください。[スプールされたドキュメントを最初に印刷する] を有効にして複数のジョブを印刷した場合、印刷実行順と出力順が異なることがあります。

- エプソンのプリンタードライバーを使用する場合は、ESC/Label コマンドのコントロールプレフィックス、フォーマットプレフィックス、デリミタ文字の設定は初期値のまま使用してください。変更した場合、印刷が行われないか、意図しない印刷がされるようになります。
  初期値は 78 ページ「操作パネルの設定」の [ﾌﾟﾘﾝﾀｰｾｯﾃｲ 3] の項目を参照

USB プリンタークラスデバイス置き換えサービス

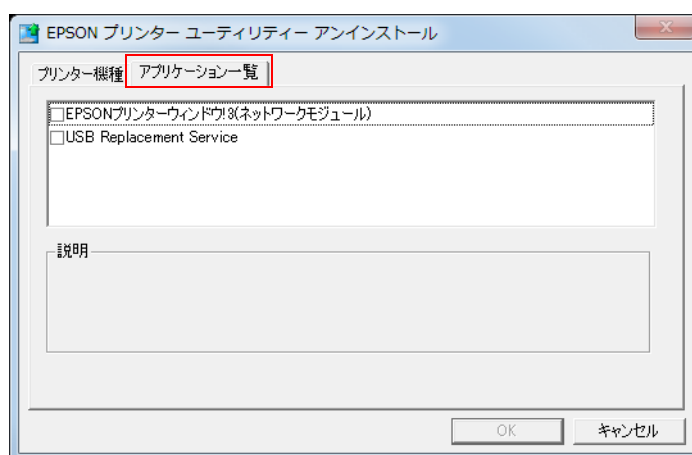
コンピューターに常駐させるサービスです。本製品を修理などのために置き換えた場合、プリンターの接続を検知してプリンタードライバーの出力するプリンターを自動的に変更します。

アプリケーション側の設定を変更しないでもプリンターを置き換えられます。（アプリケーションの出力先をポートに指定している場合は置き換えられません。プリンタードライバーを指定している場合に置き換えられます。）

本製品の USB シリアルナンバーを事前に書き換える必要がありません。

USB プリンタークラス デバイス置き換えサービスのアンインストール

USB プリンタークラス デバイス置き換えサービスは、コントロールパネルのプログラム一覧に表示されません。アンインストールをする場合、以下の手順で行ってください。

1. コンピューター上で起動しているすべてのアプリケーションを終了してください。
2. ［スタート］-［コントロールパネル］-［プログラムのアンインストール］-［EPSON プリンタードライバー・ユーティリティー］を選択します。〝アンインストールと変更〝をクリックします。
3. 〝EPSON プリンターユーティリティーアンインストール〝画面が表示されます。[アプリケーション一覧] タブを選択します。

4. [USB Replacement Service] の項目をチェックし、[OK] をクリックします。
   [OK] をクリックすると、アンインストールが開始されます。
5. アンインストールの完了画面が表示されます。[OK] をクリックします。

3

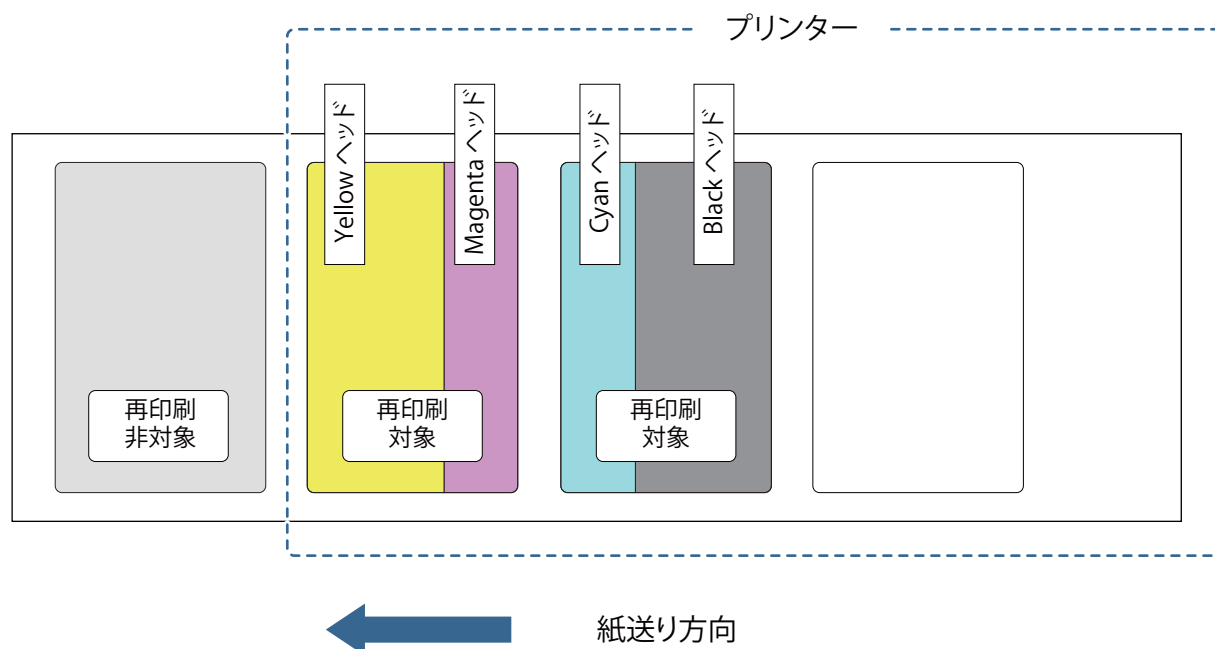
USB プリンタークラス デバイス置き換えサービスの制限事項

Windows 8、または Windows Server 2012 で USB プリンタークラス デバイス置き換えサービスを使用する場合、以下の制限があります。

- プリンターを置き換えた後、" デバイスとプリンター" 画面で [通常使うプリンター] を示す緑色のチェックマークが、プリンターを置き換える前のプリンター上に表示されることがあります。または、チェックマークが表示されないことがあります。この場合には、以下の方法でチェックマークの表示を補正することができます。
  - ＊ デスクトップ画面に戻り、再度、" デバイスとプリンター " 画面を開き直してください。
  - ＊ プリンタードライバーを右クリックして、[通常使うプリンターに設定] を選択してください。
  - ＊ ユーザーアカウントをログオフしてオペレーティングシステムを再起動してください。

再印刷処理

印刷中にフェータルエラーおよびメンテナンスエラー以外のエラーが発生した場合、再印刷が行われます。

3

- 印刷中とは、頭出し動作から Yellow ヘッドの印刷動作が終了するまでの処理を指します。
- 本製品は 4 色ライン印刷方式を採用しているため、一部のヘッドまでの印刷が完了した未完成の印字が、使用するラベルの長さによっては複数枚発生する場合があります。
- 再印刷はページ単位で行われます。
- 再印刷要因となるエラーを、ジョブキャンセル、リセット、および電源の入 / 切により解除した場合、再印刷は行われません。

Dip スイッチの設定

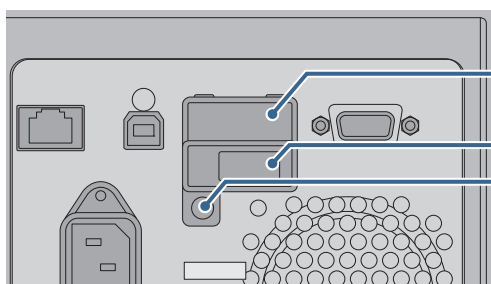
本製品には Dip スイッチがあります。Dip スイッチはすでに設定されているので、必要に応じて再設定してください。

設定手順

Dip スイッチの設定変更は、以下の手順で行います。

注意	Dip スイッチカバーを外すときは、本製品の電源を切ってください。電源を入れたまま Dip スイッチカバーを外すと、ショートなどにより、本製品が故障するおそれがあります。
	Dip スイッチの設定は、電源投入時のみ有効です。以降切り替えても機能は変化しません。

1 本製品の電源が入っていないことを確認します。

2 本製品背面の Dip スイッチカバー取り付けネジを外し、Dip スイッチカバーを開けます。

3 ピンセットなどの先の細い物を使って、Dip スイッチの設定をします。

4 Dip スイッチカバーを閉じ、ネジで固定します。

機能

スイッチ番号	ON	OFF	デフォルト
1	パワースイッチ無効 (電源ボタンの処理 : リセット)	パワースイッチ有効 (電源ボタンの処理 : 電源入 / 切)	OFF
2	禁止 (設定を変更しないでください。)		OFF
3	予約 (設定を変更しないでください。)		OFF
4	予約 (設定を変更しないでください。)		OFF

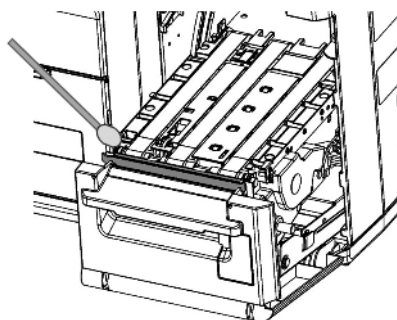
注意

- Dip スイッチ番号 2 ～ 4 は変更しないでください。
- Dip スイッチの下部に搭載されている SDHC カードは、取り外したり交換したりしないでください。本製品に不具合が発生するおそれがあります。

クリーニング

オートカッターのクリーニング

オートカッターの固定刃にラベル紙の粘着剤が付着して、紙が切れにくくなる場合があります。
その場合、以下の手順でオートカッターをクリーニングします。

1. 本製品の電源を切ります。またコンセントから電源コードを外します。
2. ロール紙カバーを開き、用紙を取り外します。
   58 ページ「用紙交換時の排紙」を参照
3. ロール紙カバー側のオートカッター固定刃に付着した粘着物を、綿棒などで取り除きます。また、必要に応じて、綿棒にアルコールを含ませます。

警告	けがをするおそれがあるため、クリーニングの際にオートカッター固定刃を直接指で触れないでください。

外装のクリーニング方法

本製品の外装をクリーニングする場合、必要に応じて消毒用エタノールもしくは消毒用イソプロピルアルコールを染み込ませた脱脂綿で清掃してください。

本製品をインク充てん後に長期保存する場合

本製品の保存

本製品を、インク充てん後 (使用開始後) に長期間使用しない場合、以下の手順に従って保存してください。

1 ノズルチェック印刷を行い、ドット抜けなどの印字不良が発生していないことを確認します。ドット抜けなどの印字不良が発生している場合には、マニュアルヘッドクリーニングを行ってください。

71 ページ「印字確認」を参照

ドット抜けが発生している状態のまま本製品を保存すると、ノズル内のインクが固まってノズルが詰まり、再稼動時に印字不良の回復が困難になるおそれがあります。

インク充てん後に本製品を輸送した場合、振動などにより、ドット抜けが発生している場合があります。

2 印刷終了後、電源ボタンを押して本製品の電源を切ります。

本製品の長期保存の前に電源を切るときは、必ず電源ボタンを押してください。
Dip スイッチ 1 が ON に設定されている (電源ボタンの動作が、本製品のリセットに設定されている) 場合、Dip スイッチ 1 を OFF に設定してください。

148 ページ「Dip スイッチの設定」を参照

3 本製品を冷暗所 (0 ℃～ 25 ℃) にて保管します。

本製品の保存期間は、6ヵ月です。

インクカートリッジは挿入したまま保管してください。

本製品の再稼動

長期保存後の本製品を再稼動する場合、以下の手順に従ってください。

1 インクカートリッジの使用期限が切れていないか確認します。

以下の場合はインクカートリッジを交換してください。
インクカートリッジの交換方法は 38 ページ「インクカートリッジの取り付け」を参照

- インクカートリッジが製造後 2 年を超えている
- インクカートリッジを開封後 6ヵ月を超えている

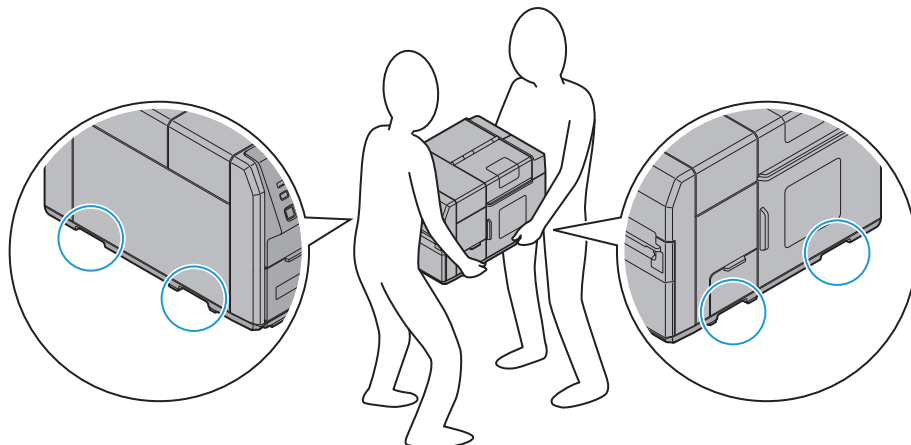
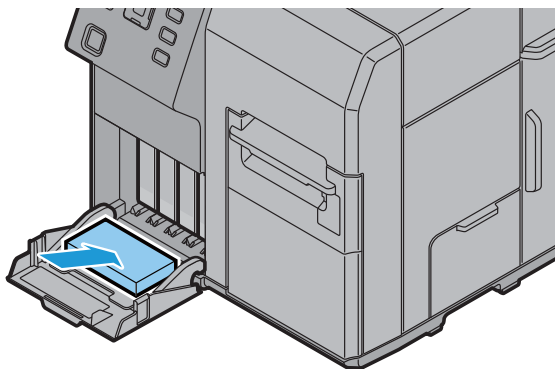
2 本製品の電源を入れます。
ノズル自己診断システムによりノズル詰まり検出とヘッドクリーニングが行われます。

注意　ヘッドクリーニング動作中は、本製品の電源を切ったり、インクカートリッジカバー、フロントカバー、巻き取り装置接続カバー、メンテナンスボックスカバー、紙セットカバーを開けたりしないでください。

3 ノズルチェック印刷を行い、ドット抜けなどの印字不良が発生していないか確認します。

輸送時の処置

以下の点に注意して、本製品を輸送します。

- 本製品の質量は約 37 kg です。本製品を持ち上げる際は、本製品を 2 人で挟み、本製品底面のくぼみを持って持ち上げてください。下図以外の部分に手をかけて運ぶと本製品が破損する原因となります。

- 本製品を輸送する際は、ロール紙を取り外してください。
- 本製品を輸送する際は、インクカートリッジおよびメンテナンスボックスを取り外さないでください。
- 本製品を輸送する際は、電源ボタンで電源を切ってから、専用の梱包箱に入れて輸送してください。
- 本製品を輸送する際は、付属品の保護材を以下の手順で使用してください。
  手順 1: インクカートリッジカバーを開けます。
  手順 2: 保護材をインクカートリッジカバーに置きます。

  手順 3: インクカートリッジカバーを閉めます。
- 本製品を輸送する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。転倒などによる事故の原因となります。
- 本製品を輸送する際は、上下逆さま、もしくは横倒しにしないでください。

トラブルシューティング

エラー処理

LCD 表示 エラー種類	エラーの内容	解除方法
ﾖｳｼﾅｼ 用紙なし	用紙がない	「ロール紙の場合」 1. 用紙カバーを開けます。 2. ロール紙カバーを開けます。 3. 残りの用紙、巻芯が残っている場合、それらを取り除きます。 4. 新しい用紙をセットします。 5. 用紙をオートローディングします。 6. 用紙カバーとロール紙カバーを閉じます。 「ファンフォールド紙の場合」 1. 用紙カバーを開けます。 2. 残りの用紙を取り除きます。 3. 新しい用紙をセットします。 4. 用紙をオートローディングします。 5. 用紙カバーを閉じます。
ﾖｳｼｹﾝｼｭﾂｴﾗｰ 用紙検出エラー	「用紙検出設定」に対して、セットされた用紙形態が異なる	「用紙検出設定」に合った用紙をセットするか、用紙に合った「用紙検出設定」に変更します。
	ラベル印刷アプリケーションあるいはラベル印刷アプリケーションメーカー製のプリンタードライバーの用紙種類の設定に対して、セットされた用紙形態が異なる	ラベル印刷アプリケーションあるいはラベル印刷アプリケーションメーカー製のプリンタードライバーの用紙種類の設定に合った用紙をセットするか、用紙に合った設定に変更します。 設定の変更方法は、206 ページ「ラベル印刷アプリケーション使用時の用紙検出 / 用紙経路設定」を参照してください。
	操作パネル - 「お気に入り」の設定に対して、セットされた用紙形態が異なる	操作パネルの「お気に入り」機能を使っている場合は、操作パネル - 「お気に入り」で登録されている用紙形態に合った用紙をセットするか、用紙に合った「お気に入り」の設定をパネル上で選択します。 本エラー中は「お気に入り」の設定を変更できません。
ﾖｳｼｻｲｽﾞｴﾗｰ L 用紙サイズエラー	印刷データの大きさに対して、用紙のサイズが異なる（送り方向）	印刷領域に合った用紙をセットするか、用紙サイズに合った印刷領域をセットします。
ﾖｳｼｻｲｽﾞｴﾗｰ W 用紙サイズエラー	印刷データの大きさに対して、用紙のサイズが異なる（紙幅方向）	印刷領域に合った用紙をセットするか、用紙サイズに合った印刷領域をセットします。

3

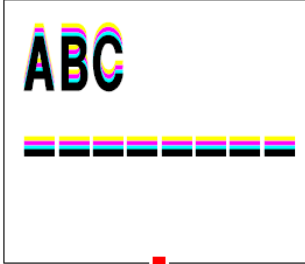
LCD 表示 エラー種類	エラーの内容	解除方法
ﾖｳｼﾂﾞﾏﾘｴﾗｰ ## (##: D1~D5, DC, 11~15, 21~25, 51, 61) 用紙詰まりエラー	プリンター内で用紙が詰まっている	1. 用紙カバーを開けます。 2. フロントカバーを開けます。 フロントカバーが開かない場合、カッター刃がロックしている可能性があります。本製品の電源を入れ直してください。 3. 紙経路上にある用紙をすべて取り除きます。 4. フロントカバーを閉じます。 5. 用紙をオートローディングします。 6. 用紙カバーを閉じます。
ﾖｳｼﾅｼｴﾗｰ 用紙なしエラー	印刷途中で用紙が無くなった	紙経路上に用紙が残っている場合、用紙を取り除き、新しい用紙をセットします。
ﾖｳｼｹｲﾛｴﾗｰ 用紙経路エラー	「給紙方法設定」に対して、セットされている用紙の給紙方法が異なる	「給紙方法設定」に合った用紙をセットするか、用紙に合った「給紙方法設定」に変更します。
	ラベル印刷アプリケーションあるいはラベル印刷アプリケーションメーカー製のプリンタードライバー上の用紙供給方法の設定に対して、セットされた供給形態が異なる	ラベル印刷アプリケーションあるいはラベル印刷アプリケーションメーカー製のプリンタードライバー上の用紙供給方法の設定を、セットした用紙供給に合わせます。 設定の変更方法は、206 ページ「ラベル印刷アプリケーション使用時の用紙検出 / 用紙経路設定」を参照してください。
ﾖｳｼｼﾞｮｷｮｴﾗｰ 用紙除去エラー	用紙が正しくセットされていない、もしくは排出動作後の用紙が取り除かれていない	「プラテン上に用紙が残っていない場合」 用紙の再セットを行います。 「プラテン上に用紙が残っている場合」 1. 用紙カバーを開けます。 2. フロントカバーを開けます。 3. 紙経路上にある用紙をすべて取り除きます。 4. フロントカバーを閉じます。 5. 用紙をオートローディングします。 6. 用紙カバーを閉じます。
	ロール紙の残りが少なくなった状態で、印刷がロール紙の終端付近で終わった	ロール紙を交換します。
ﾛｰﾙｼｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ ロール紙カバーオープン	ロール紙カバーが開いている	ロール紙カバーを閉じます。
ｶﾐｾｯﾄｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ 用紙カバーオープン	用紙カバーが開いている	用紙カバーを閉じます。
ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ フロントカバーオープン	フロントカバーが開いている	フロントカバーを閉じます。

LCD 表示 エラー種類	エラーの内容	解除方法
ｲﾝｸｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ インクカートリッジカバーオープン	インクカートリッジカバーが開いている	インクカートリッジカバーを閉じます。
ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞﾅｼ インクカートリッジなし	インクカートリッジが装着されていない。	1. インクカートリッジカバーを開けます。 2. 十分な残量のあるインクカートリッジを装着します。 3. インクカートリッジカバーを閉じます。
ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞｴﾗｰ インクカートリッジ読み取りエラー	インクカートリッジの情報が読み取れない	1. インクカートリッジカバーを開けます。 2. インクカートリッジを取り除きます。 3. 再度、インクカートリッジを装着します。 4. インクカートリッジカバーを閉じます。 5. 再度エラーが発生するときは、新しいインクカートリッジに交換します。
ﾋｼﾞｭﾝｾｲﾋﾝﾃﾞｽﾎﾝﾗｲﾉｾｲﾉｳｶﾞﾊｯｷﾃﾞｷﾅｲﾊﾞｱｲｶﾞｱﾘﾏｽ 非製品インク	非純正インクが装着されている。	本製品のプリンタードライバーは、本製品に対応した純正インクカートリッジを前提に色調整されています。そのため、本製品に対応した純正品以外のインクカートリッジを使うと印刷品質の低下、プリントヘッドの目詰まりやインク漏れなどの故障の原因となる可能性があります。また、インク残量を検出できないこともあります。純正インクカートリッジを使用することをお勧めします。
ﾒﾝﾃﾅﾝｽｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ メンテナンスボックスカバーオープン	メンテナンスボックスカバーが開いている	メンテナンスボックスカバーを閉じます。
ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾎﾞｯｸｽﾅｼ メンテナンスボックスなし	メンテナンスボックスが装着されていない	1. メンテナンスボックスカバーを開けます。 2. 十分な残量のあるメンテナンスボックスを装着します。 3. メンテナンスボックスカバーを閉じます。
ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾎﾞｯｸｽｴﾗｰ メンテナンスボックス読み取りエラー	メンテナンスボックスの情報が読み取れない	1. メンテナンスボックスカバーを開けます。 2. メンテナンスボックスを取り除きます。 3. 再度、メンテナンスボックスを装着します。 4. メンテナンスボックスカバーを閉じます。 5. 再度エラーが発生するときは、新しいメンテナンスボックスに交換します。
ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞｺｳｶﾝ インクカートリッジ交換必要	インクカートリッジが交換時期	1. インクカートリッジカバーを開けます。 2. 使用済みのインクカートリッジを取り除きます。 3. 十分な残量のあるインクカートリッジを装着します。 4. インクカートリッジカバーを閉じます。

LCD 表示 エラー種類	エラーの内容	解除方法
ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾎﾞｯｸｽｺｳｶﾝ メンテナンスボックス交換必要	メンテナンスボックスが交換時期	1. メンテナンスボックスカバーを開けます。 2. 使用済みのメンテナンスボックスを取り除きます。 3. 十分な残量のあるメンテナンスボックスを装着します。 4. メンテナンスボックスカバーを閉じます。
ﾌﾟﾘﾝﾀｰｴﾗｰ ## (##:01~0A,16~18,26,27,2A,31~37,41~47,56~58,62,63,C1~C4,C6~C8,D6~DB)	紙詰まり オートカット動作不良 異常環境温度 故障	適切な処置を行い、電源を再投入するまで本製品は復帰しません。 1. 本製品の電源を切ります。 2. 用紙カバーを開けます。 3. フロントカバーを開けます。 フロントカバーが開かない場合、カッター刃がロックしている可能性があります。本製品の電源を入れ直してください。 4. 紙経路上にある用紙をすべて取り除きます。 5. フロントカバーを閉じます。 6. 電源を再投入します。 (再度エラーが発生する場合、修理をご依頼ください。) 7. 用紙をオートローディングします。
ｴﾗｰ B2	本製品に印刷データが残っている状態で、PrinterSetting を使って「インク着弾位置の調整」を実施すると、本製品がこのエラー状態になる場合があります。	本製品がこのエラー状態になった場合、本製品の電源を入れ直してください。 また、PrinterSetting を使って「インク着弾位置の調整」を実施する場合には、作業前に本製品が Ready 状態であることを確認してください。
ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙ ## ##: F0~F4 サービス要求	寿命超過 故障	修理をご依頼ください。

ワーニング処理

LCD 表示 エラー種類	ワーニングの内容	対応方法
ｲﾝｸｺｳｶﾝﾏﾁｶﾞ インクカートリッジ交換間近	インク残量が少ない	インクカートリッジ交換時期が近いため、交換用インクカートリッジを準備します。 「インクカートリッジ交換要」となったら、インクカートリッジを交換します。
ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾎﾞｯｸｽｺｳｶﾝﾏﾁｶﾞ メンテナンスボックス交換間近	メンテナンスボックスの残量が少ない	メンテナンスボックス交換時期が近いため、交換用メンテナンスボックスを準備します。 「メンテナンスボックス交換必要」となったら、メンテナンスボックスを交換します。
ﾉｽﾞﾙﾂﾏﾘｱﾘ プリントヘッドノズル詰まりあり	ノズル詰まりが発生	印刷結果を確認し、ヘッドクリーニングを実施します。操作パネル－「クリーニング」からマニュアルヘッドクリーニングを実行します。 ヘッドクリーニングを 3 回以上繰り返してもドット抜けが解消されない場合に、操作パネル－「インクサイジュウテン」からインク再充てんを実施してください。 81 ページ「ｲﾝｸｻｲｼﾞｭｳﾃﾝ」を参照 印刷結果を確認し、ノズル詰まりが許容できない場合には修理をご依頼ください。
ｶｯﾄﾄﾞｳｻﾌｶｼﾞｮｳﾀｲ 用紙カット不可状態	用紙が同じ位置のまま、二度以上オートカットを実行しようとしている	紙送りもしくは印字動作を行います。
ｻｰﾋﾞｽﾓｰﾄﾞﾁｭｳ サービスモード中	修理、検査用の動作モードとなっている。	－
ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙﾏﾁｶﾞ ## ##: F0, F1 サービス時期間近	寿命超過が間近	本製品内部品の寿命超過が間近であるため、プリンターの交換や交換用プリンターの準備を行ってください。
ﾉｽﾞﾙﾁｪｯｸｵﾌ ノズル自己診断システムが無効	ノズル自己診断システムが無効、もしくは、環境温度が使用環境を超えている	• 操作パネルの設定項目からノズル自己診断システムを有効にする • 環境温度を確認し、5 ℃ ~35 ℃の範囲になるように室温を調整する。

3

ドライバー

状態	原因	対応方法
ステータスモニターでステータスを取得できない	プリンタードライバーのプロパティーの [ポート] 設定にある [双方向サポートを有効にする] が無効になっている	プリンタードライバーを使用している場合、プロパティーの [ポート] 設定にある [双方向サポートを有効にする] を有効にした状態で使用してください。

ZPL II 対応ドライバーを使うと、本製品との組み合わせで、印刷できない場合があります。
ZPL II 対応ドライバーの最新版を使って印刷できるか確認してください。

印刷品質の低下

状態	原因	対応方法
印刷面に色むらが出る	「ドット抜け」が発生しています。	操作パネル -「ノズルチェック」あるいは、PrinterSetting またはプリンタードライバーの「プリンターユーティリティー」タブから「ヘッドクリーニング」「ノズルチェック」を使用して、ノズルの目詰まりを確認してください。 ノズルの目詰まりが発生している場合、操作パネル -「クリーニング」からマニュアルヘッドクリーニングを実行してください。 ヘッドクリーニングを 3 回以上繰り返してもドット抜けが解消されない場合に、操作パネル -「インクサイジュウテン」からインク再充てんを実施してください。 81 ページ「ｲﾝｸｻｲｼﾞｭｳﾃﾝ」を参照 「ノズルチェック設定」で「ノズル自己診断システム」の設定が無効になっている場合は、有効（デフォルト）に変更してください。 19 ページ「ノズル自己診断システム」を参照
	お使いの用紙と「用紙種類」設定が異なります。	お使いの用紙とプリンタードライバーの「用紙種類」設定が異なっている可能性があります。 お使いの用紙とプリンタードライバーの「用紙種類」設定をご確認ください。 64 ページ「用紙の設定」を参照
	「紙送りのズレの調整」が必要です。	用紙によっては、紙送り量が変わるため色むらが見られることがあります。 以下のように CMYK インクの位置ズレが発生する場合には、プリンタードライバーの「基本設定」タブを押して、「紙送り量調整」で適切な値を設定してください。 **プラス調整が必要な場合**　　**マイナス調整が必要な場合** または、プリンタードライバーの [プリンターユーティリティー] タブを選択します。[プリンターの設定] をクリックして、PrinterSetting を起動します。 「詳細設定」-「高度な設定」を選択し、「インク着弾位置調整」で「インク着弾位置の調整」を実施してください。 102 ページ「高度な設定」を参照

状態	原因	対応方法
印刷面に色むらが出る	「バンディング低減」の設定値が不適切である。	プリンタードライバーを使用している場合、「バンディング低減」を選択することで、以下のようにプリントヘッドが重なる部分に発生する印刷の色スジを補正することにより、色むらが目立たなくなることがあります。 **薄い色むらの例**　**濃い色むらの例** 「基本設定」タブ、「印刷設定」で「詳細設定」を選択し「設定」をクリックして、「バンディング低減」で濃淡の設定を変更してください。 （左図のように薄い色スジが発生した場合には、プラス（＋）方向に移動して調整してください。また、右図のように濃い色スジが発生した場合には、マイナス（−）方向に移動して調整してください。） 136 ページ「バンディング低減」を参照 あるいは、「ノズルチェック設定」で「ノズル自己診断システム」の設定が無効になっている場合は、有効（デフォルト）に変更してください。
	ロール紙が正しくセットされていません。	ロール紙の場合、ロール紙カバーを開け、用紙をセットし直してください。 48 ページ「ロール紙のセット」を参照
	ファンフォールド紙が正しくセットされていません。	ファンフォールド用紙の場合、プリンター背面から 15 mm 以上離して、まっすぐに用紙を置いてください。 57 ページ「ファンフォールド紙のセット」を参照
印刷された色がおかしい	ヘッドクリーニングが必要です。	初期充てん後にプリンターを移動させた場合、振動や衝撃により、指定した色が出ない場合（「混色」）があります。 マニュアルヘッドクリーニングを実行して混色がなくなることを確認してください。
印刷画像がぼやける	「紙送り方向のインク着弾位置調整」が必要です。	用紙によっては、紙送り量が変わるため色むらが見られることがあります。 プリンタードライバーを使用している場合、「インク着弾位置の調整」を行ってください。 102 ページ「高度な設定」を参照

状態	原因	対応方法
印刷が横方向にズレる	用紙の端が正しくセットされていません。	用紙をセットしたときに用紙が端からズレてセットされた場合、用紙セット直後の印刷が横方向にズレることがあります。 一度、用紙を送ってから印刷を開始してください。 それでも解決しない場合は、プリンタードライバーの「プリンターユーティリティー」タブ、「プリンターの設定」をクリックして、「位置を調整する」「位置調整」で「印刷開始位置の調整（水平方向）」を実施してください。 92 ページ「位置を調整する」を参照
	用紙ガイドが正しくセットされていません。	用紙ガイドの位置を確認してください。 48 ページ「用紙のセット」を参照
バーコードの印刷品質が悪い	お使いの用紙と「用紙種類」設定が異なります。	お使いの用紙とプリンタードライバーの「用紙種類」設定が異なっている可能性があります。 お使いの用紙とプリンタードライバーの「用紙種類」設定をご確認ください。 64 ページ「用紙の設定」を参照
	バー幅の補正が行われていません。	適切なバーコード印刷を行うためには、印刷データのバー幅補正を行う必要があります。 • プリンタードライバーを使用している場合、プリンタードライバーの「基本設定」タブ、「印刷設定」で「詳細設定」を選択し「設定」をクリックして、「バーコード /2 次元シンボルフォント調整」で適切なレベルを設定してください。ただし、プリンタードライバーのバー幅補正の設定が効くのは、プリンタードライバーのバーコードフォント機能を使っている場合のみであり、それ以外の場合には効きません。 117 ページ「バーコード印刷」を参照 • バーコード生成を行うアプリケーションを使用している場合には、アプリケーションでバー幅補正を行う設定をしてください。使用しているバーコード生成アプリケーションについては、各アプリケーションのマニュアルを参照してください。
	「インク打ち込みレベル」設定が必要です。	用紙によっては、バーコード印刷品質を確保するためのインク量が異なることがあります。 プリンタードライバーを使用している場合には、プリンタードライバーの「基本設定」タブ、「印刷設定」で「詳細設定」を選択し「設定」をクリックして、「インク打ち込みレベル」あるいは「黒比率補正」のチェックボックスを有効にし、適切なレベルを設定してください。 各用紙における適切なレベルについては、プリンターを購入した販売会社にお問い合わせください。

用紙汚れ

状態	原因	対応方法
用紙が汚れる	お使いの用紙と「用紙種類」設定が異なります。	お使いの用紙とプリンタードライバーの「用紙種類」設定が異なっている可能性があります。 お使いの用紙とプリンタードライバーの「用紙種類」設定をご確認ください。 64 ページ「用紙の設定」を参照
	ヘッドクリーニングが必要です。	ヘッドに異物が付着している場合、用紙が汚れることがあります。マニュアルヘッドクリーニングを実行してください。

印刷領域

状態	原因	対応方法
印刷位置が合っていない。	「用紙レイアウト」を正しく設定してください。	用紙とプリンタードライバーの「用紙レイアウト」設定が合っていない場合、正しい位置に印刷されないことがあります。 64 ページ「用紙の設定」を参照
ラベルサイズと印刷領域が異なる	製品の仕様です。	プリンタードライバーを使用していて、「用紙レイアウト」「ユーザー定義用紙レイアウト」で「フチなし」を有効にしない場合、ラベルサイズから上下左右 1.5 mm の余白を除いた領域が印刷可能領域となります。 ラベルサイズすべてを印刷可能領域としたい場合、「フチなし」を有効にしてください。「フチなし」を有効にした場合、台紙部分に印刷する可能性がありますので、印刷データ内で上下左右 1.5 mm の余白を取ってください。 64 ページ「用紙の設定」を参照
印刷位置、カット位置が合っていない。	位置調整が必要です。	用紙の違いなどにより、印刷位置がズレることがあります。 プリンタードライバーの「プリンターユーティリティー」タブ、「プリンターの設定」ボタンを押し、「位置を調整する」「位置調整」で「カット位置の調整」「印刷開始位置の調整（垂直方向）」「印刷開始位置の調整（水平方向）」を実施してください。 92 ページ「位置を調整する」を参照

検出不良

状態	原因	対応方法
用紙をセットしたら、用紙が送り出されてエラーになる 「用紙形態」が、ダイカットラベル（ギャップ基準）の場合	お使いの用紙と「用紙検出（ブラックマーク / ギャップ）」が異なります。	お使いの用紙とプリンターの「用紙検出（ブラックマーク / ギャップ）」が異なっている可能性があります。 お使いの用紙とプリンターの「用紙検出設定」をご確認ください。 64 ページ「用紙の設定」を参照
	用紙の透過率が仕様外です。	用紙の透過率が異なり、ギャップを認識できないことがあります。ギャップ検出には赤外光を使用しており、台紙の赤外光透過率が規定値以上、ラベル部の赤外光透過率が規定値以下である必要があります。用紙の仕様を確認し、プリンター仕様に合った用紙を使用してください。 また、「検出器のキャリブレーション」により認識できる場合があります。プリンタードライバーの [プリンターユーティリティー] タブを選択します。[プリンターの設定] のアイコンをクリックし、PrinterSetting を起動します。 「詳細設定」-「高度な設定」を選択し、「キャリブレーション」で「検出器のキャリブレーション」を実施してください。 102 ページ「高度な設定」を参照
	センサーが故障しています。	今まで正常に動作していた場合はセンサーの故障が考えられます。修理をご依頼ください。

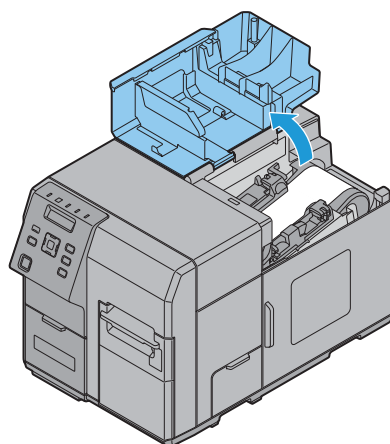
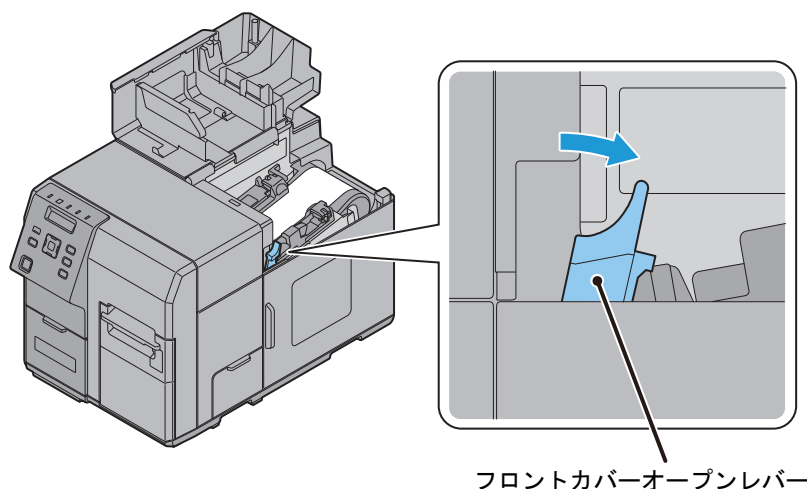
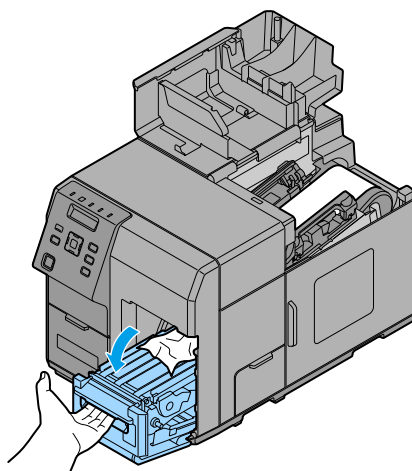
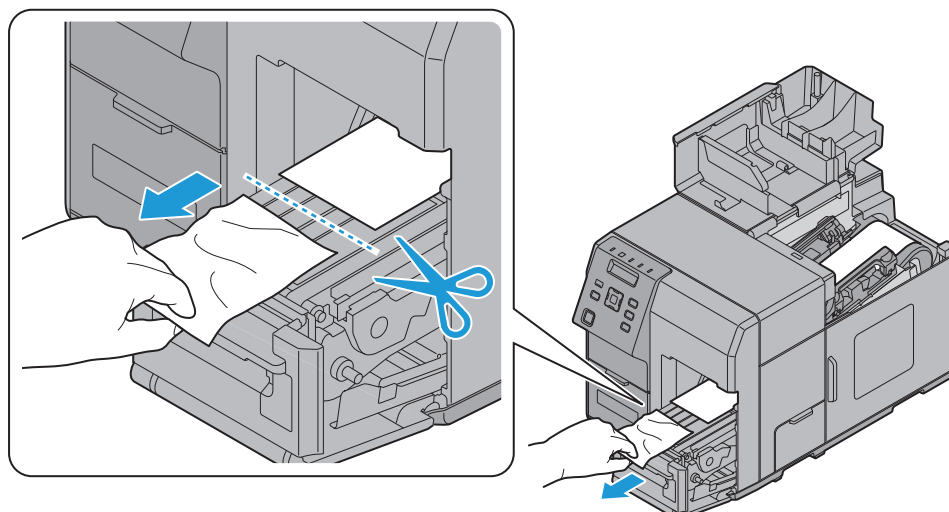
外部供給

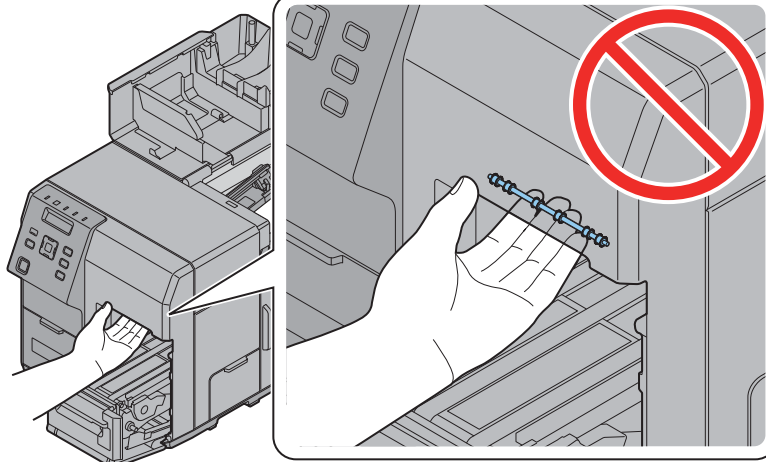
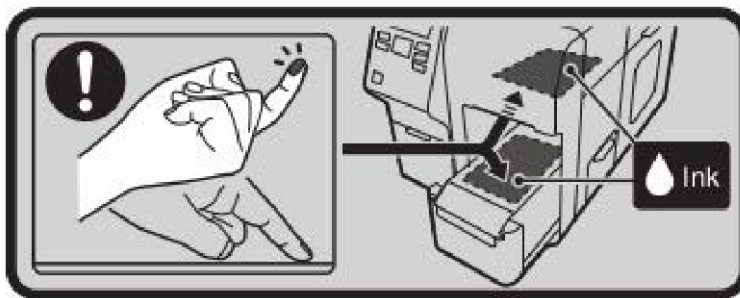
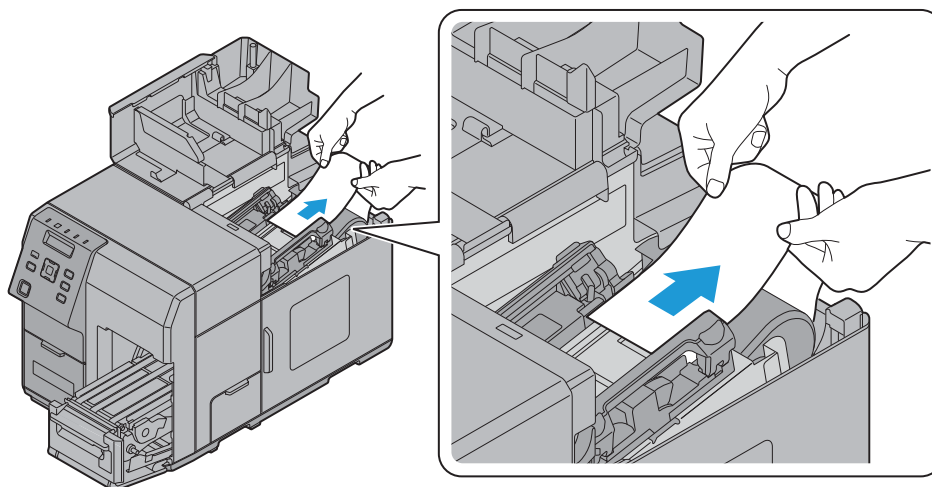
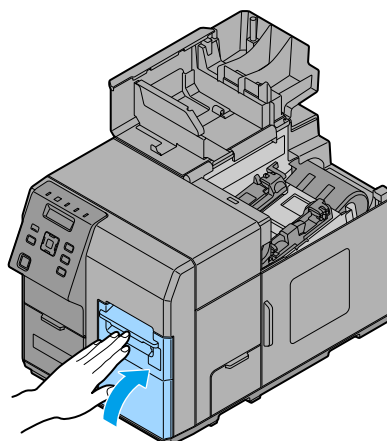
状態	原因	対応方法
ファンフォールド紙でギャップ検出が選択できません。	製品の仕様です。	ファンフォールド紙は紙詰まり防止のため、ロール紙よりも厚めの台紙を指定しています。台紙が厚いため、純正紙であってもギャップを検出できないことがあります。 プリンタードライバーの、ギャップ検出器のしきい値調整で使用可能なラベル紙の範囲は広がりますが、それでもすべてのラベル紙を保証できるわけではありません。このため、ファンフォールド紙ではギャップ検出が使用できない仕様としてあります。 ロール紙の場合、ロール紙と同じ原反 / 台紙を指定していますので、ギャップ検出器が使用できる仕様としてあります。

紙詰まり時の注意

紙が詰まった場合、無理に引き抜かずに、以下の手順で詰まった紙を取り除いてください。

1 プリンターの電源が切れていることを確認します。

2 紙セットカバーを開けます。

3 用紙挿入口にあるフロントカバーオープンレバーを引きます。

4 フロントカバーを開けます。

5 詰まった紙をカットし、取り除きます。

警告

プリンター内部の金属輪に触れないでください。けがをするおそれがあります。

注意 インクが付着して手の指が汚れるおそれがあります。

6 紙挿入口から用紙を引き抜きます。

7 フロントカバーを閉じます。

8 再度用紙をセットします。
48 ページ「用紙のセット」を参照

アプリケーション開発情報

本章では、本製品の制御方法、および本製品を使用したアプリケーションを開発する場合に必要な情報について説明しています。

プリンターの制御方法

プリンターの制御方法は、お客様の使用環境によって異なります。

アプリケーションの仕様	制御方法	ページ
ラベル印刷アプリケーションとラベル印刷アプリケーションメーカーから提供されるプリンタードライバーを使用する。	ラベル印刷アプリケーションとラベル印刷アプリケーションメーカー製のプリンタードライバーを使用	167 ページ
2 章のセットアップ作業フローでインストールしたプリンタードライバーを使用して印刷する。	プリンタードライバーを使用	111 ページ
Epson Inkjet Label Printer SDK を参考に開発したお客様のアプリケーションから印刷する。	Epson Inkjet Label Printer SDK を使用	168 ページ
お客様が、ESC/Label コマンドを直接制御するアプリケーションを開発して印刷する	ESC/Label コマンドを使用	168 ページ
既存のアプリケーションやドライバーなどを変更しないで、ZPL II コマンド搭載プリンターから置き換える プレプリントシステムからオンデマンドプリントシステムに変更する	プリンターの設定を変更して、プリンターを置き換える	169 ページ

4

ラベル印刷アプリケーションを使用

市販のラベル印刷アプリケーションから印刷します。ドライバーは、アプリケーション側で提供しているものを利用して、エプソンのプリンタードライバーは使用しません。

以下のラベル印刷用アプリケーションに対応しています。

- BarTender
- NiceLabel
- CODESOFT

入手方法

各ラベル印刷アプリケーションの販売元にお問い合わせください。

Epson Inkjet Label Printer SDK を使用

お客様のアプリケーションが、エプソンのプリンタードライバーを使用して印刷するために必要な環境を、SDK として提供しています。以下のものが含まれています。

構成	説明
Epson Inkjet Label Printer SDK ユーザーズガイド	Epson Inkjet Label Printer SDK の構成の概要、エプソン製インクジェットラベルプリンターをアプリケーションから制御するために必要な機能、サンプルプログラムの使い方およびプリンタードライバーであらかじめ設定しておくことの説明をしています。
EPDI (EPSON Printer Driver Interface)	EPDI (EPSON Printer Driver Interface) は、エプソンのプリンタードライバーのアプリケーションプログラミングインターフェイスを提供しています。EPDI を利用すると、お客様が開発するアプリケーションソフトからエプソンのプリンタードライバーの設定ができます。 EPDI の説明と、これをアプリケーションプログラムで利用するために必要な技術情報については、本 SDK に同梱されている「EPDI for Inkjet Label Printer リファレンスマニュアル」を参照してください。
EpsonNet SDK	EpsonNet SDK は、エプソン製インクジェットラベルプリンターのステータスを取得するための API を提供しています。API についての説明と、これをアプリケーションプログラムで利用するために必要な技術情報については、本 SDK に同梱されている「EpsonNet SDK for Windows リファレンス」を参照してください。
Label Print Sample Program	Epson Inkjet Label Printer SDK を利用して、エプソン製インクジェットラベルプリンターから印刷をするアプリケーションの実行ファイルと、プログラムのソースファイルを提供しています。サンプルプログラムの使い方は「Epson Inkjet Label Printer SDK ユーザーズガイド」を参照してください。

動作環境

OS	付録を参照してください
ソフトウェア	プリンタードライバー（Install Navi を使用してインストールします） .NET Framework Ver.3.5（エプソンからは提供されません。お客様が入手してください）

入手方法

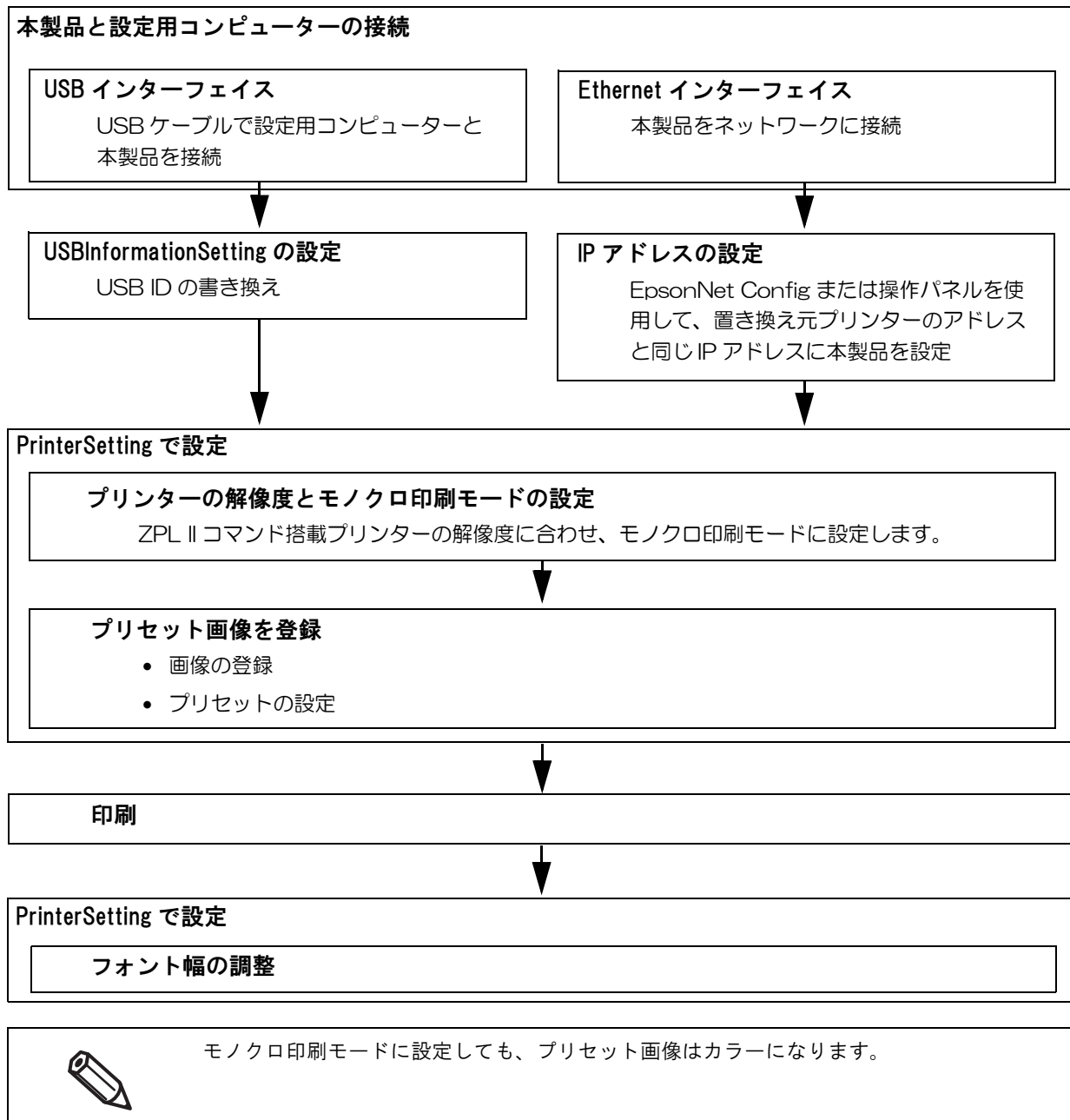
弊社ホームページからダウンロードしてください。

ESC/Label コマンドを使用

お客様のアプリケーションが、プリンタードライバーを使用しないで直接印刷するためのコマンド (ESC/Label) を提供しています。ESC/Label コマンドの詳細は、販売店にお問い合わせください。

プリンターの設定変更とプリンターの置き換え

既存のアプリケーションやドライバーなどを変更しないで、ZPL II コマンド搭載プリンターから置き換える場合は、プリンター本体の設定を ZPL II コマンド搭載プリンターの設定に合わせる必要があります。
また、カラーの背景などをプレプリントしたラベル紙にモノクロ印刷していた場合は、以下の手順で設定します。

モノクロ印刷モードに設定しても、プリセット画像はカラーになります。

本製品と設定用コンピューターの接続

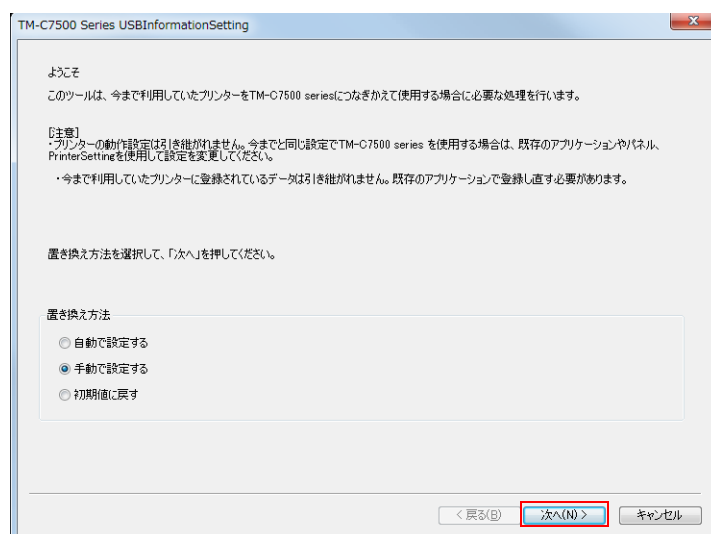
本製品を USB ケーブルで設定用コンピューターと接続、またはネットワークに接続します。
18 ページ「本体背面」または 36 ページ「インターフェイスケーブルの接続」を参照してください。

USB インターフェイスの場合

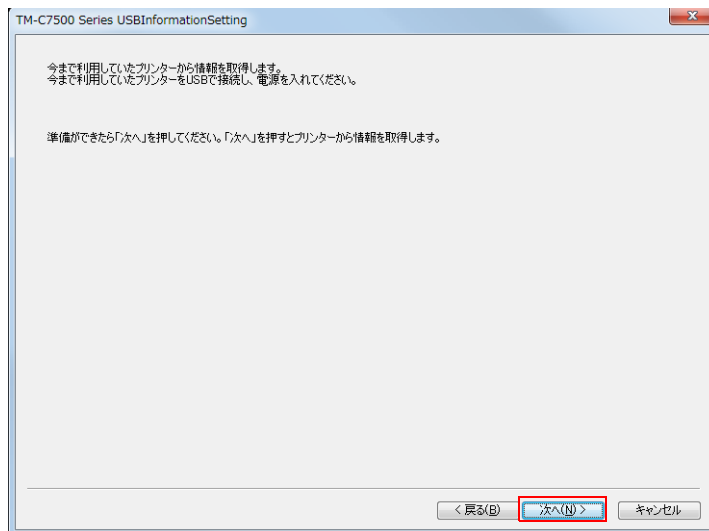
USBInformationSetting の設定

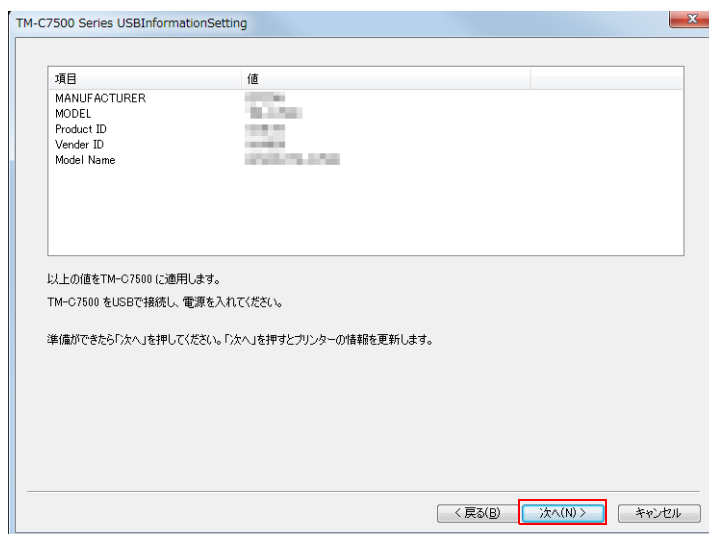
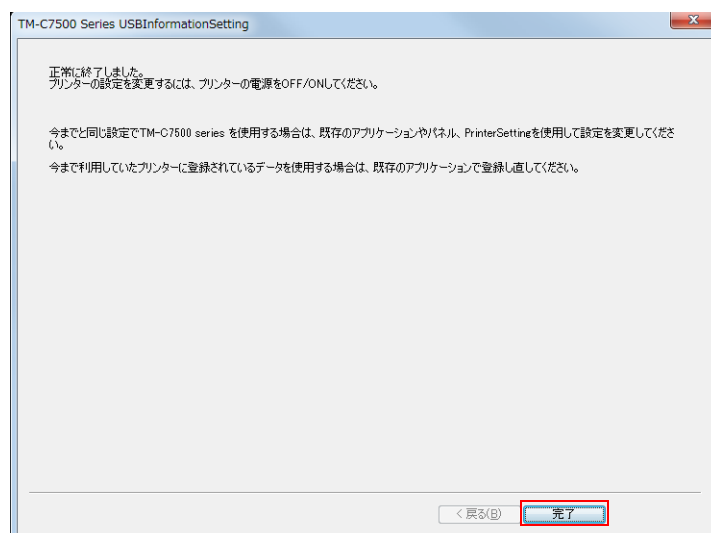
本製品を USB 接続で使用する場合、USBInformationSetting で、置き換え元プリンターの USB ID に書き換えます。以下の手順で操作してください。

1 [スタート] - [Epson] - [TM-C7500 Series] - [USBInformationSetting]を選択します。

2 USBInformationSetting が起動します。置き換え方法を設定し、[次へ] をクリックします。

項目	説明
置き換え方法	[自動で設定する] を選択します。

[自動で調整する] にすると、置き換え元プリンターの USB ID などを自動的に取得して、設定します。

3 今まで使用していたプリンターと設定用コンピューターを USB で接続して、プリンターの電源を入れます。[次へ] をクリックします。

4 今まで使用していたプリンターの情報が取得されます。本製品を接続する前に、今まで使用していたプリンターを取り外します。

5 本製品と設定用コンピューターを USB で接続し、本製品の電源を入れます。[次へ] をクリックします。

6 設定が正常に変更された場合、以下の画面が表示されます。[完了] をクリックします。

7 本製品の電源を切り、再度電源を入れます。

Ethernet インターフェイスの場合

IP アドレスの設定

本製品の IP アドレスを設定します。

設定方法は、62 ページ「ネットワークの設定」を参照してください。

プリンターの解像度とモノクロ印刷モードの設定

PrinterSetting を使用して、本製品の解像度を ZPL II コマンド搭載プリンターの解像度に合わせて設定します。

また、モノクロ印刷モードに設定します。設定方法は、103 ページ「ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定」を参照してください。

プリセット画像を登録

PrinterSetting を使用して、プリセット画像を登録します。

画像の登録

プリセット印刷に使用する画像を設定します。95 ページ「プリンターにデータを登録する」を参照してください。

プリセット画像の設定

プリセット画像を設定します。設定方法は、96 ページ「プリセット画像を設定する」を参照してください。

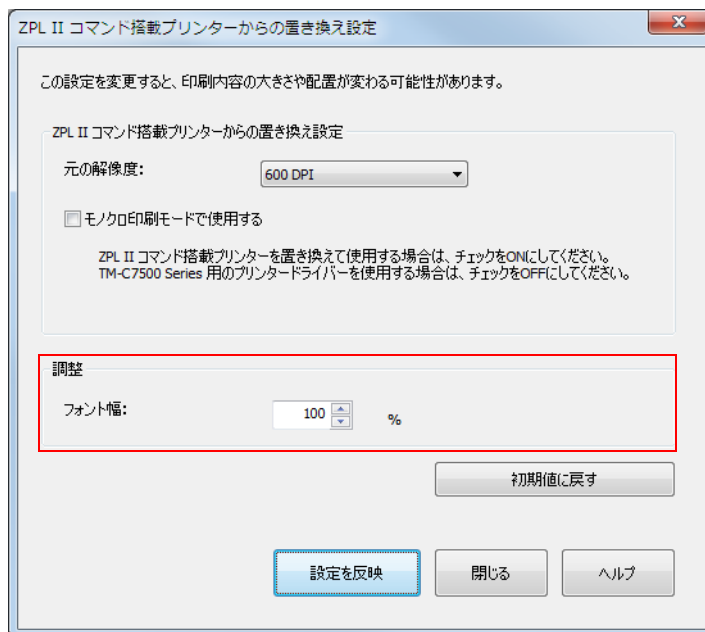
印刷

実際に使用する環境で印刷し、印刷結果を確認してください。

フォント幅の調整

印刷結果を確認した後、印刷物の文字幅を調整したい場合は PrinterSetting で調整できます。

〝ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定〟画面を表示し、フォント幅を調整してください。

〝ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定〟画面の表示方法は、103 ページ「ZPL II コマンド搭載プリンターからの置き換え設定」を参照してください。

文字の高さや行間を変えたい場合は、アプリケーション側で設定してください。

ソフトウェアとマニュアル

アプリケーション開発用として、下記のソフトウェアとマニュアルが用意されています。

ソフトウェア

ソフトウェア	説明	マニュアル	提供方法
TM-C7500 Series PrinterSetting	Windows ベースの本製品を設定するユーティリティーです。 機能については、85 ページ「PrinterSetting」を参照してください。	本書	Web または CD-ROM
EpsonNet Config	ネットワーク上に接続された本製品のネットワーク設定を変更するためのユーティリティーです。	EpsonNet Config User's Guide	Web または CD-ROM
EPSON Monitoring Tool	ネットワーク上に接続された複数台の本製品に対して、以下の機能を提供するためのユーティリティーです。 • ステータスの確認 • プリンターの設定変更 • ネットワーク設定の変更	Monitoring Tool ユーザーズマニュアル	Web
USB プリンタークラスデバイス置き換えサービス	コンピューターに常駐させるサービスです。 本製品を修理などのために置き換えた場合、プリンター接続を検知してプリンタードライバーの出力するプリンターを自動的に変更します。 アプリケーション側の設定を変更しないでもプリンターを置き換えられます。（アプリケーションの出力先をポートに指定している場合は置き換えられません。 プリンタードライバーを指定している場合に置き換えられます。） 本製品の USB シリアルナンバーを事前に書き換える必要がありません。	-	Web または CD-ROM
Color Tone Matching Assistant	印刷するイラストや文字の色調整を支援するためのユーティリティーです。 イラストや文字などの特定の色が、どのような色味で出力されるかを確認できます。	Color Tone Matching Assistant ユーザーズガイド	Web

マニュアル

マニュアル名称	説明	提供方法
はじめにお読みください	ユーザーが CD を起動し、Install Navi またはセットアップガイドを起動するまでを誘導します。	製品に付属
セットアップガイド	設置から印刷できるようにするまでを説明しています。本製品単独で、できるところまでを説明しています。	CD-ROM
初期充填注意シート	本製品に初めてインクカートリッジを取り付け、インクを充てんする際に必要な情報が記載されています。	製品に付属
インクカートリッジ同梱マニュアル	インクに関する注意事項が記載されています。	インクカートリッジに付属
メンテナンスボックス同梱マニュアル	メンテナンスボックスに関する注意事項と交換手順が記載されています。	メンテナンスボックスに付属
TU-RC7508 User's manual	巻き取り装置に関する注意事項と設置手順が記載されています。	巻き取り装置に付属
TM-C7500/TM-C7500G 詳細取扱説明書	本書です。TM-C7500/TM-C7500G を用いたシステムの開発、設計、設置、またはプリンターアプリケーションの開発、設計に必要なすべての情報を記載しています。	CD-ROM Web

ソフトウェアのインストール

付属品の CD-ROM を使用して、以下のソフトウェアをインストールすることができます。

- プリンタードライバー
- プリンター設定ユーティリティー（PrinterSetting）
- USB プリンタークラス　デバイス置き換えサービス
- EpsonNet Config

ソフトウェアのインストール方法

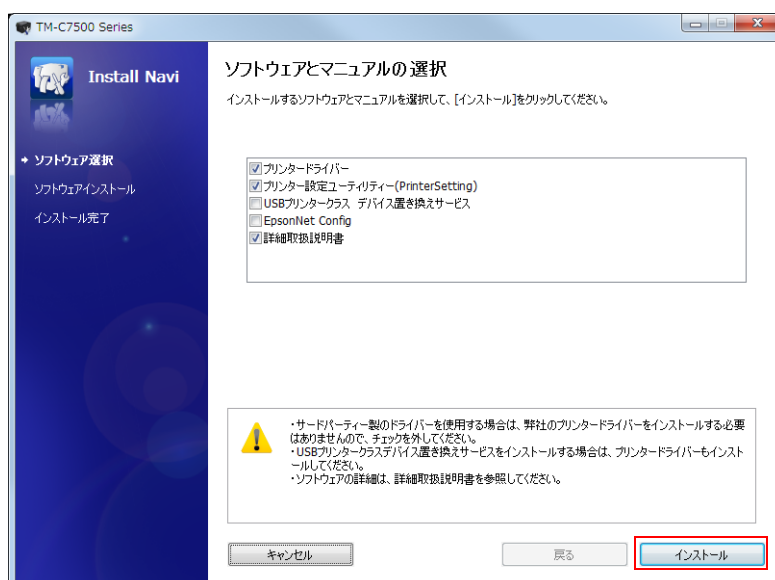
以下の手順でソフトウェアのインストールをします。

1 コンピューターの電源を入れます。

2 本製品の電源が入っていないことを確認します。

プリンターの電源は、必ず切っておいてください。

3 CD-ROM をコンピューターにセットすると Launcher が自動起動します。
[ソフトウェアのインストール] をクリックします。

4 以下の画面が表示されます。インストールするソフトウェアにチェックを入れ、[インストール] をクリックします。
選択したソフトウェアがインストールされます。

本製品を Ethernet 接続で使用する場合の注意

本製品を Ethernet 接続で使用する場合、プリンタードライバーをインストールするだけでは使用できません。
以下の手順で本製品を追加してください。

1 プリンタードライバーをインストールします。

2 本製品の電源を入れます。

3 [デバイスとプリンター] を開きます。
デバイスとプリンターの表示方法は、73 ページ「プリンタードライバーの表示方法」を参照

4 [プリンターの追加] を実行し、画面の指示に従って本製品を追加します。

途中のプリンタードライバーのインストール画面では、製造元を "Epson"、プリンターを "EPSON TM-C7500" を選択してください。

4

付録

製品仕様

項目			仕様
印刷方式			ラインインクジェットドットマトリクス 4 色カラー印刷
紙送り方式			フリクションフィードによる正逆方向送り
オートカッター	カット方式		刃分離型ハサミ方式
	カット形態		フルカット (完全切り離し)
画像解像度			600 dpi × 1200 dpi
印字速度			300 mm/s 150 mm/s 印刷速度は、解像度、印刷幅によって変わります。
用紙 (詳細は 182 ページ「用紙仕様」を参照)	用紙種類	TM-7500	普通紙ラベル、マット紙ラベル、合成紙ラベル
		TM-7500G	普通紙ラベル、マット紙ラベル、合成紙ラベル、 光沢紙ラベル
	用紙形態		全面ラベル (ブラックマーク基準) ダイカットラベル (ギャップ基準)、 ダイカットラベル (ブラックマーク基準)
	給紙装置		ロール紙、ファンフォールド紙
インクカートリッジ (詳細は 203 ページ「インクカートリッジ」を参照)			4 色インク別体型専用インクカートリッジ
インターフェイス			Ethernet (1000BASE-T/ 100BASE-TX/ 10BASE-T) USB 2.0 ハイスピード
バーコード / 2 次元シンボル印刷	バーコード		UPC-A、UPC-E、JAN13(EAN)、JAN8(EAN)、Code39、ITF、 Codabar(NW7)、Code93、Code128、GS1-128、 GS1 DataBar Omnidirectional、GS1 DataBar Truncated、 GS1 DataBar Limited、GS1 DataBar Expanded
	2 次元シンボル		PDF417、QR Code、Maxi Code、GS1 DataBar Stacked、 GS1 DataBar Stacked Omnidirectional、 GS1 DataBar Expanded Stacked、DataMatrix、AztecCode、 Micro PDF、Micro QR Code
電源			AC100 ～ 240V

温度・湿度 (詳細は 199 ページ「環境仕様」を参照)	印刷時	5 ～ 35 ℃、20 ～ 80 %RH 非結露
	保管時	出荷梱包状態:-20 ～ 60 ℃、5 ～ 85 %RH 非結露(インク非充てん) -20 ℃または 60 ℃の場合:120 H 以内 インク充てん状態:-20 ～ 40 ℃ -20 ℃の場合:120H 以内 0 ～ 25 ℃の場合:6ヵ月以内 40 ℃の場合:1ヵ月以内
外形寸法 (H×W×D)		392×598×395 mm (突起部を除く)
質量		約 37.0 kg (インクカートリッジ、メンテナンスボックス、ロール紙は含みません。)

動作環境

OS	Microsoft Windows 8.1 (32 bit/ 64 bit) Microsoft Windows 8 (32 bit/ 64 bit) Microsoft Windows 7 SP1 (32 bit/ 64 bit) Microsoft Windows Vista SP2 (32 bit/ 64 bit) Microsoft Windows XP SP3 (32 bit) Microsoft Windows Server 2012 R2 Microsoft Windows Server 2012 Microsoft Windows Server 2008 R2 Microsoft Windows Server 2008 (32 bit/ 64 bit) Microsoft Windows Server 2003 R2 (32 bit)
コンピューター	上記 OS が動作する以下のコンピューターをサポートしていること。 PC/AT 互換機
CPU	OS の動作環境に準ずる。 (Windows 8.1/ Windows 8/ Windows 7/ Windows Vista/ Windows XP/ Windows Server 2012/ Windows Server 2008/ Windows Server 2003 の場合、Pentium 4 2 GHz 以上のプロセッサーを搭載したコンピューターを推奨。Intel Pentium/ Intel Celeron 系列、AMD Athlon/ AMD Duron ファミリ、またはこれらと互換のプロセッサーを推奨。)
Memory	OS の動作環境に準ずる。 (Windows 8.1/ Windows 8/ Windows 7/ Windows Vista/ Windows XP/ Windows Server 2012/ Windows Server 2008/ Windows Server 2003 の場合、1 GB 以上を推奨。)
HDD	OS の動作環境に準ずる。 (Windows 8.1/ Windows 8/ Windows 7/ Windows Vista/ Windows XP/ Windows Server 2012/ Windows Server 2008/ Windows Server 2003 の場合、空き容量 250 MB 以上。)

上記の要件は、サポートする OS の最小システム要件を満たしていない場合あります。その場合、OS の最小要件を満たしてください。

印刷仕様

印刷領域

ロール紙	最小幅 46 mm、最大幅 108 mm
ファンフォールド紙	最小幅 46 mm、最大幅 108 mm

印刷速度

印刷時ヘッド メンテナンスモード	入力解像度 *1 （幅 x 長さ）	画像解像度 *1 （幅 x 長さ）	紙上 フラッシング	最大印刷 速度 *2	平均印刷 速度 *3
連続動作（はやい）	600 x 600 dpi	600 x 1200 dpi	標準	300 mm/s 150 mm/s	300 mm/s 150 mm/s
間欠動作（きれい）	600 x 600 dpi	600 x 1200 dpi	少ない	300 mm/s 150 mm/s	約 220 mm/s 約 110 mm/s

*1 dpi：25.4 mm あたりのドット数 (dots per inch)

*2 最大印刷速度は、ヘッドクリーニング、オートカット動作や印刷ジョブの開始 / 終了処理、定期フラッシングを除く、印刷中の最大速度

*3 平均印刷速度は、ヘッドクリーニング、オートカット動作や印刷ジョブの開始 / 終了処理を除き、定期フラッシングを含む印刷中の平均速度

- 印刷速度は、データ転送速度によって遅くなる場合があります。
- 平均印刷速度は、35 ℃を超える高温環境において、低下する場合があります。

用紙仕様

本製品で使用可能な用紙は以下のとおりです。

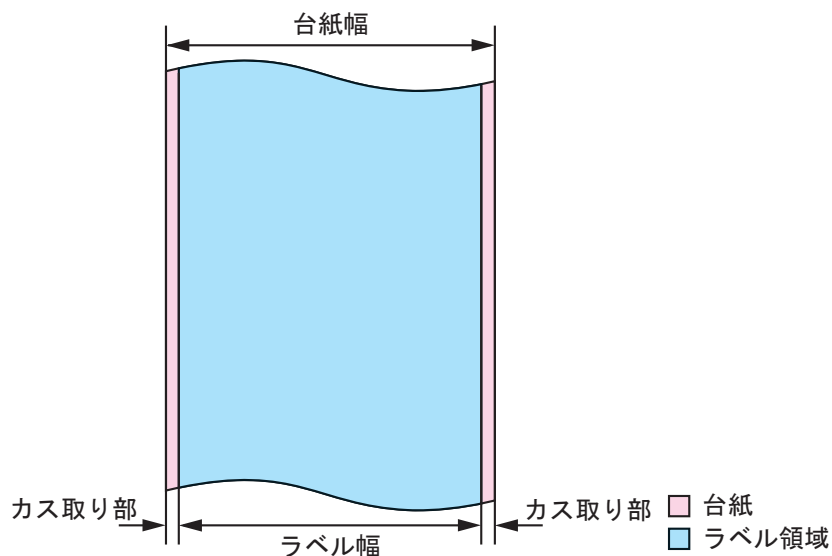
- 指定紙以外の用紙を使用する場合、紙送り精度 / バーコード認識率 / 印刷品質の低下、紙ジャムが発生することがあります。
- 合成紙ラベルと紙台紙の温度や湿度による伸縮率が異なるため用紙のカールが発生します。カールした用紙を使用すると、印刷ヘッドとのこすれによる汚れ、紙ジャムが発生する場合があります。
- テープなどでつないで延長した用紙を使用しないでください。用紙の継ぎ目による誤検出、印刷ヘッドとのこすれによる汚れ、紙ジャムが発生することがあります。

❏ TM-C7500

用紙形態	用紙種類	給紙装置	幅
全面ラベル (ブラックマーク基準)	普通紙ラベル マット紙ラベル 合成紙ラベル	ロール紙	50 ～ 112 mm (台紙幅) 46 ～ 108 mm (ラベル幅)
ダイカットラベル (ギャップ基準)	普通紙ラベル マット紙ラベル 合成紙ラベル	ロール紙	50 ～ 112 mm (台紙幅) 46 ～ 108 mm (ラベル幅)
ダイカットラベル (ブラックマーク基準)	普通紙ラベル マット紙ラベル 合成紙ラベル	ロール紙 ファンフォールド紙	50 ～ 112 mm (台紙幅) 46 ～ 108 mm (ラベル幅)

❏ TM-C7500G

用紙形態	用紙種類	給紙装置	幅
全面ラベル (ブラックマーク基準)	普通紙ラベル マット紙ラベル 合成紙ラベル 光沢紙ラベル	ロール紙	50 ～ 112 mm (台紙幅) 46 ～ 108 mm (ラベル幅)
ダイカットラベル (ギャップ基準)	普通紙ラベル マット紙ラベル 合成紙ラベル 光沢紙ラベル	ロール紙	50 ～ 112 mm (台紙幅) 46 ～ 108 mm (ラベル幅)
ダイカットラベル (ブラックマーク基準)	普通紙ラベル マット紙ラベル 合成紙ラベル 光沢紙ラベル	ロール紙 ファンフォールド紙	50 ～ 112 mm (台紙幅) 46 ～ 108 mm (ラベル幅)

全面ラベル（ブラックマーク基準）

用紙種類	普通紙ラベル / マット紙ラベル / 合成紙ラベル / 光沢紙ラベル
形状	ロール紙
台紙幅	50 ～ 112 mm
ラベル幅	46 ～ 108 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ブラックマーク幅	紙端より 28 mm 以上
ブラックマーク長さ	5 mm 以上
ブラックマーク位置	紙送り方向を上にして、紙裏面の右端
ブラックマーク間隔	25.4 mm ～ 603 mm
紙厚	普通紙ラベル / マット紙ラベル / 合成紙ラベル： 0.129 ～ 0.236 mm 光沢紙ラベル： 0.167 ～ 0.182 mm
巻芯	内径：76.2 ± 0.5 mm 外径：82.2 mm 以上
外径	最大 203.2 mm
巻き方向	印字面が外側

- 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- ロール紙供給部への粘着財の付着を防止するため、左右端をカス取りしたラベルを使用してください。

ダイカットラベル（ギャップ基準）

用紙種類	普通紙ラベル / マット紙ラベル / 合成紙ラベル / 光沢紙ラベル
形状	ロール紙
台紙幅	50 〜 112 mm
ラベル幅	46 〜 108 mm
ラベル長さ	25.4 〜 600 mm
ラベル間ギャップ	3 〜 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	1.5 mm 以下
紙厚	普通紙ラベル / マット紙ラベル / 合成紙ラベル： 0.129 〜 0.236 mm 光沢紙ラベル： 0.167 〜 0.182 mm
巻芯	内径：76.2 ± 0.5 mm 外径：82.2 mm 以上
外径	最大 203.2 mm
巻き方向	印字面が外側

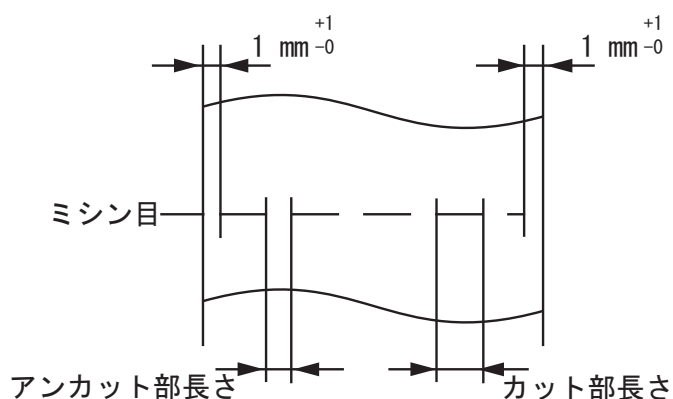
- 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- 台紙が合成紙やフィルムの場合、ミシン目があっても手切りしにくいため、その際にはミシン目を使用しないでください。

ダイカットラベル（ブラックマーク基準）

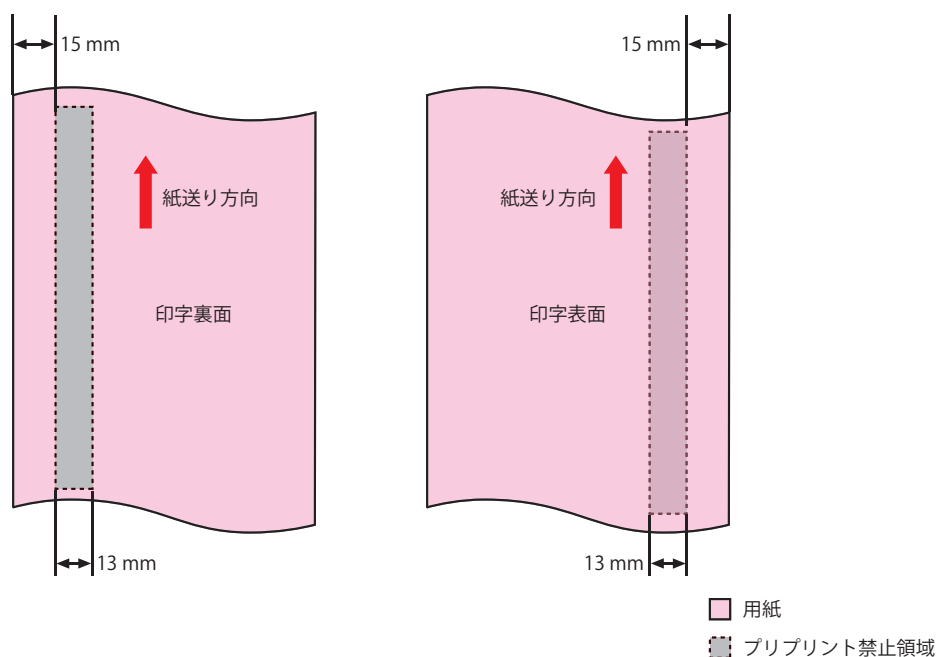
用紙種類	普通紙ラベル / マット紙ラベル / 合成紙ラベル / 光沢紙ラベル
形状	ロール紙
台紙幅	50 ～ 112 mm
ラベル幅	46 ～ 108 mm
ラベル長さ	25.4 ～ 600 mm
ラベル間ギャップ	3 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	1.5 mm 以下
ブラックマーク幅	紙端より 28 mm 以上
ブラックマーク長さ	5 mm 以上
ブラックマーク位置	紙送り方向を上にして、紙裏面の右端
ブラックマーク間隔	28.4 mm ～ 606 mm
紙厚	普通紙ラベル / マット紙ラベル： 0.129 ～ 0.236 mm 光沢紙ラベル： 0.167 ～ 0.182 mm
巻芯	内径：76.2 ± 0.5 mm 外径：82.2 mm 以上
外径	最大 203.2 mm
巻き方向	印字面が外側

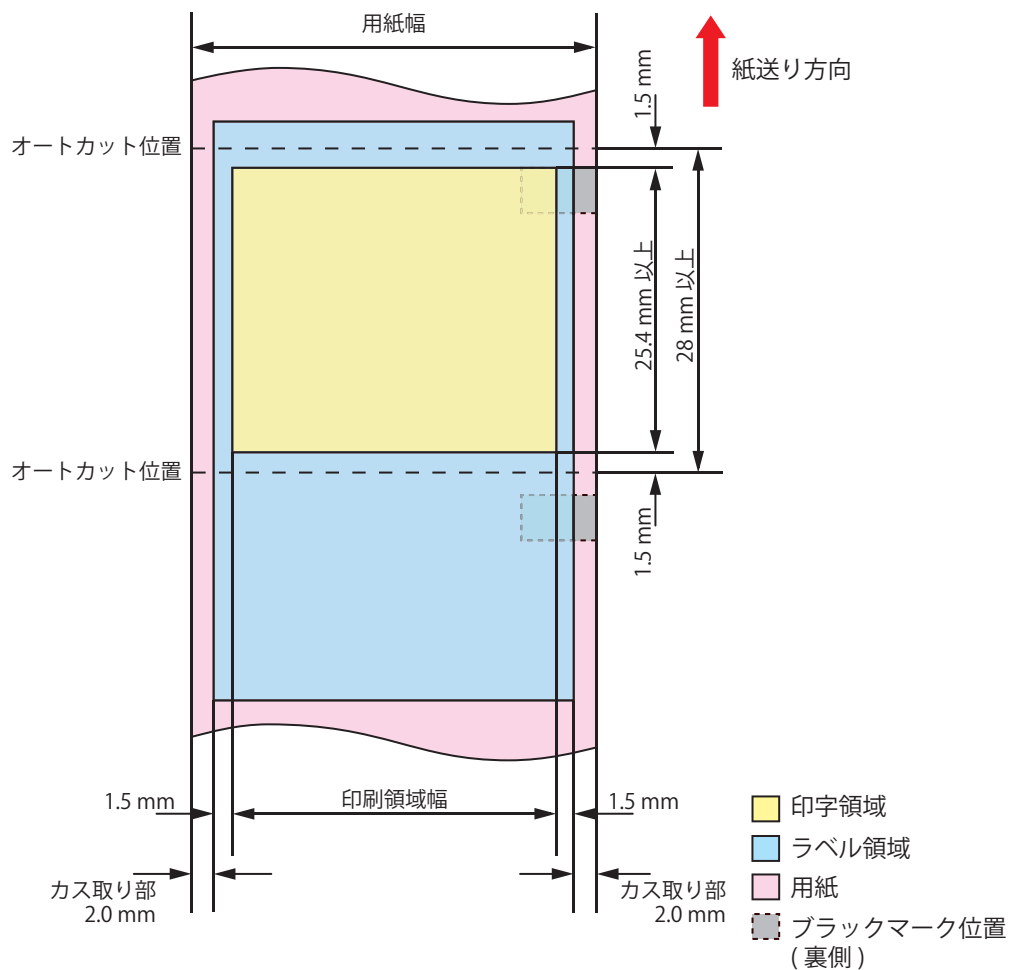
- 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- ダイカットラベルへのブラックマーク位置はラベル先端とブラックマーク先端を合わせてください。

用紙種類	普通紙ラベル / マット紙ラベル
形状	ファンフォールド紙
台紙幅	50 ～ 112 mm
ラベル幅	46 ～ 108 mm
ラベル長さ	25.4 ～ 301.8 mm
ラベル間ギャップ	3 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	1.5 mm 以下
ブラックマーク幅	紙端より 28 mm 以上
ブラックマーク長さ	5 mm 以上
ブラックマーク位置	紙送り方向を上にして、紙裏面の右端
ブラックマーク間隔	28.4 mm ～ 304.8 mm
紙厚	0.161 ～ 0.164 mm
ミシン目間隔	203.2 ～ 304.8 mm
ミシン目形状	1 mm アンカット、5 mm カット
折り数	750 折り以下

- 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- ミシン目の上をオートカットすると小さな紙片が発生し、不具合が生じる場合があります。また、ミシン目の前側をオートカットすると紙送り時に不具合を生じる可能性があります。このため、ミシン目の後ろ側を 0.5 ～ 1 mm 離してオートカットしてください。
- ブラックマーク位置はミシン目より 2 mm 以上離してください。
- ダイカットラベル紙へのブラックマーク位置はラベル先端とブラックマーク先端を合わせてください。
- 用紙両端のミシン目はアンカットとしてください。

紙検出方式

検出器	ラベル検出器 (透過型フォトインタラプタ)
	ブラックマーク検出器 (反射型フォトインタラプタ)
判定方式	ラベル検出器、およびブラックマーク検出器で位置を検出

- ブラックマークなしのダイカットラベル紙を使用する場合、台紙の光透過率 40 % 以上、ラベル部の光透過率 23 % 以下の用紙を使用してください。
- ブラックマークを使用する場合、ブラックマーク反射率 10 % 以下、白反射率 70 % 以上の用紙を使用してください。
- 連続紙裏面にプリプリントする場合、検出に影響を与えるため、図に示すプリプリント禁止領域にプリプリントを行わないでください。

印刷位置とカット位置

全面ラベル（ブラックマーク基準）・ロール紙

「印刷領域拡大」無効時

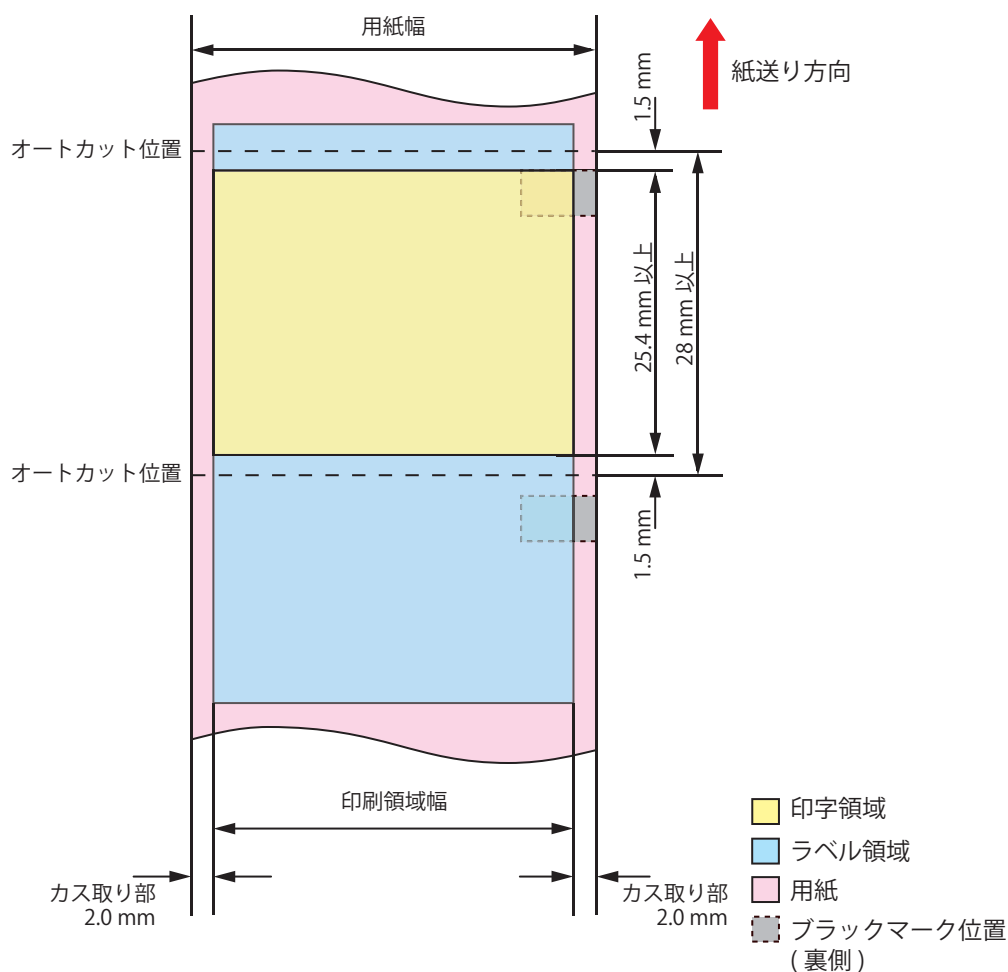
上下余白：1.5 mm（中心値）

左右余白：1.5 mm（中心値）

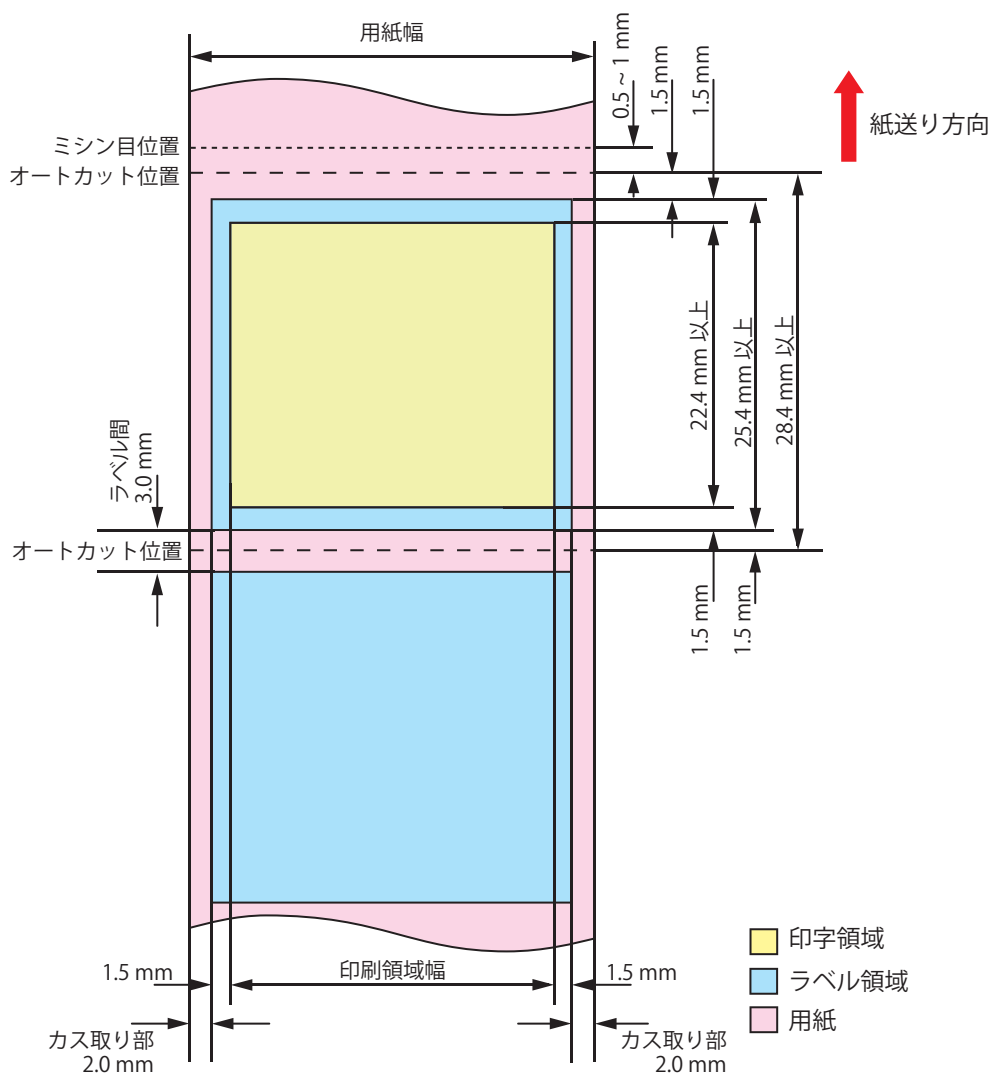
オートカット位置からブラックマーク先端距離は、1.5 mm 以上にしてください。
1.5 mm 以下の場合、ブラックマークが検出できず、ページを読み飛ばし、印刷できない場合があります。

「印刷領域拡大」有効時

上下余白：1.5 mm（中心値）

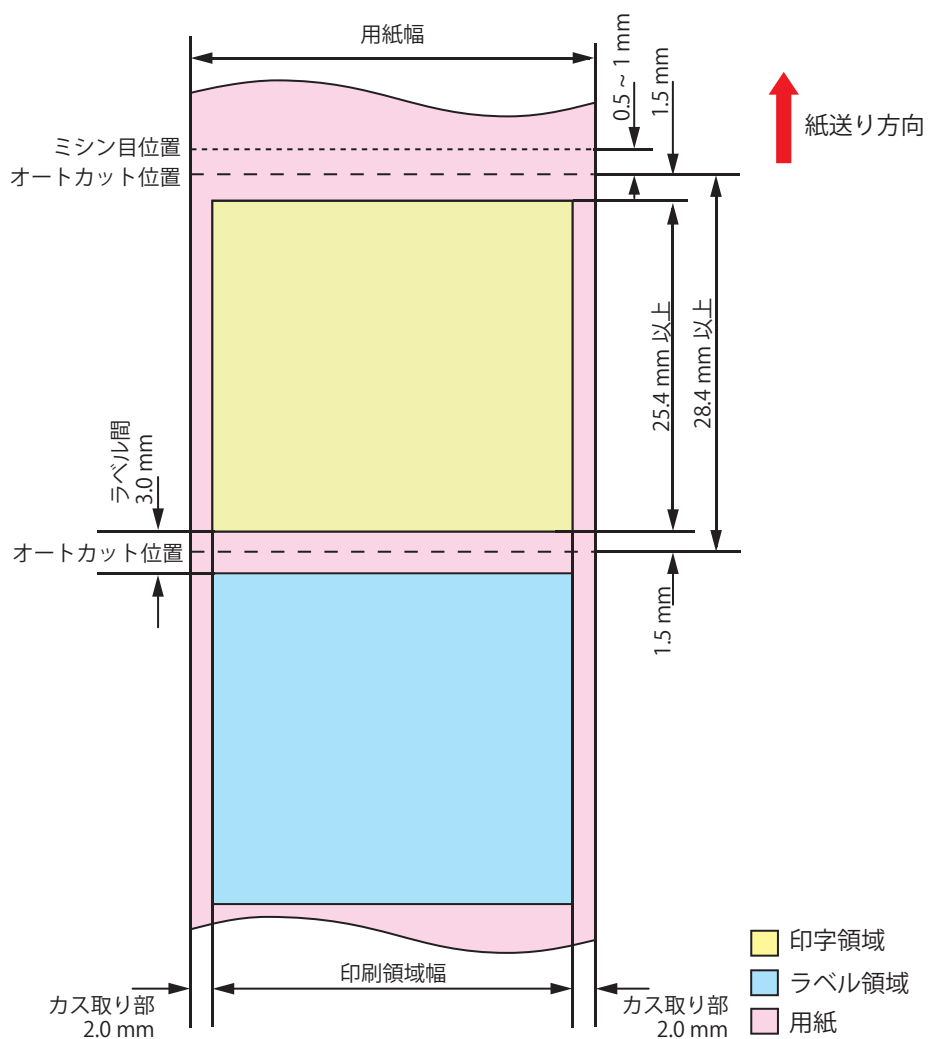
左右余白：0 mm（中心値）

- 「印刷領域拡大」を有効に設定した場合、実印刷位置とラベルのセット位置によっては印刷がはみ出す可能性があります。印刷がはみ出ないようにするためには、印刷データ内に1.5 mm 以上の余白を確保してください。
- オートカット位置からブラックマーク先端距離は、1.5 mm 以上にしてください。
1.5 mm 以下の場合、ブラックマークが検出できず、ページを読み飛ばし、印刷できない場合があります。

ダイカットラベル（ギャップ基準）・ロール紙

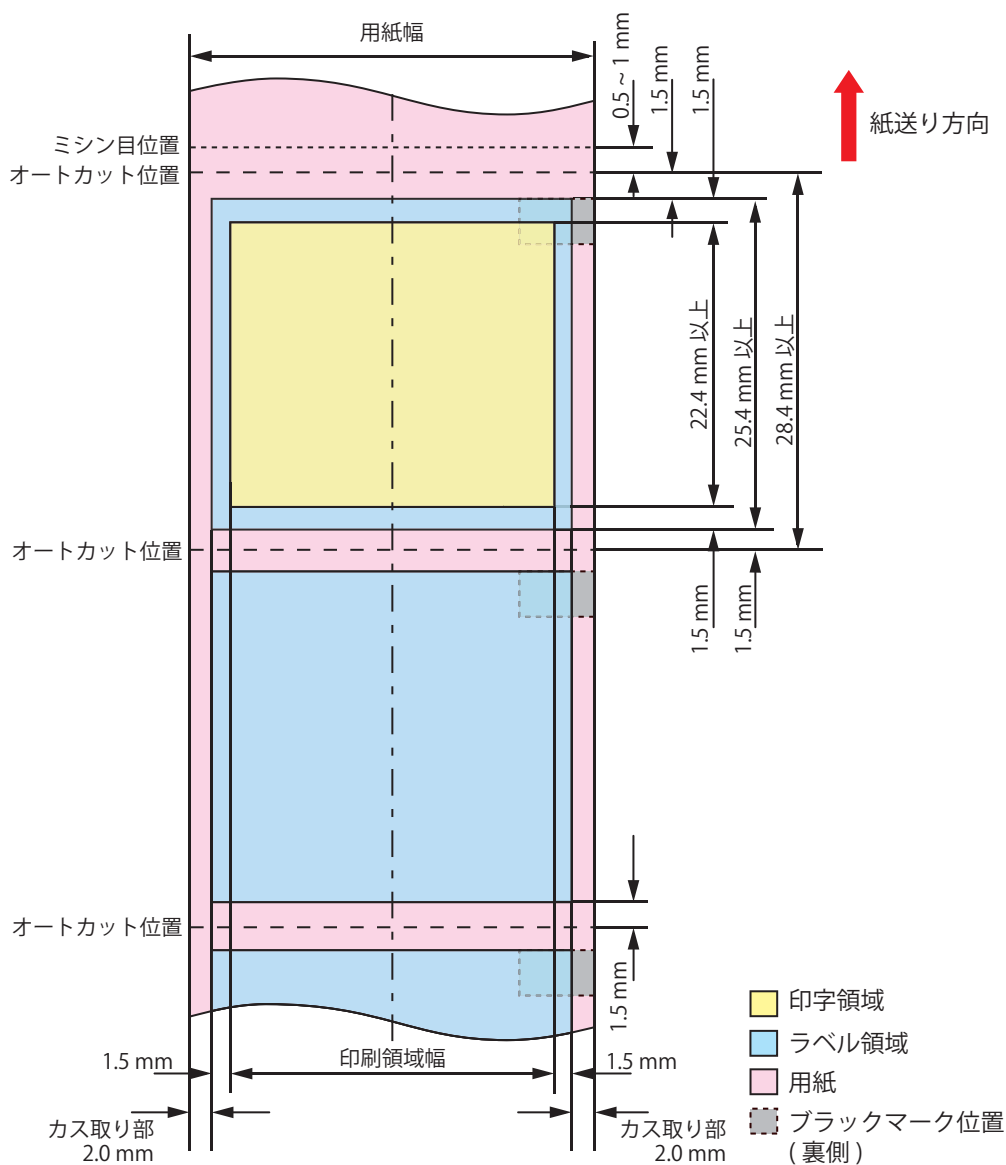
「印刷領域拡大」無効時

上下余白：1.5 mm（中心値）

左右余白：1.5 mm（中心値）

「印刷領域拡大」有効時

上下余白：0 mm（中心値）

左右余白：0 mm（中心値）

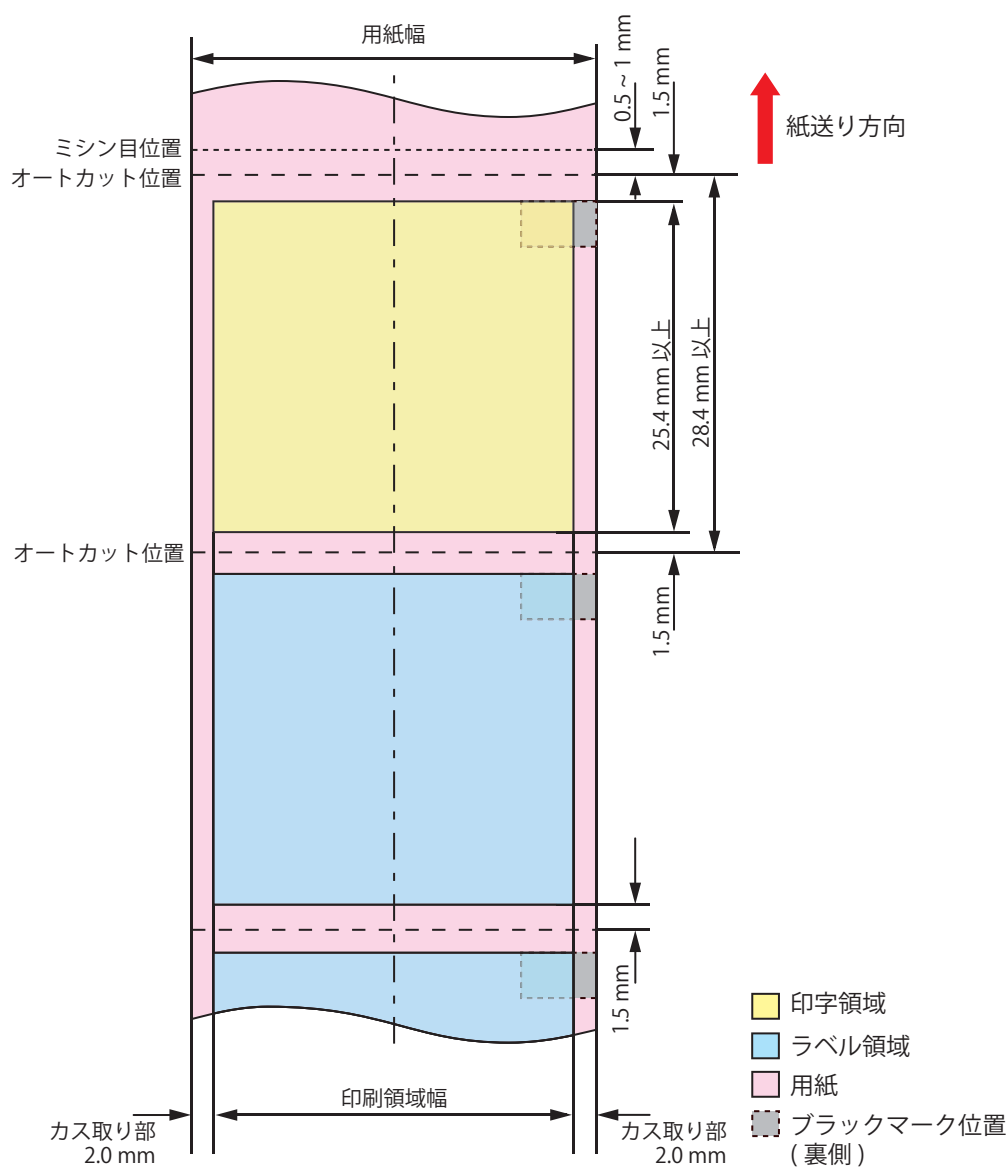
「印刷領域拡大」を有効に設定した場合、実印刷位置とラベルのセット位置によっては印刷がはみ出す可能性があります。印刷がはみ出ないようにするためには、印刷データ内に 1.5 mm 以上の余白を確保してください。

ダイカットラベル（ブラックマーク基準）・ロール紙

「印刷領域拡大」無効時

上下余白：1.5 mm（中心値）
左右余白：1.5 mm（中心値）

オートカット位置からブラックマーク先端距離は、1.5 mm 以上にしてください。
1.5 mm 以下の場合、ブラックマークが検出できず、ページを読み飛ばし、印刷できない場合があります。

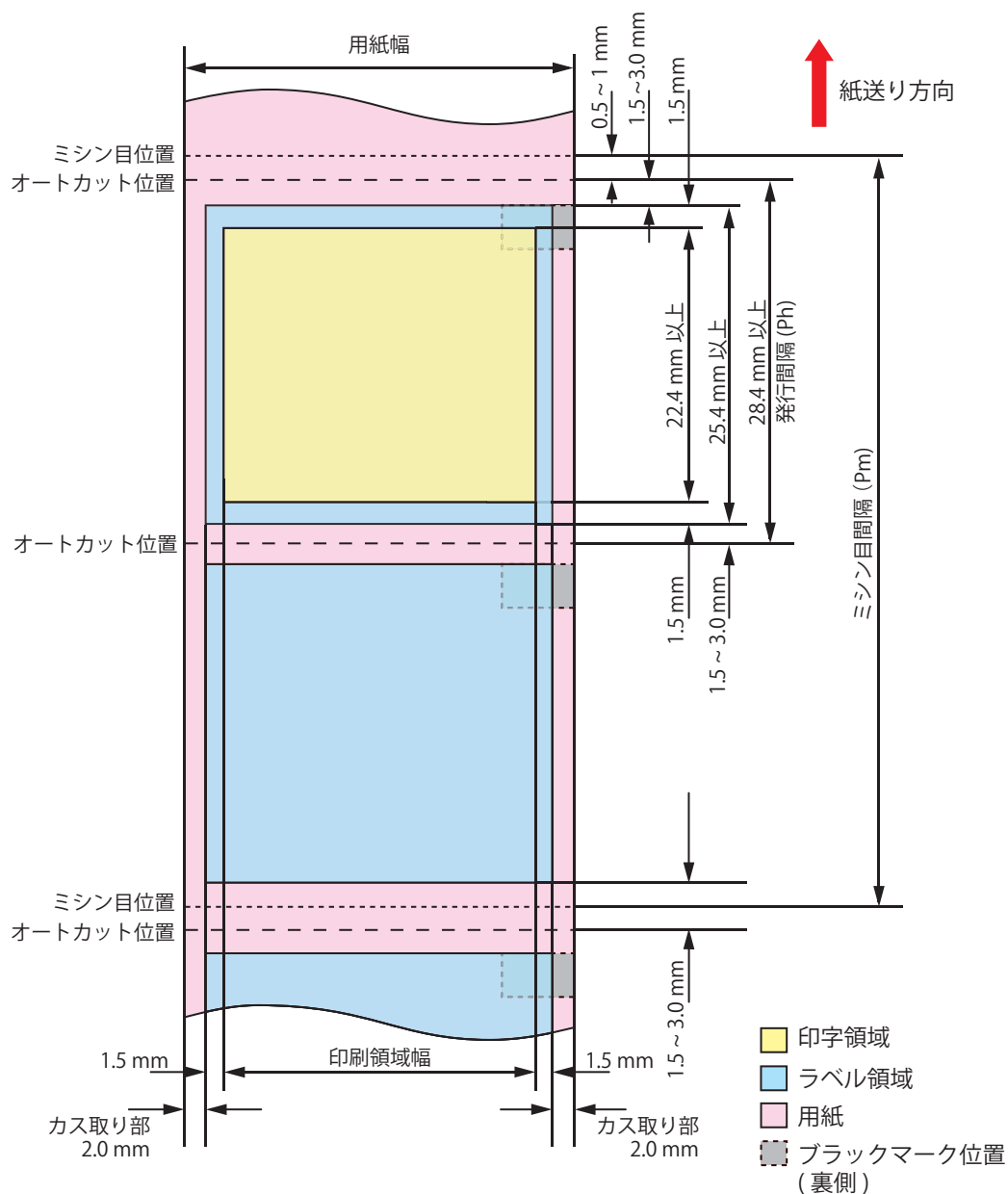
「印刷領域拡大」有効時

上下余白：0 mm（中心値）

左右余白：0 mm（中心値）

- 「印刷領域拡大」を有効に設定した場合、実印刷位置とラベルのセット位置によっては印刷がはみ出す可能性があります。印刷がはみ出ないようにするためには、印刷データ内に 1.5 mm 以上の余白を確保してください。
- オートカット位置からブラックマーク先端距離は、1.5 mm 以上にしてください。
  1.5 mm 以下の場合、ブラックマークが検出できず、ページを読み飛ばし、印刷できない場合があります。

ダイカットラベル（ブラックマーク基準）・ファンフォールド紙

「印刷領域拡大」無効時

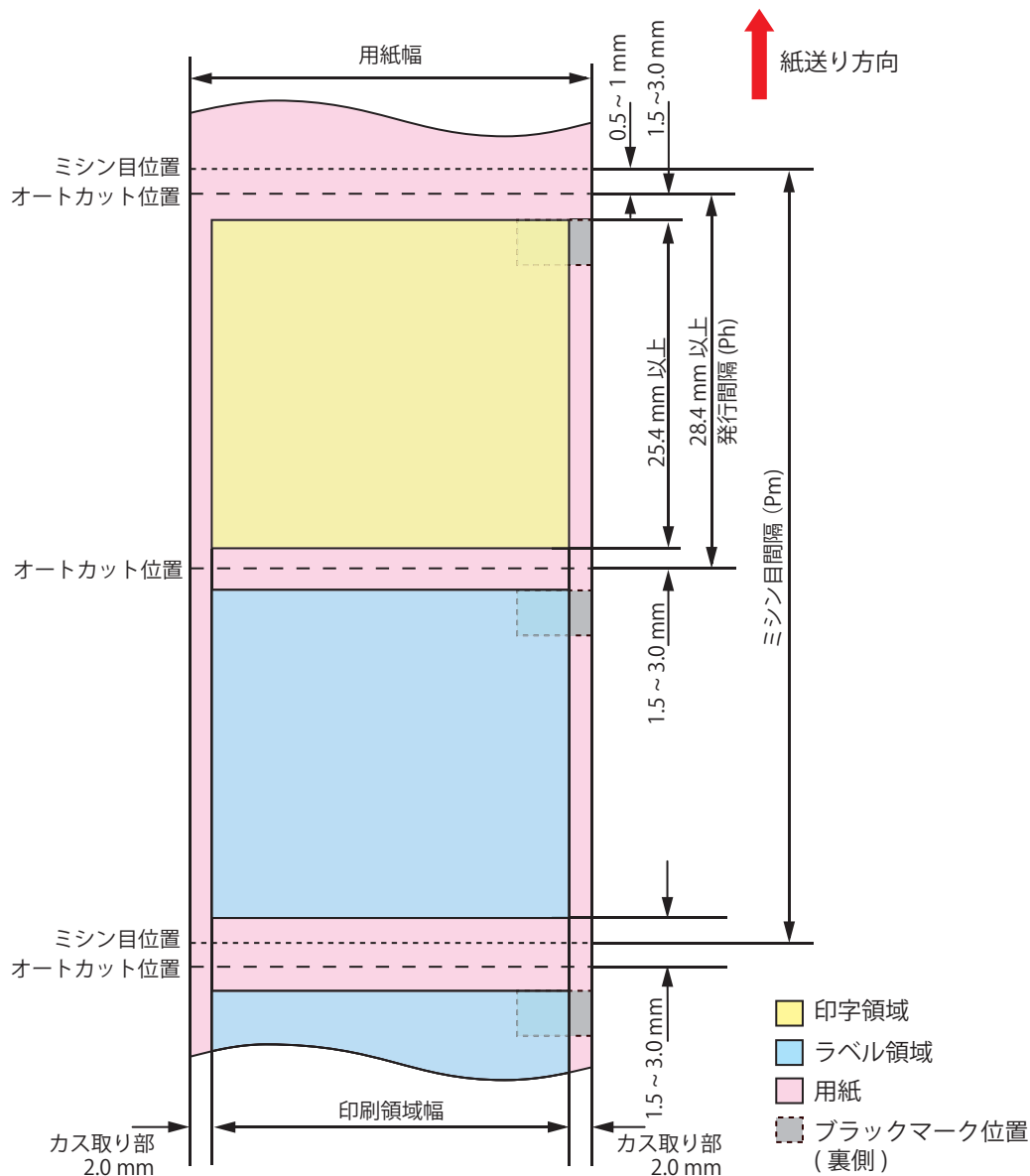
上下余白：1.5 mm（中心値）

左右余白：1.5 mm（中心値）

用紙幅
0.5 ~ 1 mm
1.5 ~3.0 mm
1.5 mm
紙送り方向
ミシン目位置
オートカット位置
22.4 mm 以上
25.4 mm 以上
28.4 mm 以上
発行間隔 (Ph)
ミシン目間隔（Pm）
オートカット位置
1.5 mm
1.5 ~ 3.0 mm
ミシン目位置
オートカット位置
1.5 ~ 3.0 mm
1.5 mm
印刷領域幅
1.5 mm
カス取り部
2.0 mm
カス取り部
2.0 mm

印字領域
ラベル領域
用紙
ブラックマーク位置（裏側）

- オートカット位置からブラックマーク先端距離は、1.5 mm 以上にしてください。
  1.5 mm 以下の場合、ブラックマークが検出できず、ページを読み飛ばし、印刷できない場合があります。
- 発行間隔 (Pm) とミシン目間隔 (Ph) が以下の関係になるよう調整してください。
  Pm=Ph× 整数倍

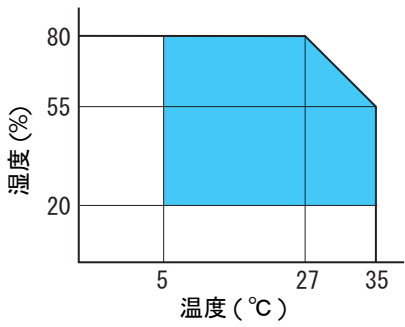
「印刷領域拡大」有効時

上下余白：0 mm（中心値）

左右余白：0 mm（中心値）

- 「印刷領域拡大」を有効に設定した場合、実印刷位置とラベルのセット位置によっては印刷がはみ出す可能性があります。印刷がはみ出ないようにするためには、印刷データ内に 1.5 mm 以上の余白を確保してください。
- オートカット位置からブラックマーク先端距離は、1.5 mm 以上にしてください。1.5 mm 以下の場合、ブラックマークが検出できず、ページを読み飛ばし、印刷できない場合があります。

電気的仕様

<table>
<tr><td colspan="2">電源供給</td><td>電源コネクターによる電源供給</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力電圧 (定格)</td><td>100 ～ 240 V、1.1 A</td></tr>
<tr><td colspan="2">周波数 (定格)</td><td>50 Hz ～ 60 Hz</td></tr>
<tr><td rowspan="3">消費電力 *</td><td>動作時</td><td>100 V: 平均　約 84 W
ピーク 約 123W
230 V: 平均　約 81 W
ピーク 約 102W</td></tr>
<tr><td>待機時</td><td>100 V: 平均　約 5.1 W
230 V: 平均　約 5.4 W</td></tr>
<tr><td>電源 OFF 時</td><td>100 V: 平均　約 0.2 W
230 V: 平均　約 0.5 W</td></tr>
</table>

*: 弊社動作条件による。

付属品の電源コードを使用してください。

信頼性

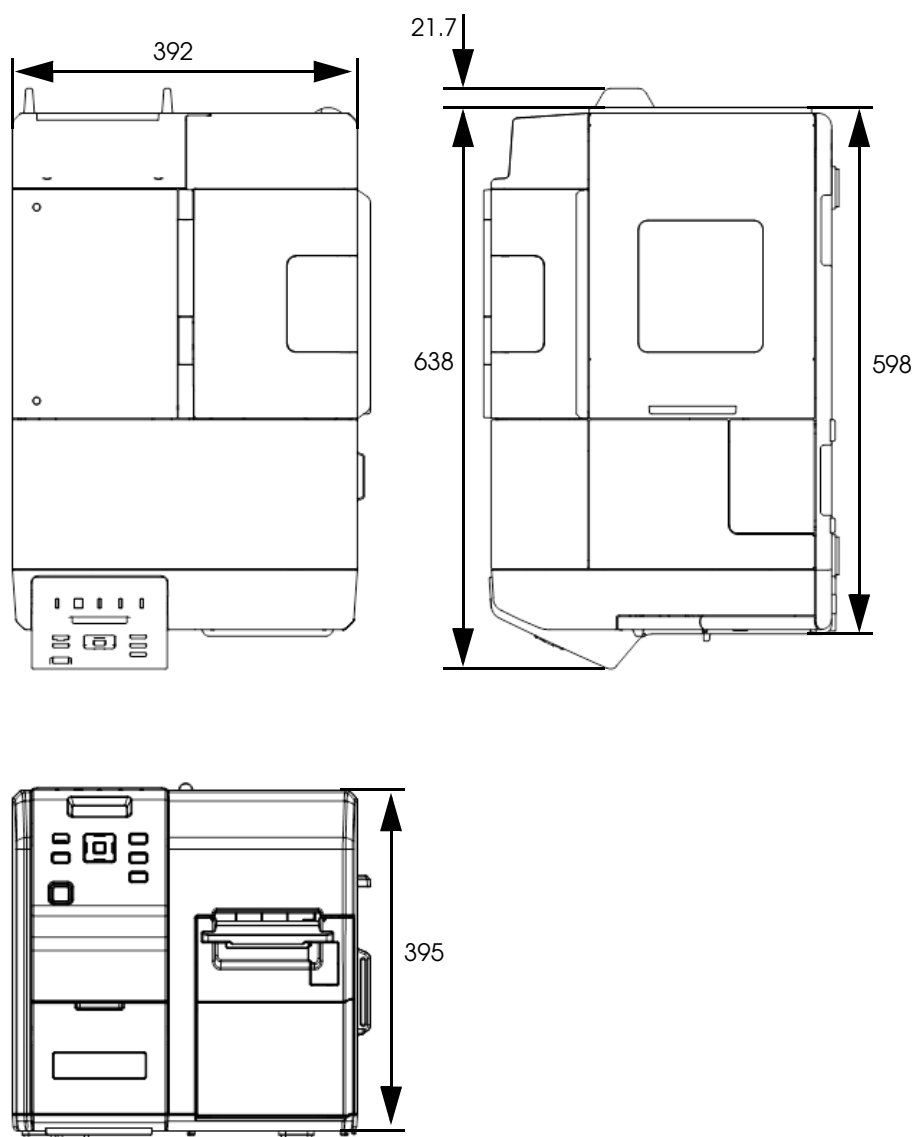
寿命	印刷ヘッド		120 億ショット / ノズル
	紙送り機構	TM-C7500	普通紙ダイカットラベル : 500 km マット紙ダイカットラベル : 500 km 合成紙ダイカットラベル : 500 km 普通紙全面ラベル : 500 km マット紙全面ラベル : 500 km 合成紙全面ラベル : 500 km
		TM-C7500G	普通紙ダイカットラベル : 500 km マット紙ダイカットラベル : 500 km 合成紙ダイカットラベル : 500 km 光沢紙ダイカットラベル : 500 km 普通紙全面ラベル : 500 km マット紙全面ラベル : 500 km 合成紙全面ラベル : 500 km 光沢紙全面ラベル : 500 km
	オートカッター機構	TM-C7500	普通紙ダイカットラベル台紙 : 150 万カット マット紙ダイカットラベル台紙 : 150 万カット 合成紙ダイカットラベル台紙 : 50 万カット 普通紙全面ラベル : 75 万カット マット紙全面ラベル : 20 万カット 合成紙全面ラベル : 10 万カット
		TM-C7500G	普通紙ダイカットラベル台紙 : 150 万カット マット紙ダイカットラベル台紙 : 150 万カット 合成紙ダイカットラベル台紙 : 50 万カット 光沢紙ダイカットラベル台紙 : 150 万カット 普通紙全面ラベル : 75 万カット マット紙全面ラベル : 20 万カット 合成紙全面ラベル : 10 万カット 光沢紙全面ラベル : 30 万カット

環境仕様

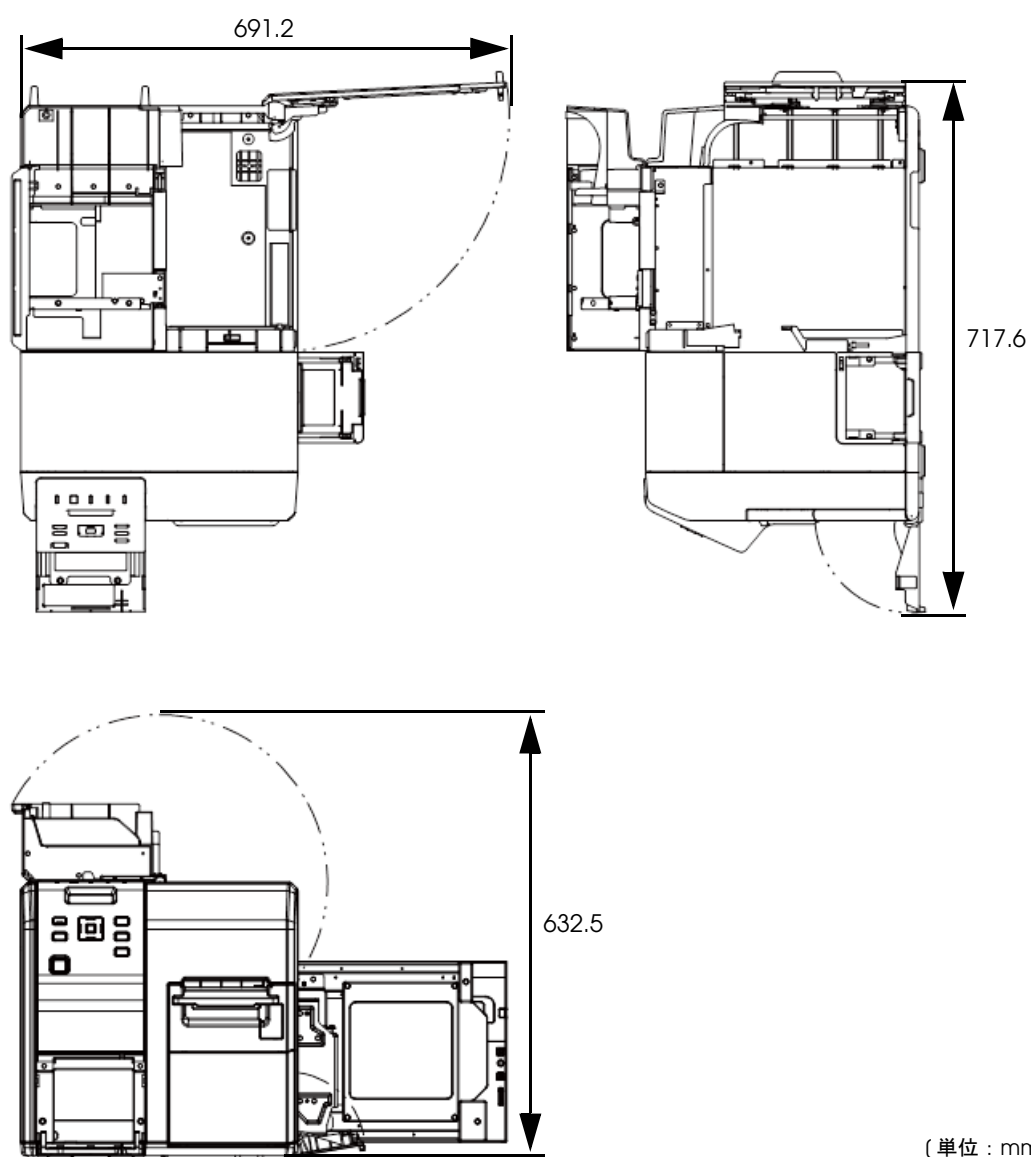
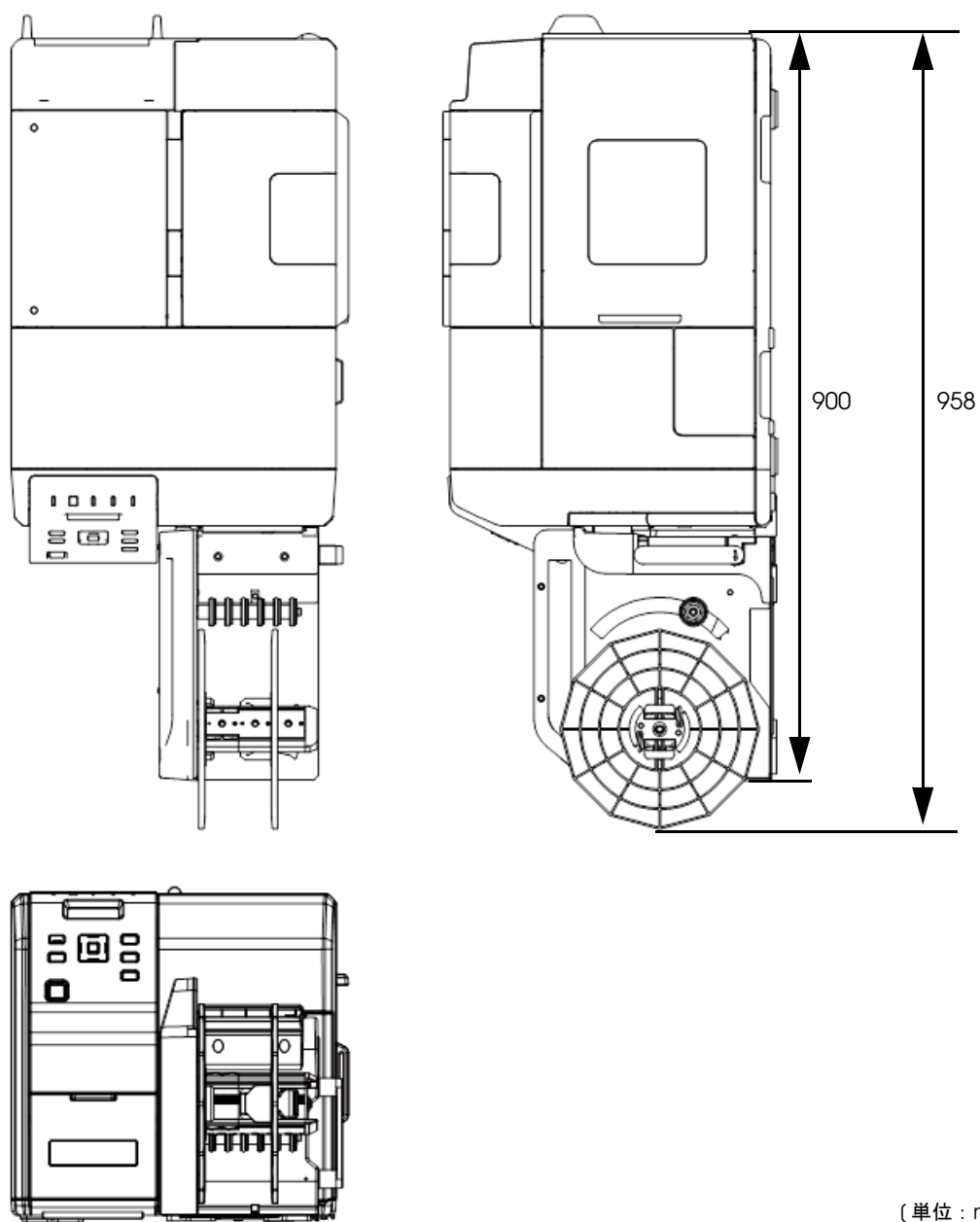
項目		仕様
温度／湿度	印刷時	5 ～ 35 °C、20 ～ 80 %RH 非結露 80 55 湿度 (%) 20 5 27 35 温度 (℃)
	バーコード印刷時	15 ～ 35°C、20 ～ 80%RH 非結露
	保管時	出荷梱包状態 (インク非充てん) : -20 ～ 60 °C、5 ～ 85 %RH 非結露 -20 °C または 60 °C の場合 120 時間以内 インク充てん状態 : -20 ～ 40 °C -20 °C の場合 120 時間以内 0 ～ 25 °C の場合 6ヵ月以内 40 °C の場合 1ヵ月以内
絶対最大定格温度		70 °C
気圧 (標高)	使用時	700 ～ 1060 hPa (標高 0 ～ 2500 m 相当)
	非使用時 (輸送を含む)	700 ～ 1060 hPa (標高 0 ～ 2500 m 相当)
耐振動	梱包時	周波数 : 5 ～ 55 Hz 加速度 : 約 19.6 m/s^2 {2G} スイープ : 10 分 (片道) 時間 : 1 時間 方向 : XYZ
耐衝撃	梱包時	梱包仕様 : エプソン標準工場出荷時梱包 高さ : 45 cm 方向 : 1 角、3 稜、6 面
	非梱包時	高さ : 5 cm 方向 : 4 辺、片方向支持
騒音	動作時	約 55 dB (ANSI Bystander position) オートカット動作を含む、弊社評価条件によります。

外形寸法

本体外形図

- 幅：　　392 mm
- 奥行き：598 mm
- 高さ：　395 mm

（単位：mm）

カバー 開口時

（単位：mm）

巻き取り装置装着時（オプション：TU-RC7508）

消耗品仕様

インクカートリッジ

型番	TM-C7500	SJIC26P(K)/ SJIC26P(C)/ SJIC26P(M)/ SJIC26P(Y)
	TM-C7500G	SJIC30P(K)/ SJIC30P(C)/ SJIC30P(M)/ SJIC30P(Y)
形態		4 色インク別体型専用インクカートリッジ
インク色		ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー
インク種		顔料インク
有効期限		プリンター装着後 6ヵ月、使用期間を含め製造日から 2 年
保存温度	個体輸送時	-20 ～ 60 ℃(60 ℃の場合、5 日以内)
	個装保存時	-20 ～ 40 ℃(40 ℃の場合、1ヵ月以内)
	本体装着時	-20 ～ 40 ℃(40 ℃の場合、1ヵ月以内)

- 製造日よりの 2 年の有効期限は、インクカートリッジの個装箱とカートリッジ本体で確認してください。
- インクカートリッジ中のインクは、-20 ℃以下の温度で放置すると凍結する場合があります。解凍後、10 ℃以上になれば使用することができます。

メンテナンスボックス

型番	SJMB7500
形態	廃液吸収材一体型メンテナンスボックス
有効期限	なし
保存温度	199 ページ「環境仕様」に準ずる

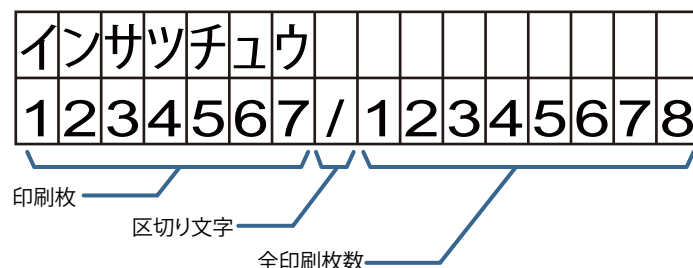
オプション仕様

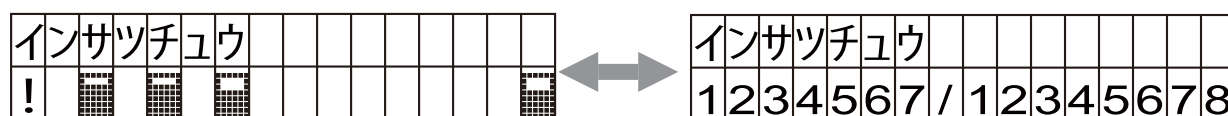
巻き取り装置(TU-RC7508)

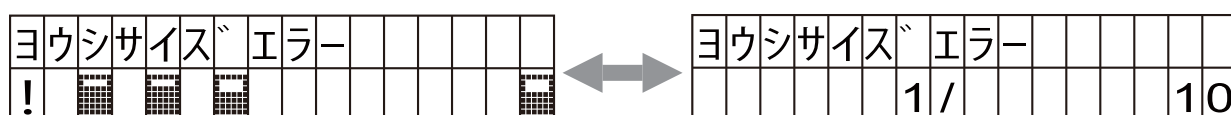
巻き取り装置とは、印刷された用紙をロール状に巻き取るための装置です。

外形寸法(H×W×D)	293 x 222 x 403 mm
質量	4.25 kg

印刷枚数の LCD 表示仕様

印刷枚数の表示は、印刷枚（ジョブ内で印刷が終了した枚数）と全印刷枚数（印刷ジョブの総印刷枚数）で LCD に表示されます。印刷枚は最大 7 桁、全印刷枚数は最大 8 桁まで表示することができます。

印刷中の表示

印刷中は、上段に〝インサツチュウ〝と表示され、下段はインクインジケーターと印刷枚数が 1 秒ごとに交互に表示されます。

印刷中のエラー表示

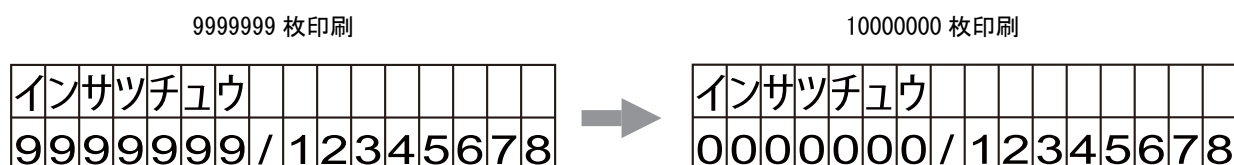
印刷中にエラーで停止した場合、上段にエラー状態が表示され、下段インクインジケーターと印刷枚数が 1 秒ごとに交互に表示されます。

印刷枚数が 8 桁に繰り上がった場合の表示

印刷枚は最大 7 桁まで表示されますが、枚数が 8 桁に繰り上がった場合、オーバフローし 0 枚目から再カウントされます。

9999999 枚印刷

インサツチュウ
9999999/12345678

10000000 枚印刷

インサツチュウ
0000000/12345678

ドライバー、ユーティリティー、マニュアルのダウンロード

プリンタードライバー、ユーティリティー、マニュアル類の最新版は、下記 URL からダウンロードできます。
http://www.epson.jp/support/sd/

ラベル印刷アプリケーション使用時の用紙検出 / 用紙経路設定

ラベル印刷アプリケーションを使用する場合に、用紙検出および用紙経路が正しく設定されていないと、用紙検出エラー / 用紙経路エラーになって印刷できません。

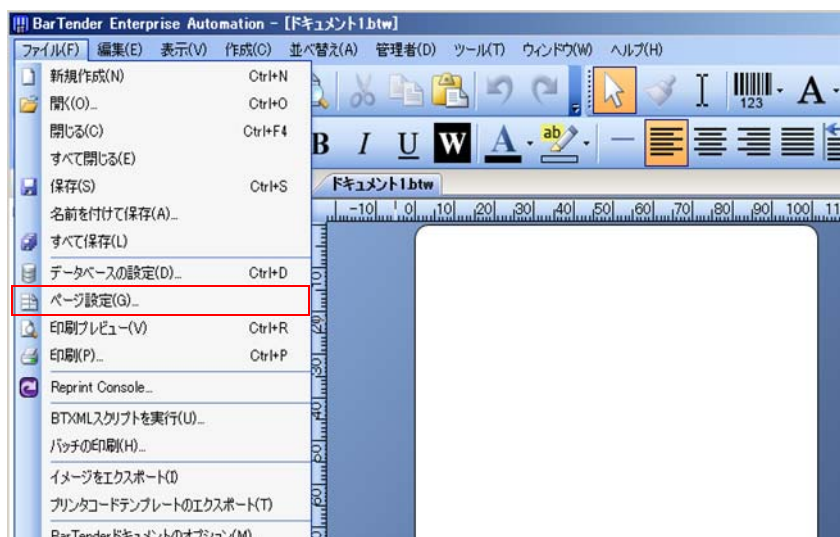
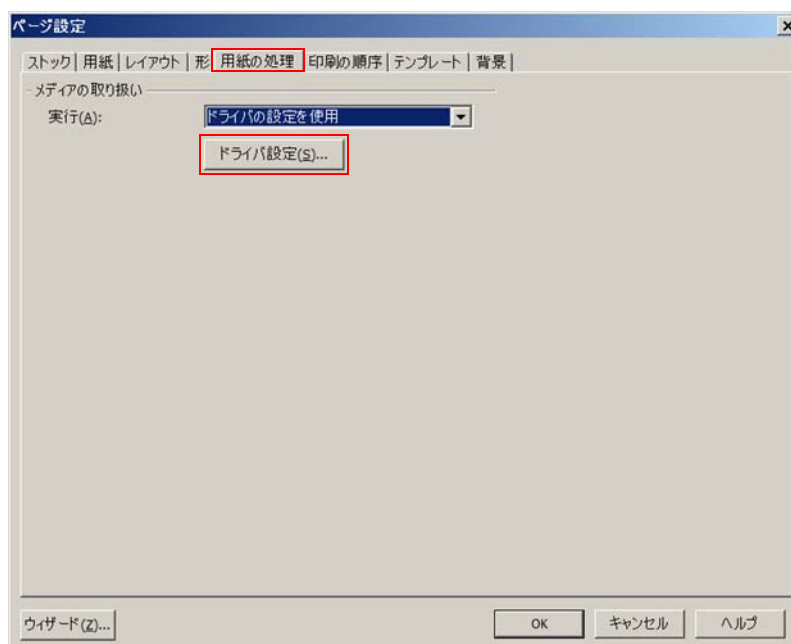
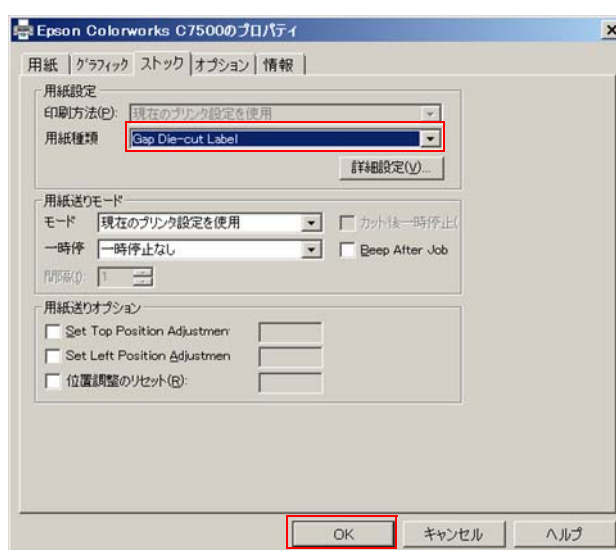
ここでは、以下のラベル印刷アプリケーションの設定方法を説明します。

- BarTender の用紙検出器設定変更 : 206 ページ
- BarTender の用紙経路設定変更 : 208 ページ
- NiceLabel の用紙検出器設定変更 : 209 ページ
- NiceLabel の用紙経路設定変更 : 211 ページ

- ラベル印刷アプリケーションの設定方法は、以下のバージョンで確認しています。他のバージョンでは、機能や設定方法が異なる場合があります。
  - ＊ BarTender:　BarTender Enterprise Automation Version 10.1 SR3
  - ＊ NiceLabel:　NiceLabel Pro DEMO Version 6.3.1
- 設定は、使用する用紙に合わせてください。ラベル印刷アプリケーションと本製品の設定が同じでも、用紙の種類が合っていないとエラーとなってしまいます。

BarTender の用紙検出器設定変更

以下の手順で BarTender の用紙検出器の設定を変更できます。

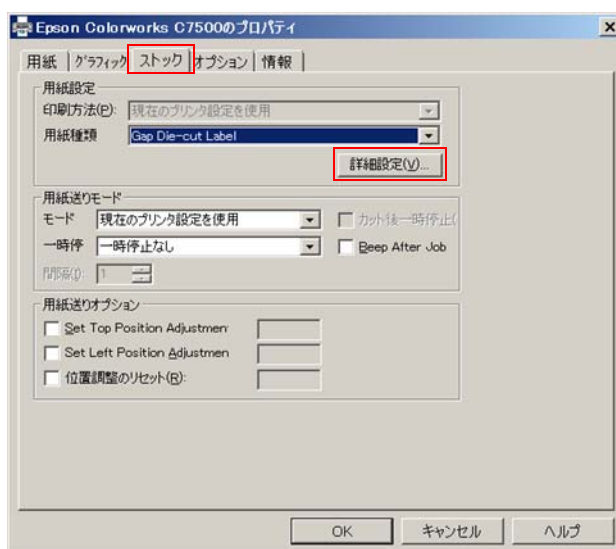
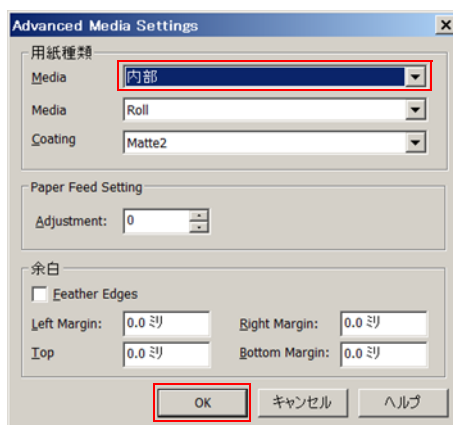
1 BarTender ドキュメント (*.btw) を開きます。[ファイル] メニューから、[ページ設定...] を選択します。

2 ″ページ設定″画面が表示されます。[用紙の処理]タブを選択し、[ドライバ設定...]をクリックします。

3 ″Epson Colorworks C7500 のプロパティ″ 画面が表示されます。[ストック] タブを選択します。[用紙設定] の [用紙種類] を変更し、[OK] をクリックします。

ドライバー	対応する操作パネルの設定	
用紙種類	ﾖｳｼｹﾝｼｭﾂ	ﾖｳｼｹｲﾀｲ
Gap Die-cut Label	ｷﾞｬｯﾌﾟ	ﾀﾞｲｶｯﾄﾗﾍﾞﾙ
Mark Die-cut Label	ﾌﾞﾗｯｸﾏｰｸ	ﾀﾞｲｶｯﾄﾗﾍﾞﾙ
Mark Continuous Paper	ﾌﾞﾗｯｸﾏｰｸ	ﾚﾝｿﾞｸｼ
Mark Continuous Label	ﾌﾞﾗｯｸﾏｰｸ	ｾﾞﾝﾒﾝﾗﾍﾞﾙ

BarTender の用紙経路設定変更

以下の手順で BarTender の用紙経路の設定を変更できます。

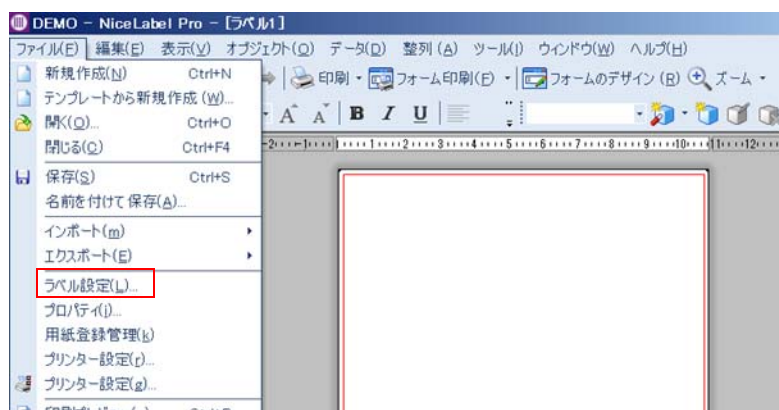
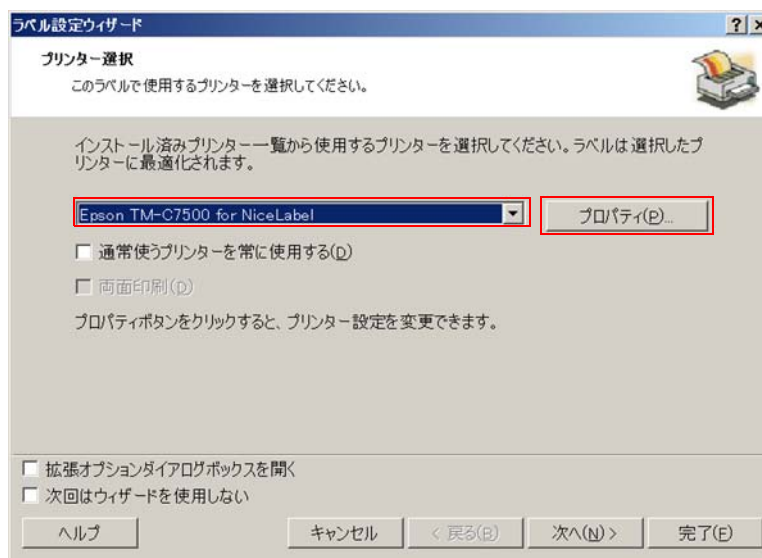
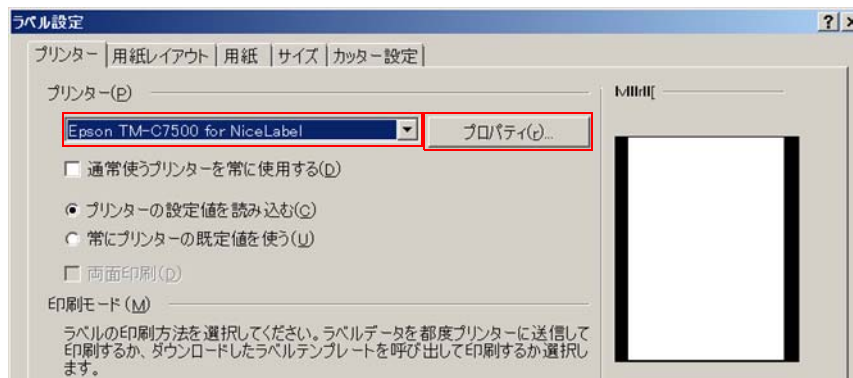
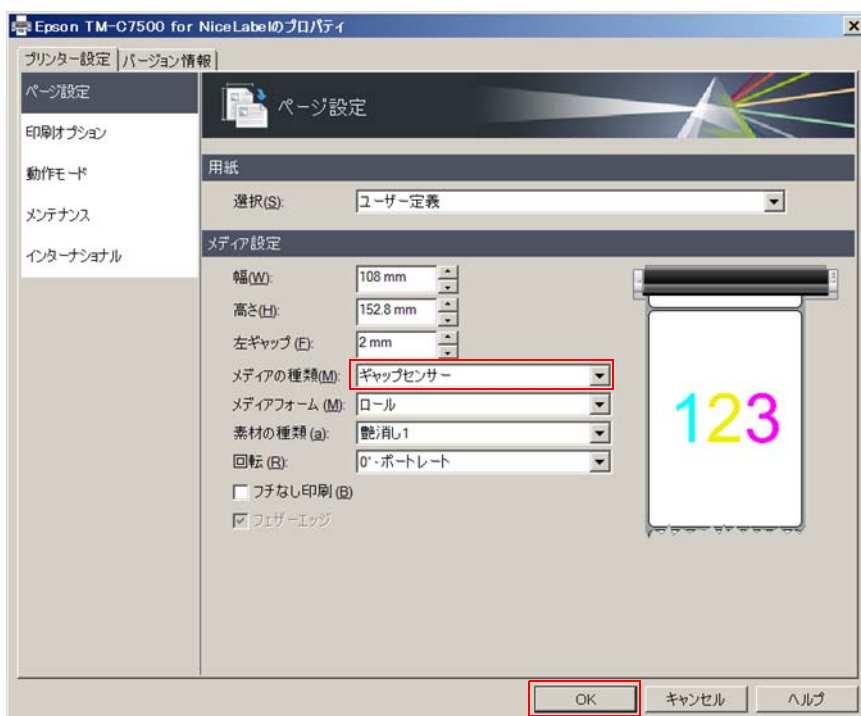
1 BarTender ドキュメント(*.btw) を開きます。[ファイル] メニューから、[ページ設定...] を選択します。

2 ″ページ設定″画面が表示されます。[用紙の処理] タブを選択し、[ドライバ設定...] をクリックします。

3 ″Epson Colorworks C7500 のプロパティ″ 画面が表示されます。[ストック] タブを選択し、[用紙設定] の [詳細設定 ...] をクリックします。

4 ″Advanced Media Settings″ 画面が表示されます。[用紙種類] の [Media] を変更し、[OK] をクリックします。

ドライバー	対応する操作パネルの設定
用紙種類	**ｷｭｳｼﾎｳﾎｳ**
内部	ﾅｲﾌﾞﾛｰﾙ
外部	ｶﾞｲﾌﾞﾌｨｰﾄﾞ

NiceLabel の用紙検出器設定変更

以下の手順で NiceLabel の用紙検出器の設定を変更します。

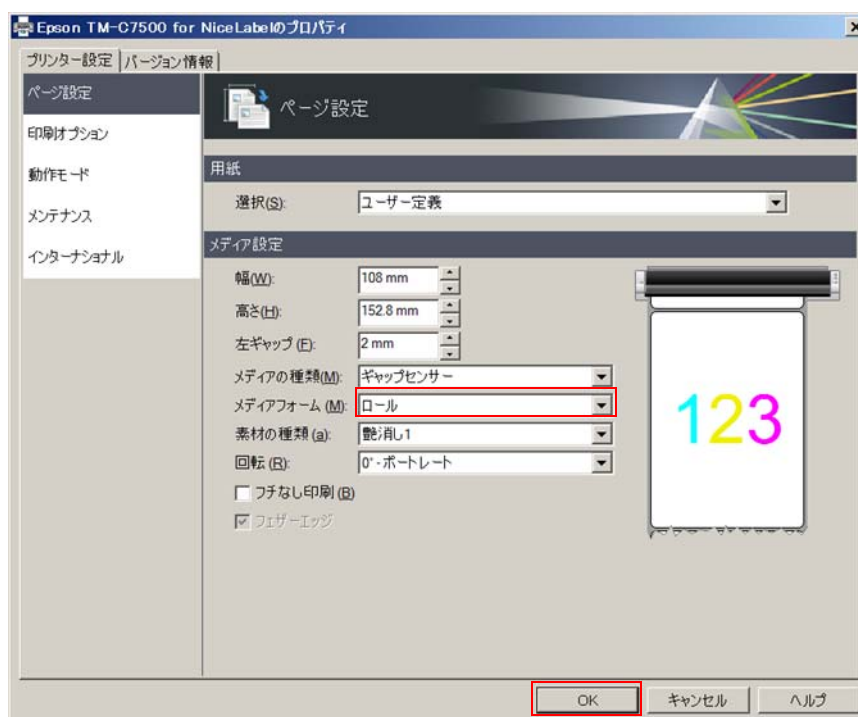
1 NiceLabelラベル(*.lab)を開きます。[ファイル]メニューから、[ラベル設定...]を選択します。

2 "ラベル設定ウィザード"または"ラベル設定"画面が表示されます。"Epson TM-C7500 for NiceLabel"を選択し、[プロパティ ...]をクリックします。

[次回はウィザードを使用しない]をチェックした場合、"ラベル設定"画面が表示されます。

3 〝Epson TM-C7500 for NiceLabel のプロパティ〟画面が表示されます。[ページ設定] の [メディアの種類] を変更し、[OK] をクリックします。

ドライバー	対応する操作パネルの設定	
用紙種類	ﾖｳｼｹﾝｼｭﾂ	ﾖｳｼｹｲﾀｲ
黒いマークのあるラベル	ﾌﾞﾗｯｸﾏｰｸ	ﾀﾞｲｶｯﾄﾗﾍﾞﾙ
ギャップセンサー	ｷﾞｬｯﾌﾟ	ﾀﾞｲｶｯﾄﾗﾍﾞﾙ
マーク付き連続ラベル	ﾌﾞﾗｯｸﾏｰｸ	ｾﾞﾝﾒﾝﾗﾍﾞﾙ
黒マーク付き連続用紙	ﾌﾞﾗｯｸﾏｰｸ	ﾚﾝｿﾞｸｼ

NiceLabel の用紙経路設定変更

以下の手順で NiceLabel の用紙経路の設定を変更します。

1 NiceLabelラベル(*.lab)を開きます。[ファイル]メニューから、[ラベル設定...]を選択します。

2 "ラベル設定ウィザード"または"ラベル設定"画面が表示されます。"Epson TM-C7500 for NiceLabel" を選択し、[プロパティ ...] をクリックします。

3 " Epson TM-C7500 for NiceLabel のプロパティ" 画面が表示されます。[ページ設定] の [メディアフォーム] を変更し、[OK] をクリックします。

ドライバー	対応する操作パネルの設定
メディアフォーム	ｷｭｳｼﾎｳﾎｳ
ロール	ﾅｲﾌﾞﾛｰﾙ
ファンフォールド	ｶﾞｲﾌﾞﾌｨｰﾄﾞ

お問い合わせ確認

本製品についての技術的な質問、疑問あるいは、障害がある場合、以下の情報を確認の上、販売店もしくは、弊社開発者向けヘルプデスク (http://www.epson.jp/support/sd/) にお問い合わせください。

- 弊社への技術的な質問、疑問の問い合わせ内容については、弊社のプリンターに関することに限らせていただきます。それ以外の Microsoft Corporation ないしはその他の会社が所有する技術に関する内容については、それを所有する会社にお問い合わせください。
- 障害が発生した場合、お問い合わせの前に、物理的な障害 (接続、電源などの問題) がないかを確認してください。

❏ 問い合わせ分類：障害 / 質問

❏ 日付：

❏ 御社名：

❏ 部署名：

❏ お名前：

❏ お電話 /FAX/Email：

❏ コンピューター情報：
- 製造メーカー
- CPU

❏ OS(サービスパックも含む)：

❏ 対象プリンター機種名：

❏ プリンタードライバー：インストール済み (OS 標準 /Epson カスタム)/ インストールしていない

❏ 対象プリンター接続形態：USB / Ethernet / MS 共有 (クライアント / サーバー)

❏ インストールプロトコル / サービス：NetBEUI / NetWare Client(Novell(Ver.) / Microsoft (Ver.))
/ TCPIP / OS 標準 SNMP エージェント / その他

❏ 印刷ツール：ローカル (LPT/USB) / OS 標準 Standard TCPIP / OS 添付 LPR / Epson 製 TCPIP 印刷 (名称)
/ 自社カスタムアプリケーション / その他 (製品名 /Ver)

❏ ファイアウォール：OS 標準 / パーソナル (製品名 /Ver)/ なし

❏ 御社アプリケーション情報：
- Windows サービス動作 / 通常 EXE 動作

❏ 弊社アプリケーション動作状況：EpsonNet WebManager / EpsonNet Log Browser
/ EpsonNet Simple Viewer/ EpsonNet SDK for Windows
/ PrinterSetting / その他 (名前)

❏ 障害の現象 (or 質問内容)：

❏ システム構成：コンピューター、ネットワークなどハードウェア構成と、ソフトウェアモジュール構成

❏ 障害の再現手順：操作手順、関数実行手順、現象を発生させた関数とその引数の値

❏ 障害の再現性：再現する (　　回中　　回)/ 再現しない